森林整備保全事業標準歩掛の制定について（平成 11 年４月１日付け 11 林野計第 133 号林野庁長官通知）
一部改正新旧対照表

別紙１

（下線部は改正部分）

| 改　　正　　後 | 現　　行 |
| --- | --- |
| **森林整備保全事業標準歩掛の留意事項** | **森林整備保全事業標準歩掛の留意事項** |
| １～６　（略）<br>７　地理的条件により、地元市町村役場（支所等を含む。）から現場事務所等の労働時間の開始地点となる労働者の集散場所までの往復に相当の時間を要する場合は、その時間に対応して歩掛を補正することができる。なお、通勤の起点は、地域の実情に応じて設定することができる。<br>８～10　（略） | １～６　（略）<br>７　地理的条件により、地元市町村役場（支所等を含む。）から現場までの往復に相当の時間を要する場合は、その時間に対応して歩掛を補正することができる。なお、通勤の起点は、地域の実情に応じて設定することができる。<br>８～10　（略） |

## 第１　土工

１－１　（略）

１－２　伐開・除根

１－２－１・１－２－２　（略）

（削る）

第１編　共通工

## 第１　土工

１－１　（略）

１－２　伐開・除根

１－２－１・１－２－２　（略）

### １－２－３（参考歩掛）伐木処理

(1)　適用範囲

本歩掛は、スギ、ヒノキ及びカラマツの人工林において、チェンソー、その他の人力作業及び機械により実施する伐木処理に適用する。

(2)　施工歩掛

1)　選木

選木歩掛は、次表を標準とする。

選木歩掛

（100 本当たり）

| 名称 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|
| 特　殊　作　業　員 | 人 | 0.16 | |
| 普　通　作　業　員 | 〃 | 0.16 | |
| 諸　雑　費　率 | % | 4 | |

備考　１　本歩掛には、伐倒対象立木を選木し、表示する工程を含む。

２　諸雑費は、ナンバーテープ等の消耗品の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

2)　伐倒

伐倒歩掛は、次表を標準とする。

伐倒歩掛

（100 本当たり）

| 名称 | 単位 | 平均胸高直径 | | | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 10cm 未満 | 10cm 以上 16cm 未満 | 16cm 以上 22cm 未満 | 22cm 以上 28cm 未満 | 28cm 以上 | |
| 特殊作業員 | 人 | 0.23 | 0.32 | 0.42 | 0.52 | 0.63 | |
| 普通作業員 | 〃 | 0.23 | 0.32 | 0.42 | 0.52 | 0.63 | |
| 諸 雑 費 率 | % | 6 | | | | | |

備考　１　本歩掛には、伐倒木を地面に引き落とす工程及び伐倒木の移動を抑える程度までの枝払をする工程を含む。

２　諸雑費は、チェンソーの損料及び燃料費、携帯手動ウインチの損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

3)　枝払

伐倒木の枝払を行う歩掛は、次表を標準とする。

枝払歩掛

（100 本当たり）

| 名称 | 単位 | 平均胸高直径 | | | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 10cm 未満 | 10cm 以上<br>16cm 未満 | 16cm 以上<br>22cm 未満 | 22cm 以上<br>28cm 未満 | 28cm 以上 | |
| 特殊作業員 | 人 | 0.21 | 0.24 | 0.28 | 0.31 | 0.35 | |
| 普通作業員 | 〃 | 0.21 | 0.24 | 0.28 | 0.31 | 0.35 | |
| 諸 雑 費 率 | % | 8 | | | | | |

備考　1　本歩掛には、伐倒木を丸太に玉切る作業及び丸太を片付ける作業の支障とならないように切り落とす程度までの工程を含む。

2　諸雑費は、チェンソーの損料及び燃料費、携帯手動ウインチの損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

4)　玉切

伐倒及び枝払した材の玉切を行う歩掛は、次表を標準とする。

玉切歩掛

（100 本当たり）

| 名称 | 単位 | 平均胸高直径 | | | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 10cm 未満 | 10cm 以上<br>16cm 未満 | 16cm 以上<br>22cm 未満 | 22cm 以上<br>28cm 未満 | 28cm 以上 | |
| 特殊作業員 | 人 | 0.18 | 0.20 | 0.23 | 0.26 | 0.29 | |
| 普通作業員 | 〃 | 0.18 | 0.20 | 0.23 | 0.26 | 0.29 | |
| 諸 雑 費 率 | % | 9 | | | | | |

備考　1　本歩掛には、小運搬及び集積できるように、一定の長さの丸太に玉切るまでの工程を含む。

2　諸雑費は、チェンソーの損料及び燃料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

5)　片付

玉切した丸太を片付ける歩掛は、次表を標準とする。

片付歩掛

（100 本当たり）

| 名称 | 単位 | 平均胸高直径 | | | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 10cm 未満 | 10cm 以上<br>16cm 未満 | 16cm 以上<br>22cm 未満 | 22cm 以上<br>28cm 未満 | 28cm 以上 | |
| 普通作業員 | 人 | 0.30 | 0.39 | 0.51 | 0.62 | 0.71 | |
| 諸 雑 費 率 | % | 1 | | | | | |

備考　1　本歩掛には、丸太を水平方向に並べ、転落、流出しないように集積または固定し整理する工程及び 20m 程度の小運搬を含む。

2　諸雑費は、木回し（フェリングレバー）等の損料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

6)　造材（機械造材プロセッサ以外）

（10 ㎥当たり）

| 名称 | 単位 | 平均胸高直径 | | | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 10cm 未満 | 10cm 以上 16cm 未満 | 16cm 以上 22cm 未満 | 22cm 以上 28cm 未満 | 28cm 以上 | |
| 特殊作業員 | 人 | 0.83 | 0.78 | 0.63 | 0.52 | 0.49 | |
| 普通作業員 | 人 | 0.83 | 0.78 | 0.63 | 0.52 | 0.49 | |
| 諸 雑 費 率 | % | 4 | | | | | |

備考　1　本表は、伐倒木を枝払いし、玉切る工程に適用する。

2　本表は、スギの工程であり、ヒノキの場合には＋0.03 人、カラマツの場合には－0.03 人、特殊作業員及び普通作業員の数値をそれぞれ補正する。

3　諸雑費は、チェンソーの損料及び燃料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する（当該費用を別途積み上げ等により計上する場合は上表の率は使用しない）。

4　チェンソー以外の機械により造材を行う場合の機械損料及び燃料費等は、上表の率を使用せず別途積み上げ等により計上する。

7)　機械造材（プロセッサ）

（10 ㎥当たり）

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 適要 |
|---|---|---|---|---|
| プロセッサ運転 | ベースマシン 0.45 ㎥ | h | 1.9 | 標準 |
| | ベースマシン 0.45 ㎥ | h | 2.7 | |

備考　1　本表は、プロセッサまたはハーベスタを用いておこなう造材（枝払い・玉切り）の作業に適用する。

2　ベースマシン 0.28 ㎥は、当該作業地または当該作業地に至るまでの道路幅員、林地傾斜等によりベースマシン 0.45 ㎥が適用しがたい場合に適用する。

3　プロセッサ運転の経費は、運転手（特殊）の人件費、機械損料、燃料費等を積上げにより計上する。

8)　集材（車両系）

（10 ㎥当たり）

| 平均胸高直径 | 名称 | 単位 | 集材距離 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 200m 未満 | 200m 以上 400m 未満 | 400m 以上 600m 未満 | 600m 以上 800m 未満 | 800m 以上 1,000m 未満 | 1,000m 以上 | |
| 10cm 未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.52 | 0.55 | 0.58 | 0.61 | 0.65 | 0.67 | |
| | 普通作業員 | 人 | 1.04 | 1.11 | 1.17 | 1.23 | 1.29 | 1.34 | |
| 10cm 以上 16cm 未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.48 | 0.51 | 0.54 | 0.57 | 0.60 | 0.62 | |
| | 普通作業員 | 人 | 0.97 | 1.03 | 1.09 | 1.14 | 1.20 | 1.25 | |
| 16cm 以上 22cm 未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.43 | 0.45 | 0.48 | 0.50 | 0.53 | 0.55 | |
| | 普通作業員 | 人 | 0.85 | 0.91 | 0.95 | 1.01 | 1.06 | 1.09 | |
| 22cm 以上 28cm 未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.37 | 0.39 | 0.42 | 0.44 | 0.46 | 0.48 | |
| | 普通作業員 | 人 | 0.75 | 0.79 | 0.83 | 0.88 | 0.93 | 0.96 | |
| 28cm 以上 | 運転手（特殊） | 人 | 0.32 | 0.34 | 0.36 | 0.38 | 0.40 | 0.42 | |
| | 普通作業員 | 人 | 0.65 | 0.69 | 0.73 | 0.77 | 0.81 | 0.83 | |

備考　1　本表は、9）集材（架線系）の備考１に示す以外の車両系機械による集材の工程及び集造材地点までの木寄等の工程に適用する。
2　本表は、定性間伐の工程であり、列状間伐の場合には運転手（特殊）及び普通作業員の数値をそれぞれ－20％補正する。
3　集材に用いる機械の損料及び燃料費等は、使用する機械や作業実態等を考慮し別途計上する。
4　集材距離は、作業地の中心地点からトラックへの積み込み地点又は仮置場までの距離とする。

9）　集材（架線系）

（10 ㎥当たり）

| 平均胸高直径 | 名称 | 単位 | 集材距離 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 200m未満 | 200m以上400m未満 | 400m以上600m未満 | 600m以上800m未満 | 800m以上1,000m未満 | 1,000m以上 |
| 10cm未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.67 | 0.72 | 0.78 | 0.83 | 0.88 | 0.95 |
| | 普通作業員 | 人 | 2.01 | 2.18 | 2.33 | 2.50 | 2.66 | 2.85 |
| 10cm以上16cm未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.58 | 0.63 | 0.68 | 0.74 | 0.79 | 0.86 |
| | 普通作業員 | 人 | 1.73 | 1.90 | 2.06 | 2.22 | 2.38 | 2.58 |
| 16cm以上22cm未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.46 | 0.51 | 0.56 | 0.62 | 0.67 | 0.74 |
| | 普通作業員 | 人 | 1.37 | 1.54 | 1.70 | 1.86 | 2.02 | 2.22 |
| 22cm以上28cm未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.36 | 0.41 | 0.47 | 0.52 | 0.57 | 0.64 |
| | 普通作業員 | 人 | 1.08 | 1.25 | 1.40 | 1.57 | 1.73 | 1.93 |
| 28cm以上 | 運転手（特殊） | 人 | 0.30 | 0.35 | 0.40 | 0.46 | 0.51 | 0.58 |
| | 普通作業員 | 人 | 0.89 | 1.05 | 1.21 | 1.37 | 1.53 | 1.73 |

備考　1　本表は、主索を用いて行う架線集材（主索を用いずに複数の作業索を用いて行う簡易架線集材を含む）の工程及び集材地点までの人力木寄等の工程に適用する。
2　本表は、定性間伐の工程であり、列状間伐の場合には運転手（特殊）及び普通作業員の数値をそれぞれ－20％補正する。
3　集材に用いる機械の損料及び燃料費等は、使用する機械や作業実態等を考慮し別途計上する。
4　集材距離は、作業地の中心地点からトラックへの積み込み地点又は仮置土場までの距離とする。

(3)　施工歩掛の補正

作業の難易度により施工歩掛を補正する場合は、原則として次表の範囲内で補正することができる。

施工歩掛の補正

| 作業の難易度 | 作業条件 | 補正係数 |
|---|---|---|
| 易 | 灌木や枝葉、転石、伐根がほとんどなく、作業のための移動や歩行が容易な場合 | －10％ |
| 中 | 易あるいは難以外の場合 | 0％ |
| 難 | 灌木や枝葉、転石、伐根等の障害物により、作業のための移動や歩行に大きな支障がある場合 | ＋10％ |

備考　施工歩掛の補正は、(2) 2）伐倒、3）枝払、4）玉切及び5）片付に適用する。

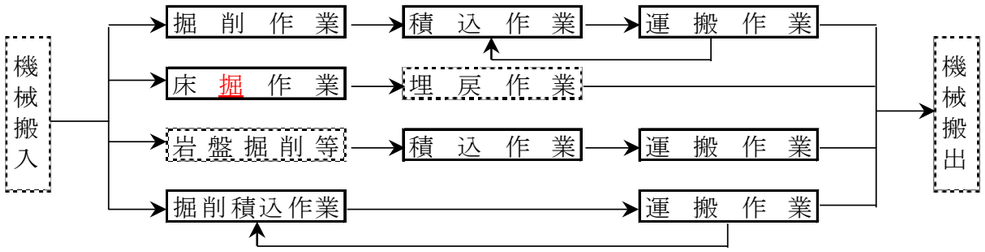
## １－３　機械土工（土砂）

１　施工概要及び適用範囲

（１）　適用範囲

本歩掛は、山地治山土工以外の機械土工（土砂）に適用する。

（２）　施工概要（施工フロー）




（注）　歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

（３）　（略）

２　掘削法及び機種の選定（土砂）

（１）　（略）

（２）　機種選定

施工機械の機種選定に当たっては、各工事の作業内容、現地条件（工期、地耐力、傾斜度、施工に伴う障害等の有無、走行面の状況、騒音、振動規制、水質汚濁防止等）、安全性、入手状況等を考慮の上、バックホウを標準として適用機種を選定する。

標準として積算に用いる機種は以下のとおりとするが、工事量、現場条件を勘案して最も適した機種を選定するものとする。

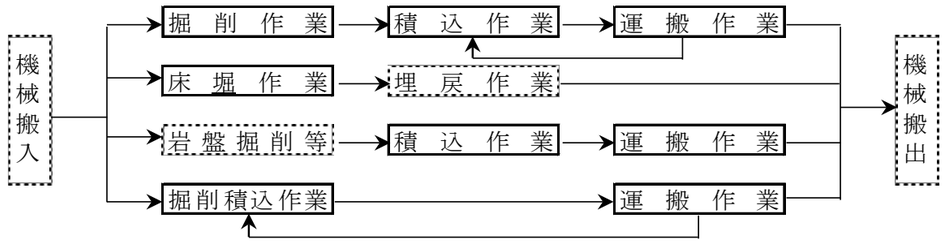
なお、現場条件により次の各表により難い場合は、別途考慮する。

## １－３　機械土工（土砂）

１　施工概要及び適用範囲

（新設）

（１）　施工概要（施工フロー）




（注）　歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

（２）　（略）

２　掘削法及び機種の選定（土砂）

（１）　（略）

（２）　機種選定

施工機械の機種選定に当たっては、各工事の作業内容、現地条件（工期、地耐力、傾斜度、施工に伴う障害等の有無、走行面の状況、騒音、振動規制、水質汚濁防止等）、安全性、入手状況等を考慮の上、バックホウを標準として適用機種を選定する。

標準として積算に用いる機種は以下のとおりとするが、工事量、現場条件を勘案して最も適した機種を選定するものとする。

なお、現場条件により次の各表により難い場合は、別途考慮する。

① バックホウによる掘削・積込み作業の機種選定

表２．１ 掘削積込機械の適用機種の標準

| 作業の種類 | 作業内容 | | バックホウの規格 |
|---|---|---|---|
| ・地山の掘削<br>・地山の掘削積込み<br>・ルーズな状態の積込み | １箇所当たりの施工土量が 100 ㎥程度まで、又は平均施工幅１ｍ未満の場合 | | 森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準「②土工」による |
| | 林道工事における施工土量 5,000 ㎥未満 | | クローラ型・後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） |
| | 施工土量<br>10,000 ㎥未満 | 上記以外で狭隘で旋回範囲に制限がある場合 | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） |
| | | 上記以外の場合 | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） |
| | 施工土量<br>10,000 ㎥以上<br>50,000 ㎥未満 | 上記以外で狭隘で旋回範囲に制限がある場合 | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） |
| | | 上記以外の場合 | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） |
| | 施工土量 50,000 ㎥以上 | | 森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準「②土工」による |
| 作業土工<br>（床掘工） | 1 箇所当たりの施工土量が 100 ㎥程度まで、又は平均施工幅１ｍ未満の場合 | | 森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準「④作業土工（床掘工）」による |
| | 平均施工幅１ｍ以上２ｍ未満又は狭隘で旋回範囲に制限がある場合 | | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） |
| | 上記以外 | | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.80 ㎥（平積 0.60 ㎥） |

（注） １・２ （略）

３ 林道工事における施工土量が 5,000 ㎥以上の場合は、上表の施工土量により機種の選定を行う。

４ 林道工事以外で施工土量が 5,000 ㎥未満の場合は、上表の施工土量 10,000 ㎥未満の機種選定を行う。

② 運搬土量によるダンプトラックの機種選定

土の運搬は、バックホウとダンプトラックによる組合せを標準とするが、機械の走行性等が確保できない場合は、不整地運搬車を適用することができる。

また、運土距離が 60m 以下の場合には、ブルドーザを適用することができる。

表２．２ （略）

③ （略）

① バックホウによる掘削・積込み作業の機種選定

表２．１ 掘削積込機械の適用機種の標準

| 作業の種類 | 作業内容 | | バックホウの規格 |
|---|---|---|---|
| ・地山の掘削<br>・地山の掘削積込み<br>・ルーズな状態の積込み | １箇所当たりの施工土量が 100 ㎥程度まで、又は平均施工幅１ｍ未満の場合 | | 「③小規模土工」による |
| | （新設） | | （新設） |
| | 施工土量<br>10,000 ㎥未満 | 上記以外で狭隘で旋回範囲に制限がある場合 | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） |
| | | 上記以外の場合 | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） |
| | 施工土量<br>10,000 ㎥以上<br>50,000 ㎥未満 | 上記以外で狭隘で旋回範囲に制限がある場合 | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） |
| | | 上記以外の場合 | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） |
| | 施工土量 50,000 ㎥以上 | | 森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準「②土工」による |
| 作業土工<br>（床掘工） | 1 箇所当たりの施工土量が 100 ㎥程度まで、又は平均施工幅１ｍ未満の場合 | | 「③小規模土工」による |
| | 平均施工幅１ｍ以上２ｍ未満又は狭隘で旋回範囲に制限がある場合 | | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） |
| | 上記以外 | | クローラ型・標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.80 ㎥（平積 0.60 ㎥） |

（注） １・２ （略）

② 運搬土量によるダンプトラックの機種選定

土の運搬は、バックホウとダンプトラックによる組合せを標準とするが、トラフィカビリティが確保できない場合は、不整地運搬車を適用することができる。

また、運土距離が 60m 以下の場合には、ブルドーザを適用することができる。

表２．２ （略）

③ （略）

3　施工歩掛

（1）　バックホウ掘削積込み（土砂）
日当たり施工量は、次表を標準とする。

表３．１　日当たり施工量

（１日当たり）

| 作業種別 | 施工土量 | 制限の有無 | 名称 | 規格 | 土質名 | 単位 | 数量 障害なし | 数量 障害あり |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地山の掘削 | 林道工事における5,000 m³未満 | － | バックホウ（クローラ型）運転 | 後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 97 | 73 |
| | | | | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 73 | 48 |
| | 10,000 m³未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 131 | 98 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 98 | 65 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8 m³（平積0.6 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 228 | 170 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8 m³（平積0.6 m³） | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 170 | 113 |
| | 10,000 m³以上50,000 m³未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 154 | 115 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 115 | 76 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8 m³（平積0.6 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 267 | 200 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8 m³（平積0.6 m³） | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 200 | 133 |
| 地山の掘削積込 | 林道工事における5,000 m³未満 | － | バックホウ（クローラ型）運転 | 後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 83 | 62 |
| | | | | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 62 | 41 |
| | 10,000 m³未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 112 | 84 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 84 | 56 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8 m³（平積0.6 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 195 | 146 |

3　施工歩掛

（1）　バックホウ掘削積込み（土砂）
日当たり施工量は、次表を標準とする。

表３．１　日当たり施工量

（１日当たり）

| 作業種別 | 施工土量 | 制限の有無 | 名称 | 規格 | 土質名 | 単位 | 数量 障害なし | 数量 障害あり |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地山の掘削 | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| | | | | | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| | 10,000 m³未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 131 | 98 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 98 | 65 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8 m³（平積0.6 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 228 | 170 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8 m³（平積0.6 m³） | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 170 | 113 |
| | 10,000 m³以上50,000 m³未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 154 | 115 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 115 | 76 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8 m³（平積0.6 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 267 | 200 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8 m³（平積0.6 m³） | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 200 | 133 |
| 地山の掘削積込 | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| | | | | | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| | 10,000 m³未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 112 | 84 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45 m³（平積0.35 m³） | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | m³ | 84 | 56 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8 m³（平積0.6 m³） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | m³ | 195 | 146 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 岩塊・玉石・軟岩（Ｉ）Ａ | ㎥ | 146 | 97 |
| | 10,000㎥以上50,000㎥未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 132 | 98 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 岩塊・玉石・軟岩（Ｉ）Ａ | ㎥ | 98 | 66 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 229 | 171 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 岩塊・玉石・軟岩（Ｉ）Ａ | ㎥ | 171 | 114 |
| ルーズな状態の積込 | 林道工事における5,000㎥未満 | － | バックホウ（クローラ型）運転 | 後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 90 | 70 |
| | | | | | 岩塊・玉石・軟岩（Ｉ）Ａ | ㎥ | 70 | 48 |
| | 10,000㎥未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 122 | 94 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 岩塊・玉石・破砕岩 | ㎥ | 94 | 65 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 211 | 162 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 岩塊・玉石・破砕岩 | ㎥ | 162 | 113 |
| | 10,000㎥以上50,000㎥未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 143 | 110 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 岩塊・玉石・破砕岩 | ㎥ | 110 | 76 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 248 | 190 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 岩塊・玉石・破砕岩 | ㎥ | 190 | 133 |

（注）　１～３　（略）

4　林道工事における施工土量が5,000㎥以上の場合は、上表の施工土量による日当たり施工量を適用する。

5　林道工事以外で施工土量が5,000㎥未満の場合は、上表の施工土量10,000㎥未満の日当たり施工量を適用する。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 岩塊・玉石・軟岩（Ｉ）Ａ | ㎥ | 146 | 97 |
| | 10,000㎥以上50,000㎥未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 132 | 98 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 岩塊・玉石・軟岩（Ｉ）Ａ | ㎥ | 98 | 66 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 229 | 171 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 岩塊・玉石・軟岩（Ｉ）Ａ | ㎥ | 171 | 114 |
| ルーズな状態の積込 | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| | | | | | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| | 10,000㎥未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 122 | 94 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 岩塊・玉石・破砕岩 | ㎥ | 94 | 65 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 211 | 162 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 岩塊・玉石・破砕岩 | ㎥ | 162 | 113 |
| | 10,000㎥以上50,000㎥未満 | あり | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 143 | 110 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45㎥（平積0.35㎥） | 岩塊・玉石・破砕岩 | ㎥ | 110 | 76 |
| | | なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 248 | 190 |
| | | | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8㎥（平積0.6㎥） | 岩塊・玉石・破砕岩 | ㎥ | 190 | 133 |

（注）　１～３　（略）

（２）　片切掘削（人力併用機械掘削）（土砂）

①　機種の選定

機種、規格は、次のとおりとする。

表３．２　機種の選定

| 作業内容 | 機種 | 規格 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|---|
| 狭隘で旋回範囲に制限がある場合 | バックホウ（クローラ型） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 台 | 1 |
| 上記以外の場合 | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 台 | 1 |

ただし、林道工事における機種、規格は、次のとおりとする。

表３．３　機種の選定

| 機種 | 規格 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|
| バックホウ（クローラ型） | 後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 台 | 1 |

②　日当たり作業量

日当たり作業量は、次のとおりとする。

表３．４　日当たり作業量

| 制限の有無 | 機種 | 規格 | 土質名 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|
| あり | バックホウ（クローラ型） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 116 |
| | | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）Ａ | ㎥ | 87 |
| なし | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 233 |
| | | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）Ａ | ㎥ | 175 |

（注）　１・２　（略）

（２）　片切掘削（人力併用機械掘削）（土砂）

①　機種の選定

機種、規格は、次のとおりとする。

表３．２　機種の選定

| 作業内容 | 機種 | 規格 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|---|
| 狭隘で旋回範囲に制限がある場合 | バックホウ（クローラ型） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 台 | 1 |
| 上記以外の場合 | バックホウ（クローラ型） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 台 | 1 |

（新設）

②　日当たり作業量

日当たり作業量は、次のとおりとする。

表３．３　日当たり作業量

| 制限の有無 | 機種 | 規格 | 土質名 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|
| あり | バックホウ（クローラ型） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 116 |
| | | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）Ａ | ㎥ | 87 |
| なし | バックホウ（クローラ型） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 233 |
| | | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）Ａ | ㎥ | 175 |

（注）　１・２　（略）

ただし、林道工事における日当たり作業量は、次のとおりとする。

表３．５　日当たり作業量

| 機種 | 規格 | 土質名 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|---|
| バックホウ（クローラ型） | 後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 116 |
| | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | ㎥ | 87 |

（注）本歩掛は、掘削までとし、法面整形は含まない。

③　労務歩掛
労務歩掛は、次のとおりとする。

表３．６　労務歩掛

（10 ㎥当たり）

| 制限の有無 | 名称 | 土質名 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|---|
| あり | 普通作業員 | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | 人 | 0.17 |
| | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | 人 | 0.25 |
| なし | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | 人 | 0.11 |
| | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | 人 | 0.16 |

（注）　１・２　（略）

ただし、林道工事における労務歩掛は、次のとおりとする。

表３．７　労務歩掛

（10 ㎥当たり）

| 名称 | 土質名 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|
| 普通作業員 | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | 人 | 0.17 |
| | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | 人 | 0.25 |

（注）本歩掛は、掘削までとし、法面整形は含まない。

（３）　作業土工（床掘工）
①　バックホウの作業能力
ア　日当たり施工量
バックホウによる床掘作業の日当り施工量は、次表を標準とする。

表３．８　日当たり施工量（１日当たり）

| 作業の種類 | 名称 | 規格 | 土質名 | 単位 | 数量 障害なし | 数量 障害あり |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 作業土工（床掘工） | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥）) | 砂・砂質土、粘性土、礫質土 | m3 | 220 | 180 |
| | | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | 〃 | 160 | 130 |
| | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 砂・砂質土、粘性土、礫質土 | 〃 | 150 | 100 |
| | | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | 〃 | 110 | 70 |

（注）　現場条件の内容
１　作業土工（床掘工）

③　労務歩掛
労務歩掛は、次のとおりとする。

表３．４　労務歩掛

（10 ㎥当たり）

| 制限の有無 | 名称 | 土質名 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|---|
| あり | 普通作業員 | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | 人 | 0.17 |
| | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | 人 | 0.25 |
| なし | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | 人 | 0.11 |
| | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | 人 | 0.16 |

（注）　１・２　（略）

（新設）

（３）　作業土工（床堀工）
①　バックホウの作業能力
ア　日当たり施工量
バックホウによる床堀作業の日当り施工量は、次表を標準とする。

表３．５　日当たり施工量（１日当たり）

| 作業の種類 | 名称 | 規格 | 土質名 | 単位 | 数量 障害なし | 数量 障害あり |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 作業土工（床掘工） | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥）) | 砂・砂質土、粘性土、礫質土 | m3 | 220 | 180 |
| | | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | 〃 | 160 | 130 |
| | | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 砂・砂質土、粘性土、礫質土 | 〃 | 150 | 100 |
| | | | 岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A | 〃 | 110 | 70 |

（注）　現場条件の内容
１　作業土工（床堀工）

障害なし：　（略）
障害あり：　（略）
２　掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業（溝掘り、基礎掘削、床掘り）を行う場合は障害ありを適用する。
３・４　（略）

②　作業土工（床掘工）補助労務
ア　（略）

表３．９　（略）

４　単価表
（１）バックホウ掘削（掘削積込、積込）100 ㎥当たり単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥）<br>後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥）<br>標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 日 | 100/D | 表 3.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（２）片切掘削（人力併用機械掘削）10 ㎥当たり単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 普通作業員 | | 人 | | 表 3.6 又は表 3.7 |
| バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥）<br>後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥）<br>標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 日 | 10/D | 表 3.4 又は表 3.5 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

障害なし：　（略）
障害あり：　（略）
２　掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業（溝掘り、基礎掘削、床堀り）を行う場合は障害ありを適用する。
３・４　（略）

②　作業土工（床堀工）補助労務
ア　（略）

表３．６　（略）

４　単価表
（１）バックホウ掘削（掘削積込、積込）100 ㎥当たり単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥）<br>標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 日 | 100/D | 表 3.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（２）片切掘削（人力併用機械掘削）10 ㎥当たり単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 普通作業員 | | 人 | | 表 3.4 |
| バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥）<br>標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 日 | 10/D | 表 3.3 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（３）バックホウ床掘 100 ㎥当たり単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| バックホウ<br>（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥）<br>標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 日 | 100/D | 表 3.8 |
| 普通作業員 | | 人 | | 表 3.9<br>必要により計上する |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（注）D：日当たり施工量

（４）機械運転単価表

| 機械名 | 規格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（掘削、積込） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→62<br>機械損料数量→1.46 |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（掘削、積込） | 後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→69<br>機械損料数量→1.48 |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（掘削、積込） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→100<br>機械損料数量→1.41 |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（床掘り） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→62<br>機械損料数量→1.38 |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（床掘り） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→100<br>機械損料数量→1.48 |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（片切掘削） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→62<br>機械損料数量→1.44 |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（片切掘削） | 後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→69<br>機械損料数量→1.50 |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（片切掘削） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）　山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→100<br>機械損料数量→1.52 |

**（参考）ブルドーザの作業能力**　（略）

**１－４～１－８　（略）**

**１－８　盛土**

１　機械盛土

（１）　（略）

（２）　機種別の作業量

（３）バックホウ床掘 100 ㎥当たり単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| バックホウ<br>（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥）<br>標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 日 | 100/D | 表 2.7 |
| 普通作業員 | | 人 | | 表 2.8<br>必要により計上する |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（注）D：日当たり施工量

（４）機械運転単価表

| 機械名 | 規格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（掘削、積込） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→62<br>機械損料数量→1.46 |
| （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（掘削、積込） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→100<br>機械損料数量→1.41 |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（床掘り） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→62<br>機械損料数量→1.38 |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（床掘り） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→100<br>機械損料数量→1.48 |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（片切掘削） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→62<br>機械損料数量→1.44 |
| （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| バックホウ<br>（クローラ型）<br>（片切掘削） | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）　山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→100<br>機械損料数量→1.52 |

**（参考）ブルドーザの作業能力**　（略）

**１－４～１－７　（略）**

**１－８　盛土**

１　機械盛土

（１）　（略）

（２）　機種別の作業量

表１．２　機種別の作業量

| 工種 | 区分 | 標準機種 機械名 | 規格 | V (m/h) | W (m) | D (m) | N | E | Q (m³/h) | A (m²) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 敷均し | 路体 | ブルドーザ | 11t級 | － | － | 0.3 | － | 0.6 | 68 | － |
| | | | 15t級 | － | － | 0.3 | － | 0.6 | 77 | － |
| | | | 21t級 | － | － | 0.3 | － | 0.6 | 110 | － |
| | 路床 | ブルドーザ | 11t級 | － | － | 0.2 | － | 0.6 | 61 | － |
| | | | 15t級 | － | － | 0.2 | － | 0.6 | 70 | － |
| | | | 21t級 | － | － | 0.2 | － | 0.6 | 100 | － |
| 締固め | 路体 | ブルドーザ | 11t級 | 3,500 | 0.7 | 0.3 | 5 | 0.6 | 88 | 294 |
| | | | 15t級 | 3,500 | 0.8 | 0.3 | 5 | 0.6 | 101 | 336 |
| | | | 21t級 | 3,500 | 0.9 | 0.3 | 4 | 0.6 | 142 | 473 |
| | 路床 | ブルドーザ | 15t級 | 3,500 | 0.8 | 0.2 | 7 | 0.6 | 48 | 240 |
| | | | 21t級 | 3,500 | 0.9 | 0.2 | 6 | 0.6 | 63 | 315 |
| | | タイヤローラ | 8～20t | 3,500 | 1.8 | 0.2 | 7 | 0.4 | 72 | 360 |

（注）　（略）

（３）～（５）　（略）

**１－８－１　盛土（ブルドーザ敷均し）（狭幅）**

１　適用範囲及び施工概要

（１）本歩掛は、施工幅員が 2.5m以上４m未満の路体・路床・築堤の構造物の埋戻し作業に適用する。
なお、整地作業には適用しない。

（２）　（略）

２～５　（略）

**１－８－２　（略）**

１－９～１－12　（略）

**第２　運搬工**

**２－１　（略）**

**２－２　不整地運搬車運搬**

（１）　適用範囲

不整地運搬車の機種の選定に当たっては、走行路の幅員等走行状態を勘案して決定すること。

1)　小型不整地運搬車歩掛は、走行幅２m以下の作業路等により運搬する場合に適用する。

2)　不整地運搬車歩掛は、道路等における運搬において適用する。

**２－２－１　小型不整地運搬車運搬**

（１）　（略）

（２）　小型不整地運搬車運転単価表

（１日当たり）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 特殊運転手 | | 人 | 運転１h労務歩掛×T | １t積未満は特殊作業員とする。 |
| 燃料費 | | ℓ | 運転１h燃料消費量×T | |
| 賃料 | 油圧ダンプ式 | 供用日 | 2.18 | |
| 計 | | | | |

備考　（略）

表１．２　機種別の作業量

| 工種 | 区分 | 標準機種 機械名 | 規格 | V (m/h) | W (m) | D (m) | N | E | Q (m³/h) | A (m²) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 敷ならし | 路体路床 | ブルドーザ | 11t級 | － | － | 0.3 | － | 0.6 | 68 | － |
| | | | 15t級 | － | － | 0.3 | － | 0.6 | 77 | － |
| | | | 21t級 | － | － | 0.3 | － | 0.6 | 110 | － |
| | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) |
| | | | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) |
| | | | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) |
| 締固め | 路体 | ブルドーザ | 11t級 | 3,500 | 0.7 | 0.3 | 5 | 0.6 | 88 | 294 |
| | | | 15t級 | 3,500 | 0.8 | 0.3 | 5 | 0.6 | 101 | 336 |
| | | | 21t級 | 3,500 | 0.9 | 0.3 | 4 | 0.6 | 142 | 473 |
| | 路床 | ブルドーザ | 15t級 | 3,500 | 0.8 | 0.2 | 7 | 0.6 | 48 | 240 |
| | | | 21t級 | 3,500 | 0.9 | 0.2 | 6 | 0.6 | 63 | 315 |
| | | タイヤローラ | 8～20t | 3,500 | 1.8 | 0.2 | 7 | 0.4 | 72 | 360 |

（注）　（略）

（３）～（５）　（略）

**１－９－１　盛土（ブルドーザ敷均し）（狭幅）**

１　適用範囲及び施工概要

（１）本歩掛は、施工幅員が 2.5m以上４m未満の路体・路床・築堤の構造物の埋戻し作業に適用する。

（２）　（略）

２～５　（略）

**１－９－２　（略）**

**１－10～１－13　（略）**

**第２　運搬工**

**２－１　（略）**

**２－２　不整地運搬車運搬**

（１）　適用範囲

不整地運搬車の機種の選定に当たっては、走行路の幅員等走行状態を勘案して決定すること。

1)　小型不整地運搬車歩掛は、走行幅２m以下の作業路等により運搬する場合に適用する。

2)　不整地運搬車歩掛は、道路等における運搬において適用する。

**２－２－１　小型不整地運搬車運搬**

（１）　（略）

（２）　小型不整地運搬車運転単価表

（１日当たり）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 特殊運転手 | | 人 | 運転１h労務歩掛×T | １t積未満は特殊作業員とする。 |
| 燃料費 | | ℓ | 運転１h燃料消費量×T | |
| 賃料 | 油圧ダンプ式 | 供用日 | (新設) | |
| 計 | | | | |

備考　（略）

２－２－２　不整地運搬車運搬

（１）～（３）　（略）

（４）　不整地運搬車運転単価表

（１日当たり）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 特 殊 運 転 手 | | 人 | 運転１ｈ労務歩掛×Ｔ | １ｔ積未満は特殊作業員とする。 |
| 燃　　料　　費 | | ℓ | 運転１ｈ燃料消費量×Ｔ | |
| 賃　　料 | 油圧ダンプ式 | 供用日 | 2.18 | |
| 計 | | | | |

備考　不整地運搬車の運転日当たり標準運転時間（Ｔ）は、6.9ｈ/日とする。

２－３～２－７　（略）

２－８　貨物自動車運搬

２－８－１　貨物自動車の運賃料金

貨物自動車の運賃は、「一般貨物自動車運送事業に係る標準的な運賃について」（令和２年４月 24 日付け国自貨第 14 号）及び「一般貨物自動車運送事業に係る標準的な運賃の告示」（令和２年４月 24 日付け国土交通省告示第 575 号）を適用することができる。ただし、本運賃により難い場合は、別途考慮することとする。

なお、当該運賃には、間接費が含まれていることから、間接工事費等の率計算の対象額としない。

２－８－２　（略）

２－９　（略）

２－10　人力運搬

２－10－１　人肩運搬歩掛

（１）　（略）

（２）　人力掘削から連続して行う一連の作業の運搬歩掛

1）　（略）

2）　施工歩掛

山林砂防工の適用条件に該当する場合は、山林砂防工を適用することとする。

（３）　（略）

２－10－２　（略）

２－２－２　不整地運搬車運搬

（１）～（３）　（略）

（４）　不整地運搬車運転単価表

（１日当たり）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 特 殊 運 転 手 | | 人 | 運転１ｈ労務歩掛×Ｔ | １ｔ積未満は特殊作業員とする。 |
| 燃　　料　　費 | | ℓ | 運転１ｈ燃料消費量×Ｔ | |
| 賃　　料 | 油圧ダンプ式 | 供用日 | （新設） | |
| 計 | | | | |

備考　不整地運搬車の運転日当たり標準運転時間（Ｔ）は、6.9ｈ/日とする。

２－３～２－７　（略）

２－８　貨物自動車運搬

２－８－１　貨物自動車の運賃料金

貨物自動車の運賃料金は各運輸局が許可した「一般区域貨物運送事業の貸切り運賃」によるものとする。

２－８－２　（略）

２－９　（略）

２－10　人力運搬

２－10－１　人肩運搬歩掛

（１）　（略）

（２）　人力掘削から連続して行う一連の作業の運搬歩掛

1）　（略）

2）　施工歩掛

治山関係事業にあっては、原則として山林砂防工を適用することを標準とする。

（３）　（略）

２－10－２　（略）

## 第３　コンクリート工

### ３－１　コンクリート工

#### ３－１－１　（略）

#### ３－１－２　コンクリート打設工法の選定
（略）

図 2.1　（略）

（１）無筋・鉄筋構造物

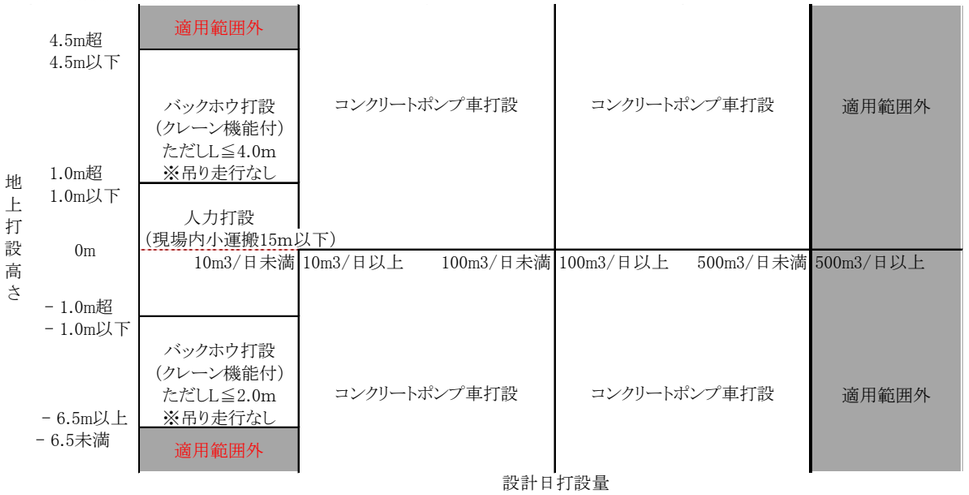



図 2.2 コンクリート打設工法の選定（無筋・鉄筋構造物）

（２）　小型構造物

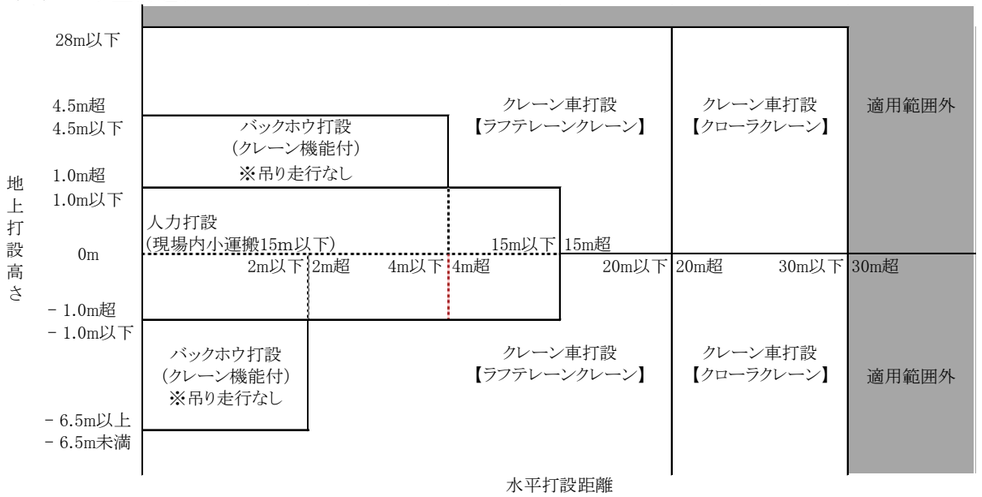



図 2.3 コンクリート打設工法の選定（小型構造物）


## 第３　コンクリート工

### ３－１　コンクリート工

#### ３－１－１　（略）

#### ３－１－２　コンクリート打設工法の選定
（略）

（１）無筋・鉄筋構造物

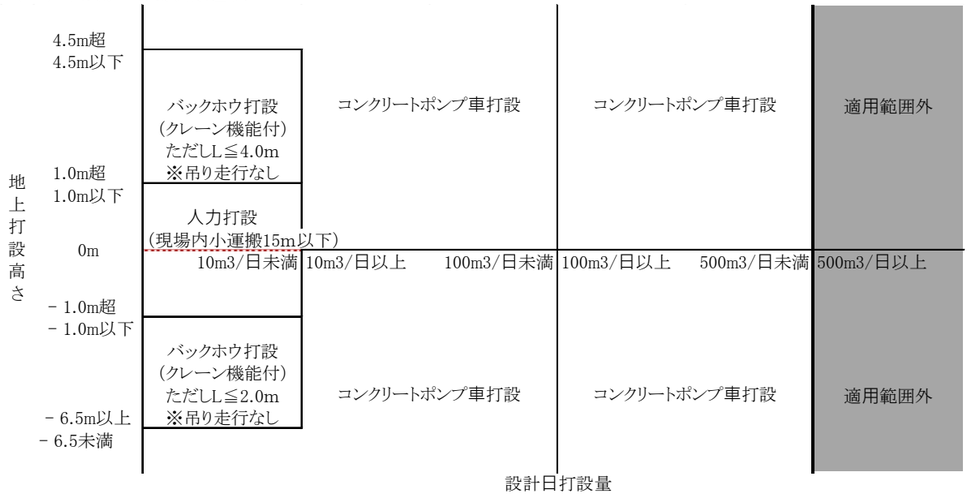





図 2.2 コンクリート打設工法の選定（無筋・鉄筋構造物）

（２）　小型構造物

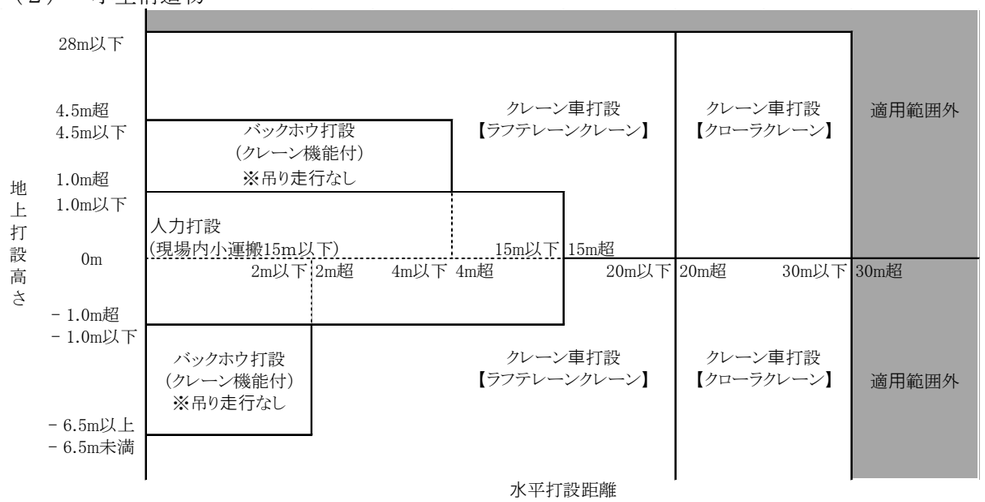





図 2.3 コンクリート打設工法の選定（小型構造物）

３－１－３・３－１－４　（略）

## ３－１－５　養生工

(1)　一般養生工
一般養生における歩掛は、次表とする。

養生歩掛

（10 ㎥当たり）

| 名　　称 | 単位 | 無筋構造物 | 鉄筋構造物 | 小型構造物 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 人 | 0.08 | 0.05 | 0.18 |
| 山林砂防工（普通作業員） | 人 | 0.25 | 0.13 | 0.52 |
| 諸　雑　費　率 | % | 10 | 21 | 13 |

備考　（略）

## ３－１－６養生工（特殊養生）

(1)　（略）

(2)　特殊養生工
1)　特殊養生工（練炭養生）
（略）

特殊養生歩掛（練炭養生）

（10 ㎥当たり）

| 名　　称 | 単位 | 無筋構造物 | 鉄筋構造物 | 小型構造物 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 人 | 0.25 | 0.15 | 0.46 |
| 山林砂防工（普通作業員） | 人 | 0.72 | 0.44 | 1.3 |
| 諸　雑　費　率 | % | 19 | 20 | 26 |

備考　（略）

2)　特殊養生工（ジェットヒータ養生）
ア　（略）

イ　施工歩掛
ジェットヒータによる特殊養生歩掛は、次表とする。

特殊養生歩掛（ジェットヒータ養生）

（10 ㎥当たり）

| 名　　称 | 単位 | 無筋構造物 | 鉄筋構造物 | 小型構造物 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 人 | 0.21 | 0.12 | 0.69 |
| 山林砂防工（普通作業員） | 人 | 0.60 | 0.35 | 2.00 |
| 業務用可搬型ヒータ［ジェットヒータ］運転 | 日 | 1.6 | 1.8 | 7.8 |
| 諸　雑　費　率 | % | 11 | 22 | 28 |

備考　（略）

ウ　（略）

３－１－７～３－１－９

３－１－３・３－１－４　（略）

## ３－１－５　養生工

(1)　一般養生工
一般養生における歩掛は、次表とする。

養生歩掛

（10 ㎥当たり）

| 名　　称 | 単位 | 無筋構造物 | 鉄筋構造物 | 小型構造物 |
|---|---|---|---|---|
| （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| 山林砂防工（普通作業員） | 人 | 0.31 | 0.16 | 0.64 |
| 諸　雑　費　率 | % | 12 | 25 | 16 |

備考　（略）

## ３－１－６養生工（特殊養生）

(1)　（略）

(2)　特殊養生工
1)　特殊養生工（練炭養生）
（略）

特殊養生歩掛（練炭養生）

（10 ㎥当たり）

| 名　　称 | 単位 | 無筋構造物 | 鉄筋構造物 | 小型構造物 |
|---|---|---|---|---|
| （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| 山林砂防工（普通作業員） | 人 | 0.88 | 0.54 | 1.6 |
| 諸　雑　費　率 | % | 25 | 25 | 32 |

備考　（略）

2)　特殊養生工（ジェットヒータ養生）
ア　（略）

イ　施工歩掛
ジェットヒータによる特殊養生歩掛は、次表とする。

特殊養生歩掛（ジェットヒータ養生）

（10 ㎥当たり）

| 名　　称 | 単位 | 無筋構造物 | 鉄筋構造物 | 小型構造物 |
|---|---|---|---|---|
| （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| 山林砂防工（普通作業員） | 人 | 0.74 | 0.43 | 2.40 |
| 業務用可搬型ヒータ［ジェットヒータ］運転 | 日 | 1.6 | 1.8 | 7.8 |
| 諸　雑　費　率 | % | 13 | 28 | 33 |

備考　（略）

ウ　（略）

３－１－７～３－１－９

## ３－１－10　単価表

(1)　養生工（一般養生）10 ㎥当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 3－1－5（1） |
| 山　林　砂　防　工<br>（普通作業員） | | 〃 | | 〃 |
| 諸　　雑　　費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

(2)　養生工（特殊養生・練炭）10 ㎥当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 3－1－6（2）1） |
| 山　林　砂　防　工<br>（普通作業員） | | 〃 | | 〃 |
| 諸　　雑　　費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

(3)　養生工（特殊養生・ジェットヒータ）10 ㎥当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 3－1－6（2）2）イ |
| 山　林　砂　防　工<br>（普通作業員） | | 〃 | | 〃 |
| ジェットヒータ運転 | 126ＭＪ（30,100kcal） | h | | 〃 |
| 諸　　雑　　費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

(4)　（略）

３－２・３－３　（略）

３－４　構造物補修工

３－４－１　構造物補修工（ひび割れ補修工（充てん工法））

１・２　（略）

（削る）

## ３－１－10　単価表

(1)　養生工（一般養生）10 ㎥当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| （新設） | | （新設） | | （新設） |
| 山　林　砂　防　工<br>（普通作業員） | | 人 | | 3－1－6（1） |
| 諸　　雑　　費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

(2)　養生工（特殊養生・練炭）10 ㎥当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| （新設） | | （新設） | | （新設） |
| 山　林　砂　防　工<br>（普通作業員） | | 人 | | 3－1－6（2）1） |
| 諸　　雑　　費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

(3)　養生工（特殊養生・ジェットヒータ）10 ㎥当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| （新設） | | （新設） | | （新設） |
| 山　林　砂　防　工<br>（普通作業員） | | 人 | | 3－1－6（2）2）イ |
| ジェットヒータ運転 | 126ＭＪ（30,100kcal） | h | | 〃 |
| 諸　　雑　　費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

(4)　（略）

３－２・３－３　（略）

３－４　構造物補修工

３－４－１　構造物補修工（ひび割れ補修工（充てん工法））

１・２　（略）

３　編成人員

ひび割れ補修工（充てん工法）の編成人員は、次表を標準とする。

表３．１　編成人員（人/橋）

| 土木一般世話役 | 特殊作業員 | 普通作業員 |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 1 |

3　施工歩掛

（1）　ひび割れ補修工（充てん工法）

ひび割れ補修工（充てん工法）の歩掛は、次表を標準とする。

表3．1　ひび割れ補修工（充てん工法）歩掛

[1構造物当たり補修延べ延長 20m未満の場合]

（略）

表3．2　ひび割れ補修工（充てん工法）歩掛

[1構造物当たり補修延べ延長 20m以上の場合]

（略）

（2）　諸雑費

（略）

表3．3　諸雑費率（%）

（略）

（3）　材料使用数量

（略）

使用数量（kg）＝設計数量（kg）×（1＋K）・・・・・(式3.1)

K：ロス率

表3．4　ロス率（K）

（略）

4　単価表

（1）　ひび割れ補修工（充てん工法）1構造物当たり単価表

1構造物当たり補修延べ延長 20m未満の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | D1 | 表 3.1 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 充てん材材料費 | | kg | | 式 3.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 3.3 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（2）　ひび割れ補修工（充てん工法）1構造物当たり単価表

1構造物当たり補修延べ延長 20m以上の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | L/10×D2 | 表 3.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 充てん材材料費 | | kg | | 式 3.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 3.3 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

**3－4－2　構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））**

1・2　（略）

4　施工歩掛

（1）　ひび割れ補修工（充てん工法）

ひび割れ補修工（充てん工法）の歩掛は、次表を標準とする。

表4．1　ひび割れ補修工（充てん工法）歩掛

[1構造物当たり補修延べ延長 20m未満の場合]

（略）

表4．2　ひび割れ補修工（充てん工法）歩掛

[1構造物当たり補修延べ延長 20m以上の場合]

（略）

（2）　諸雑費

（略）

表4．3　諸雑費率（%）

（略）

（3）　材料使用数量

（略）

使用数量（kg）＝設計数量（kg）×（1＋K）・・・・・(式4.1)

K：ロス率

表4．4　ロス率（K）

（略）

5　単価表

（1）　ひび割れ補修工（充てん工法）1構造物当たり単価表

1構造物当たり補修延べ延長 20m未満の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | D1 | 表 4.1 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 充てん材材料費 | | kg | | 式 4.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 4.3 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（2）　ひび割れ補修工（充てん工法）1構造物当たり単価表

1構造物当たり補修延べ延長 20m以上の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | L/10×D2 | 表 4.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 充てん材材料費 | | kg | | 式 4.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 4.3 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

**3－4－2　構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））**

1・2　（略）

（削る）

3　施工歩掛

（1）　ひび割れ補修工（低圧注入工法）

ひび割れ補修工（低圧注入工法）の歩掛は、次表を標準とする。

表3．1　ひび割れ補修工（低圧注入工法）歩掛

[1構造物当たり補修延べ延長 25m未満の場合]

（略）

表3．2　ひび割れ補修工（低圧注入工法）歩掛

[1構造物当たり補修延べ延長 25m以上の場合]

（略）

（2）　諸雑費

（略）

表3．3　諸雑費率（%）

（略）

（3）　材料使用数量

シール材の材料使用数量は,次式による。

使用数量（kg）＝設計数量（kg）×（1＋K）・・・・・(式3.1)

K：ロス率

表3．4　ロス率（K）

（略）

4　単価表

（1）　ひび割れ補修工（低圧注入工法）1構造物当たり単価表

1構造物当たり補修延べ延長 25m未満の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | D1 | 表 3.1 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 注入材 | | kg | | 必要数量計上（注）1 |
| シール材 | | 〃 | | 式 3.1 |
| 低圧注入器具 | | 個 | | 必要数量計上（注）1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 3.3 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

3　編成人員

ひび割れ補修工（低圧注入工法）の編成人員は、次表を標準とする。

表3．1　編成人員（人/橋）

| 土木一般世話役 | 特殊作業員 | 普通作業員 |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 1 |

4　施工歩掛

（1）　ひび割れ補修工（低圧注入工法）

ひび割れ補修工（低圧注入工法）の歩掛は、次表を標準とする。

表4．1　ひび割れ補修工（低圧注入工法）歩掛

[1構造物当たり補修延べ延長 25m未満の場合]

（略）

表4．2　ひび割れ補修工（低圧注入工法）歩掛

[1構造物当たり補修延べ延長 25m以上の場合]

（略）

（2）　諸雑費

（略）

表4．3　諸雑費率（%）

（略）

（3）　材料使用数量

充てん材の材料使用数量は,次式による。

使用数量（kg）＝設計数量（kg）×（1＋K）・・・・・(式4.1)

K：ロス率

表4．4　ロス率（K）

（略）

5　単価表

（1）　ひび割れ補修工（低圧注入工法）1構造物当たり単価表

1構造物当たり補修延べ延長 25m未満の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | D1 | 表 4.1 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 注入材 | | kg | | 必要数量計上（注）1 |
| シール材 | | 〃 | | 式 4.1 |
| 低圧注入器具 | | 個 | | 必要数量計上（注）1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 4.3 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（２）　ひび割れ補修工（低圧注入工法）１構造物当たり単価表
１構造物当たり補修延べ延長 25m以上の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | L/10×D2 | 表 3.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 注入材 | | kg | | 必要数量計上（注）１ |
| シール材 | | 〃 | | 式 3.1 |
| 低圧注入器具 | | 個 | | 必要数量計上（注）１ |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 3.3 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

## ３－５　構造物補修工（断面修復工（左官工法））

１・２　（略）

（削る）

３　施工歩掛
（１）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）
コンクリートはつり（カッター工含む)､鉄筋ケレン・防錆処理、左官（プライマー・仕上げ含む）の歩掛は，次表を標準とする。

表３．１ 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）
[１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 未満]の場合
（略）

表３．２断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）
[１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³以上]の場合
（略）

（２）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）
（略）
表３．３　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）
[１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 未満]の場合
（略）

表３．４　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）
[１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 以上]の場合
（略）

（２）　ひび割れ補修工（低圧注入工法）10m 当たり単価表
１構造物当たり補修延べ延長 25m以上の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | L/10×D2 | 表 4.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 注入材 | | kg | | 必要数量計上（注）１ |
| シール材 | | 〃 | | 式 4.1 |
| 低圧注入器具 | | 個 | | 必要数量計上（注）１ |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 4.3 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

## ３－５　構造物補修工（断面修復工（左官工法））

１・２　（略）

３　編成人員
断面修復工（左官工法）の編成人員は、次表を標準とする。

表３．１ 編成人員（人/橋）

| 土木一般世話役 | 特殊作業員 | 普通作業員 |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 1 |

４　施工歩掛
（１）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）
コンクリートはつり（カッター工含む)､鉄筋ケレン・防錆処理、左官（プライマー・仕上げ含む）の歩掛は，次表を標準とする。

表４．１ 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）
[１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 未満]の場合
（略）

表４．２断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）
[１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³以上]の場合
（略）

（２）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）
（略）
表４．３　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）
[１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 未満]の場合
（略）

表４．４　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）
[１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 以上]の場合
（略）

（３）　材料の使用量

断面修復材の使用量は、次式による。

使用量＝設計数量×（１＋Ｋ）（㎥）・・・・・・ 式３．１

Ｋ：ロス率

表３．５ ロス率（Ｋ）

（略）

（４）　諸雑費

（略）

表３．６　諸雑費率（％）

（略）

４　単価表

（１）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）１構造物当たり単価表

１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 未満の場合

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | D1 | 表 3.1 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 断面修復材 | | ㎥ | | 式 3.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 3.6 |
| 計 | | | | |

（注）　D1：１構造物当り施工数量

（２）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）１構造物当たり単価表

１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 以上の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | V/0.1×D2 | 表 3.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 断面修復材 | | ㎥ | | 式 3.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 3.6 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（３）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）１構造物当たり単価表

１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 未満の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | D3 | 表 3.3 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 断面修復材 | | ㎥ | | 式 3.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 3.6 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（３）　材料の使用量

断面修復材の使用量は、次式による。

使用量＝設計数量×（１＋Ｋ）（㎥）・・・・・・ 式４．１

Ｋ：ロス率

表４．５ ロス率（Ｋ）

（略）

（４）　諸雑費

（略）

表４．６　諸雑費率（％）

（略）

６　単価表

（１）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）１構造物当たり単価表

１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 未満の場合

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | D1 | 表 4.1 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 断面修復材 | | ㎥ | | 式 4.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 4.6 |
| 計 | | | | |

（注）　D1：１構造物当り施工数量

（２）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）１構造物当たり単価表

１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 以上の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | V/0.1×D2 | 表 4.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 表 4.2 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 表 4.2 |
| 断面修復材 | | ㎥ | | 式 4.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 4.6 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（３）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）１構造物当たり単価表

１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 未満の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | D3 | 表 4.3 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 表 4.3 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 表 4.3 |
| 断面修復材 | | ㎥ | | 式 4.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 4.6 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（４）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）１構造物当たり単価表
１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 以上の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | V/0.1×D4 | 表 3.4 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| 断面修復材 | | m³ | | 式 3.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 3.6 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（略）

（４）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）１構造物当たり単価表
１構造物当たり修復延べ体積 0.1m³ 以上の場合

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | V/0.1×D4 | 表 4.4 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 〃 | 表 4.4 |
| 普通作業員 | | 〃 | 〃 | 表 4.4 |
| 断面修復材 | | m³ | | 式 4.1 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 4.6 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（略）

**第４　共通工（１）（法面工等）**

４－１・４－２　（略）

４－３　植生基材吹付工

４－３－１　（略）

４－３－２　客土吹付工・特殊植生基材客土吹付工

(1)　適用範囲

本歩掛は、市場単価が採用できない場合で、種子吹付機（客土用）を使用して、種子、肥料、客土等を同時に吹き付ける工法に適用する。

吹付厚は、３cm以下とする。

(2)　使用機械

使用機械は次表を標準とする。

| 機　械　名 | 規　　格 | 摘　　要 |
|---|---|---|
| 種子吹付機 | 4.0 ㎥　車載式客土用 | |
| トラック | 7～8 t 積 | 吹付機搭載用 |

(3)　客土吹付歩掛

（吹付面積 100 ㎡当たり）

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 0.3 |
| 法　面　工 | | 〃 | 0.4 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 0.7 |
| 種子吹付機運転 | 4.0 ㎥車載式、客土用 | h | 1.7 |
| トラック運転 | 7～8 t 積 | 〃 | 1.7 |
| 諸雑費率 | | % | 0.4 |

備考　（略）

(4)・(5)　（略）

４－３－３　（略）

参考　（略）

４－４～４－６　（略）

４－７　斜面安定工

４－７－１　（略）

４－７－２　鉄筋挿入工（自穿孔）

１～４　（略）

**第４　共通工（１）（溝渠工・法面工等）**

４－１・４－２　（略）

４－３　植生基材吹付工

４－３－１　（略）

４－３－２　客土吹付工・特殊植生基材客土吹付工

(1)　適用範囲

本歩掛は、市場単価が採用できない場合で、種子吹付機（客土用）を使用して、種子、肥料、客土等を同時に吹き付ける工法に適用する。

吹付厚は、３cm以下とする。

(2)　使用機械

使用機械は次表を標準とする。

| 機　械　名 | 規　　格 | 摘　　要 |
|---|---|---|
| 種子吹付機 | 4.0 ㎥　車載式客土用 | |
| トラック | 8.0 t 積 | 吹付機搭載用 |

(3)　客土吹付歩掛

（吹付面積 100 ㎡当たり）

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 0.3 |
| 法　面　工 | | 〃 | 0.4 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 0.7 |
| 種子吹付機運転 | 4.0 ㎥車載式、客土用 | h | 1.7 |
| トラック運転 | 8.0 t 積 | 〃 | 1.7 |
| 諸雑費率 | | % | 0.4 |

備考　（略）

(4)・(5)　（略）

４－３－３　（略）

参考　（略）

４－４～４－６　（略）

４－７　斜面安定工

４－７－１　（略）

４－７－２　鉄筋挿入工（自穿孔）

１～４　（略）

5　足場工
足場工の施工歩掛は、次表を標準とする。

足場工施工歩掛
（略）
（注）　諸雑費は、単管パイプ、クランプ、足場板、ベース等の費用であり、労務費の合計額に諸雑費率を乗じた額を上限として計上する。

6・7　（略）

4－7－3　（略）

**第５　（略）**

5　足場工
足場工の施工歩掛は、次表を標準とする。

足場工施工歩掛
（略）
（注）　諸雑費は、労務費の合計額に諸雑費率を乗じた額を上限として計上する。

6・7　（略）

4－7－3　（略）

**第５　（略）**

**第６　基礎工**

６－１　杭打工

６－１－１～６－１－４　（略）

６－１－５　鋼管・既製コンクリート杭打工（パイルハンマ工）

（１）～（５）　（略）

（６）　施工歩掛

１）・２）　（略）

（削る）

（７）・（８）　（略）

６－１－６　鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）

１　適用範囲

本歩掛は、中掘工（打撃又はグラウト注入（拡大根固め工法を含む。）による打止め）による鋼管杭及び既製コンクリート杭（ＰＨＣ杭、ＲＣ杭、ＳＣ＋ＰＨＣ杭）の施工に適用する。

なお、適用杭径は次表による。

（略）

２　施工概要

中掘工は、あらかじめ杭中空部にオーガスクリューを挿入、杭建込を行った後、削孔と同時に杭を圧入していく工法である。杭打設後は、杭の支持力低下を補うためにモンケンなどにより杭を打撃し支持層に 1.0 から 1.5m程度打込むか、グラウト材を支持層に注入し杭と一体化させる方法がある。

**第６　基礎工**

６－１　杭打工

６－１－１～６－１－４　（略）

６－１－５　鋼管・既製コンクリート杭打工（パイルハンマ工）

（１）～（５）　（略）

（６）　施工歩掛

１）・２）　（略）

３）　日当たり施工量

日当たり施工量は次表を標準とする。

日当たり施工量

| 鋼管杭板厚 | 日当たり施工量 |
|---|---|
| 8～10 ㎜ | 26m／日 |
| 12 ㎜ | 15m／日 |
| 14 ㎜・16 ㎜ | 8.9m／日 |

（７）・（８）　（略）

６－１－６　鋼管・既製コンクリート杭打工（中堀工）

１　適用範囲

本歩掛は、中堀工（打撃又はグラウト注入（拡大根固め工法を含む。）による打止め）による鋼管杭及び既製コンクリート杭（ＰＨＣ杭、ＲＣ杭、ＳＣ＋ＰＨＣ杭）の施工に適用する。

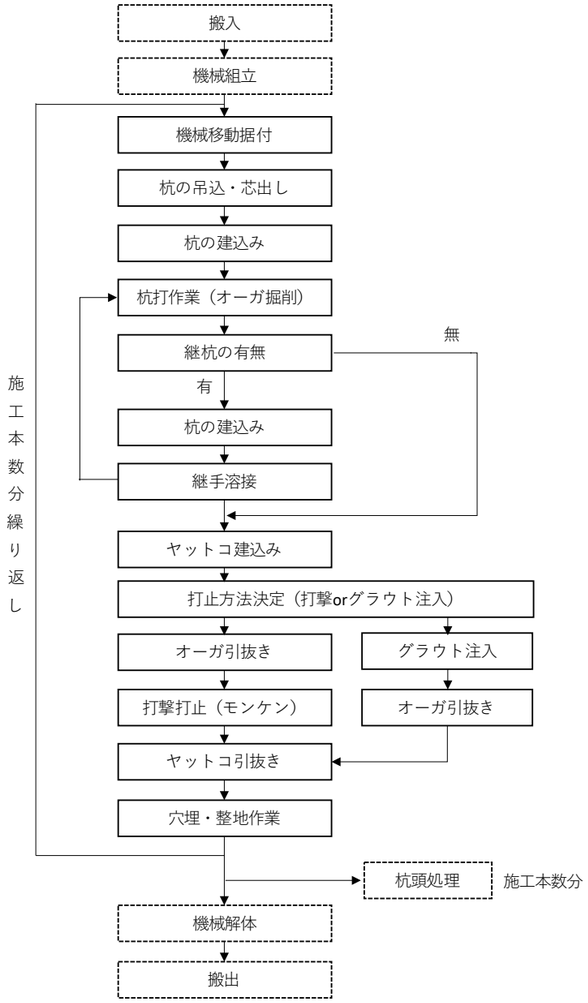
なお、適用杭径は次表による。

（略）

２　施工概要

中堀工は、あらかじめ杭中空部にオーガスクリューを挿入、杭建込を行った後、削孔と同時に杭を圧入していく工法である。杭打設後は、杭の支持力低下を補うためにモンケンなどにより杭を打撃し支持層に 1.0 から 1.5m程度打込むか、グラウト材を支持層に注入し杭と一体化させる方法がある。

施工フロー




備考　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
ヤットコは必要により施工

３・４　（略）

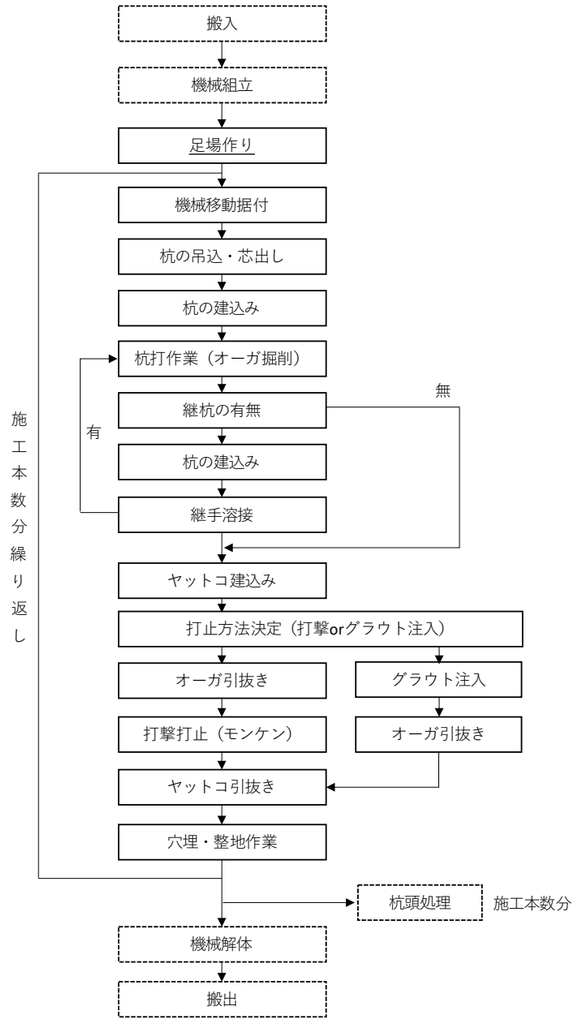
５　施工歩掛
（１）　杭 10 本当たり施工時間（Td）（Td）
（略）

①　土質係数（α）
土質係数（α）

| N値の範囲 | 20 未満 | 20 以上 40 未満 | 40 以上 |
|---|---|---|---|
| 土質係数 | 1.00 | 1.13 | 1.27 |

N値は、掘削層の加重平均とする。

施工フロー




備考　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
ヤットコは必要により施工

３・４　（略）

５　施工歩掛
（１）　杭 10 本当たり施工時間（Td）（Td）
（略）

①　土質係数（α）
土質係数（α）

| N値の範囲 | 20 未満 | 20 以上 40 未満 | 40 以上 |
|---|---|---|---|
| 土質係数 | 1.00 | 1.13 | 1.27 |

N値は、層の加重平均N値とする。

②・③　（略）

（２）　杭頭処理
杭頭処理の適用については、６－１－５鋼管・既製コンクリート杭打工（パイルハンマ工）及び６－１－１０鋼管・既製コンクリート杭打工（杭打処理工）による。

（３）　諸雑費
諸雑費は、労務費、材料費（杭）、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

（削る）

（削る）

①　　鋼管杭（打撃方式）
中掘工（打撃打止め）による鋼管杭打込の諸雑費は、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む）、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸経費率を適用できる。

諸雑費率（鋼管杭）

（%）

| 継杭の有無 | 諸雑費率 |
|---|---|
| 継杭無し | 27 |
| 継杭有り | 29 |

（注）杭先端加工費とは、周辺摩擦低減の為に杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。

②・③　（略）

（２）　杭頭処理
杭頭処理の適用については、別途計上する。

（３）　諸雑費
諸雑費は、労務費、材料費（杭）、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

①　中堀工（打撃打止め）による鋼管・既製コンクリート杭打込の諸雑費は、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む）、鋼管吊具、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー及びオーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無に関わらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率

（%）

| 諸雑費率 | 9 |
|---|---|

（注）杭先端加工費とは、周辺摩擦低減の為に杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。

②　中堀工（グラウト注入）による鋼管・既製コンクリート杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む）、鋼管吊具、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー及びオーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機、モルタルプラント運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無に関わらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率

（%）

| 諸雑費率 | 12 |
|---|---|

（注）１　拡大根固め工法も上表の率を適用する。
２　杭先端加工費とは、周辺摩擦低減の為に杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。

（新設）

② 既製コンクリート杭（打撃方式）

中掘工（打撃打止め）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、溶接棒、吊ワイヤー、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率（既製コンクリート杭）

（%）

| 継杭の有無 | 諸雑費率 |
|---|---|
| 継杭無し | 9 |
| 継杭有り | 23 |

③ 鋼管杭（グラウト方式）

中掘工（グラウト注入）による鋼管杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む）、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率（鋼管杭）

（%）

| 継杭の有無 | 諸雑費率 |
|---|---|
| 継杭無し | 52 |
| 継杭有り | 38 |

（注）拡大根固め工法も上表の率を適用する。

杭先端加工費とは、周辺摩擦低減の為に杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。

④ 既製コンクリート杭（グラウト方式）

中掘工（グラウト注入）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接棒、吊ワイヤー、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率（既製コンクリート杭）

（%）

| 継杭の有無 | 諸雑費率 |
|---|---|
| 継杭無し | 36 |
| 継杭有り | 33 |

（注）拡大根固め工法も上表の率を適用する。

（新設）

（新設）

（新設）

5　施工歩掛

（1）・（2）　（略）

（3）　機械運転単価表

| 機　械　名 | 規　　格 | 適用単価表 | 指　定　事　項 |
|---|---|---|---|
| クローラ式アースオーガ | アースオーガ中掘機・直結三点支持式<br>オーガ出力 55kW<br>公称杭径 400～1,200mm<br>リーダ長 21～33m | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→61<br>機械損料数量→1.50 |
| | アースオーガ中掘機・直結三点支持式<br>オーガ出力 90kW<br>公称杭径 400～1,200mm<br>リーダ長 21～33m | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→77<br>機械損料数量→1.50 |
| ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ | 油圧駆動式ｳｲﾝﾁ・ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型・排出ガス対策型(第２次基準値)50～55ｔ吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→51<br>機械損料数量→1.45 |
| | 油圧駆動式ｳｲﾝﾁ・ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型・排出ガス対策型(第１次基準値)80ｔ吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→66<br>機械損料数量→1.45 |
| ﾊﾞｯｸﾎｳ | 標準型・ 排出ガス対策型(第２次基準値)<br>ｸﾛｰﾗ型 山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→39<br>機械損料数量→1.50 |

６－１－７　（略）

６－１－８　鋼管・既製コンクリート杭打工（鋼管ソイルセメント杭工）

１～４　（略）

５　施工歩掛
（略）

（１）　（略）

（２）杭１本当たり準備時間
（３）杭１本当たりの継杭溶接時間
継杭溶接時間は、次のとおりとする。なお、継杭溶接１箇所目は、準備及び固化体造成時間内に溶接作業を行うため、２箇所目以降計上する。

$T_W = \Sigma twi \times \alpha$
$T_W$：杭１本当たりの継杭溶接時間（min／本）
twi：１箇所目を除き２箇所目以降の継杭１箇所当たりの溶接時間（min／箇所）（表５．５）
α：鋼管板厚補正係数（表５．６）
（略）

６～８　（略）

６－１－９　鋼管・既製コンクリート杭打工（回転杭工）
（略）

5　施工歩掛

（1）・（2）　（略）

（3）　機械運転単価表

| 機　械　名 | 規　　格 | 適用単価表 | 指　定　事　項 |
|---|---|---|---|
| クローラ式アースオーガ<br>アースオーガ中掘機 | 直結三点支持式<br>オーガ出力 55kW<br>公称杭径 400～1,200mm<br>リーダ長 21～33m | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→61<br>機械損料数量→1.50 |
| | 直結三点支持式<br>オーガ出力 90kW<br>公称杭径 400～1,200mm<br>リーダ長 21～33m | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→77<br>機械損料数量→1.50 |
| ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ | 油圧駆動式ｳｲﾝﾁ・ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型・排出ガス対策型(第２次基準値)50～55ｔ吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→51<br>機械損料数量→1.45 |
| | 油圧駆動式ｳｲﾝﾁ・ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型・排出ガス対策型(第１次基準値)80ｔ吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→66<br>機械損料数量→1.45 |
| ﾊﾞｯｸﾎｳ | 標準型・ 排出ガス対策型(第２次基準値)<br>ｸﾛｰﾗ型 山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥） | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→39<br>機械損料数量→1.50 |

６－１－７　（略）

６－２　鋼管ソイルセメント杭工

１～４　（略）

５　施工歩掛
（略）

（１）　（略）

（２）杭１本当たりのロッド引上げ時間
（３）杭１本当たりの継杭溶接時間
継杭溶接時間は、次のとおりとする。なお、継杭溶接１箇所目は、準備及び固化体造成時間内に溶接作業を行うため、２箇所目以降計上する。

$T_W = \Sigma twi \times \alpha$
$T_W$：杭１本当たりの継杭溶接時間（min／本）
twi：１箇所目を除き２箇所目以降の継杭１箇所当たりの溶接時間（表５．５）
α：鋼管板厚補正係数（表５．６）
（略）

６～８　（略）

６－３　回転杭工
（略）

## ６－１－１０　鋼管・既製コンクリート杭打工（杭頭処理工）

（新設）

### １　適用範囲

本資料は、杭破砕機による杭径 300㎜ 以上 800㎜ 以下の既製コンクリート杭（PHC 杭、RC 杭）の杭頭処理のうち剛結合を目的とするカットオフ工の施工に適用する。

### ２　施工歩掛

既製コンクリート杭のカットオフ工歩掛は、次表を標準とする。

表 2.1 カットオフ工歩掛　　（杭 10 本当たり）

| 名称 | 規格 | 単位 | 杭径（㎜） | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 杭径<br>φ300～450㎜ | 杭径<br>φ500～600㎜ | 杭径<br>φ700～800㎜ |
| 特殊作業員 | | 人 | 1.7 | 2.9 | 4.1 |
| 杭破砕機 | 杭径 φ300～600㎜ | 日 | 0.50 | 0.83 | ― |
| | 杭径 φ700～1,000㎜ | | ― | ― | 1.20 |
| 諸雑費率 | | % | 18 | | |

（注）１　本歩掛には廃材処理費は含まれていないので、別途計上する。
　　２　諸雑費は、溶断器の損料、アセチレン及び酸素等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

### ３　単価表

（１）既製コンクリート杭カットオフ工 10 本当たり単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 特殊作業員 | | 人 | | 表 2.1 |
| 杭破砕機運転 | | 日 | | 表 2.1<br>機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 2.1 |
| 計 | | | | |

（２）機械運転単価表

| 機械名 | 規格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|
| 杭破砕機 | 杭径 φ300～600㎜<br>杭径 φ700～1,000㎜ | 機－12 | 主燃料→ガソリン<br>燃料消費量→1.3 |

**第７　木材利用工**

７－１～７－３　（略）

７－４　筋工

７－４－１・７－４－２　（略）

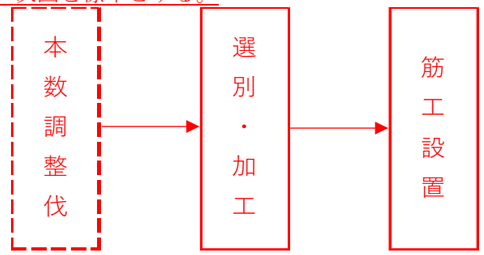
**７－４－３　（参考歩掛）丸太筋工（現地発生材利用）**

（１）適用範囲

本歩掛は、本数調整伐により発生した丸太等（現地発生材）を選別し必要な加工を行い、杭・横木からなる丸太筋工（横木１～２本使用）を設置する作業であり、本数調整伐の施工地内に設置する場合に適用する。

（２）施工概要

施工フローは、次図を標準とする。




備考　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

（３）施工歩掛

丸太筋工（現地発生材利用）に係る選別・加工及び筋工設置の施工歩掛は、次表とする。

①　選別・加工

（10m当たり）

| 名　　称 | 形状・寸法 | 単位 | 数量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　　話　　役 | | 人 | 0.09 | |
| 特　殊　作　業　員 | | 人 | 0.31 | |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 人 | 0.31 | |
| 諸　　雑　　費 | | % | 3 | |

備考１　本歩掛は、丸太筋工に使用する材料を選別し、丸太の切断、杭の先端処理などの加工を行う作業（残材の片付、現場内運搬を含む）に適用する。

２　諸雑費は、加工に使用するチェンソーの損料、燃料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。

②　筋工設置

施工歩掛は、第１編第７木材利用工　７－４－１丸太筋工を適用することができる。なお、適用する施工歩掛は、２本筋工とし、材料費を除いた労務費、諸雑費を計上する。

**第７　木材利用工**

７－１～７－３　（略）

７－４　筋工

７－４－１・７－４－２　（略）

（新設）

（４）単価表

丸太筋工（現地発生材利用）選別・加工 10m当たり単価表

| 名　　称 | 形状・寸法 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　　話　　役 | | 人 | | |
| 特　殊　作　業　員 | | 人 | | |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 人 | | |
| 諸　　雑　　費 | | 式 | 1 | |

丸太筋工（現地発生材利用）筋工設置 10m当たり単価表

| 名　　称 | 形状・寸法 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　　話　　役 | | 人 | | |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 人 | | |
| 諸　　雑　　費 | | 式 | 1 | |

７－５～７－９　（略）

７－10　型枠工

７－10－１・７－10－２　（略）

７－10－３　木製パネル式残存型枠工

（１）・（２）　（略）

（３）　施工歩掛

木製パネル式残存型枠工の組立・設置にかかる施工歩掛は下表とする。

施工歩掛

（100 ㎡当たり）

| 名　　称 | 単位 | 無筋構造物 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|
| 世　　話　　役 | 人 | 4.0 | |
| 型　　枠　　工 | 〃 | 8.2 | |
| 山林砂防工（普通作業員） | 〃 | 28.5 | |
| 木製パネル | ㎥ | 100 | |
| 諸雑費率 | % | 4 | |

備考　（略）

（４）　（略）

７－10－４　（略）

７－５～７－14　９　（略）

７－10　型枠工

７－10－１・７－10－２　（略）

７－10－３　木製パネル式残存型枠工

（１）・（２）　（略）

（３）　施工歩掛

木製パネル式残存型枠工の組立・設置にかかる施工歩掛は下表とする。

施工歩掛

（100 ㎡当たり）

| 名　　称 | 単位 | 無筋構造物 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|
| 世　　話　　役 | 人 | 4.0 | |
| 型　　枠　　工 | 〃 | 5.8 | |
| 山林砂防工（普通作業員） | 〃 | 20.1 | |
| 木製パネル | ㎥ | 100 | |
| 諸雑費率 | % | 4 | |

備考　（略）

（４）　（略）

７－10－４　（略）

７－10－５　角材式残存型枠工
（１）・（２）　（略）

（３）　施工歩掛
角材式残存型枠工の組立・設置にかかる施工歩掛は下表とする。

角材式残存型枠工施工歩掛

（100 ㎡当たり）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | 3.6 | |
| 型枠工 | | 〃 | 6.4 | |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 17.4 | |
| 角材等 | 9cm×9cm 角材（ボルト穴加工）、組立用資材一式を含む | ㎡ | 100 | |
| 諸雑費率 | | % | 13 | |

備考　１・３　（略）
４　組立用資材は、全ネジ通しボルト・ナット、連結金具、ユニクロコースレッド 125mm である。

（４）　単価表

角材式残存型枠工単価表

（100 ㎡当たり）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | | |
| 型枠工 | | 〃 | | |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | | |
| 角材等 | ９ｃｍ×９ｃｍ角材（ボルト穴加工）<br>組立用資材一式を含む | ㎡ | 100 | |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

７－11～７－14　（略）

７－10－５　（参考歩掛）角材式残存型枠工
（１）・（２）　（略）

（３）　施工歩掛
角材式残存型枠工の組立・設置にかかる施工歩掛は下表とする。

角材式残存型枠工施工歩掛

（100 ㎡当たり）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | 3.6 | |
| 型枠工 | | 〃 | 5.0 | |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 13.5 | |
| 角材等 | | ㎡ | 100 | |
| 諸雑費率 | | % | 13 | |

備考　１～３　（略）

（４）単価表

角材式残存型枠工単価表

（100 ㎡当たり）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | | |
| 型枠工 | | 〃 | | |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | | |
| 角材等 | ９ｃｍ×９ｃｍ角材（加工材）<br>組立用金物、支持材を含む | ㎡ | 100 | |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

７－11～７－14　（略）

**第８　仮設工**

８－１　仮設工

１　（略）

２　仮設工の積算

（１）　（略）

（２）　積算方法

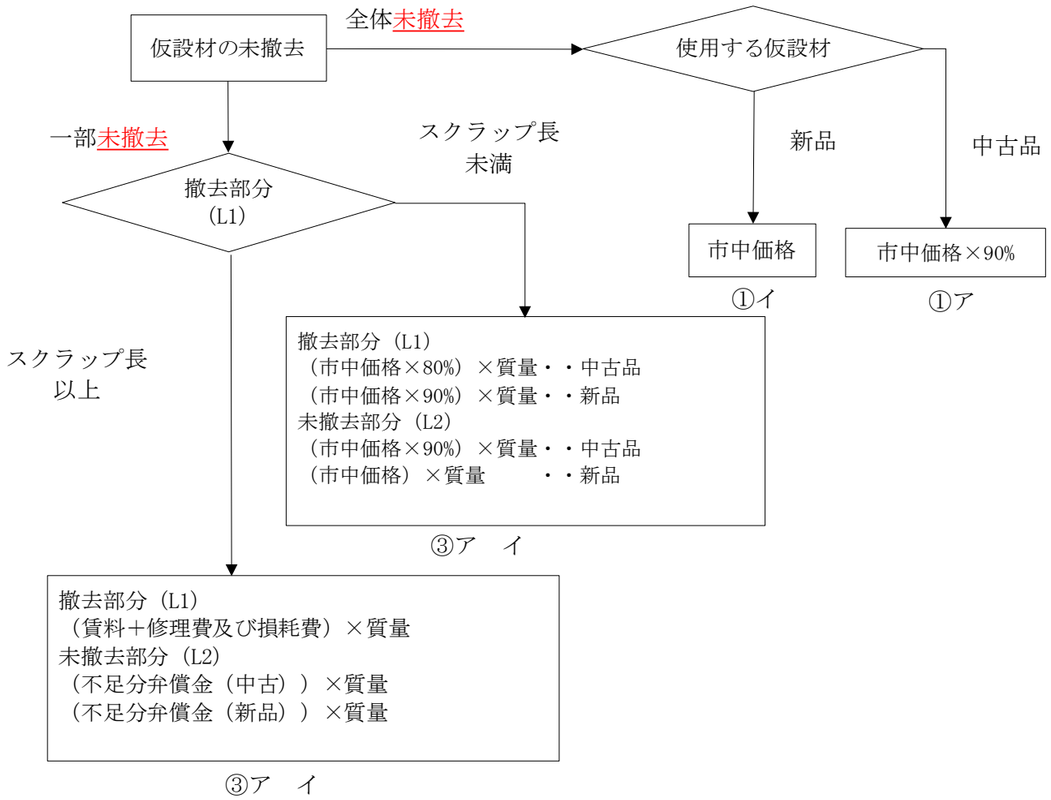
仮設工の積算（工事用仮設材を後続工事に継続して使用する場合、発注後の工期延期により仮設物の存置が長期となる場合等）は、現場条件を的確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。

（３）～（５）　（略）

（６）　工事用仮設材（鋼矢板、H形鋼等）の計上について

下記により難い場合は、別途考慮する。

（６）―１　当初より撤去しない場合又は当初より一部を撤去しない場合




**第８　仮設工**

８－１　仮設工

１　（略）

２　仮設工の積算

（１）　（略）

（２）　積算方法

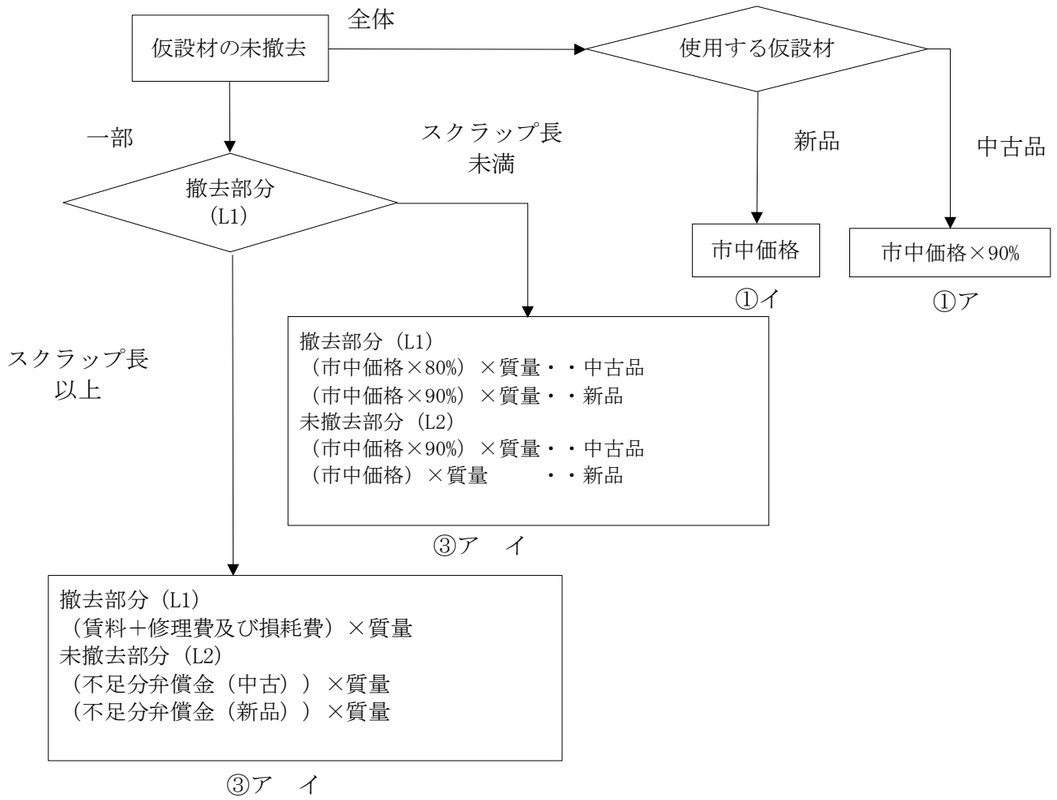
仮設工の積算は、現場条件を的確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。

（３）～（５）　（略）

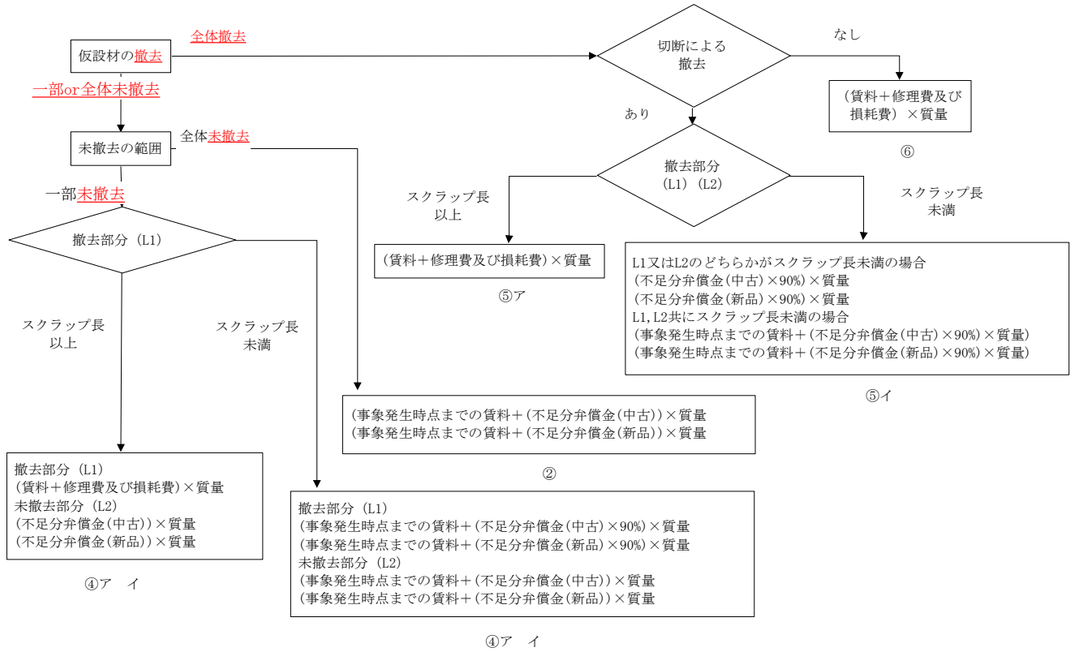
（６）　工事用仮設材（鋼矢板、H形鋼等）の計上について

下記により難い場合は、別途考慮する。

（６）―１　当初より撤去しない場合又は当初より一部を撤去しない場合



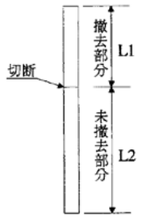
（６）―２　当初より撤去する場合又は現地の状況で一部もしくは全体が撤去できなくなった場合




なお、当初より賃料を計上していたが、賃貸契約期間中に、引き抜き不能等の事象が発生したり、賃貸契約期間が延びて購入に切り替えとなった場合については、後述の（注）に記載のとおり別途考慮すること。

①～②　（略）

③　当初より、現地の状況で１本もののうち一部を撤去しないものとした場合




ア　Ｌ１について

（略）

イ　Ｌ２について

・Ｌ１がスクラップ長以上の場合は、Ｌ２（未撤去部分）については、不足分弁償金を計上する。

（不足分弁償金（中古））×質量

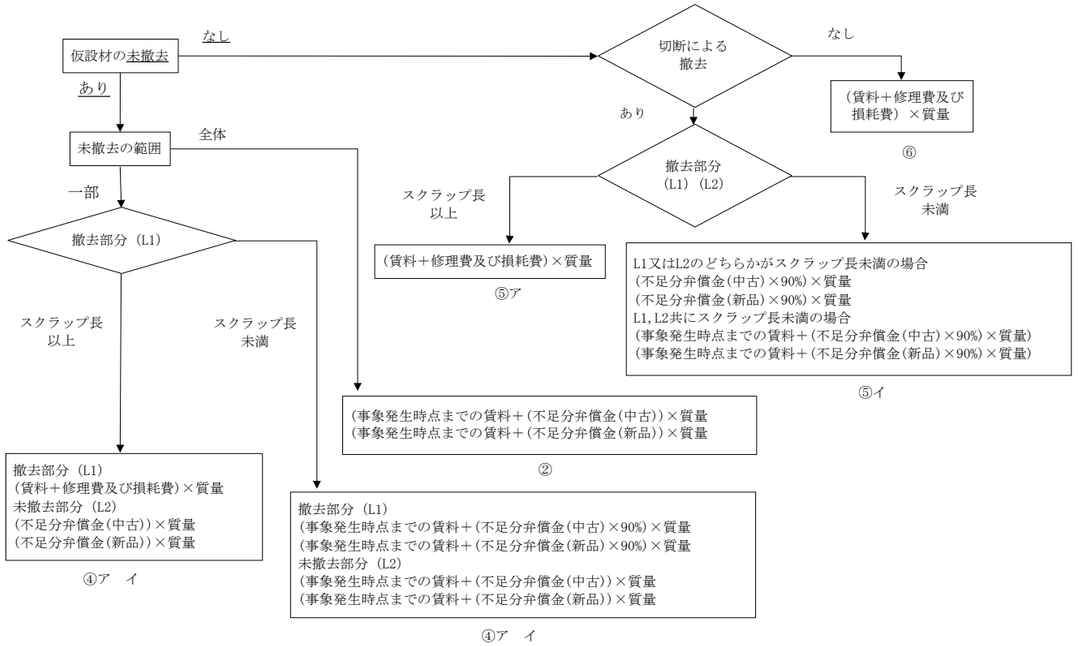
（不足分弁償金（新品））×質量

・Ｌ１がスクラップ長未満の場合は、Ｌ２（未撤去部分）については、市中価格を計上する。

（市中価格×90%）×質量・・・中古品の場合

（市中価格）×質量・・・新品の場合

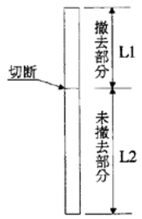
（６）―２　当初より撤去する場合又は現地の状況で一部もしくは全体が撤去できなくなった場合




なお、当初より賃料を計上していたが、賃貸契約期間中に、引き抜き不能等の事象が発生したり、賃貸契約期間が延びて購入に切り替えとなった場合については、後述の（注）に記載のとおり別途考慮すること。

①～②　（略）

③　当初より、現地の状況で１本もののうち一部を撤去しないものとした場合




ア　Ｌ１部について

（略）

イ　Ｌ２部について

・Ｌ１がスクラップ長以上の場合は、Ｌ２部（未撤去部分）については、不足分弁償金を計上する。

（不足分弁償金（中古））×質量

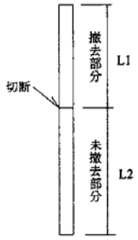
（不足分弁償金（新品））×質量

・Ｌ１がスクラップ長未満の場合は、Ｌ２部（未撤去部分）については、市中価格を計上する。

（市中価格×90%）×質量・・・中古品の場合

（市中価格）×質量・・・新品の場合

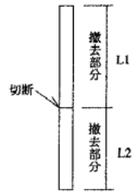
④　当初は撤去を考えていたが、現地の状況で１本もののうち一部が撤去できなくなった場合




ア　Ｌ１について
・Ｌ１がスクラップ長以上の場合は賃料を計上する。
（賃料＋修理費及び損耗費）×質量
・Ｌ１がスクラップ長未満の場合は事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。
（事象発生時点までの賃料＋（不足分弁償金（中古）×90%））×質量
（事象発生時点までの賃料＋（不足分弁償金（新品）×90%））×質量

イ　Ｌ２について
（略）

⑤　当初は切断をせず撤去するものとしていたが、現場状況により切断を行い撤去した場合（新品でない場合）




ア　スクラップ長以上のＬ１又はＬ２について
（略）

イ　スクラップ長未満のＬ１又はＬ２について
（略）

⑥　（略）

（注）　（略）

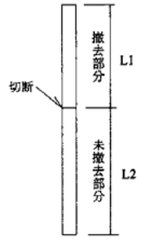
（７）　仮設材資料の修理費及び損耗費の取扱い
（略）

３・４　（略）

８－２・８－３　（略）

８－４　水替工
８－４－１　水替工
（１）・（２）　（略）

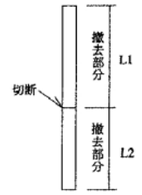
④　当初は撤去を考えていたが、現地の状況で１本もののうち一部が撤去できなくなった場合




ア　Ｌ１部について
・Ｌ１がスクラップ長以上の場合は賃料を計上する。
（賃料＋修理費及び損耗費）×質量
・Ｌ１がスクラップ長未満の場合は事象発生時点までの賃料及び不足弁償金を計上する。
（事象発生時点までの賃料＋（不足分弁償金（中古）×90%））×質量
（事象発生時点までの賃料＋（不足分弁償金（新品）×90%））×質量

イ　Ｌ２部について
（略）

⑤　当初は切断をせず撤去するものとしていたが、現場状況により切断を行い撤去した場合（新品でない場合）




ア　Ｌ１部又はＬ２がスクラップ長以上の場合
（略）

イ　Ｌ１又はＬ２がスクラップ長未満の場合
（略）

⑥　（略）

（注）　（略）

（７）　鋼矢板等の修理費及び損耗費の取扱い
（略）

３・４　（略）

８－２・８－３　（略）

８－４　水替工
８－４－１　水替工
（１）・（２）　（略）

（３）排水方法の選定
１）　排水方法　（略）

２）機種の選定
機械・規格は、次表を標準とする。

機種の選定（ポンプ運転）

| 機械名 | 規　　格 | | 単位 | 数　　量 排水量（㎥/ｈ） 0 以上 40 未満 | 40 以上 120 未満 | 120 以上 450 未満 | 450 以上 1,300 未満 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事用水中ポンプ | 普通型（潜水ポンプ）口径 150 ㎜ 全揚程 15m以下 | | 台 | 1 | － | 1 | － | |
| | 普通型（潜水ポンプ）口径 200 ㎜ 全揚程 15m以下 | | 〃 | － | 1 | 2 | 5 | |
| 発動発電機 | 排出ガス対策型（第２次基準値）ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動 | 25kVA | 〃 | 1 | － | － | － | |
| | | 35kVA | 〃 | － | 1 | － | － | |
| | | 60kVA | 〃 | － | － | 1 | － | |
| | | 100kVA | 〃 | － | － | － | 1 | |

備考　（略）

（４）・（５）　（略）

（６）　単価表
１）　（略）

２）　ポンプ運転１日当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 特殊作業員 | | 人 | | (4)－2) |
| 工事用水中ﾎﾟﾝﾌﾟ運転 | 普通型（潜水ポンプ） | 日 | 1 | (3)－2) |
| 発動発電機運転 | ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型（第２次基準値） | 〃 | 1 | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (4)－3) |
| 計 | | | | |

３）・４）　（略）

８－４－２　（略）

８－５　足場工
（１）　適用範囲
本歩掛は、構造物施工に係る平均設置高 30m以下の構造物に適用する。
適用する足場の種類は、手摺先行型枠組足場、単管足場、単管傾斜足場とする。
なお、高さ２ｍ未満の構造物及び鋼橋床版等で標準歩掛が設定されている工種には適用しない。
（２）　施工概要
１）　（略）

（３）排水方法の選定
１）　排水方法　（略）

２）機種の選定
機械・規格は、次表を標準とする。

機種の選定（ポンプ運転）

| 機械名 | 規　　格 | | 単位 | 数　　量 排水量（㎥/ｈ） 0 以上 40 未満 | 40 以上 120 未満 | 120 以上 450 未満 | 450 以上 1,300 未満 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事用水中ポンプ | 口径 150 ㎜ | | 台 | 1 | － | 1 | － | |
| | 口径 200 ㎜ | | 〃 | － | 1 | 2 | 5 | |
| 発動発電機 | 排出ガス対策型（第２次基準値）ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動 | 25kVA | 〃 | 1 | － | － | － | |
| | | 35kVA | 〃 | － | 1 | － | － | |
| | | 60kVA | 〃 | － | － | 1 | － | |
| | | 100kVA | 〃 | － | － | － | 1 | |

備考　（略）

（４）・（５）　（略）

（６）　単価表
１）　（略）

２）　ポンプ運転１日当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 特殊作業員 | | 人 | | (4)－2) |
| 工事用水中ﾎﾟﾝﾌﾟ運転 | （新設） | 日 | 1 | (3)－2) |
| 発動発電機運転 | （新設） | 〃 | 1 | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (4)－3) |
| 計 | | | | |

３）・４）　（略）

８－４－２　（略）

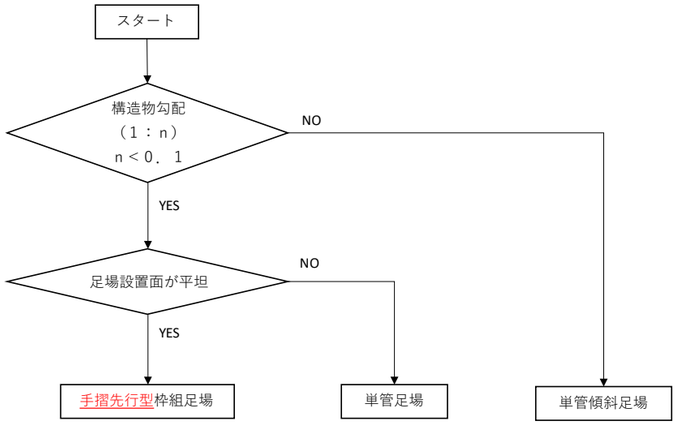
８－５　足場工
（１）　適用範囲
本歩掛は、構造物施工に係る平均設置高 30m以下の構造物に適用する。

なお、高さ２ｍ未満の構造物及び鋼橋床版等で標準歩掛が設定されている工種には適用しない。

（２）　施工概要
１）　（略）

2）　工法の選定

工法の選定は下記による。




（3）　施工歩掛

足場材の設置・撤去歩掛は、次表とする。

足場材設置・撤去歩掛

（100 掛㎡当たり）

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 手摺先行型<br>枠　　組 | 単　管 | 単管傾斜 |
|---|---|---|---|---|---|
| 世　　話　　役 | | 人 | 1.6 | 1.9 | 1.5 |
| と　び　工 | | 〃 | 7.0(8.5) | 6.9(8.4) | 4.5(6.1) |
| 山林砂防工<br>（普通作業員） | | 〃 | 1.3 | 1.8 | 2.7 |
| ラフテレーン<br>クレーン運転 | 排出ガス対策型（第3次基準値）<br>油圧伸縮ジブ型 25ｔ吊<br>低騒音型 | 日 | 1.4 | 0.8 | 0.8 |
| 諸　雑　費　率 | | % | 34(31) | 29(27) | 33(28) |

備考　1　（略）

2　諸雑費は、足場工仮設材（賃料）等の費用であり、労務費、機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

なお、諸雑費には供用中の足場材賃料を含み、現場内での段取り替えに伴うすべての費用を含むものとする。

・手摺先行型枠組足場における仮設材内訳は、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手すり柱、手すり枠（二段手すりの機能を有する。）、幅木、階段、養生ネット等である。また、安全ネットを設置した場合の安全ネットである。

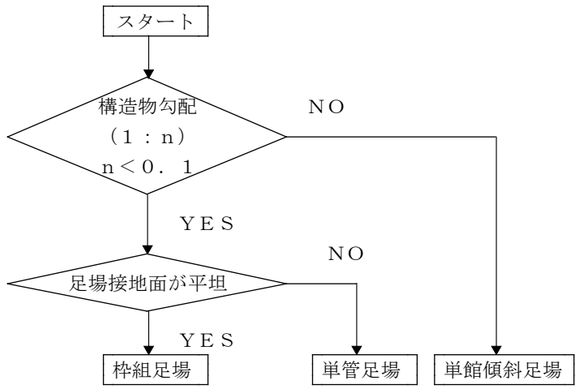
・単管足場における仮設材内訳は、丸パイプ、直交クランプ、自在クランプ、直線ジョイント、固定ベース、足場板、敷板、壁つなぎ、階段、養生ネット等である。また、安全ネットを計上した場合の安全ネットである。

・単管傾斜足場における仮設材内訳は、丸パイプ、直交クランプ、自在クランプ、直線ジョイント、足場板、固定ベース、養生ネット等である。また、安全ネットを計上した場合の安全ネットである。

3　（略）

2）　工法の選定

工法の選定は下記による。




（3）　施工歩掛

足場材の設置・撤去歩掛は、次表とする。

足場材設置・撤去歩掛

（100 掛㎡当たり）

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 手摺先行型<br>枠　　組 | 単　管 | 単管傾斜 |
|---|---|---|---|---|---|
| 世　　話　　役 | | 人 | 1.4 | 1.7 | 1.4 |
| と　び　工 | | 〃 | 6.3(7.7) | 6.3(7.7) | 4.1(5.6) |
| 山林砂防工<br>（普通作業員） | | 〃 | 1.2 | 1.6 | 2.5 |
| ラフテレーン<br>クレーン運転 | 排出ガス対策型（第2次基準値）<br>油圧伸縮ジブ型 25ｔ吊 | 日 | 1.4 | 0.8 | 0.8 |
| 諸　雑　費　率 | | % | 34(31) | 32(29) | 35(30) |

備考　1　（略）

2　諸雑費は、足場工仮設材等の費用であり、労務費、機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

なお、諸雑費には供用中の足場材損料を含むものとする。

・枠組足場における仮設材内訳は、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手すり柱、手すり枠（二段手すりの機能を有する。）、幅木、階段、養生ネット等である。また、安全ネットを設置した場合の安全ネットである。

・単管足場における仮設材内訳は、丸パイプ、直交クランプ、自在クランプ、直線ジョイント、固定ベース、足場板、敷板、壁つなぎ、階段、養生ネット等である。また、安全ネットを計上した場合の安全ネットである。

・単管傾斜足場における仮設材内訳は、丸パイプ、直交クランプ、自在クランプ、直線ジョイント、足場板、固定ベース、養生ネット等である。また、安全ネットを計上した場合の安全ネットである。

3　（略）

（削る）

（4）　（略）

1）　手すり先行型・単管・単管傾斜足場 100 掛㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | | (3) |
| と　び　工 | | 〃 | | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | | 〃 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 排出ガス対策型（第3次基準値）<br>油圧伸縮ジブ型 25ｔ吊<br>低騒音型 | 日 | | 〃 |
| 諸雑費率 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

８－６　キャットウォーク

（略）

（設置延長 10m当たり）

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 0.1 |
| と　び　工 | | 〃 | 0.4 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃<br>（〃） | 0.4 |
| 諸雑費率 | | % | 21 |

備考　（略）

キャットウォーク標準図

（略）

（4）　日当たり施工量

日当たり施工量は次表を標準とする。

日当たり施工量

| 作業種別 | 日当たり施工量 |
|---|---|
| 手摺先行型枠組足場設置・撤去 | 61 掛$m^2$／日 |
| 単管足場設置・撤去 | 79 掛$m^2$／日 |
| 単管傾斜足場設置・撤去 | 57 掛$m^2$／日 |

（5）　単価表

1）　手すり先行型・単管・単管傾斜足場 100 掛㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | | (3) |
| と　び　工 | | 〃 | | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | | 〃 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 排出ガス対策型（第2次基準値）<br>油圧伸縮ジブ型 25ｔ吊 | 日 | | 〃 |
| 諸雑費率 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

８－６　キャットウォーク

（略）

（設置延長 10m当たり）

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 0.1 |
| と　び　工 | | 〃 | 0.4 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃<br>（〃） | 0.4 |
| 諸雑費率 | | % | 14 |

備考　（略）

キャットウォーク標準図

（略）

８－７　支保工

（１）・（２）　（略）

（３）　設置・撤去歩掛

支保材の設置・撤去歩掛は、次表とする。ただし、40 空㎥以下の小規模工事では小規模歩掛を適用できる。

支保材設置・撤去歩掛

（100 空㎥当たり）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 支保耐力 f（kN/㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ支保 | | くさび結合支持 | |
| | | | f≦40 | 40＜f≦60 | f≦40 | 40＜f≦60 |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ厚(t)(参考) | （削る） | cm | t≦120 | 120＜t≦190 | t≦120 | 120＜t≦190 |
| 世話役 | | 人 | 2.6 | 4.2 | 1.4 | 2.1 |
| 型枠工 | | 〃 | 4.7 | 8.7 | 1.3 | 2.7 |
| とび工 | | 〃 | 2.2 | 2.4 | 3.3 | 4.2 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃（〃） | 5.1 | 11.1 | 3.3 | 6.0 |
| ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転 | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25ｔ吊 | 日 | － | | 0.5 | 1.2 |
| 諸雑費率 | | % | 15 | | 33 | |

備考　（略）

支保材設置・撤去歩掛（小規模）

（10 空㎥当たり）

| 名　称 | 単位 | 支保耐力 f（kN/㎡） |
|---|---|---|
| | | ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ支保 |
| | | f≦40 |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ厚(t)(参考) | cm | t≦120 |
| （削る） | （削る） | （削る） |
| 世話役 | 人 | 0.29 |
| 型枠工 | 〃 | 0.53 |
| とび工 | 〃 | 0.25 |
| 山林砂防工（普通作業員） | 〃 | 0.57 |
| 諸雑費率 | % | 13 |

備考　（略）

（削る）

８－７　支保工

（１）・（２）　（略）

（３）　設置・撤去歩掛

支保材の設置・撤去歩掛は、次表とする。ただし、40 空㎥以下の小規模工事では小規模歩掛を適用できる。

支保材設置・撤去歩掛

（100 空㎥当たり）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 支保耐力 f（kN/㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ支保 | | くさび結合支持 | |
| | | | f≦40 | 40＜f≦60 | f≦40 | 40＜f≦60 |
| （新設）ｺﾝｸﾘｰﾄ厚(t)(参考) | | cm | t≦120 | 120＜t≦190 | t≦120 | 120＜t≦190 |
| 世話役 | | 人 | 2.6 | 4.2 | 1.4 | 2.1 |
| 型枠工 | | 〃 | 4.7 | 8.7 | 1.3 | 2.7 |
| とび工 | | 〃 | 2.2 | 2.4 | 3.3 | 4.2 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃（〃） | 5.1 | 11.1 | 3.3 | 6.0 |
| ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転 | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25ｔ吊 | 日 | － | | 0.5 | 1.2 |
| 諸雑費率 | | % | 15 | | 33 | |

備考　（略）

支保材設置・撤去歩掛（小規模）

（10 空㎥当たり）

| 名　称 | | 単位 | 支保耐力 f（kN/㎡） |
|---|---|---|---|
| | | | ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ支保 |
| | | | f≦40 |
| | ｺﾝｸﾘｰﾄ厚(t)(参考) | cm | t≦120 |
| | 総設置数量 | 空㎥ | 40 以下 |
| 世話役 | | 人 | 0.29 |
| 型枠工 | | 〃 | 0.53 |
| とび工 | | 〃 | 0.25 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 0.57 |
| 諸雑費率 | | % | 13 |

備考　（略）

（４）　日当たり施工量

日当たり施工量は次表を標準とする。

日当たり施工量

| 作業種別 | 支保耐力（f）kN／m² | 日当たり施工量 |
|---|---|---|
| パイプサポート支保設置・撤去 | f≦40 | 27 空m³／日 |
| | f≦40（小規模） | 34 空m³／日 |
| | 40＜f≦60 | 15 空m³／日 |
| くさび結合支保設置・撤去 | f≦40 | 67 空m³／日 |
| | 40＜f≦80 | 37 空m³／日 |

（４）　単価表

１）　パイプサポート支持・くさび結合支持 100 空㎥当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単　位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | | (3) |
| 型枠工 | | 〃 | | 〃 |
| とび工 | | 〃 | | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃（〃） | | 〃 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25ｔ吊 | 日 | | (3) 機械賃料 |
| 諸雑費率 | | 式 | 1 | (3) |
| 計 | | | | |

２）　パイプサポート支持（小規模）10 空㎥当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単　位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | | (3) |
| 型枠工 | | 〃 | | 〃 |
| とび工 | | 〃 | | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃（〃） | | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

８－８　仮囲い設置・撤去工

８－８－１　仮囲い設置・撤去工

（１）～（５）　（略）

（６）　仮設材損料

仮囲い設置・撤去工に使用する仮設材損料（供用日当たり損料）は、次表を標準とする。

仮囲い 10m当たり仮設材損料

| 名称 | 単位 | 損料（円） | 摘要 |
|---|---|---|---|
| 仮囲い仮設材損料 | 供用日 | 173 | 仮囲い鉄板丸パイプ |

（７）　（略）

８－８－２　雪寒仮囲い工

１　（略）

２　施工概要

（１）　標準施工フロー

標準施工フローは、下記のとおりとする。

(注)　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

（２）　（略）

（５）　単価表

１）　パイプサポート支持・くさび結合支持 100 空㎥当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単　位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | | 8-8-(3) |
| 型枠工 | | 〃 | | 〃 |
| とび工 | | 〃 | | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃（〃） | | 〃 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25ｔ吊 | 日 | | 〃 |
| 諸雑費率 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

（新設）

８－８　仮囲い設置・撤去工

８－８－１　仮囲い設置・撤去工

（１）～（５）　（略）

（６）　（略）

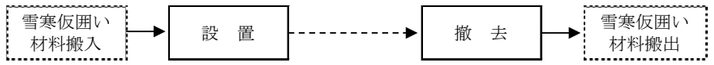
８－８－２　雪寒仮囲い工

１　（略）

２　施工概要

（１）　標準施工フロー

標準施工フローは、下記のとおりとする。




(注)　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

（２）　（略）

３仮囲いタイプ及び機種の選定

（１）　仮囲いタイプの選定

仮囲いタイプの選定は、図 3.1 による。

図３．１　（略）

仮囲いの構成部材

| | 囲い枠部材 | 屋根梁・屋根受け梁部材 |
|---|---|---|
| Ｐ タ イ プ | パイプサポート＋シート | 単管パイプ・既製ビーム・Ｉ形鋼・H形鋼、等 |
| Ｗ タ イ プ | 枠組足場＋シート | 単管パイプ・既製ビーム・Ｉ形鋼・H形鋼、等 |
| ＰＷタイプ | 枠組足場＋パイプサポート＋シート | 単管パイプ・既製ビーム・H形鋼、等 |

（２）　機種の選定

仮設材の持上げ（下げ）機械・規格は、次表を標準とする。

表３．１ 機種の選定（仮設材の持上（下）げ機械）

| タイプ | 持上げ（下げ）機械 | 規　　格 |
|---|---|---|
| Ｐタイプ | バックホウ（クローラ型） | 標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011 年規制）山積／平積み 0.8／0.6 ㎥吊能力 2.9ｔ |
| W/ＰWタイプ | ラフテレーンクレーン | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（2011 年規制）25ｔ吊 |

（注）　バックホウ、ラフテレーンクレーンは、賃料とする。

４　設置・撤去歩掛

（１）・（２）　（略）

（削る）

５　（略）

６　除雪工

（１）　（略）

（削る）

７　（略）

３仮囲いタイプ及び機種の選定

（１）　仮囲いタイプの選定

仮囲いタイプの選定は、図 3.1 による。

図３．１　（略）

（新設）

| | 囲い枠部材 | 屋根梁・屋根受け梁部材 |
|---|---|---|
| Ｐ タ イ プ | パイプサポート＋シート | 単管パイプ・既製ビーム・Ｉ形鋼・H形鋼、等 |
| Ｗ タ イ プ | 枠組足場＋シート | 単管パイプ・既製ビーム・Ｉ形鋼・H形鋼、等 |
| ＰＷタイプ | 枠組足場＋パイプサポート＋シート | 単管パイプ・既製ビーム・H形鋼、等 |

（２）　機種の選定

仮設材の持上げ（下げ）機械・規格は、次表を標準とする。

表３．１ 機種の選定（仮設材の持上（下）げ機械）

| タイプ | 持上げ（下げ）機械 | 規　　格 |
|---|---|---|
| Ｐタイプ | バックホウ（クローラ型） | 標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011 年規制）山積／平積み 0.8／0.6 ㎥吊能力 2.9ｔ |
| W/ＰWタイプ | ラフテレーンクレーン | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（2011 年規制）25ｔ吊 |

（注）　バックホウ、ラフテレーンクレーンは、賃料とする。

４　設置・撤去歩掛

（１）・（２）　（略）

（３）　日当たり施工量

日当たり施工量は次表を標準とする。

日当たり施工量

| タイプ | | 日当たり施工量 設置・撤去 |
|---|---|---|
| Ｐタイプ | ― | 91m²／日 |
| Ｗ・ＰＷタイプ | 枠組足場部 | 45m²／日 |
| | 枠組足場以外 | 91m²／日 |

５　（略）

６　除雪工

（１）　（略）

（２）　日当たり施工量

日当たり施工量は次表を標準とする。

日当たり施工量

| | |
|---|---|
| 日当たり施工量 | 24m³／日 |

７　（略）

８　単価表

（１）　（略）

（２）　仮囲い設置撤去（Ｗ・ＰＷタイプ）

①　（略）

②　仮囲い設置撤去（Ｗ・ＰＷタイプ）枠組足場部 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 2.2 | 表 4.2 |
| とび工 | | 〃 | 9.6 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 6.7 | 〃 |
| ラフテレーンクレーン | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（2011 年規制）25ｔ吊 | 日 | 0.2 | 表 3.1、表 4.2 機械賃料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 4.2 |
| 計 | | | | |

③　（略）

（３）～（５）

８－９　**大型土のうエ**

**（１）～（５）　（略）**

**（６）　単価表**

１）　大型土のう製作・設置 10 袋当たり単価表（バックホウ据付）

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 | 適　　用 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | 1×10/D | (4)-1)　(4)-2) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 大型土のう | 容量１㎥ | 袋 | 10 | |
| 土砂 | | ㎥ | 10 | ほぐした土量 |
| ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾚｰﾝ仕様） | 超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）ｸﾛｰﾗ型 ｸﾚｰﾝ機能付 2.9ｔ吊 山積 0.8 ㎥(平積 0.6 ㎥) | 日 | 10/D | (4)-2) |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (4)-3) |

備考　Ｄ：日当たり施工量

８　単価表

（１）　（略）

（２）　仮囲い設置撤去（Ｗ・ＰＷタイプ）

①　（略）

②　仮囲い設置撤去（Ｗ・ＰＷタイプ）枠組足場部 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 2.2 | 表 4.2 |
| とび工 | | 〃 | 10.3 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 6.0 | 〃 |
| ラフテレーンクレーン | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（2011 年規制）25ｔ吊 | 日 | 0.2 | 表 3.1、表 4.2 機械賃料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 4.2 |
| 計 | | | | |

③　（略）

（３）～（５）

８－９　**大型土のうエ**

**（１）～（５）　（略）**

**（６）　単価表**

１）　大型土のう製作・設置 10 袋当たり単価表（バックホウ据付）

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 | 適　　用 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | 1×10/D | (4)-1)　(4)-2) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 大型土のう | 容量１㎥ | 袋 | 10 | |
| 土砂 | | ㎥ | 10 | （新設） |
| ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾚｰﾝ仕様） | 超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）ｸﾛｰﾗ型 ｸﾚｰﾝ機能付 2.9ｔ吊 山積 0.8 ㎥(平積 0.6 ㎥) | 日 | 10/D | (4)-2) |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (4)-3) |

備考　Ｄ：日当たり施工量

2）　大型土のう製作・設置 10 袋当たり単価表（ラフテレーンクレーン据付）

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 | 適　　用 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×10/D | (4)-1)　(4)-2) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 大型土のう | 容量 1 ㎥ | 袋 | 10 | |
| 土　　砂 | | ㎥ | 10 | ほぐした土量 |
| ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾚｰﾝ仕様） | 超低騒音型･排出ガス対策型（第３次基準値）　ｸﾛｰﾗ型<br>ｸﾚｰﾝ機能付 2.9ｔ吊<br>山積 0.8 ㎥(平積 0.6 ㎥) | 日 | 10/D | (4)-2) |
| ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料 | 排出ガス対策型(第３次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 25ｔ吊 | 〃 | 10/D | 〃 |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | (4)-3) |

備考　D：日当たり施工量

3）　大型土のう製作 10 袋当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 | 適　　用 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×10/D | (5)-1)　(5)-2) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 大型土のう | 容量 1 ㎥ | 袋 | 10 | |
| 土　　砂 | | ㎥ | 10 | ほぐした土量 |
| ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾚｰﾝ仕様） | 超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）　ｸﾛｰﾗ型<br>ｸﾚｰﾝ機能付 2.9ｔ吊<br>山積 0.8 ㎥(平積 0.6 ㎥) | 日 | 10/D | (5)-2) |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | (5)-3) |

備考　D：日当たり施工量

4）～6）　（略）

8－10　（略）

（1）～（5）　（略）

（6）　単価表

1）・2）　（略）

3）　敷鉄板賃料１枚当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 敷鉄板賃料 | | 枚・日 | | 必要日数を計上 |
| 整備費 | | 枚 | 1 | 必要な場合計上 |
| 不足分弁償金 | | t | | 必要量を計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

4）　（略）

2）　大型土のう製作・設置 10 袋当たり単価表（ラフテレーンクレーン据付）

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 | 適　　用 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×10/D | (4)-1)　(4)-2) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 大型土のう | 容量 1 ㎥ | 袋 | 10 | |
| 土　　砂 | | ㎥ | 10 | （新設） |
| ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾚｰﾝ仕様） | 超低騒音型･排出ガス対策型（第３次基準値）　ｸﾛｰﾗ型<br>ｸﾚｰﾝ機能付 2.9ｔ吊<br>山積 0.8 ㎥(平積 0.6 ㎥) | 日 | 10/D | (4)-2) |
| ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料 | 排出ガス対策型(第３次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 25ｔ吊 | 〃 | 10/D | 〃 |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | (4)-3) |

備考　D：日当たり施工量

3）　大型土のう製作 10 袋当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 | 適　　用 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×10/D | (5)-1)　(5)-2) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 大型土のう | 容量 1 ㎥ | 袋 | 10 | |
| 土　　砂 | | ㎥ | 10 | （新設） |
| ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾚｰﾝ仕様） | 超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）　ｸﾛｰﾗ型<br>ｸﾚｰﾝ機能付 2.9ｔ吊<br>山積 0.8 ㎥(平積 0.6 ㎥) | 日 | 10/D | (5)-2) |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | (5)-3) |

備考　D：日当たり施工量

4）～6）　（略）

8－10　（略）

（1）～（5）　（略）

（6）　単価表

1）・2）　（略）

（新設）

3）　（略）

８－１１　鋼矢板（Ｈ型鋼）工（バイブロハンマ工・油圧圧入引抜工）

８－11－１　バイブロハンマ工

１・２　（略）

３　施工歩掛

（１）・（２）　（略）

（３）　日当たり施工枚（本）数

①・②　（略）

③　継施工費

継施工が必要な場合の費用は、別途計上する。

| 鋼矢板・Ｈ形鋼型式 | | 継施工費(円/箇所) |
|---|---|---|
| 鋼矢板 | Ⅱ型 | 7,970 |
| | Ⅲ型 | 8,330 |
| | Ⅳ型 | 8,450 |
| | $V_L$型 | 11,600 |
| | $VI_L$型 | 11,900 |
| | Ⅱｗ型 | 9,390 |
| | Ⅲｗ型 | 9,630 |
| | Ⅳｗ型 | 10,100 |
| | 10H型(ハット) | 15,100 |
| | 25H型(ハット) | 16,100 |
| Ｈ形鋼 | H250 | 26,100 |
| | H300 | 33,200 |
| | H350 | 46,900 |
| | H400 | 67,400 |

（注）　（略）

④　（略）

（４）　（略）

（５）　その他

①　ウォータジェット併用施工時に用いる上水道等が必要な場合は、別途計上する。

②　ウォータジェット併用施工時に発生する濁水の運搬・処理が必要な場合は、別途計上する。

４　（略）

８－１１　鋼矢板（Ｈ型鋼）工（バイブロハンマ工・油圧圧入引抜工）

８－11－１　バイブロハンマ工

１・２　（略）

３　施工歩掛

（１）・（２）　（略）

（３）　日当たり施工枚（本）数

①・②　（略）

③　継施工費

継施工が必要な場合の費用は、別途計上する。

| 鋼矢板・Ｈ形鋼型式 | | 継施工費(円/箇所) |
|---|---|---|
| 鋼矢板 | Ⅱ型 | 6,180 |
| | Ⅲ型 | 6,500 |
| | Ⅳ型 | 6,820 |
| | $V_L$型 | 8,020 |
| | $VI_L$型 | 8,290 |
| | Ⅱｗ型 | 7,470 |
| | Ⅲｗ型 | 7,700 |
| | Ⅳｗ型 | 8,230 |
| | 10H型(ハット) | 12,000 |
| | 25H型(ハット) | 12,800 |
| Ｈ形鋼 | H250 | 17,500 |
| | H300 | 22,900 |
| | H350 | 28,400 |
| | H400 | 41,200 |

（注）　（略）

④　（略）

（４）　（略）

（新設）

４　（略）

８－11－２　バイブロハンマエ（軽量鋼矢板打込引抜工）

１～５　（略）

６　単価表

（１）　（略）

（２）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 指　定　事　項 |
|---|---|---|---|
| 電動式バイブロハンマ杭打機 | 15ｋＷ | 機－５ | 機械損料１→バイブロハンマ 15ｋＷ（商用電力を使用した場合は下記による）<br>電力量→Ｅ×0.7<br>Ｅ→バイブロハンマの時間当たり電力消費量（ｋＷｈ）<br>Ｔ＝バイブロハンマ運転日当たり運転時間（h）<br>ＴＣ→矢板１枚当たり施工時間（分） |
| 発動発電機 | 排出ガス対策型（第１次基準値）17／20ｋＶＡ | 機－12 | 運転時間→バイブロハンマの運転日当たり運転時間（ｈ） |
| トラッククレーン | 油圧伸縮ジブ型16ｔ型 | 機－１ | |

（削る）

８－11－２　バイブロハンマエ（軽量鋼矢板打込引抜工）

１～５　（略）

６　単価表

（１）　（略）

（２）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 指　定　事　項 |
|---|---|---|---|
| 電動式バイブロハンマ杭打機 | 15ｋＷ | 機－５ | 機械損料１→バイブロハンマ 15ｋＷ（商用電力を使用した場合は下記による）<br>電力量→Ｅ×0.7<br>Ｅ→バイブロハンマの時間当たり電力消費量（ｋＷｈ）<br>ＴＣ→矢板１枚当たり施工時間（分） |
| 発動発電機 | 排出ガス対策型（第１次基準値）17／20ｋＶＡ | 機－12 | 運転時間→バイブロハンマの運転日当たり運転時間（ｈ） |
| トラッククレーン | 油圧伸縮ジブ型16ｔ型 | 機－１ | |

（注）　杭打機の供用日当たり運転時間（ｔ）は、バイブロハンマのｔとする。

１・２　（略）

３　施工歩掛

（１）　機種の選定

①　油圧式杭圧入引抜機

油圧式杭圧入引抜機の規格は、次表を標準とする。

表３．１　機種の選定

| 作業の種類 | | 圧　入 | | | 引　抜　き |
|---|---|---|---|---|---|
| 最大Ｎ値 | | Nmax≦25 | Nmax≦50 | 50＜Nmax≦600 | － |
| 鋼矢板型式 | Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型（第２次基準値）圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN | | エンジン式ユニット（硬質地盤専用）・排出ガス対策型（第３次基準値）<br>普通鋼矢板用<br>圧入力 800kN<br>引抜力 900kN | エンジン式ユニット・排出ガス対策型（第２次基準値）圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN |
| | $V_L$・$VI_L$型 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型（第１次基準値）広幅鋼矢板用圧入力 981～1,471kN 引抜力 1,079～1,569kN | | エンジン式ユニット（硬質地盤専用）・排出ガス対策型（第２次基準値）<br>広幅鋼矢板用<br>圧入力 800kN<br>引抜力 900kN | エンジン式ユニット・排出ガス対策型（第１次基準値）広幅鋼矢板用圧入力 981～1,471kN 引抜力 1,079～1,569kN |
| | Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型 | | | | － |
| | 10H・25H型 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型（第３次基準値）ハット形鋼矢板 900 ㎜用<br>圧入力 1000kN<br>引抜力 1100kN | | － | － |

（注）　圧入（Nmax≦50）は、杭打ち用ウォータジェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax≦25 においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータジェットを使用する場合は適用できる。

８－11－３

１・２　（略）

３　施工歩掛

（１）　機種の選定

①　油圧式杭圧入引抜機

油圧式杭圧入引抜機の規格は、次表を標準とする。

表３．１　機種の選定

| 作業の種類 | | 圧　入 | | | 引　抜　き |
|---|---|---|---|---|---|
| 最大Ｎ値 | | Nmax≦25 | Nmax≦50 | 50＜Nmax≦600 | － |
| 鋼矢板型式 | Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型（第１次基準値）圧入力 981～1,471kN 引抜力 1,079～1,569kN | | エンジン式ユニット（硬質地盤専用）・排出ガス対策型（第２次基準値）<br>普通鋼矢板用<br>圧入力 800kN<br>引抜力 900kN | エンジン式ユニット・排出ガス対策型（第１次基準値）圧入力 981～1,471kN 引抜力 1,079～1,569kN |
| | $V_L$・$VI_L$型 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型（第１次基準値）広幅鋼矢板用圧入力 981～1,471kN 引抜力 1,079～1,569kN | | エンジン式ユニット（硬質地盤専用）・排出ガス対策型（第２次基準値）<br>広幅鋼矢板用<br>圧入力 800kN<br>引抜力 900kN | エンジン式ユニット・排出ガス対策型（第１次基準値）広幅鋼矢板用圧入力 981～1,471kN 引抜力 1,079～1,569kN |
| | Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型 | | | | － |
| | 10H・25H型 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型（第２次基準値）ハット形鋼矢板 900 ㎜用<br>圧入力 1000kN<br>引抜力 1100kN | | － | － |

（注）　圧入（Nmax≦50）は、杭打ち用ウォータジェットを使用する場合に適用する。

② 付属機械
油圧式杭圧入引抜機の付属機械の機械・規格は、次表を標準とする。

表３．２ 付属機械の機種の選定

| 作業の種類 ＼ 機械名 | 圧入(Nmax≦25)引抜き | 圧入(Nmax≦50) | 圧入(50＜Nmax≦600) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|
| ラフテレーンクレーン(注) 4 | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第２次基準値）25ｔ吊(注)2 | | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第１次基準値）50～51ｔ吊(注)2 | 陸上からの施工時のみ |
| 杭打ち用ウォータジェット | － | エンジン式・排出ガス対策型（第１次基準値）<br>圧力 14.7MPa<br>吐出量 325ℓ /min | － | |
| クレーン付台船 | クローラクレーン 35～ 40ｔ吊<br>台船 300ｔ積(注)3 | | － | 水上からの施工時のみ |
| 引　　船 | 鋼製Ｄ100ＰＳ型 4.9GT(注)3 | | － | |

（注）１．圧入（Nmax≦50）は、杭打ち用ウォータジェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax≦25 においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータジェットを使用する場合は適用できる。
２．　（略）
３．水上施工の場合の注意事項
・潜水士船を必要に応じ計上する。
・海上及び港湾工事で、上表により難い場合は別途考慮する。
・クレーン付台船には、圧入（Nmax≦25）時は油圧式杭圧入引抜機、同油圧ユニット、電気溶接機及び鋼矢板を搭載するものとし、鋼矢板の搭載質量は、230ｔ（圧入（Nmax≦50）時は杭打ち用ウォータジェット、水槽も搭載し、鋼矢板の搭載質量は、210ｔ）以下とする。
４．　（略）
５．濁水処理装置が必要な場合は、8－19 濁水処理工により別途計上する。

（２）　（略）

（３）　日当たり施工枚数
①　（略）

②　圧入（継施工あり）
鋼矢板１枚につき１箇所継施工（圧入）する場合の日当たり施工枚数（N）は、表３.13～３.14 を標準とする。
鋼矢板１枚につき２箇所以上継施工を行う場合は、表３.15 の補正係数を、表３.13～３.14 の枚数に乗じて、日当たり継施工枚数を求める。
（注）鋼矢板１枚当たりＸ箇所継ぐ場合の日当たり継施工枚数Ｎ’＝Ｎ×Ｆ（Ｆ：補正係数）

日当たり継施工枚数Ｎ’が 10 以上の場合は、小数第１位を四捨五入し、整数とする。
日当たり継施工枚数Ｎ’が 10 未満の場合は、小数第２位を四捨五入し、小数第１位とする。

ア～ウ　（略）

② 付属機械
油圧式杭圧入引抜機の付属機械の機械・規格は、次表を標準とする。

表３．２ 付属機械の機種の選定

| 作業の種類 ＼ 機械名 | 圧入(Nmax≦25)引抜き | 圧入(Nmax≦50) | 圧入(50＜Nmax≦600) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|
| ラフテレーンクレーン(注) 4 | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第２次基準値）25ｔ吊(注)2 | | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第１次基準値）50～51ｔ吊(注)2 | 陸上からの施工時のみ |
| 杭打ち用ウォータジェット | － | エンジン式・排出ガス対策型（第１次基準値）<br>圧力 14.7MPa<br>吐出量 325ℓ /min | － | |
| クレーン付台船 | クローラクレーン 35～ 40ｔ吊<br>台船 300ｔ積(注)3 | | － | 水上からの施工時のみ |
| 引　　船 | 鋼製Ｄ100ＰＳ型 4.9GT(注)3 | | － | |

（注）１．圧入（Nmax≦50）は、杭打ち用ウォータジェットを使用する場合に適用する。

２．　（略）
３．水上施工の場合の注意事項
・潜水士船を必要に応じ計上する。
・海上及び港湾工事で、上表により難い場合は別途考慮する。
・クレーン付台船には、圧入（Nmax≦25）時は油圧式杭圧入引抜機、同油圧ユニット、溶接機及び鋼矢板を搭載するものとし、鋼矢板の搭載質量は、230ｔ（圧入（Nmax≦50）時は杭打ち用ウォータジェット、水槽も搭載し、鋼矢板の搭載質量は、210ｔ）以下とする。
４．　（略）
５．濁水処理装置が必要な場合は、別途計上する。

（２）　（略）

（３）　日当たり施工枚数
①　（略）

②　圧入（継施工あり）
鋼矢板１枚につき１箇所継施工（圧入）する場合の１日当たり施工枚数（N）は、表３.13～３.14 による。
鋼矢板１枚につき２箇所以上継施工を行う場合は、表３.15 の補正係数を、表３.13～３.14 の枚数に乗じて、１日当たり継施工枚数を求める。
（注）鋼矢板１枚当たりＸ箇所継ぐ場合の日当たり継施工枚数＝Ｎ×Ｆ（Ｆ：補正係数）
なお、日当たり継施工枚数については、整数止め（小数点以下四捨五入）とする。

ア～ウ　（略）

③　継施工費

継施工が必要な場合の費用は、8-11-1 バイブロハンマ工３（3）日当たり施工枚（本）数③継施工費により別途計上する。

④・⑤　（略）

（削る）

（４）　諸雑費

圧入（Nmax≦25）、圧入（Nmax≦50）及び引抜きにおける諸雑費は、共下がり防止用の溶接棒及び電気溶接機損料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータジェット併用施工用付属機器に関する経費（配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、工事用水中モータポンプ損料、水槽及び配管損料）、現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用（継施工に関する経費は除く。）であり、労務費、機械損料及び機械運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

圧入（50＜Nmax≦600）における諸雑費は、溶接棒、施工機械足場用の敷鉄板賃料、電気溶接機損料、現場内小運搬に関する経費、排出土処理用のバックホウ運転に関する経費、オーガスクリュー及びオーガヘッド並びにケーシング損料等の費用であり、労務費、機械損料及び機械運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。

なお、上記諸雑費に含まれるもの以外で施工に際し、オーガスクリュ及びオーガヘッド等へ付着した土等を除去するための高圧洗浄機やエアーコンプレッサーを用いる必要が生じた場合は、別途考慮すること。

表３．17 諸雑費率　（%）

| 作業の種類 | 陸上施工 | | | | 水上施工 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 継施工なし | | 継施工あり | | 継施工なし | | 継施工あり | |
| | 普通・広幅鋼矢板 | ハット形鋼矢板 | 普通・広幅鋼矢板 | ハット形鋼矢板 | 普通・広幅鋼矢板 | ハット形鋼矢板 | 普通・広幅鋼矢板 | ハット形鋼矢板 |
| 圧入(Nmax≦25) | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 |
| 圧入(Nmax≦50) | 8 | 6 | 8 | 7 | 6 | 5 | 8 | 7 |
| 圧入(50＜Nmax≦600) | 16 | － | | | | | | |
| 引　抜　き | 0.2<br>(注)2 | － | | | | | | |

（注）　（略）

③　継施工費

継施工が必要な場合の費用は、別途計上する。

④・⑤　（略）

⑥　日当たり施工量

日当たり施工量は次表を標準とする。

日当たり施工量

| 作業区分 | 日当たり施工量 |
|---|---|
| 圧入（Nmax≦25） | 3.3 回／日 |
| 圧入（Nmax≦50） | 2.0 回／日 |
| 圧入（50＜Nmax≦600） | 0.91 回／日 |
| 引抜き | 5.3 回／日 |

⑦　諸雑費

圧入（Nmax≦25）、圧入（Nmax≦50）及び引抜きにおける諸雑費は、共下がり防止用の溶接棒及び電気溶接機損料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータジェット併用施工用付属機器に関する経費（配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、工事用水中モータポンプ損料、水槽及び配管損料）、現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用（継施工に関する経費は除く。）であり、労務費、機械損料及び機械運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

圧入（50＜Nmax≦600）における諸雑費は、溶接棒、施工機械足場用の敷鉄板賃料、電気溶接機損料、現場内小運搬に関する経費、排出土処理用のバックホウ運転に関する経費、オーガスクリュー及びオーガヘッド並びにケーシング損料等の費用であり、労務費、機械損料及び機械運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。

なお、施工に際し、オーガスクリュ及びオーガヘッド等へ付着した土等を除去するための高圧洗浄機やエアーコンプレッサーを用いる必要が生じた場合は、別途考慮すること。

表３．17 諸雑費率（%）

| 作業の種類 | 陸上施工 | | | | 水上施工 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 継施工なし | | 継施工あり | | 継施工なし | | 継施工あり | |
| | 普通・広幅鋼矢板 | ハット形鋼矢板 | 普通・広幅鋼矢板 | ハット形鋼矢板 | 普通・広幅鋼矢板 | ハット形鋼矢板 | 普通・広幅鋼矢板 | ハット形鋼矢板 |
| 圧入(Nmax≦25) | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 |
| 圧入(Nmax≦50) | 8 | 6 | 8 | 7 | 6 | 5 | 8 | 7 |
| 圧入(50＜Nmax≦600) | 16 | － | | | | | | |
| 引　抜　き | 0.2<br>(注)2 | － | | | | | | |

（注）　（略）

4　単価表

（1）～（3）　（略）

（4）　継鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表（Nmax≦25）

| 名　　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 10/NorN’×1 | 表 3.3<br>表 3.13、表 3.15 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 10/NorN’×1 | 〃 |
| とび工 | | 〃 | 10/NorN’×2 | 〃 |
| 溶接工 | | 〃 | 10/NorN’×2 | 〃 |
| 継施工費 | | 箇所 | 10×X | |
| 油圧式杭圧入引抜機運転 | | 日 | 10/NorN’ | 表 3.1<br>表 3.13、表 3.15<br>機械損料 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第２次基準値)25ｔ吊 | 日 | 10/NorN’ | 表 3.2(注)2<br>表 3.13、表 3.15<br>機械損料 |
| クレーン付台船運転 | クローラクレーン 35～40ｔ吊<br>台船 300ｔ積 | 〃 | 10/NorN’ | 表 3.2(注)3<br>表 3.13、表 3.15<br>機械損料 |
| 引船運転 | 鋼製 D100PS 型 4.9GT | 〃 | 10/NorN’ | 表 3.2(注)3<br>表 3.13、表 3.15<br>機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 3.17 |
| 計 | | | | |

（注）　1．N：日当たり施工枚数（枚／日）

N’：日当たり継施工枚数（枚／日）

X：1枚当たり継施工箇所数（箇所／枚）

2．・3．　（略）

4　単価表

（1）～（3）　（略）

（4）　継鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表（Nmax≦25）

| 名　　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 10/N×1 | 表 3.3<br>表 3.13、表 3.15 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 10/N×1 | 〃 |
| とび工 | | 〃 | 10/×2 | 〃 |
| 溶接工 | | 〃 | 10/N×2 | 〃 |
| 継施工費 | | 箇所 | 10×X | |
| 油圧式杭圧入引抜機運転 | | 日 | 10/N | 表 3.1<br>表 3.13、表 3.15<br>機械損料 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第２次基準値)25ｔ吊 | 日 | 10/N | 表 3.2(注)2<br>表 3.13、表 3.15<br>機械損料 |
| クレーン付台船運転 | クローラクレーン 35～40ｔ吊<br>台船 300ｔ積 | 〃 | 10/ | 表 3.2(注)3<br>表 3.13、表 3.15<br>機械損料 |
| 引船運転 | 鋼製 D100PS 型 4.9GT | 〃 | 10/N | 表 3.2(注)3<br>表 3.13、表 3.15<br>機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 3.17 |
| 計 | | | | |

（注）　1．N：日当たり施工枚数（枚／日）

X：1枚当たり継施工箇所数（箇所／枚）

2．・3．　（略）

（5）　継鋼矢板圧入10枚当たり単価表（Nmax≦50）

| 名　　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 10/NorN’×1 | 表3.3<br>表3.14、表3.15 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 10/NorN’×1 | 〃 |
| とび工 | | 〃 | 10/NorN’×2 | 〃 |
| 溶接工 | | 〃 | 10/NorN’×2 | 〃 |
| 継施工費 | | 箇所 | 10×X | |
| 油圧式杭圧入引抜機運転 | | 日 | 10/NorN’ | 表3.1<br>表3.14、表3.15<br>機械損料 |
| 杭打ち用ウォータジェット運転 | ｴﾝｼﾞﾝ式・排出ガス対策型(第1次基準値)<br>圧力14.7MPa<br>吐出量325ℓ/min | 〃 | 10/NorN’ | 表3.2<br>表3.14、表3.15<br>機械損料 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25ｔ吊 | 〃 | 10/NorN’ | 表3.2(注)3<br>表3.14、表3.15<br>機械損料 |
| クレーン付台船運転 | クローラクレーン35～40ｔ吊<br>台船300ｔ積 | 〃 | 10/NorN’ | 表3.2(注)4<br>表3.14、表3.15<br>機械損料 |
| 引船運転 | 鋼製D100PS型4.9GT | 〃 | 10/NorN’ | 表3.2(注)4<br>表3.14、表3.15<br>機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表3.17 |
| 計 | | | | |

（注）１．　（略）
２．Ｎ：日当たり施工枚数（枚／日）
Ｎ’：日当たり継施工枚数（枚／日）
Ｘ：１枚当たり継施工箇所数（箇所／枚）
３．・４．　（略）

（６）・（７）　（略）

（5）　継鋼矢板圧入10枚当たり単価表（Nmax≦50）

| 名　　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 10/N×1 | 表3.3<br>表3.14、表3.15 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 10/N×1 | 〃 |
| とび工 | | 〃 | 10/N×2 | 〃 |
| 溶接工 | | 〃 | 10/N×2 | 〃 |
| 継施工費 | | 箇所 | 10×X | |
| 油圧式杭圧入引抜機運転 | | 日 | 10/N | 表3.1<br>表3.14、表3.15<br>機械損料 |
| 杭打ち用ウォータジェット運転 | ｴﾝｼﾞﾝ式・排出ガス対策型(第1次基準値)<br>圧力14.7MPa<br>吐出量325ℓ/min | 〃 | 10/N | 表3.2<br>表3.14、表3.15<br>機械損料 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25ｔ吊 | 〃 | 10/N | 表3.2(注)3<br>表3.14、表3.15<br>機械損料 |
| クレーン付台船運転 | クローラクレーン35～40ｔ吊<br>台船300ｔ積 | 〃 | 10/N | 表3.2(注)4<br>表3.14、表3.15<br>機械損料 |
| 引船運転 | 鋼製D100PS型4.9GT | 〃 | 10/N | 表3.2(注)4<br>表3.14、表3.15<br>機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表3.17 |
| 計 | | | | |

（注）　１．　（略）
２．Ｎ：日当たり施工枚数（枚／日）

Ｘ：１枚当たり継施工箇所数（箇所／枚）
３．・４．　（略）

（６）・（７）　（略）

（８）　機械運転単価表

| 機械名 | 規格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|
| 油圧式<br>杭圧入引抜機 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第2次基準値)<br>圧入力 1,000kN<br>引抜力 1,100kN | 機－24 | 燃料消費量→202<br>機械損料数量→1.45 |
| 油圧式<br>杭圧入引抜機 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第1次基準値)広幅鋼矢板用<br>圧入力 981～1,471kN<br>引抜力 1,079～1,569kN | 機－24 | 燃料消費量→132<br>機械損料数量→1.45 |
| 油圧式<br>杭圧入引抜機 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第2次基準値)<br>ハット形鋼矢板 900 ㎜用<br>圧入力 1,000kN<br>引抜力 1,100kN | 機－24 | 燃料消費量→202<br>機械損料数量→1.45 |
| 油圧式杭圧入引抜機<br>(鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用) | エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型(第3次基準値)普通鋼矢板用<br>圧入力 800kN<br>引抜力 900kN | 機－24 | 燃料消費量→208<br>機械損料数量→1.45 |
| 油圧式<br>杭圧入引抜機<br>(鋼矢板$V_L$・$VI_L$・Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型用) | エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型(第2次基準値)広幅鋼矢板用<br>圧入力 800kN<br>引抜力 900kN | 機－24 | 燃料消費量→202<br>機械損料数量→1.45 |
| 杭打ち用ウォータジェット | エンジン式・排出ガス対策型(第1次基準値)<br>ポンプ圧力 14.7MPa<br>吐出量 325ℓ/min | 機－24 | 燃料消費量→120<br>機械損料数量→1.45 |
| ラフテレーンクレーン | 油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第2次基準値)25ｔ吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→107<br>機械損料数量→1.45 |
| ラフテレーンクレーン | 油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)50～51ｔ吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→139<br>機械損料数量→1.45 |
| クレーン付台船 | (クローラクレーン)<br>35～40ｔ吊<br>(台船)<br>300ｔ積 | 機－11 | 運転1日当たり単価表<br>船員名称→高級船員<br>運転労務数量→1.00<br>(クローラクレーン)<br>燃料消費量→45<br>機械損料数量→1.45<br>機械損料単位→供用日(台船)<br>機械損料数量→1.45 |
| 引船 | 鋼製 D100PS 型 4.9GT | 機－11 | 運転1日当たり単価表<br>船員名称→高級船員<br>運転労務数量→1.00<br>主燃料→重油<br>燃料消費量→57<br>機械損料数量→1.21<br>機械損料単位→供用日 |

（８）　機械運転単価表

| 機械名 | 規格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|
| 油圧式<br>杭圧入引抜機 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第1次基準値)<br>圧入力 980.7～1471.0kN(100～150ｔ)<br>引抜力 1078.7～1569.1kN(110～160ｔ) | 機－24 | 燃料消費量→132<br>機械損料数量→1.45 |
| 油圧式<br>杭圧入引抜機 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第1次基準値)広幅鋼矢板用<br>圧入力 980.7～1471.0kN(100～150ｔ)<br>引抜力 1078.7～1569.1kN(110～160ｔ) | 機－24 | 燃料消費量→132<br>機械損料数量→1.45 |
| 油圧式<br>杭圧入引抜機 | エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第2次基準値)<br>ハット形鋼矢板 900 ㎜用<br>圧入力 1000kN<br>引抜力 1100kN | 機－24 | 燃料消費量→202<br>機械損料数量→1.45 |
| (鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用) | エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型(第2次基準値)普通鋼矢板用<br>圧入力 800kN<br>引抜力 900kN | 機－24 | 燃料消費量→202<br>機械損料数量→1.45 |
| 油圧式<br>杭圧入引抜機<br>(鋼矢板$V_L$・$VI_L$・Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型用) | エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型(第2次基準値)広幅鋼矢板用<br>圧入力 800kN<br>引抜力 900kN | 機－24 | 燃料消費量→202<br>機械損料数量→1.45 |
| 杭打ち用ウォータジェット | エンジン式・排出ガス対策型(第1次基準値)<br>ポンプ圧力 14.7MPa<br>吐出量 325ℓ/min | 機－24 | 燃料消費量→120<br>機械損料数量→1.45 |
| ラフテレーンクレーン | 油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第2次基準値)25ｔ吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→107<br>機械損料数量→1.45 |
| ラフテレーンクレーン | 油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)50～51ｔ吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量→139<br>機械損料数量→1.45 |
| クレーン付台船 | (クローラクレーン)<br>35～40ｔ吊<br>(台船)<br>300ｔ積 | 機－11 | 運転1日当たり単価表<br>船員名称→高級船員<br>運転労務数量→1.00<br>(クローラクレーン)<br>燃料消費量→45<br>機械損料数量→1.45<br>機械損料単位→供用日(台船)<br>機械損料数量→1.45 |
| 引船 | 鋼製 D100PS 型 4.9GT | 機－11 | 運転1日当たり単価表<br>船員名称→高級船員<br>運転労務数量→1.00<br>主燃料→重油<br>燃料消費量→57<br>機械損料数量→1.21<br>機械損料単位→供用日 |

## ８－11－４　プレボーリング

１　適用範囲

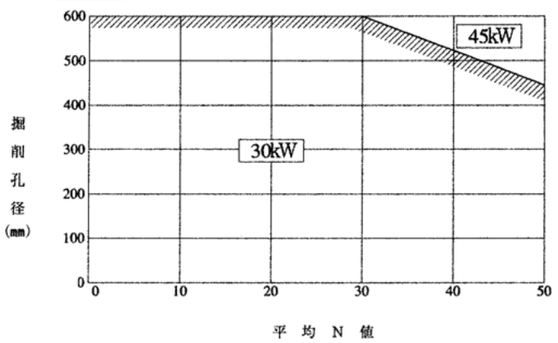
本資料は、プレボーリング工法によるH形鋼の施工（打込み）に適用する。

２　機種の選定

（削る）

（１）　アースオーガ（プレボーリング用）の規格

図２．１　アースオーガ規格選定図




## ８－11－４　ディーゼルハンマによる打込み

１　適用範囲

本資料は、ディーゼルハンマ及びプレボーリング（陸上施工）工法によるH形鋼の施工（打込み）に適用する。

２　機種の選定

（１）　ディーゼルハンマの規格

①　機械の種類

施工機械は、土質、打込み長さによる施工性及び騒音、振動等を考慮し、現場条件に適した機種を選定する。

②　機械の規格

機械の規格は、H形鋼のサイズ、打込み長さ、土質などにより異なるが、一般的には、次表を標準とする。

図２．１　ディーゼルハンマ規格選定図

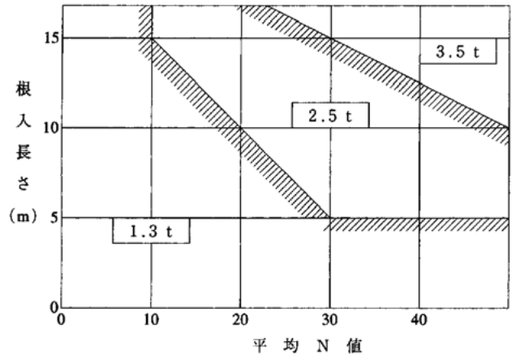



表２．１　クローラ式杭打機標準機種

| ディーゼルハンマ規格 | 杭　打　機 |
|---|---|
| ラム質量1.3ｔ | ディーゼルハンマ・ブーム式 |
| 〃　2.5ｔ | 〃 |
| 〃　3.5ｔ | ディーゼルハンマ直結三点支持式 |

（２）　アースオーガ（プレボーリング用）の規格

図２．２　アースオーガ規格選定図

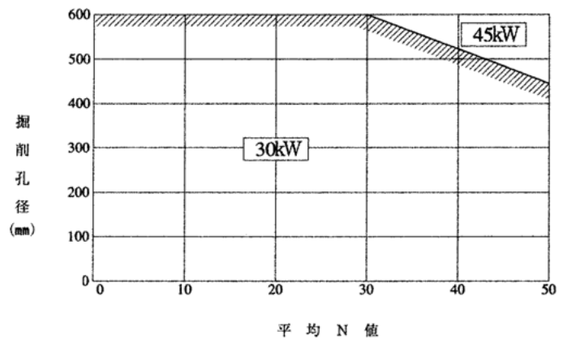


表２．１　クローラ式杭打機標準機種

| アースオーガ規格 | 杭 打 機 |
|---|---|
| 30kW | ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式 |
| 45kW | 〃 |

（注）　（略）

①　アースオーガ径
H形鋼サイズとアースオーガ径の関係は、次表を標準とする。

表２．２　H形鋼サイズとアースオーガ径

| H形鋼サイズ | H200 | H 250 | H300 | H350 |
|---|---|---|---|---|
| アースオーガ径 | φ350 ㎜ | φ400 ㎜ | φ450 ㎜ | φ500 ㎜ |

（２）　その他の機種
①　（略）
②　バックホウ
バックホウは、掘削土の処理作業（穴埋作業及び簡単な整正を含む。）として、標準型・排出ガス対策型（第１次基準値）・クローラ型山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥）を標準とする。

３　編成人員及び運転時間
（１）　編成人員
H形鋼施工の１班編成は、次表を標準とする。
ただし、杭打機等の運転労務は「森林整備保全事業建設機械経費積算要領（平成 14 年４月１日付け 11 林野計第 134 号林野庁長官通知）　第７（運転経費の積算）　三」により別途計上する。

表３．１　H形鋼施工編成人員（人）

| 工 種 ＼ 職 種 | | 世 話 役 | と び 工 | 山林砂防工（普通作業員） |
|---|---|---|---|---|
| 打込み | （削る） | （削る） | （削る） | （削る） |
| | プレボーリング | 1 | 2 | 1 |

（２）　運転時間
①　（略）
②　補助クレーンは、単独機械とし、運転時間は打込み施工時間の 60％とする。
③　（略）

４　施工歩掛
H形鋼１本当たりの打込施工時間は次式による。
（略）

表２．２　クローラ式杭打機標準機種

| アースオーガ規格 | 杭 打 機 |
|---|---|
| 30kW | ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式 |
| 45kW | 〃 |

（注）　（略）

①　アースオーガ径
H形鋼サイズとアースオーガ径の関係は、次表を標準とする。

表２．３　H形鋼サイズとアースオーガ径

| H形鋼サイズ | H200 | H 250 | H300 | H350 |
|---|---|---|---|---|
| アースオーガ径 | φ350 ㎜ | φ400 ㎜ | φ450 ㎜ | φ500 ㎜ |

（３）　その他の機種
①　（略）
②　バックホウ（プレボーリング工法のみ適用）
バックホウは、掘削土の処理作業（穴埋作業及び簡単な整正を含む。）として、排出ガス対策型（第１次基準値）・クローラ型山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥）を標準とする。

３　編成人員及び運転時間
（１）　編成人員
H形鋼施工の１班編成は、次表を標準とする。
ただし、杭打機等の運転労務は「建設機械運転労務等」により別途計上する。

表３．１　H形鋼施工編成人員（人）

| 工 種 ＼ 職 種 | | 世 話 役 | と び 工 | 山林砂防工（普通作業員） |
|---|---|---|---|---|
| 打込み | ディーゼルハンマ | 1 | 2 | 1 |
| | プレボーリング | 1 | 2 | 1 |

（２）　運転時間
①　（略）
②　補助クレーンは、単独機械とし、運転時間は打込み又は引抜施工時間の 60％とする。
③　（略）

４　施工歩掛
（略）

（１）　H形鋼１本当たり準備時間（Ｔｓ）

準備時間は、足場づくり、杭打機の移動、H鋼の吊込み、芯出し、機械の給油脂等を含む時間であり、次表とする。

表４．１　H形鋼１本当たり準備時間（min／本）

| 工 種 | | 時間 |
|---|---|---|
| 打込み | （削る） | （削る） |
| | プレボーリング | 12 |

（注）　（略）

（２）　H形鋼１本当たり打込み時間（Ｔｂ）

（削る）

（１）　H形鋼１本当たり準備時間（Ｔｓ）

準備時間は、足場づくり、杭打機の移動、H鋼の吊込み、芯出し、機械の給油脂等を含む時間であり、次表とする。

表４．１　H形鋼１本当たり準備時間（min／本）

| 工 種 | | 時間 |
|---|---|---|
| 打込み | ディーゼルハンマ | 10 |
| | プレボーリング | 12 |

（注）　（略）

（２）　H形鋼１本当たり打込み時間（Ｔｂ）

①　ディーゼルハンマ

$Tb = \gamma \times \ell \times K$（min／本）

Ｔｂ：H形鋼１本当たり打込時間（min／本）

$\gamma$：打込みの単位作業時間（min／m）

$\ell$：H形鋼の根入長さ（m）

Ｋ：ハンマ係数

表４．２　ディーゼルハンマによる打込みの単位作業時間（$\gamma$）（min／m）

| 砂質土・礫質土（$\gamma_1$） | 粘性土（$\gamma_2$） |
|---|---|
| $0.03N_1+0.4$ | $0.05N_2+0.4$ |

(注)１．$N_1$、$N_2$：各地質ごとの根入長さに対する加重平均N値

２．$\gamma$の算出については、$\gamma_1$・$\gamma_2$を各々算出し、次式により加重平均する。

$$\gamma = \frac{\gamma_1 \times \ell_1 + \gamma_2 \times \ell_2}{\ell_1 + \ell_2}$$

$\gamma$：施工土質に対する打込単位作業時間（min／m）

$\gamma_1$：砂質土、礫質土に対する打込単位作業時間（min／m）

$\gamma_2$：粘性土に対する打込単位作業時間（min／m）

$\ell_1$：$\gamma_1$に対する根入長（m）

$\ell_2$：$\gamma_2$に対する根入長（m）

図４．１　施工状況（ディーゼルハンマ）

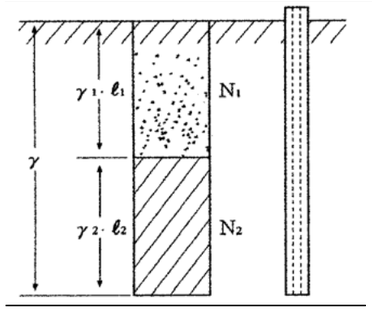



表４．３　H形鋼のハンマ係数（K）

| 工 種 ＼ H形鋼規格 | | H200 | H250 | H300 | H350 | H400 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 打込み | ディーゼルハンマ | 0.90 | 0.95 | 1.00 | 1.05 | ― |

① プレボーリング
（略）

図４．１　施工状況（プレボーリング）
（略）

表４．２　掘削・打止単位作業時間（γo、γ）
（略）

表４．３　H形鋼のハンマ係数（Ｋｏ、Ｋ）
（略）

（３）　作業係数（Ｆ）
現場作業条件による作業係数（Ｆ）は、表４.４の基準作業係数（Ｆｏ）に表４.５の作業条件による補正係数を加え算出する。

$F = F_o + (f_1 + f_2 + f_3)$

Ｆ：作業係数
Ｆｏ：基準作業係数
$f_1$～$f_3$：作業条件による補正係数

① 基準作業係数
機種による係数は、次表とする。

表４．４　基準作業係数

| 工　種 | | Ｆｏ |
|---|---|---|
| 打込み | （削る） | （削る） |
| | プ レ ボ ー リ ン グ | 0.80 |

② 作業条件による補正係数
作業条件による係数は、次表を標準とする。

表４．５　作業条件による補正係数
（略）

（４）　諸雑費
（略）

表４．６　諸雑費率（%）

| | |
|---|---|
| 諸雑費率 | 11(4) |

② プレボーリング
（略）

図４．２　施工状況（プレボーリング）
（略）

表４．４　掘削・打止単位作業時間（γo、γ）
（略）

表４．５　H形鋼のハンマ係数（Ｋｏ、Ｋ）
（略）

（３）　作業係数（Ｆ）
現場作業条件による作業係数（Ｆ）は、表４.６の基準作業係数（Ｆｏ）に表４.７の作業条件による補正係数を加え算出する。

$F = F_o + (f_1 + f_2 + f_3)$

Ｆ：作業係数
Ｆｏ：基準作業係数
$f_1$～$f_3$：作業条件による補正係数

① 基準作業係数
機種による係数は、次表とする。

表４．４　基準作業係数

| 工　種 | | Ｆｏ |
|---|---|---|
| 打込み | ディーゼルハンマ | 0.80 |
| | プ レ ボ ー リ ン グ | 0.80 |

② 作業条件による補正係数
作業条件による係数は、次表を標準とする。

表４．７　作業条件による補正係数
（略）

（４）　諸雑費（プレボーリング工法）
（略）

表４．８　諸雑費率（%）

| | |
|---|---|
| 諸雑費率 | 11(4) |

（削る）

５　水上施工

（１）　台船及び引船

船打の場合の台船、引船は次表とする。

表５．１　台船及び引船

| 杭打機台船 | 矢板積台船 | 引船 |
|---|---|---|
| 300ｔ積×1台 | 200ｔ積×1台 | 鋼製<br>D100PS 型　4.9GT×1台 |

(注)１．杭打機台船とは台船にクローラクレーンと杭打機を搭載する。

２．潜水士船を必要に応じ計上することが出来る。

３．杭打機台船にはウインチ（複胴開放式１.５ｔ）２台を計上する。

４．海上施工の場合は規格を別途考慮する。

（２）　１船団に対する編成人員

船打の１船団に対する船舶作業の配置人員は、次表を標準とする。

表５．２　船舶作業の編成人員（人）

| 職種 | 杭打機台船 | 矢板積台船 | 引船 |
|---|---|---|---|
| 高級船員 | 1 | | 1 |

(注)１．船員は休日以外の休止日については計上する。

２．潜水士は必要に応じて計上する。

３．海上工事で、これにより難い場合は別途考慮する。

４．上表は打込み、作業時の配置人員であり、搬入、搬出等の回航は共通仮設費の運搬費として計上する。

（３）　引船の運転時間

引船は作業日当たり平均３時間運転とし、作業期間中拘束することを標準とする。

（４）　施工歩掛

水上施工におけるＨ形鋼１本当たり打込施工時間は次式による。

$$Tc = \frac{Ts + Tb}{F} + Tw \quad (min/本)$$

Ｔｃ：Ｈ形鋼１本当たり施工時間（min／本）

Ｔｓ：　〃　　準備時間（min／本）

Ｔｂ：　〃　　打込時間（min／本）

Ｆ　：作業係数

Ｔｗ：水上施工における準備時間（min／本）

(注) Ｔｓ・Ｔｂ・Ｆの値は、「４(１)、４(２)、４(３)」（ディーゼルハンマ）に準ずる。

①　水上施工における準備時間（Ｔｗ）

水上施工における準備時間（Ｔｗ）

Ｔｗ＝Ｔ1＋Ｔ2＋Ｔ3……（min／本）

Ｔ1：Ｈ形鋼１本当たり導枠取付取外時間（min／本）

（ただし、引抜きの場合は計上しない。）

Ｔ2：Ｈ形鋼１本当たり台船小移動時間（min／本）

Ｔ3：Ｈ形鋼１本当たり台船大移動時間（min／本）

(注)１．台船の小移動とはウインチによるワイヤー巻込み及び引出しにより導枠１組分移動することをいう。

２．台船の大移動とは引船等により移動し、また、アンカーの取直しを行う移動である。

5　単価表
（削る）

表５．３　H形鋼１本当たり標準準備時間（min／本）

| H形鋼１本当たり準備時間(min) | | 備考 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | １回当たり時間 | 導枠取付取外し、台船移動回数 | １回当たり本数 |
| $T_1$ | $90／N_1$ | 1.5時間 | 導枠転用ごとに１回 | $N_1＝8／P＋1$ |
| $T_2$ | $48／N_2$ | 0.8時間 | 導枠転用３回につき小移動２回 | $N_2＝N_1×3／2$ |
| $T_3$ | $120／N_3$ | 2.0時間 | 導枠転用３回につき大移動１回 | $N_3＝N_1×3$ |

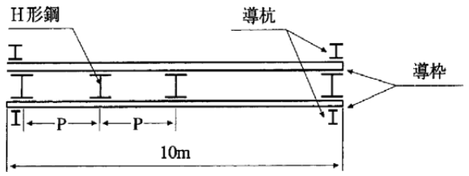
$N_1$～$N_3$：１回当たり本数
Ｐ：H形鋼の施工ピッチ（m）
(注)１．H形鋼の法線は方形の場合の標準である。
２．施工規模、法線形状により、これにより難い場合は所要回数及び導枠１回当たりH形鋼本数を増減することが出来る。

（5）　導枠
導枠は、次表を標準とする。

表５．４　標準導枠

| 材料 | 規格 | 長さ×本数 | １組当たり施工本数 |
|---|---|---|---|
| H形鋼 | 200×200 | 10m×2本 | ８／Ｐ＋１ |

Ｐ：H形鋼の施工ピッチ（m）




(注)１．施工規模、法線形状、H形鋼規格、現場条件により、これにより難い場合は長さ及び１組当たりH形鋼本数を増減することが出来る。
２．導杭はH形鋼（200×200）を標準とする。
３．１工事所要数量は、導杭４本、導枠２本として、賃料計上する。なお、導枠の賃料算定は別途考慮する。

6　単価表
（1）　ディーゼルハンマによるH形鋼打込み 10 本当たり単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 10×Tc/60×1/T×1 | 表 3.1 |
| とび工 | | 〃 | 10×Tc/60×1/T×2 | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 10×Tc/60×1/T×1 | 〃 |
| クローラ式杭打機運転 | | h | 10×Tc/60 | 本体+ハンマ機械損料 |
| トラッククレーン運転 | 油圧伸縮ジブ型16ｔ吊 | 〃 | 10×Tc/60×0.6 | 必要に応じて計上機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

(注)　Tc：H形鋼１本当たり施工時間（min）
Ｔ：杭打機の運転日当たり運転時間（h）

（１）　プレボーリング工法によるＨ形鋼打込み 10 本当たり単価表
（略）

（削る）

（削る）

（２）　プレボーリング工法によるＨ形鋼打込み 10 本当たり単価表
（略）

（３）　ディーゼルハンマによるＨ形鋼打込み又は引抜き 10 本当たり単価表
（水上施工の場合）

| 名　　称 | 規　格 | 単位 | 数　　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 10×Tc/60×1/T×1 | 表 3.1 |
| と　び　工 | | 〃 | 10×Tc/60×1/T×2 | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 10×Tc/60×1/T×1 | 〃 |
| 高級船員 | | 〃 | 10×Tc/60×1/T×2×１/作業日数率 | 表 5.2 |
| クローラ式杭打機運転 | | h | 10×Tc/60 | ディーゼルハンマ＋本体機械損料 |
| 引船運転 | 鋼製 D100PS 型 4.9GT | 〃 | 10×Tc/60×１/Ｔ×３ | 機械損料 |
| 台船運転 | 200ｔ積 | 日 | 10×Tc/60×１/Ｔ | 機械損料 |
| 〃 | 300ｔ積 | 〃 | 〃 | 機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

(注)１．Ｔ＝杭打機の運転日当たり運転時間（ｈ）
　　２．作業日数率＝0.9

（４）　台船（鋼製 300ｔ積）運転日当たり単価表

| 名　　称 | 規　格 | 単位 | 数　　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 台船損料 | 300ｔ積 | 供用日 | 1.1 | 機械損料 |
| ウインチ損料 | 開放型（電動）・複胴開放式 巻上能力 1.5t×42m/min | 日 | 2 | 機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（2）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 摘要単価表 | 指　定　事　項 |
|---|---|---|---|
| ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式杭打機 | ラム質量1.3ｔ<br>オーガ出力<br>30kW<br>45kW | 機－4 | 電力料→0.5Eo<br>主燃料→qp+0.5qh |
| （削る） | （削る） | （削る） | （削る） |
| トラッククレーン | 油圧伸縮ジブ型16ｔ吊 | 機－1 | |
| バックホウ | 排出ガス対策型<br>（第1次基準値）<br>クローラ型山積<br>0.45㎥<br>（平積0.35㎥） | 機－1 | |
| （削る） | （削る） | （削る） | （削る） |
| （削る） | （削る） | （削る） | （削る） |

（注）　qp：引抜機の時間当たりの燃料消費量（ℓ）
qh：ディーゼルハンマの時間当たりの燃料消費量（ℓ）
Eo：アースオーガの時間当たり電力消費量（kWh）

８－12　（略）

（5）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 摘要単価表 | 指　定　事　項 |
|---|---|---|---|
| ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式杭打機 | ラム質量1.3ｔ<br>オーガ出力<br>30kW<br>45kW | 機－4 | 電力料→0.5Eo<br>主燃料→qp+0.5qh |
| クローラ式杭打機 | ラム質量1.3ｔ<br>2.5ｔ<br>3.5ｔ | 機－1 | ラム質量1.3ｔ→ディーゼルハンマブーム式<br>〃　2.5ｔ→　〃<br>〃　3.5ｔ→ディーゼルハンマ直結三点支持式<br>1時間当たり燃料消費量(Qf)<br>Qf=qp+(Tb/Tc)・qh(ℓ/h)<br>qp:クローラ杭打機の時間当たり燃料消費量(ℓ/h)<br>qh:ディーゼルパイルハンマの燃料消費量(ℓ/h) |
| トラッククレーン | 油圧伸縮ジブ型16ｔ吊 | 機－1 | |
| バックホウ | 排出ガス対策型<br>（第1次基準値）<br>クローラ型山積<br>0.45㎥<br>（平積0.35㎥） | 機－1 | |
| 引船 | 鋼製D 100PS型<br>4.9GT | 機－13 | 主燃料→A重油<br>1日拘束とし、供用日損料は補正する。<br>補正損料＝(9欄+11欄/ｔ)<br>ｔ=3×作業日数率 |
| 台船 | 200ｔ積 | 機－25 | 電力料の積算はしない<br>機械損料数量→1.1 |

（注）　1．qp：引抜機の時間当たりの燃料消費量（ℓ）
qh：ディーゼルハンマの時間当たりの燃料消費量（ℓ）
Eo：アースオーガの時間当たり電力消費量（kWh）
Tc：杭1本当たり施工時間（min）
Tb：杭1本当たり打込時間（min）
2．作業日数率は0.9とする。

８－12　（略）

## ８－13　鋼矢板（Ｈ形鋼）工（クレーン引抜工）

１・２　（略）

３　施工歩掛

（１）　機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表３．１ 機種の選定

| 機械名 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 杭　抜　き　機 | (杭抜機)<br>ワイヤ式<br>最大引抜力 2,940kN(300ｔ)<br>(クローラクレーン)<br>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型（第１次基準値）<br>30～35ｔ吊 | 台 | 1 | ワイヤ式杭抜き機<br>＋<br>クローラクレーン<br>(ベースマシン) |
| ラフテレーンクレーン | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第１次基準値）20ｔ吊 | 台 | 1 | 合引き及び吊出し用 |

（注）　（略）

（２）・（３）　（略）

４　単価表

（１）　クレーンによる鋼矢板及びH形鋼引抜 10 枚（本）当たり単価表

| 名　　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 10/N×1 | 表 3.2 表 3.3 |
| と　び　工 | | 〃 | 10/N×2 | 〃 |
| 山林砂防工<br>(普通作業員) | | 〃 | 10/N×1 | 〃 |
| 杭抜機運転 | (杭抜機)<br>ワイヤ式<br>最大引抜力 2,940kN<br>(300ｔ)<br>(クローラクレーン)<br>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型（第１次基準値）<br>30～35ｔ吊 | 日 | 10/N | 表 3.1<br>機械損料 |
| ラフテレーンクレーン賃料 | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第１次基準値）20ｔ吊 | 〃 | 10/N | 表 3.1<br>機械賃料 |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

８－13　鋼矢板（Ｈ形鋼）工（クレーン引抜工）

１・２　（略）

３　施工歩掛

（１）　機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表３．１ 機種の選定

| 機械名 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 杭　抜　き　機 | (杭抜機)<br>ワイヤ式<br>最大引抜力 2,940kN(300ｔ)<br>(クローラクレーン)<br>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型<br>30～35ｔ吊 | 台 | 1 | ワイヤ式杭抜き機<br>＋<br>クローラクレーン<br>(ベースマシン) |
| ラフテレーンクレーン | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第１次基準値）20ｔ吊 | 台 | 1 | 合引き及び吊出し用 |

（注）　（略）

（２）・（３）　（略）

４　単価表

（１）　クレーンによる鋼矢板及びH形鋼引抜 10 枚（本）当たり単価表

| 名　　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 10/N×1 | 表 3.2 表 3.3 |
| と　び　工 | | 〃 | 10/N×2 | 〃 |
| 山林砂防工<br>(普通作業員) | | 〃 | 10/N×1 | 〃 |
| 杭抜機運転 | (杭抜機)<br>ワイヤ式<br>最大引抜力 2,940kN<br>(300ｔ)<br>(クローラクレーン)<br>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型<br>30～35ｔ吊 | 日 | 10/N | 表 3.1<br>機械損料 |
| ラフテレーンクレーン賃料 | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第１次基準値）20ｔ吊 | 〃 | 10/N | 表 3.1<br>機械賃料 |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（２）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 指　定　事　項 |
|---|---|---|---|
| 杭 抜 機 | ワイヤ式<br>最大引抜力<br>2,940kN<br>(300ｔ) | 機－20 | 運転労務数量→1.0<br>燃料消費量→53<br>機械損料 1→杭抜き機<br>損料数量→1.58 |
| | | | 機械損料 2 →クローラクレーン<br>（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型（第１次基準値）30～35ｔ吊）<br>損料数量→1.58 |

８－14　仮設材設置撤去工

１～３　（略）

４　施工歩掛

（１）　（略）

（削る）

５～７　（略）

（２）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 指　定　事　項 |
|---|---|---|---|
| 杭 抜 機 | ワイヤ式<br>最大引抜力<br>2,940kN<br>(300ｔ) | 機－20 | 運転労務数量→1.0<br>燃料消費量→53<br>機械損料 1→杭抜き機<br>損料数量→1.58 |
| | | | 機械損料 2 →クローラクレーン<br>（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 30～35ｔ吊）<br>損料数量→1.58 |

８－14　仮設材設置撤去工

１～３　（略）

４　施工歩掛

（１）　（略）

（２）　日当たり施工量

日当たり施工量は次表を標準とする。

日当たり施工量

| 工種名 | 日当たり施工量 | | 摘要 |
|---|---|---|---|
| | 設置 | 撤去 | |
| 切梁・腹起し | 6.1t／日<br>(10.1t／日) | 10.2t／日<br>(18.3t／日) | |
| タイロッド・腹起し | 2.0t／日 | 4.6t／日 | |
| 横矢板 | 24.8m$^2$／日 | 49.3m$^2$／日 | |
| 覆工板・覆工板受桁 | 34m$^2$／日 | 56m$^2$／日 | 設置面積 700m$^2$以下 |
| 覆工板 | 119.3m$^2$／日 | 209.2m$^2$／日 | 設置面積 700m$^2$を超える |
| 覆工板受桁 | 6.2t／日 | 10.1t／日 | 〃 |

（注）　１．覆工板受桁用桁受の設置・撤去は、覆工板受桁に準ずる。

２．切梁・腹起しで火打ブロックを使用する場合は、（　）内の値とする。

５～７　（略）

８－15　仮橋・仮桟橋工

１～４　（略）

４　（略）

（削る）

８－15　仮橋・仮桟橋工

１～４　（略）

４　（略）

５　日当たり施工量

日当たり施工量は次表を標準とする。

日当たり施工量

| 行程 | 日当たり施工量 | | 摘要 |
|---|---|---|---|
| | 設置 | 撤去 | |
| 上部 | 13t／日 | 17t／日 | 主桁、横桁の質量 |
| 覆工板 | 109m$^2$／日 | 185m$^2$／日 | 覆工板の面積 |
| 高欄（ガードレール型） | 24m／日 | 40m／日 | 高欄の延長 |
| 高欄（単管パイプ型） | 41m／日 | 78m／日 | 〃 |
| 橋脚 | ８t／日 | 10t／日 | 注）２ |
| 杭橋脚 | ７t／日 | 12t／日 | 注）３ |
| 導枠 | 28 本／日（設置・撤去） | | 本：杭橋脚打込<br>１本あたり |

（注）１．覆工板は、路面のすり付作業を含まない。

２．橋脚、枕、ブランケット、つなぎ材等の質量

３．枕、ブランケット、つなぎ材等の質量

5　単価表
（1）～（8）　（略）

（9）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 摘要単価表 | 指　定　事　項 |
|---|---|---|---|
| クローラクレーン | 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型<br>排出ガス対策型<br>（第３次基準値）<br>40-45ｔ吊<br>50-55ｔ吊<br>70ｔ吊<br>80ｔ吊<br>90ｔ吊<br>100ｔ吊<br>120ｔ吊<br>200ｔ吊 | 機－27 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量　40-45ｔ→64<br>50-55ｔ→74<br>70ｔ→106<br>80ｔ→106<br>90ｔ→121<br>100ｔ→121<br>120ｔ→121<br>200ｔ→136<br>機械損料数量→1.31 |
| バイブロハンマ杭打機 | 電動式・普通型<br>60kW<br>90kW | 機－20 | 運転労務数量→1.00<br>機械損料１→バイブロハンマ(単体)電動式・普通型 60kW、90kW<br>機械損料数量→1.31<br>機械損料２→クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型（第３次基準値））○○ｔ吊<br>燃料消費量　40-45ｔ→64<br>50-55ｔ→74<br>70ｔ→106<br>80ｔ→106<br>90ｔ→121<br>100ｔ→121<br>120ｔ→121<br>200ｔ→136<br>機械損料数量→1.31 |
| 杭打ち用ウォータジェット | ポンプ圧力 14.7MPa<br>吐出量 325ℓ/min | 機－24 | 燃料消費量→118<br>機械損料数量→1.31 |

８－16・８－17　（略）

８－18　法面工（仮設用モルタル吹付工）

１　適用範囲
本資料は、もたれ式擁壁等の掘削部の施工で危険防止のために仮モルタルを吹付ける場合に適用する。
なお、吹付厚は３cmを標準とする。

２　（略）

6　単価表
（1）～（8）　（略）

（9）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 摘要単価表 | 指　定　事　項 |
|---|---|---|---|
| クローラクレーン | 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型<br>排出ガス対策型<br>（第３次基準値）<br>40-45ｔ吊<br>50-55ｔ吊<br>70ｔ吊<br>80ｔ吊<br>90ｔ吊<br>100ｔ吊<br>120ｔ吊<br>200ｔ吊 | 機－27 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費量　40-45ｔ→64<br>50-55ｔ→74<br>70ｔ→106<br>80ｔ→106<br>90ｔ→121<br>100ｔ→121<br>120ｔ→121<br>200ｔ→136<br>機械損料数量→1.31 |
| 電動式<br>バイブロハンマ杭打機 | 60kW<br>90kW | 機－20 | 運転労務数量→1.00<br>機械損料１→バイブロハンマ(単体)電動式・普通型 60kW、90kW<br>機械損料数量→1.31<br>機械損料２→クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型（第３次基準値））○○ｔ吊<br>燃料消費量　40-45ｔ→64<br>50-55ｔ→74<br>70ｔ→106<br>80ｔ→106<br>90ｔ→121<br>100ｔ→121<br>120ｔ→121<br>200ｔ→136<br>機械損料数量→1.31 |
| 杭打ち用ウォータジェット | ポンプ圧力 14.7MPa<br>吐出量 325ℓ/min | 機－24 | 燃料消費量→118<br>機械損料数量→1.31 |

８－16・８－17　（略）

８－18　法面工（仮設用モルタル吹付工）

１　適用範囲
本資料は、モタレ擁壁等の掘削部の施工で危険防止のために仮モルタルを吹付ける場合に適用する。
なお、吹付厚は３cmを標準とする。

２　（略）

3　機種の選定
使用する機械の機種・規格は、次表を標準とする。

表３．１ 機種の選定

| 機械名 | 規格 | 台数 | 摘要 |
|---|---|---|---|
| 空気圧縮機 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第２次基準値）吐出量 10.5～11.0 ㎥／min 吐出圧力 0.7MPa | 1 | |
| モルタルコンクリート吹付機（法面用） | 湿式　モータ駆動　能力 0.8～1.2 ㎥／h 所要空気量 10～19 ㎥／min | 1 | |
| ベルトコンベヤ（ポータブル） | モータ駆動 機長７m　ベルト幅 350㎜ | 2 | 材料の投入用 |
| 発動発電機 | ディーゼルエンジン駆動（超低騒音型）排出ガス対策型（第 3 次基準値）定格容量（50/60Hz）37/45kVA | 1 | モルタルコンクリート吹付機、ベルトコンベヤ（ポータブル）、計量器等の動力源 |
| ホイールローダ | 普通・排出ガス対策型（第２次基準値） 山積 0.34 ㎥ | 1 | 骨材投入用 |
| 計量器 | 骨材累加計量・機械式 300kg×１槽・２桿 | 1 | |
| 小型渦巻ポンプ | 呼水・片吸込・モータ駆動型 口径 50 ㎜　全揚程 10m | 1 | 揚水用 必要に応じて計上 |

（注）　（略）

４・５　（略）

（削る）

６　（略）

８－19　濁水処理工

１　適用範囲
本資料は、一般土木工事（ダム・トンネル及び浚渫工事は除く）における濁水処理工に適用する。
（１）濁水処理設備
濁水処理設備は機械処理沈殿方式とし、濁水処理設備能力は 30～60、100m3/h に適用する。なお、濁水処理設備能力 30～60、100m3/h 以外を使用する場合は別途考慮する。
（２）使用薬剤
使用薬剤は、無機凝集剤、高分子凝集剤、炭酸ガスの３種類使用を標準とする。なお、使用数量については、別途計上する。

3　機種の選定
使用する機械の機種・規格は、次表を標準とする。

表３．１ 機種の選定

| 機械名 | 規格 | 台数 | 摘要 |
|---|---|---|---|
| 空気圧縮機 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第２次基準値）吐出量 10.5～11.0 ㎥／min 吐出圧力 0.7MPa | 1 | |
| モルタルコンクリート吹付機（法面用） | 湿式　モータ駆動　能力 0.8～1.2 ㎥／h 所要空気量 10～19 ㎥／min | 1 | |
| ベルトコンベヤ（ポータブル） | モータ駆動 機長７m　ベルト幅 350㎜ | 2 | 材料の投入用 |
| 発動発電機 | ディーゼルエンジン駆動（超低騒音型）排出ガス対策型（第 3 次基準値）定格容量（50/60Hz）37/45kVA | 1 | モルタルコンクリート吹付機、ベルトコンベヤ（ポータブル）、計量器等の動力源 |
| ホイールローダ | 普通・排出ガス対策型（第２次基準値） 山積 0.34 ㎥ | 1 | 骨材投入用 |
| 計量器 | 骨材累加計量・機械式 300kg×１槽・２桿 | 1 | |
| ポンプ | 呼水・片吸込・モータ駆動型 口径 50 ㎜　全揚程 10m | 1 | 揚水用 必要に応じて計上 |

（注）　（略）

４・５　（略）

6　日当たり施工量

| 日当たり施工量 | 145 ㎡／日 |
|---|---|

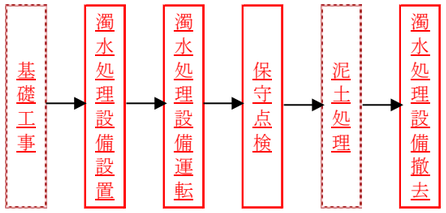
(注)１．目地の設置作業を含む。
２．法面清掃、ラス張工は含まない。

7　（略）

（新設）

２　施工概要

施工フローは次図のとおりとする。




（注）１　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

２　濁水処理設備の運転時間は、運手日当たり８時間を標準とする。

なお、強制排水ポンプが必要な場合は、別途計上する。

３　施工歩掛

（１）濁水処理設備設置・撤去

濁水処理設備設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。

表３．１　濁水処理設備設置・撤去歩掛

（１箇所当たり）

| 名称 | 規格 | 単位 | 30～60m3/h | | 100m3/h | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 設置 | 撤去 | 設置 | 撤去 |
| 土木一般世話役 | | 人 | 3 | 2 | 4 | 3 |
| 電工 | | 〃 | 4 | 1 | 5 | 1 |
| 設備機械工 | | 〃 | 8 | 5 | 9 | 6 |
| 普通作業員 | | 〃 | 5 | 2 | 6 | 4 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第１次基準値）25t 吊 | 日 | 1 | 1 | 2 | 2 |

（注）１　上屋の設置・撤去及び設備の基礎については、上記歩掛に含まない。

２　上記歩掛には、設備の調整に要する費用を含む。

３　ラフテレーンクレーンは、賃料とする。

（２）濁水処理設備運転

濁水処理装置は、損料とする。

（３）濁水処理設備の保守点検

保守点検の歩掛は、次表を標準とする。

表３．２　濁水処理設備保守点検歩掛　　（１回当たり）

| 名称 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|
| 設備機械工 | 人 | 0.1 |
| 普通作業員 | 〃 | 0.3 |

（注）１　濁水処理設備の保守点検は、濁水処理設備運転日に１回実施を標準とする。

２　保守点検は、濁水処理設備の日常の運転にかかわる全ての保守点検を含む。

（４）泥土処理作業

泥土処理作業については、現場条件により別途計上する。

**第９　市場単価**

市場単価方式により積算を行う工種は次のとおりである。
ただし、山林砂防工を適用する箇所には適用しない。
なお、地理的条件により、地元市町村役場（支所等を含む。）から施工現場までの片道に１時間を超える場合は、10%の割増補正を行うことができるものとする。ただし、時間的制約を受ける場合の補正係数が設定されている市場単価において、時間的制約を受ける場合の補正係数を適用する場合は、10%の割増補正を重複して適用しない。
また、施工規模による補正と時間的制約による補正が重複する場合は、施工規模のみによる補正とする。

９－１～９－13　（略）

**第 10　土木工事標準単価**

土木工事標準単価方式により積算を行う工種は次のとおりである。
ただし、山林砂防工を適用する箇所には適用しない。
なお、地理的条件により、地元市町村役場（支所等を含む。）から施工現場までの片道に１時間を超える場合は、10%の割増補正を行うことができるものとする。ただし、土木工事標準単価における時間的制約を受ける（又は、著しく受ける）場合の単価を適用する場合は、10%の割増補正を重複して適用しない。
また、施工規模による補正と時間的制約による補正が重複する場合は、施工規模のみによる補正とする。

10－１～10－4　（略）

**第 11　（略）**

**第９　市場単価**

市場単価方式により積算を行う工種は次のとおりである。
ただし、山林砂防工を適用する箇所には適用しない。
なお、地理的条件により、地元市町村役場（支所等を含む。）から現場までの片道に１時間を超える場合は、10%の割増補正を行うことができるものとする。

９－１～９－13　（略）

**第 10　土木工事標準単価**

土木工事標準単価方式により積算を行う工種は次のとおりである。
ただし、山林砂防工を適用する箇所には適用しない。

10－1～10－4　（略）

**第 11　（略）**

## 第２編　治山

### 第１　山地治山土工

#### １－１　機械土工

１・２　（略）

３　掘削法及び機種の選定（土砂）

（略）

４　施工歩掛

（１）バックホウの日当たり作業量

バックホウによる各作業の日当たり作業量は、次表を標準とする。

表４．１　日当たり作業量

（１日当たり）

| 作業種別 | 制限の有無 | 山地治山工区分 | 工種区分 | 名称 | 規格 | 土質名 | 単位 | 数量 良好 | 数量 普通 | 数量 不良 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地山の掘削・積込 | あり | A | 渓間工 | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積 0.45 ㎥(平積 0.35 ㎥) | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 97 | 84 | 67 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 77 | 67 | 48 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 67 | 58 | 48 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 48 | 42 | 39 |
| | | B | 渓間工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 110 | 96 | 77 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 86 | 75 | 58 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 77 | 67 | 58 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 58 | 50 | 48 |
| | なし | A | 渓間工 | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積 0.8 ㎥(平積 0.6 ㎥) | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 170 | 148 | 120 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 130 | 113 | 84 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 120 | 104 | 84 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 84 | 73 | 67 |
| | | B | 渓間工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 180 | 157 | 130 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 150 | 131 | 100 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 130 | 113 | 100 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 100 | 87 | 84 |


## 第２編　治山

### 第１　山地治山土工

#### １－１　機械土工

１・２　（略）


１－１－３　掘削法及び機種の選定（土砂）

（略）


４　施工歩掛

（１）バックホウの日当たり作業量

バックホウによる各作業の日当たり作業量は、次表を標準とする。

表４．１　日当たり作業量

（１日当たり）


| 作業種別 | 制限の有無 | 山地治山工区分 | 工種区分 | 名称 | 規格 | 土質名 | 単位 | 数量 障害なし | 数量 (新設) | 数量 障害あり |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地山の掘削・積込 | あり | A | 渓間工 | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積 0.45 ㎥(平積 0.35 ㎥) | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 97 | (新設) | 67 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 77 | (新設) | 48 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 67 | (新設) | 48 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 48 | (新設) | 39 |
| | | B | 渓間工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 110 | (新設) | 77 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 86 | (新設) | 58 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 77 | (新設) | 58 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 58 | (新設) | 48 |
| | なし | A | 渓間工 | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積 0.8 ㎥(平積 0.6 ㎥) | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 170 | (新設) | 120 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 130 | (新設) | 84 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 120 | (新設) | 84 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 84 | (新設) | 67 |
| | | B | 渓間工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 180 | (新設) | 130 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 150 | (新設) | 100 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土 | ㎥ | 130 | (新設) | 100 |
| | | | | | | 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)Ａ | ㎥ | 100 | (新設) | 84 |

| 作業種別 | 制限の有無 | 山地治山工区分 | 工種区分 | 名称 | 規格 | 土質名 | 単位 | 数量 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | 良好 | 普通 | 不良 |
| ルーズな状態の積込 | あり | A | 渓間工 | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)山積 0.45 ㎥(平積 0.35 ㎥) | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 110 | 96 | 77 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 86 | 75 | 58 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 67 | 58 | 39 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 77 | 67 | 58 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 58 | 50 | 48 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 39 | 34 | 28 |
| | | B | 渓間工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 120 | 104 | 86 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 97 | 84 | 67 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 77 | 67 | 48 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 86 | 75 | 67 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 67 | 58 | 58 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 48 | 42 | 39 |
| | なし | A | 渓間工 | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)山積 0.8 ㎥(平積 0.6 ㎥) | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 180 | 157 | 130 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 150 | 131 | 100 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 120 | 104 | 67 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 130 | 113 | 100 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 100 | 87 | 84 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 67 | 58 | 50 |
| | | B | 渓間工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 200 | 174 | 150 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 170 | 148 | 120 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 130 | 113 | 84 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 150 | 131 | 120 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 120 | 104 | 100 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 84 | 73 | 67 |

（注）１　制限の内容
制限あり：狭隘で旋回範囲に制限があり、バックホウ山積 0.8m3（平積 0.6m3）における作業が困難な場合
制限なし：バックホウ山積 0.8m3（平積 0.6m3）での作業が可能な場合

２　現場条件の内容
良好：作業現場が広く、掘削深さが最適であり、地山が緩んでいて、かつ作業妨害が少なく連続作業が可能等の良好な現場条件がそろっている場合。
不良：作業現場が狭く、掘削深が最適でなく、地山が固く、かつ連続作業が困難で作業妨害が多い等の不良な現場条件がそろっている場合。
普通：作業現場の広さ、掘削深さ、地山の固さ、作業妨害の影響などの現場条件が中位と考えられる場合。

３．破砕岩とは、中硬岩及び硬岩を破砕したものをいう。

| 作業種別 | 制限の有無 | 山地治山工区分 | 工種区分 | 名称 | 規格 | 土質名 | 単位 | 数量 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | 障害なし | (新設) | 障害あり |
| ルーズな状態の積込 | あり | A | 渓間工 | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)山積 0.45 ㎥(平積 0.35 ㎥) | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 110 | (新設) | 77 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 86 | (新設) | 58 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 67 | (新設) | 39 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 77 | (新設) | 58 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 58 | (新設) | 48 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 39 | (新設) | 28 |
| | | B | 渓間工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 120 | (新設) | 86 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 97 | (新設) | 67 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 77 | (新設) | 48 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 86 | (新設) | 67 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 67 | (新設) | 58 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 48 | (新設) | 39 |
| | なし | A | 渓間工 | バックホウ（クローラ型）運転 | 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)山積 0.8 ㎥(平積 0.6 ㎥) | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 180 | (新設) | 130 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 150 | (新設) | 100 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 120 | (新設) | 67 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 130 | (新設) | 100 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 100 | (新設) | 84 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 67 | (新設) | 50 |
| | | B | 渓間工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 200 | (新設) | 150 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 170 | (新設) | 120 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 130 | (新設) | 84 |
| | | | 山腹工 | | | 砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(Ⅰ)A | ㎥ | 150 | (新設) | 120 |
| | | | | | | 岩塊・玉石 | ㎥ | 120 | (新設) | 100 |
| | | | | | | 破砕岩 | ㎥ | 84 | (新設) | 67 |

（注）１　制限の内容
制限あり：狭隘で旋回範囲に制限がある場合
制限なし：上記以外の場合

２　現場条件の内容
障害なし：作業現場が広く、地盤が緩んでいて、しかも作業妨害が少なく連続作業が可能等の条件がそろっている場合。または、掘削深が最適でも地山が固い場合又は掘削深さが最適でなくても土が緩んでいる場合等、下記の障害ありに該当しない場合。
障害あり：作業現場が狭く、掘削深さが最適でなく又は地山が固く、かつ連続作業が困難で作業妨害が多い等の条件がそろっている場合。床掘作業で土留矢板、切梁・腹起し、基礎杭等があって作業妨害となる場合。

３．破砕岩とは、中硬岩及び硬岩を破砕したものをいう。

（２）片切掘削（人力併用機械掘削）（土砂）
（略）

５　単価表
（略）

１－２～１－４　（略）

**第２　治山ダム工**

２－１～２－５　（略）

**２－６　鋼製ダム工歩掛**
**２－６－１　鋼製バットレス式治山ダム**
（１）適用範囲
本歩掛は、透水型治山ダムのうち、工場製作した鋼製部材を使用し、鋼製バットレス式治山ダムを施工する場合に適用する。

（２）　施工歩掛
鋼製部材組立・据付

（1t 当たり）

| 区分＼高さ | 単位 | 4.5m 以下 | 4.5～6.0m 未満 | 6.0m 以上 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | 人 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |
| 山林砂防工 | 〃 | 3.0 | 2.7 | 2.4 |
| トラッククレーン賃料 | 日 | 0.2 | 0.2 | 0.2 |

備考　（略）

２－６－２　**（参考歩掛）鋼製スリット式治山ダム**
１　適用範囲
本歩掛は、透過型治山ダムのうち、鋼管フレーム構造を用いた鋼製スリット式治山ダム（鋼管フレーム構造を用いた流木捕捉工を除く）を施工する場合に適用し、適用条件は、組立・据付質量 130ｔ以下かつ透過部の幅 20m以下とする。
なお、現場塗装工については、現地で塗装を行う必要がある場合に適用する。

（注）透過部の幅は透過部の丁部幅を標準とし、分割施工を行う場合は施工対象範囲における鋼製部材の外幅とする。

（２）片切掘削（人力併用機械掘削）（土砂）
（略）

５　単価表
（略）

１－２～１－４　（略）

**第２　治山ダム工**

２－１～２－５　（略）

**２－６　鋼製ダム工歩掛**
**２－６－１　バットレス式鋼製ダム**
（１）適用範囲
本歩掛は、鋼製ダムのうち、バットレス式鋼製ダムを施工する場合に適用する。

（２）　施工歩掛

（1t 当たり）

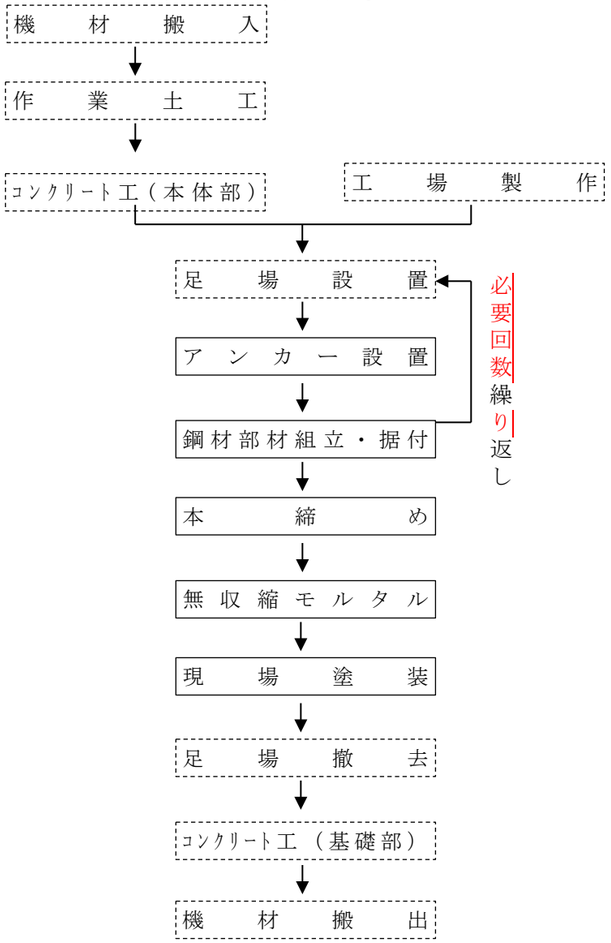
| 区分＼高さ | 単位 | 4.5m 以下 | 4.5～6.0m 未満 | 6.0m 以上 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | 人 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |
| 山林砂防工 | 〃 | 3.0 | 2.7 | 2.4 |
| トラッククレーン賃料 | 日 | 0.2 | 0.2 | 0.2 |

備考　（略）

２－６－２　**（参考歩掛）スリットダム**
１　適用範囲
本歩掛は、スリット式治山ダムのうち、鋼材を用いた治山ダム（鞘管に鋼材を建て込む構造を除く）を施工する場合に適用し、適用条件は、組立・据付質量 130ｔ以下かつ透過部の幅 20m以下とする。
なお、現場塗装工については、現地で塗装を行う必要があるスリット式治山ダムに適用する。
（注）透過部の幅は透過部の丁部幅を標準とし、分割施工を行う場合は施工対象範囲における鋼製部材の外幅とする。

2　施工概要

施工フローは、下図を標準とする。




備考　（略）

3　（略）

4　施工歩掛

（1）　（略）

（2）　材料費（鋼材）

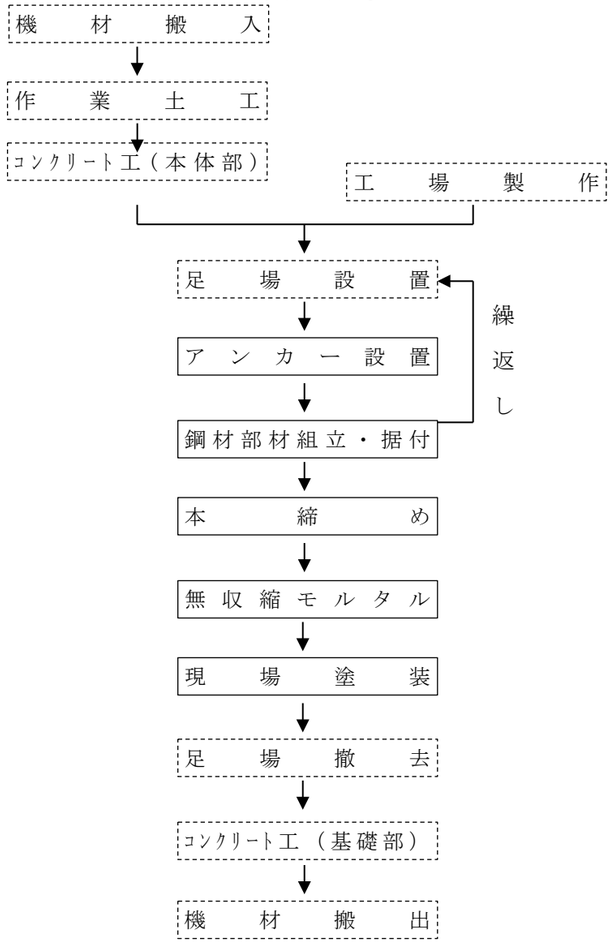
材料費（鋼材）は、一般管理費等のみ対象とする。

なお、現場取卸及び現場内小運搬に要する費用が必要な場合は別途計上する。

（3）　（略）

2　施工概要

施工フローは、下図を標準とする。




備考　（略）

（3）　（略）

4　施工歩掛

（1）　（略）

（2）　材料費（鋼材）は、一般管理費等のみとする。

（3）　（略）

（４）　アンカー工
（略）
表４．３　アンカー工歩掛
（略）
備考　１・２　（略）
３　無収縮モルタル材料は、必要数量を計上する。
４・５　（略）

（５）　現場塗装工
１）　施工歩掛
（略）
表４．４　現場塗装工（はけ塗り）歩掛
（100m2 当たり）

| 100 ㎡当たり編成人員（人／100 ㎡） | | 諸雑費率（%） |
|---|---|---|
| 塗　装　工 | 3.5 | 2 |

備考　（略）

（削る）

５　単価表
（１）　鋼製部材組立・据付鋼材質量 10t 当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | 10/Ｄｗ×1 | ４－(1) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 10/Ｄｗ×1 | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 10/Ｄｗ×1 | 〃 |
| とび工 | | 〃 | 10/Ｄｗ×2 | 〃 |
| ラフテレーンクレーン賃料 | 油圧伸縮ジブ型・排出対策型（第３次基準値）低騒音型・25t 吊 | 日 | 10/Ｄｗ | ４－(1)<br>機械賃料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | ４－(1) |
| 計 | | | | |

備考　Ｄｗ：１日当たり組立・据付質量（表４．１）

（２）　本締め工 100 本当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | 100/Ｄｑ×1 | ４－(3) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 100/Ｄｑ×3 | 〃 |
| 本締ボルト | | 本 | 100 | |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | ４－(3) |
| 計 | | | | |

備考　Ｄｑ：１日当たりのボルト取付け本数（表４．２）

（４）　アンカー工
（略）
表４．３　アンカー工歩掛
（略）
備考　１・２　（略）
３　無収縮モルタル材料を計上する。
４・５　（略）

（５）　現場塗装工
１）　施工歩掛
（略）
表４．４　現場塗装工（はけ塗り）歩掛

| 100 ㎡当たり編成人員（人／100 ㎡） | | 諸雑費率（%） |
|---|---|---|
| 塗　装　工 | 3.5 | 2 |

備考　（略）

２）　日当たり施工量
現場塗装工（はけ塗り）の日当たり施工量は、次表を標準とする。

表４．５　日当たり施工量

| 作業名 | 日当たり施工量 |
|---|---|
| スリット式治山ダム | 29 ㎡／日 |

備考　日当たり施工量は、塗装工１名の場合

５　単価表
（１）　鋼製部材組立・据付鋼材質量 10t 当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | 10/Ｄｗ×1 | ４－(1) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 10/Ｄｗ×1 | 〃 |
| 山林砂防工（普通作業員） | | 〃 | 10/Ｄｗ×1 | 〃 |
| とび工 | | 〃 | 10/Ｄｗ×2 | 〃 |
| ラフテレーンクレーン賃料 | 油圧伸縮ジブ型・排出対策型（第３次基準値）低騒音型・25t 吊 | 日 | 10/Ｄｗ | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

備考　Ｄｗ：１日当たり組立・据付質量（表４．１）

（２）　本締め工 100 本当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | 100/Ｄｑ×1 | ４－(3) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 100/Ｄｑ×3 | 〃 |
| 本締ボルト | | 本 | 100 | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

備考　Ｄｑ：１日当たりのボルト取付け本数（表４．２）

（３）　アンカー工 100 本当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　　話　　役 | | 人 | 100/Ｄｑ×1 | ４－(4) |
| 特　殊　作　業　員 | | 〃 | 100/Ｄｑ×2 | 〃 |
| 山　林　砂　防　工<br>（普通作業員） | | 〃 | 100/Ｄｑ×1 | 〃 |
| アンカーボルト | | 本 | 100 | |
| 無収縮モルタル | | $m^3$ | | 必要量を計上 |
| 諸　　雑　　費 | | 式 | 1 | ４－(4) |
| 計 | | | | |

備考　Ｄｑ：１日当たりのアンカーボルト施工本数（表４．３）

（４）　（略）

２－７・２－８　（略）

２－９　残存型枠工（プレキャスト）
１～３　（略）

４　施工歩掛
（１）・（２）　（略）

（３）　天端の手摺及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去の歩掛

①　適用範囲
（略）
図 4-1　手摺、キャットウォークの設置延長及び高さ

②　（略）

５　（略）

２－10　（略）

**第３　山腹工**

３－１～３－15　（略）

３－16　軽量緑化水路工歩掛
（略）

３－17　（略）

(3)　アンカー工 100 本当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数　量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　　話　　役 | | 人 | 100/Ｄｑ×1 | ４－(4) |
| 特　殊　作　業　員 | | 〃 | 100/Ｄｑ×2 | 〃 |
| 山　林　砂　防　工<br>（普通作業員） | | 〃 | 100/Ｄｑ×1 | 〃 |
| アンカーボルト | | 本 | 100 | 〃 |
| 無収縮モルタル | | $m^3$ | | 必要量を計上 |
| 諸　　雑　　費 | | 式 | 1 | ４－(4) |
| 計 | | | | |

備考　Ｄｑ：１日当たりのアンカーボルト施工本数（表４．３）

（４）　（略）

２－７・２－８　（略）

２－９　残存型枠工（プレキャスト）
１～３　（略）

４　施工歩掛
（１）・（２）　（略）

（３）　天端の手摺及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去の歩掛

①　適用範囲
（略）
図 4-1　摺、キャットウォークの施工長さ

②　（略）

５　（略）

２－10　（略）

**第３　山腹工**

３－１～３－15　（略）

３－16　（参考歩掛）軽量緑化水路工歩掛
（略）

３－17　（略）

## 第４　地すべり防止工

４－１～４－３　（略）

### ４－４　集水井工

#### ４－４－１　集水井工（ライナープレート土留工法）

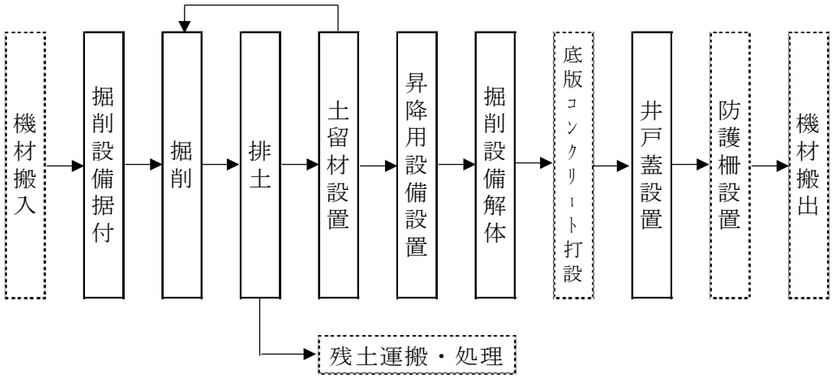
（１）　**適用範囲**

本歩掛は、人力併用機械掘削、ライナープレート土留工法による径 3.5mで深さ 40m以下の集水井工に適用する。

なお、径は、ライナープレートの公称径（ボルト穴間の径）とする。

（２）　施工概要

施工フローは、下図を標準とする。




（３）　（略）

（４）　**機種の選定**

１）掘削土留作業に使用する機種、規格は、次表を標準とする。

機種の選定

| 用　途 | 機械名 | 規　格 | 単位 | 数量 | 工　法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | A | B | C |
| 掘削及び排土 | クラムシェル | 油圧クラムシェルテレスコピック式クローラ型平積 0.4 m³ | 台 | 1 | ○ | | |
| 排土及び土留材・機材の吊り込み | クローラクレーン | 排出ガス対策型（第1次基準値）油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 〃 | 1 | ○ | ○ | |
| | やぐら装置 | 簡易やぐら（モータウインチ付）能力 2.0t　鋼製 φ60.5mm×4.0m | 〃 | 1 | | | ○ |
| 掘削 | 小型バックホウ | 電動式・クローラ型 山積 0.022 m³(平積 0.015 m³) | 〃 | 1 | | ○ | ○ |

備考　１・２　（略）

３　上表により難い場合は別途考慮する。

２）　（略）

（５）　（略）

## 第４　地すべり防止工

４－１～４－３　（略）

### ４－４　集水井工

#### ４－４－１　集水井工（ライナープレート土留工法）

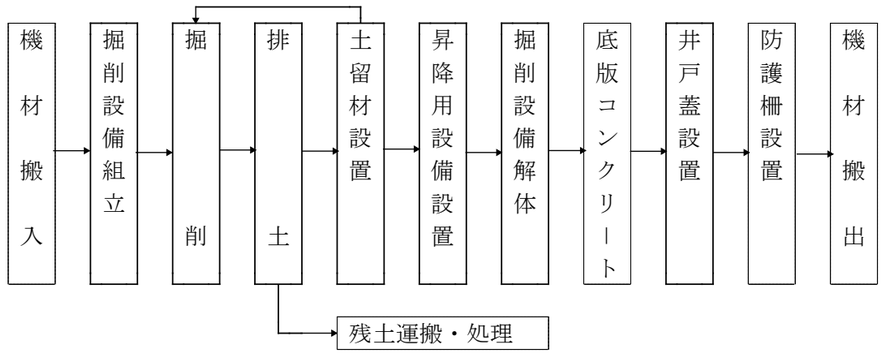
（１）　**適用範囲**

本歩掛は、人力併用機械掘削、ライナープレート土留工法による径 3.5mで深さ 40mまでの集水井の施工に適用する。

なお、径は、ライナープレートの公称径（ボルト穴間の径）とする。

（２）　施工概要

施工フローは、下図を標準とする。




（３）　（略）

（４）　**機種の選定**

１）掘削土留作業に使用する機種、規格は、次表を標準とする。

機種の選定

| 用　途 | 機械名 | 規　格 | 単位 | 数量 | 工　法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | A | B | C |
| 掘削及び排土 | クラムシェル | 油圧クラムシェルテレスコピック式クローラ型平積 0.4 m³ | 台 | 1 | ○ | | |
| 排土及び土留材・機材の吊り込み | クローラクレーン | 排出ガス対策型（第1次基準値）油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 〃 | 1 | ○ | ○ | |
| | 簡易やぐら | 鋼管 φ60.5mm×4.0m 2.0t 吊、モータウインチ付 | 〃 | 1 | | | ○ |
| 掘削 | 小型バックホウ | 電動式・クローラ型 山積 0.022 m³(平積 0.015 m³) | 〃 | 1 | | ○ | ○ |

備考　１・２　（略）

２）　（略）

（５）　（略）

（６）　施工歩掛

１）集水井１基当たり施工日数

掘削土留作業１基当たり施工日数は次式を標準とする。なお、土留材（ライナープレート、補強材等）及び工事用昇降梯子、安全ネットの取付を含む。

$$D = \frac{\ell_1}{d_1} + \frac{\ell_2}{d_2}$$

D　：集水井１基当たり施工日数（日／基）

$d_1$：砂・砂質土、粘性土、礫質土の掘削日当たり施工量（m／日）

$d_2$：岩塊・玉石まじり土、軟岩（Ⅰ）A、軟岩（Ⅰ）B、軟岩Ⅱ、中硬岩の掘削日当たり施工量（m／日）

$\ell_1$：砂・砂質土、粘性土、礫質土の掘削延長（m）

$\ell_2$：岩魂・玉石まじり土、軟岩（Ⅰ）A、軟岩（Ⅰ）B、軟岩Ⅱ、中硬岩の掘削延長（m）

岩掘削で火薬等を使用する場合は、別途考慮する。

ア　掘削日当たり施工量（dn）

掘削日当たり施工量は、次表を標準とする。

掘削日当たり施工量（dn）

（略）

備考　掘削日当たり施工量の算出における掘削深さは、全土質の総掘削延長とする。

イ　諸雑費

諸雑費は、軸流ファン、工事用水中モータポンプ、ピックハンマ、コンクリートブレーカ、空気圧縮機[排出ガス対策型（第１次基準値）]の機械損料・運転経費及び排土バケット、工事用昇降梯子、安全ネット、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、工事用水中モータポンプの有無に関係なく同率とする。

諸雑費率　（略）

（７）　（略）

（８）　井戸蓋工

１）使用機械

井戸蓋工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

| 機　械　名 | 規　　格 | 単　位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| クローラクレーン | 排出ガス対策型（第１次基準）<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 台 | 1 |

備考　クローラクレーンは、賃料とする。

２）　（略）

（６）　施工歩掛

１）集水井１基当たり施工日数

掘削土留作業１基当たり施工日数は次式を標準とする。なお、土留材（ライナープレート、補強材等）及び工事用昇降梯子、安全ネットの取付を含む。

$$D = \frac{\ell_1}{d_1} + \frac{\ell_2}{d_2}$$

D　：集水井１基当たり施工日数（日／基）

$d_1$：砂・砂質土、粘性土、礫質土の日当たり施工量（m／日）

$d_2$：岩塊・玉石まじり土、軟岩（Ⅰ）A、軟岩（Ⅰ）B、軟岩Ⅱ、中硬岩の日当たり施工量（m／日）

$\ell_1$：砂・砂質土、粘性土、礫質土の掘削延長（m）

$\ell_2$：岩魂・玉石まじり土、軟岩（Ⅰ）A、軟岩（Ⅰ）B、軟岩Ⅱ、中硬岩の掘削延長（m）

岩掘削で火薬等を使用する場合は、別途考慮する。

ア　掘削１日当たり施工量（dn）

掘削１日当たり施工量は、次表を標準とする。

掘削１日当たり施工量（dn）

（略）

備考　日当たり施工量の算出における掘削深さは、全土質の総掘削延長とする。

イ　諸雑費

諸雑費は、発動発電機、送風機、工事用水中ポンプ、ピックハンマ、コンクリートブレーカ、空気圧縮機の運転経費、排土バケット、工事用昇降梯子、安全ネット等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、工事用水中ポンプの有無に関係なく同率とする。

諸雑費率　（略）

（７）　（略）

（８）　井戸蓋工

１）使用機械

井戸蓋工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

（1 日当たり）

| 機　械　名 | 規　　格 | 単　位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| クローラクレーン | 排出ガス対策型（第１次基準）<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 台 | 1 |

備考　クローラクレーンは、賃料とする。

２）　（略）

３）　日当たり施工量
井戸蓋工の日当たり施工量は、次表を標準とする。

井戸蓋工日当たり施工量

（基／日）

| 施工区分 | 数量 |
|---|---|
| 井戸蓋設置 | 4.5 |

備考　コンクリート製蓋及び鉄網製蓋に適用する。

（９）　昇降用設備設置工
１）　使用機械
昇降用設備設置工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

| 機　械　名 | 規　　格 | 単　位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| クローラクレーン | 排出ガス対策型（第１次基準値）<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 台 | 1 |

備考　クローラクレーンは、賃料とする。

２）・３）　（略）

４）　諸雑費
諸雑費は、軸流ファンの機械損料・運転経費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

**諸雑費率　（略）**

**（10）　掘削作業設備の組立・解体**
１）　使用機械
簡易やぐらの組立・解体に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

掘削作業設備の組立・解体使用機械

| 機　械　名 | 規　　格 | 単　位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| ト　ラ　ッ　ク | クレーン装置付 2t 積 2.9t 吊 | 台 | 1 |

２）　編成人員
簡易やぐらの組立・解体編成人員は、次表を標準とする。

掘削作業設備の組立・解体編成人員

（人／日）

| 職　種 | 世　話　役 | 特殊作業員 | 山林砂防工 |
|---|---|---|---|
| 人　員 | 1 | 2 | 1 |

３）　日当たり施工量
簡易やぐらの組立・解体日当たり施工量は、次表を標準とする。

掘削作業設備の組立・解体日当たり施工量

（１日当たり）

| 施工区分 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|
| 掘削作業設備据付・解体 | 基 | 1.7 |

備考　組立及び解体を含めた日当たり施工量である。

３）　日当たり施工量
井戸蓋工の日当たり施工量は、次表を標準とする。

井戸蓋工日当たり施工量

（日当たり）

| 施工区分 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|
| 井戸蓋設置 | 基 | 4.5 |

備考　コンクリート製蓋及び鉄網製蓋に適用する。

（９）　昇降用設備設置工
１）　使用機械
昇降用設備設置工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

（1 日当たり）

| 機　械　名 | 規　　格 | 単　位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| クローラクレーン | 排出ガス対策型（第１次基準値）<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 台 | 1 |

備考　クローラクレーンは、賃料とする。

２）・３）　（略）

４）　諸雑費
諸雑費は、発動発電機、送風機の機械損料及び運転経費であり、労務費と機械賃料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

**諸雑費率　（略）**

**（10）　掘削作業設備の組立・解体**
１）　使用機械
簡易やぐらの組立・解体に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

掘削作業設備の組立・解体使用機械

（1 日当たり）

| 機　械　名 | 規　　格 | 単　位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| ト　ラ　ッ　ク | クレーン装置付 2t 積 2.9t 吊 | 台 | 1 |

２）　編成人員
簡易やぐらの組立・解体編成人員は、次表を標準とする。

掘削作業設備の組立・解体編成人員

（人）

| 職　種 | 世　話　役 | 特殊作業員 | 山林砂防工 |
|---|---|---|---|
| 人　員 | 1 | 2 | 1 |

３）　日当たり施工量
簡易やぐらの組立・解体日当たり施工量は、次表を標準とする。

掘削作業設備の組立・解体日当たり施工量

（１日当たり）

| 施工区分 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|
| 掘削作業設備の組立・解体 | 基 | 1.7 |

備考　組立及び解体を含めた日当たり施工量である。

(11)　内訳表及び単価表

1）　集水井（ライナープレート土留壁）1基当たり内訳書

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 掘削土留 | | 基 | 1 | 単価表 2) |
| 底版コンクリート | | m³ | | |
| 井戸蓋工 | | 基 | 1 | 単価表 4) |
| 昇降用設備設置工 | | m | | 〃　5) |
| 掘削作業設備据付・解体工 | やぐら装置 | 式 | 1 | C工法のみ計上<br>単価表 6) |
| 土留材 | ライナープレート、補強材等 | 基 | | 単価表 3) |
| （削る） | | (削る) | (削る) | |
| 昇降用設備材 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

2）　掘削土留1基当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | 1×D | (5)、(6) |
| トンネル特殊工 | | 〃 | 3×D | |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×D | |
| 山林砂防工 | | 〃 | 1×D | |
| クラムシェル運転 | 油圧クラムシェル<br>テレスコピック式<br>クローラ型平積0.4 m³ | 日 | D | (6)<br>A工法のみ計上<br>機械賃料 |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型（第1次基準値）油圧伸縮ジブ型<br>4.9t 吊 | 〃 | D | (6)<br>A・B工法のみ計上<br>機械賃料 |
| 小型バックホウ運転 | 電動式クローラ型山積<br>0.022 m³(平積0.015 m³) | 〃 | D | (6)<br>B・C工法のみ計上<br>機械損料 |
| やぐら装置運転 | 簡易やぐら（モータウインチ付）能力2.0t　鋼製<br>φ60.5mm×4.0m | 〃 | D | (6)<br>C工法のみ計上<br>機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (6)－1)－イ |
| 計 | | | | |

備考　D：集水井1基当たり施工日数（日／基）

3）　土留材材料1基当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| ライナープレート | | m | | |
| 補強リング | | 個 | | |
| 補強材 | | t | | 必要に応じて計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

(11)　内訳表及び単価表

1）　集水井（ライナープレート土留壁）1基当たり内訳書

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 掘削土留 | | 基 | 1 | 単価表 2) |
| 底版コンクリート | | m³ | | |
| 井戸蓋工 | | 基 | 1 | 単価表 3) |
| 昇降用設備設置工 | | m | | 〃　4) |
| 掘削作業設備組立・解体工 | 簡易やぐら | 式 | 1 | C工法のみ計上<br>単価表 5) |
| 土留材 | ライナープレート、補強材等 | t又はm | | |
| 井戸蓋材 | | 式 | 1 | |
| 昇降用設備材 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

2）　掘削土留1基当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | 1×D | (5)、(6) |
| トンネル特殊工 | | 〃 | 3×D | |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×D | |
| 山林砂防工 | | 〃 | 1×D | |
| クラムシェル運転 | 油圧クラムシェル<br>テレスコピック式<br>クローラ型平積0.4 m³ | 日 | D | A工法のみ計上 |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型（第1次基準値）油圧伸縮ジブ型<br>4.9t 吊 | 〃 | D | A・B工法のみ計上 |
| 小型バックホウ運転 | 電動式クローラ型山積<br>0.022 m³(平積0.015 m³) | 〃 | D | B・C工法のみ計上 |
| 簡易やぐら損料 | 鋼管φ60.5mm×4.0m<br>2.0t 吊、モータウィンチ付 | 〃 | D | C工法のみ計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (6)－1)－イ |
| 計 | | | | |

備考　D：集水井1基当たり施工日数（日／基）

（新設）

4）　井戸蓋工１基当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×1／D | (8)－2)、3) |
| 特　殊　作　業　員 | | 〃 | 2×1／D | |
| 山　林　砂　防　工 | | 〃 | 1×1／D | |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型（第１次基準値）油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 日 | 1×1／D | (8)－1)、3)<br>機械賃料 |
| 井　戸　蓋　材 | | 基 | 1 | |
| 計 | | | | |

備考　D：日当たり施工量（基／日）

5）　昇降用設備設置工 10m 当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×10／D | (9)－2)、3) |
| 特　殊　作　業　員 | | 〃 | 2×10／D | |
| 山　林　砂　防　工 | | 〃 | 1×10／D | |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型（第１次基準値）油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 日 | 1×10／D | (9)－1)、3)<br>機械賃料 |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | (9)－4) |
| 計 | | | | |

備考　D：日当たり施工量（m／日）

6）　掘削作業設備据付・解体１基１回当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×1／D | (10)－2)、3) |
| 特　殊　作　業　員 | | 〃 | 2×1／D | |
| 山　林　砂　防　工 | | 〃 | 1×1／D | |
| ト　ラ　ッ　ク　運　転 | クレーン装置付 2t 積 2.9t 吊 | 日 | 1×1／D | (10)－1)、3)<br>機械損料 |
| 計 | | | | |

備考　D：日当たり施工量（基／日）

3）　井戸蓋工１基当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×1／D | (8)－2)、3) |
| 特　殊　作　業　員 | | 〃 | 2×1／D | |
| 山　林　砂　防　工 | | 〃 | 1×1／D | |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型（第１次基準値）油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 日 | 1×1／D | (8)－1)、3) |
| （新設） | | （新設） | （新設） | |
| 計 | | | | |

備考　D：日当たり施工量（基／日）

4）　昇降用設備設置工 10m 当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×10／D | (9)－2)、3) |
| 特　殊　作　業　員 | | 〃 | 2×10／D | |
| 山　林　砂　防　工 | | 〃 | 1×10／D | |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型（第１次基準値）油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 日 | 1×10／D | (9)－1)、3) |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | (9)－4) |
| 計 | | | | |

備考　D：日当たり施工量（m／日）

5）　掘削作業設備組立・解体１基１回当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×1／D | (10)－2)、3) |
| 特　殊　作　業　員 | | 〃 | 2×1／D | |
| 山　林　砂　防　工 | | 〃 | 1×1／D | |
| ト　ラ　ッ　ク　運　転 | クレーン装置付 2t 積 2.9t 吊 | 日 | 1×1／D | (10)－1)、3) |
| 計 | | | | |

備考　D：日当たり施工量（基／日）

7）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|
| クラムシェル | 油圧クラムシェルテレスコピック式<br>クローラ型平積 0.4 ㎥ | 機－28 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費数量→48<br>機械賃料数量→1.41 |
| クローラクレーン | 排出ガス対策型（第１次基準値）油圧伸縮ジブ型<br>4.9t 吊 | 機－28 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費数量<br>（A 工法）→13<br>（B 工法）→17<br>（井戸蓋、昇降用施設設置）→15<br>機械賃料数量→1.47 |
| 小型バックホウ | 電動式クローラ型<br>山積 0.022 ㎥<br>（平積 0.015 ㎥） | 機－25 | （B 工法）<br>機械損料数量→1.47<br>（C 工法）<br>機械損料数量→1.40 |
| やぐら装置 | 簡易やぐら（モータウインチ付）能力 2.0t　鋼製φ60.5 ㎜×4.0m | 機－25 | 機械損料数量→1.43 |
| トラック | クレーン装置付 2t 積<br>2.9t 吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費数量→23<br>機械損料数量→1.20 |

**４－４－２　集水井工（プレキャスト土留工法）**

（１）　適用範囲

本歩掛は、人力併用機械掘削、プレキャスト土留工法による公称径 3.5m で深さ 20m 以下の集水井工の自沈方式に適用する。

なお、セグメント方式の場合は別途考慮する。

（２）～（４）　（略）

（５）　**施工歩掛**

１）　集水井１基当たり施工日数

（略）

ア　掘削日当たり施工量（ｄｎ）

掘削日当たり施工量は、次表を標準とする。

掘削日当たり施工量（ｄｎ）

（略）

備考　１　砂質土、中硬岩、硬岩の場合は、別途考慮する。

２　掘削日当たり施工量の算出における掘削深さは、全土質の総掘削延長とする。

イ　諸雑費

諸雑費は、軸流ファン、工事用水中モータポンプ、ピックハンマ、コンクリートブレーカ、空気圧縮機[排出ガス対策型（第１次基準値）]の機械損料・運転経費及び工事用昇降梯子、安全ネット、縦方向接合鉄筋、鉄筋挿入孔注入材（グラウト材）、沈下材、及び電力に関する経費等の費用であり、労務費と機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、工事用水中モータポンプの有無に関係なく同率とする。

諸雑費率　（略）

（６）　（略）

6）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|
| クラムシェル | 油圧クラムシェルテレスコピック式<br>クローラ型平積 0.4 ㎥ | 機－28 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費数量→48<br>機械賃料数量→1.41 |
| クローラクレーン | 排出ガス対策型（第１次基準値）油圧伸縮ジブ型<br>4.9t 吊 | 機－28 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費数量<br>（A 工法）→13<br>（B 工法）→17<br>（井戸蓋、昇降用施設設置）→15<br>機械賃料数量→1.47 |
| 小型バックホウ | 電動式クローラ型<br>山積 0.022 ㎥<br>（平積 0.015 ㎥） | 機－25 | （B 工法）<br>機械損料数量→1.47<br>（C 工法）<br>機械損料数量→1.40 |
| 簡易やぐら | 鋼製φ60.5 ㎜×4.0m<br>能力 2.0t 吊<br>モータウィンチ付 | 機－25 | 機械損料数量→1.43 |
| トラック | クレーン装置付 2t 積<br>2.9t 吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費数量→23<br>機械損料数量→1.20 |

**４－４－２　集水井工（プレキャスト土留工法）**

（１）　適用範囲

本歩掛は、人力併用機械掘削、プレキャスト土留工法による公称径 3.5m で深さ 20m 以下の集水井工の自沈方式に適用する。

ただし、セグメント方式の場合には適用しない。

（２）～（４）　（略）

（５）　**施工歩掛**

１）　集水井１基当たり施工日数

（略）

ア　掘削１日当たり施工量（ｄｎ）

掘削１日当たり施工量は、次表を標準とする。

掘削１日当たり施工量（ｄｎ）

（略）

備考　砂質土、中硬岩、硬岩の場合は、別途考慮する。

イ　諸雑費

諸雑費は、発動発電機、送風機、工事用水中ポンプ、ピックハンマ、コンクリートブレーカ、空気圧縮機の機械損料及び運転経費、工事用昇降梯子、安全ネット、縦方向接合鉄筋、鉄筋挿入孔注入材（グラウト材）、沈下材の費用であり、労務費と機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、工事用水中ポンプの有無に関係なく同率とする。

諸雑費率　（略）

（６）　（略）

（７）　昇降用設備設置工

１）　使用機械

昇降用設備設置工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

| 機　械　名 | 規　　格 | 単　位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| クローラクレーン | 排出ガス対策型(第１次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 台 | 1 |

備考　クローラクレーンは賃料とする。

２）　編成人員

昇降用設備設置工の編成人員は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工編成人員

（人／日）

| 職　種 | 世　話　役 | 特殊作業員 | 山林砂防工 |
|---|---|---|---|
| 人　員 | 1 | 2 | 1 |

3)　日当たり施工量

昇降用設備設置工の日当たり施工量は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工日当たり施工量

（m／日）

| 施工区分 | 数　量 |
|---|---|
| 昇降用設備設置 | 22 |

備考　螺旋型梯子及び直梯子に適用する。

３）　諸雑費

諸雑費は、軸流ファンの機械損料・運転経費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑費率　（略）

（８）　井戸蓋工

１）　使用機械

井戸蓋工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

| 機　械　名 | 規　　格 | 単　位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| クローラクレーン | 排出ガス対策型(第１次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 台 | 1 |

備考　クローラクレーンは、賃料とする。

２）　編成人員

井戸蓋工の編成人員は、次表を標準とする。

井戸蓋工編成人員

（人／日）

| 職　種 | 世　話　役 | 特殊作業員 | 山林砂防工 |
|---|---|---|---|
| 人　員 | 1 | 2 | 1 |

（７）　昇降用設備設置工

１）　使用機械

昇降用設備設置工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

（1 日当たり）

| 機　械　名 | 規　　格 | 単　位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| クローラクレーン | 排出ガス対策型(第１次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 台 | 1 |

備考　クローラクレーンは賃料とする。

2)　編成人員

昇降用設備設置工の編成人員は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工編成人員

（人）

| 職　種 | 世　話　役 | 特殊作業員 | 山林砂防工 |
|---|---|---|---|
| 人　員 | 1 | 2 | 1 |

3)　日当たり施工量

昇降用設備設置工の日当たり施工量は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工日当たり施工量

（1 日当たり）

| 施工区分 | 単　位 | 数　量 |
|---|---|---|
| 昇降用設備設置 | m | 22 |

備考　螺旋型梯子及び直梯子に適用する。

4)　諸雑費

諸雑費は、発動発電機、送風機の機械損料及び運転経費であり、労務費と機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑費率　（略）

（８）　井戸蓋工

１）　使用機械

井戸蓋工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

（1 日当たり）

| 機　械　名 | 規　　格 | 単　位 | 数　量 |
|---|---|---|---|
| クローラクレーン | 排出ガス対策型(第１次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 台 | 1 |

備考　クローラクレーンは、賃料とする。

２）　編成人員

井戸蓋工の編成人員は、次表を標準とする。

井戸蓋工編成人員

（人）

| 職　種 | 世　話　役 | 特殊作業員 | 山林砂防工 |
|---|---|---|---|
| 人　員 | 1 | 2 | 1 |

３）　日当たり施工量

井戸蓋工の日当たり施工量は、次表を標準とする。

井戸蓋工日当たり施工量

（基／日）

| 施工区分 | 数量 |
|---|---|
| 井戸蓋設置 | 4.8 |

備考　コンクリート製蓋及び鉄網製蓋に適用する。

（９）　内訳表及び単価表

1)　集水井（プレキャスト土留壁）１基当たり内訳書

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 掘　削　土　留 | | 基 | 1 | 単価表 2) |
| 底版コンクリート | | $m^3$ | | |
| 昇降用設備設置工 | | m | | 単価表 3) |
| 井　戸　蓋　工 | | 基 | 1 | 〃　4) |
| （　削　る　） | （削る） | （削る） | | |
| （　削　る　） | | （削る） | | |
| 昇降用設備材 | | 〃 | 1 | |
| 計 | | | | |

2)　掘削土留１基当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×D | (4)、(5) |
| トンネル特殊工 | | 〃 | 2×D | |
| 山林砂防工 | | 〃 | 1×D | |
| クラムシェル運転 | 油圧クラムシェルテレスコピック式<br>クローラ型平積 0.4 $m^3$ | 日 | D | (5)<br>機械賃料 |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型(第１次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 〃 | D | (5)<br>機械賃料 |
| 土　留　材 | プレキャスト土留材 | 基 | 1 | |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | (5)－1)－イ |
| 計 | | | | |

備考　D：集水井１基当たり施工日数（日／基）

3)　昇降用設備設置工 10m 当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×10／D | (7)－2)、3) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 2×10／D | |
| 山林砂防工 | | 〃 | 1×10／D | |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型(第１次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 日 | 1×10／D | (7)－1)、3)<br>機械賃料 |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | (7)－4) |
| 計 | | | | |

備考　1　D：日当たり施工量（m／日）

2　昇降用設備材料費は別途計上する。

３）　日当たり施工量

井戸蓋工の日当たり施工量は、次表を標準とする。

井戸蓋工日当たり施工量

（1 日当たり）

| 施工区分 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|
| 井戸蓋設置 | 基 | 4.8 |

備考　コンクリート製蓋及び鉄網製蓋に適用する。

（９）　内訳表及び単価表

1)　集水井（プレキャスト土留壁）１基当たり内訳書

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 掘　削　土　留 | | 基 | 1 | 単価表 2) |
| 底版コンクリート | | $m^3$ | | |
| 昇降用設備設置工 | | m | | 単価表 3) |
| 井　戸　蓋　工 | | 基 | 1 | 〃　4) |
| 土　留　材 | プレキャスト土留材 | t 又はm | | |
| 井　戸　蓋　材 | | 式 | 1 | |
| 昇降用設備材 | | 〃 | 1 | |
| 計 | | | | |

2)　掘削土留１基当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×D | (4)、(5) |
| トンネル特殊工 | | 〃 | 2×D | |
| 山林砂防工 | | 〃 | 1×D | |
| クラムシェル運転 | 油圧クラムシェルテレスコピック式<br>クローラ型平積 0.4 $m^3$ | 日 | D | （新設） |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型(第１次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 〃 | D | （新設） |
| （　新　設　） | （新設） | （新設） | （新設） | |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | (5)－1)－イ |
| 計 | | | | |

備考　D：集水井１基当たり施工日数（日／基）

3)　昇降用設備設置工 10m 当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×10／D | (7)－2)、3) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 2×10／D | |
| 山林砂防工 | | 〃 | 1×10／D | |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型(第１次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 日 | 1×10／D | (7)－1)、3) |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | (7)－4) |
| 計 | | | | |

備考　D：日当たり施工量（m／日）

4) 井戸蓋工１基当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×1／D | (8)－2)、3) |
| 特　殊　作　業　員 | | 〃 | 2×1／D | |
| 山　林　砂　防　工 | | 〃 | 1×1／D | |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型(第 1 次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 日 | 1×1／D | (8)－1)、3)<br>機械賃料 |
| 井　戸　蓋　材 | | 基 | 1 | |
| 計 | | | | |

備考　D：日当たり施工量（基／日）

5) 機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|
| クラムシェル | 油圧クラムシェルテレスコピック式<br>クローラ型平積 0.4 ㎥ | 機－28 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費数量→48<br>機械賃料数量→1.36 |
| クローラクレーン | 排出ガス対策型(第 1 次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 機－28 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費数量<br>（掘削土留）→11<br>（昇降用設備設置）→12<br>（井戸蓋設置）→6.7<br>機械賃料数量→1.41 |

４－５　（略）

４－６　**集排水ボーリング孔洗浄工**

（１）・（２）　（略）

（３）　機種の選定

洗浄作業における機械等の機種・規格は、次表を標準とする。

機種の選定

| 機械名 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 高圧洗浄機 | 工事用・ガソリンエンジン駆動 吐出量 35～70 ℓ／min<br>圧力 14.7MPa | 台 | 1 | ノズル、高圧ホース含む |

（４）　施工歩掛

洗浄工の施工歩掛は次表とする。

洗浄工歩掛

| 1 日当たり施工量（m／日） | 編成人員（人） | | 使用機械 | 諸雑費率（%） |
|---|---|---|---|---|
| D=220 | 世　話　役 | 1 | 高圧洗浄機<br>1 台 | 2 |
| | 特 殊 作 業 員 | 2 | | |
| | 山 林 砂 防 工 | 1 | | |

備考　諸雑費は、工事用水中モータポンプ賃料、軸流ファン（軸流式）の損料、水槽の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

4) 井戸蓋工１基当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世　話　役 | | 人 | 1×1／D | (8)－2)、3) |
| 特　殊　作　業　員 | | 〃 | 2×1／D | |
| 山　林　砂　防　工 | | 〃 | 1×1／D | |
| クローラクレーン運転 | 排出ガス対策型(第 1 次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 日 | 1×1／D | (8)－1)、3) |
| （　新　設　） | | (新設) | (新設) | |
| 計 | | | | |

備考　D：日当たり施工量（基／日）

5) 機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|
| クラムシェル | 油圧クラムシェルテレスコピック式<br>クローラ型平積 0.4 ㎥ | 機－28 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費数量→48<br>機械賃料数量→1.36 |
| クローラクレーン | 排出ガス対策型(第 1 次基準値)<br>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊 | 機－28 | 運転労務数量→1.00<br>燃料消費数量<br>（掘削土留）→11<br>（昇降用設備施設）→12<br>（井戸蓋）→6.7<br>機械賃料数量→1.41 |

４－５　（略）

４－６　**集排水ボーリング孔洗浄工**

（１）・（２）　（略）

（３）　機種の選定

洗浄作業における機械等の機種・規格は、次表を標準とする。

機種の選定

| 機械名 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 高圧洗浄機 | 14.7MPa(150kg／㎠)<br>エンジン式 35～70ℓ／min | 台 | 1 | ノズル、高圧ホース含む |

（４）　施工歩掛

洗浄工の施工歩掛は次表とする。

洗浄工歩掛

| 1 日当たり施工量（m／日） | 編成人員（人） | | 使用機械 | 諸雑費率（%） |
|---|---|---|---|---|
| D=220 | 世　話　役 | 1 | 工事用高圧洗浄機<br>1 台 | 2 |
| | 特 殊 作 業 員 | 2 | | |
| | 山 林 砂 防 工 | 1 | | |

備考　諸雑費は、水中ポンプ賃料、送風機損料、水槽の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

（5）　集水井内足場工

1）　（略）

2）　施工歩掛

（略）

備考　諸雑費は、軸流ファン（軸流式）の損料、足場板合板、角材、安全ネット及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

（略）

（削る）

（6）　単価表

1）　洗浄工 10m 当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数 量 | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | (10／D)×1 | (4) |
| 特殊作業員 | | 〃 | (10／D)×2 | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | (10／D)×1 | 〃 |
| 高圧洗浄機運転 | 工事用・ガソリンエンジン駆動 吐出量 35～70 ℓ／min 圧力 14.7MPa | 日 | (10／D)×1 | (4) 機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (4) |
| 計 | | | | |

備考　D：1 日当たり施工量

2）　（略）

3）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 高圧洗浄機 | 工事用・ガソリンエンジン駆動 吐出量 35～70 ℓ／min 圧力 14.7MPa | 機－24 | 燃料消費量→28<br>機械損料数量→1.61 |

**4－7　（参考歩掛）ダウンザホールハンマ工**

（1）～（3）　（略）

（5）　集水井内足場工

1）　（略）

2）　施工歩掛

（略）

備考　諸雑費は、送風機損料、足場板合板、角材、安全ネット及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

（略）

3）　日当たり施工量

集水井内足場設置・撤去の日当たり施工量は、次表を標準とする。

集水井内足場設置・撤去日当たり施工量

| | |
|---|---|
| 日当たり施工量 | 2.5 回／日 |

（6）　単価表

1）　洗浄工 10m 当たり単価表

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数 量 | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | (10／D)×1 | (4) |
| 特殊作業員 | | 〃 | (10／D)×2 | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | (10／D)×1 | 〃 |
| 高圧洗浄機運転 | 圧力 14.7MPa(150kg／cm²) エンジン式 35～70ℓ／min | 日 | (10／D)×1 | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

備考　D：1 日当たり施工量

2）　（略）

3）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 高圧洗浄機 | 14.7MPa(150kg／cm²) エンジン式 35～70ℓ／min | 機－24 | 燃料消費量→28<br>機械損料数量→1.61 |

**4－7　（参考歩掛）ダウンザホールハンマ工**

（1）～（3）　（略）

（4）　機種の選定

機種・規格は、下記を標準とする。

機種の選定（A 工法）

| 機　械　名 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 掘削用クレーン | | 台 | 1 | (5)－1) |
| ダウンザホールハンマ | 空圧式 | 〃 | 1 | (6) |
| 空気圧縮機 | 可搬式･エンジン駆動･スクリュ型・排出ガス対策型(第２次基準値) | 〃 | 必要台数 | (7) |
| ラフテレーンクレーン | 排出ガス対策型（第２次基準値）<br>油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 〃 | 1 | 鋼管杭･H 形鋼杭建込用<br>掘削機械組立・分解用 |

備考　（略）

機種の選定（B 工法）

| 機　械　名 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 大口径ボーリングマシン | | 台 | 1 | (5)－2) |
| ダウンザホールハンマ | 空圧式 | 〃 | 1 | (6) |
| 空気圧縮機 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型･排出ガス対策型(第２次基準値) | 〃 | 必要台数 | (7) |
| ラフテレーンクレーン | 排出ガス対策型(第２次基準値)油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 〃 | 1 | 資材等現場内小運搬<br>掘削機の移動<br>鋼管杭､H 形鋼杭の建込み<br>必要に応じてラフテレーンクレーン（補助クレーン用）を別途計上 |

備考　１～３　（略）

４　補助クレーンの場合、作業は準備作業までとする。

５　（略）

（略）

（5）　（略）

（6）　ダウンザホールハンマの選定

ダウンザホールハンマの選定は、次表による。

ダウンザホールハンマの選定

| 設計杭計<br>(mm) | 170 以上<br>220 以下 | 220 超え<br>270 以下 | 270 超え<br>320 以下 | 320 超え<br>360 以下 | 360 超え<br>430 以下 | 430 超え<br>510 以下 | 510 超え<br>580 以下 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ダウンザホールハンマ規格 | 掘削孔径φ250～300mm | 掘削孔径φ302～381mm | 掘削孔径φ382～457mm | | 掘削孔径φ508～762mm | | |

（4）　機種の選定

機種・規格は、下記を標準とする。

機種の選定（A 工法）

| 機　械　名 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 掘削用クレーン | | 台 | 1 | (5)－1) |
| ダウンザホールハンマ | 空圧式 | 〃 | 1 | (6) |
| 空気圧縮機 | 可搬式･エンジン駆動･スクリュ型・排出ガス対策型(第２次基準値) | 〃 | 必要台数 | (7) |
| ラフテレーンクレーン | 排出ガス対策型（第２次基準値）<br>油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 〃 | 1 | 鋼管杭･H 形鋼杭建込用<br>掘削機械組立・解体用 |

備考　（略）

機種の選定（B 工法）

| 機　械　名 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 大口径ボーリングマシン | | 台 | 1 | (5)－2) |
| ダウンザホールハンマ | 空圧式 | 〃 | 1 | (6) |
| 空気圧縮機 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型･排出ガス対策型(第２次基準値) | 〃 | 必要台数 | (7) |
| ラフテレーンクレーン | 排出ガス対策型(第２次基準値)油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 〃 | 1 | 資材等小運搬<br>掘削機の移動<br>鋼管、H 形鋼の建込み<br>必要に応じてラフテレーンクレーン（補助クレーン用）を別途計上 |

備考　１～３　（略）

４　補助クレーンの場合、作業は標準作業までとする。

５　（略）

（略）

（5）　（略）

（6）　ダウンザホールハンマの選定

ダウンザホールハンマの選定は、次表による。

ダウンザホールハンマの選定

| 設計杭計<br>(mm) | 170 以上<br>220 以下 | 220 超え<br>270 以下 | 270 超え<br>320 以下 | 320 超え<br>360 以下 | 360 超え<br>430 以下 | 430 超え<br>510 以下 | 510 超え<br>580 以下 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ダウンザホールハンマ規格 | 250～300mm | 302～381mm | 382～457mm | | 508～762mm | | |

（７）　空気圧縮機の選定

（略）

備考　１　空気圧縮機は可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第２次基準値）とする。

２　（略）

（８）　編成人員

ダウンザホールハンマによる場所打杭工の編成人員は、次表による。

（人）

| 職種／工法の別 | 世話役 | とび工 | 特殊作業員 | 山林砂防工 | 溶接工 |
|---|---|---|---|---|---|
| A 工法（クレーン工法） | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| B 工法（大口径ボーリング工法） | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| C 工法（テーブルマシン工法） | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

備考　継ぎ杭を施工しない場合は、溶接工を計上しない。

（９）　施工歩掛

１）　杭１本当たり施工日数（Tc）

（略）

（注）　T4は立継溶接※$_1$、又はボルト接合により、継杭を施工する場合に計上する。ただし、ボルト接合は溶接工を計上しない。

なお、機械式継手※$_2$により継杭を施工する場合も適用出来るが、T4及び溶接工は計上せずに、費用等を別途計上する。

※$_1$・※$_2$　（略）

（略）

（10）　（略）

（11）　やぐらの設置・撤去

（略）

やぐらの設置・撤去歩掛（ラフテレーンクレーン使用の場合）

（略）

やぐらの設置・撤去歩掛（索道使用の場合）

（1 基 1 回当たり）

| 名　称 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 世話役 | 人 | 1.0 | |
| とび工 | 〃 | 3.0 | |
| 特殊作業員 | 〃 | 2.5 | |
| 山林砂防工 | 〃 | 3.5 | |
| ウインチ運転 | 日 | 1.5 | 開放型（電動）・単胴<br>巻上能力 2.8t×30m／min　巻取容量φ22×200m |
| 発動発電機 | 〃 | 1.5 | 排出ガス対策型（第１次基準値）<br>ディーゼルエンジン駆動　定格容量 75kVA |

備考　（略）

（12）　（略）

（７）　空気圧縮機の選定

（略）

備考　１　空気圧縮機は可搬式・エンジン駆動・スクリュー・排出ガス対策型（第２次基準値）とする。

２　（略）

（８）　編成人員

ダウンザホールハンマによる場所打杭工の編成人員は、次表による。

| 職種／工法の別 | 世話役 | とび工 | 特殊作業員 | 山林砂防工 | 溶接工 |
|---|---|---|---|---|---|
| A 工法 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| B 工法 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| C 工法 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

備考　継ぎ杭を施工しない場合は、溶接工を計上しない。

（９）　施工歩掛

１）　杭１本当たり施工日数（Tc）

（略）

（注）　T4は継杭（※$_1$立継溶接、又はボルト接合）を施工する場合に計上する。ただし、ボルト接合は溶接工を計上しない。

なお、継杭（※$_2$機械式継手）を施工する場合も適用出来るが、T4及び溶接工は計上せずに、費用等を、別途計上する。

※$_1$・※$_2$　（略）

（略）

（10）　（略）

（11）　やぐらの設置・撤去

（略）

やぐらの設置・撤去歩掛（ラフテレーンクレーン使用の場合）

（略）

やぐらの設置・撤去歩掛（索道使用の場合）

（1 基 1 回当たり）

| 名　称 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 世話役 | 人 | 1.0 | |
| とび工 | 〃 | 3.0 | |
| 特殊作業員 | 〃 | 2.5 | |
| 山林砂防工 | 〃 | 3.5 | |
| ウインチ運転 | 日 | 1.5 | 単胴開放式・巻上能力<br>2.8t×30m／min |
| 発動発電機 | 〃 | 1.5 | 排出ガス対策型（第１次基準値）<br>ディーゼルエンジン駆動　定格容量 75kVA |

備考　（略）

（12）　（略）

(13)　掘削土の処理費

掘削土等の処理費用については、別途計上するものとする。

（略）

(14) 単価表

1）　杭１本当たり単価表（A 工法）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数 量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | Tc×1 | (8) |
| とび工 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 特殊作業員 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 溶接工 | | 〃 | Tc×1 | 〃（継杭の場合に計上） |
| 中詰材料 | | $m^3$ | | モルタル・コンクリート |
| 鋼管・H 形鋼等 | | 本 | 1 | |
| 掘削用クレーン運転 | | 日 | Tc | (5)－1)<br>機械損料 |
| ダウンザホールハンマ運転 | 空圧式 | 〃 | 〃 | (6)<br>機械損料 |
| 空気圧縮機運転 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第２次基準値） | 〃 | 〃 | (7)<br>機械賃料 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 〃 | 〃 | 鋼管杭・H 形鋼杭建込み用掘削機組立・分解用<br>機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (12) |
| 計 | | | | |

備考　Tc：杭１本当たり施工日数（日／本）

2）　杭１本当たり単価表（B 工法）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | Tc×1 | (8) |
| とび工 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 特殊作業員 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | Tc×2 | 〃 |
| 溶接工 | | 〃 | Tc×1 | 〃（継杭の場合に計上） |
| 中詰材料 | | $m^3$ | | モルタル・コンクリート |
| 鋼管・H 形鋼等 | | 本 | 1 | |
| 大口径ボーリングマシン運転 | | 日 | Tc | (5)－2)<br>機械損料 |
| ダウンザホールハンマ運転 | 空圧式 | 〃 | 〃 | (6)<br>機械損料 |
| 空気圧縮機運転 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第２次基準値） | 〃 | 〃 | (7)<br>機械賃料 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 〃 | 〃 | 必要に応じて計上<br>機械賃料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (12) |
| 計 | | | | |

備考　Tc：杭１本当たり施工日数（日／本）

(13)　掘削土の処理費

掘削土等の費用については、別途計上するものとする。

（略）

(14) 単価表

1）　杭１本当たり単価表（A 工法）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数 量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | Tc×1 | (8) |
| とび工 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 特殊作業員 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 溶接工 | | 〃 | Tc×1 | 〃（継杭の場合に計上） |
| 中詰材料 | | $m^3$ | | モルタル・コンクリート |
| 鋼管・H 形鋼等 | | 本 | 1 | |
| 掘削用クレーン運転 | | 日 | Tc | (5)－1) |
| ダウンザホールハンマ運転 | 空圧式 | 〃 | 〃 | (6) |
| 空気圧縮機運転 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第２次基準値） | 〃 | 〃 | (7) |
| ラフテレーンクレーン運転 | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 〃 | 〃 | 鋼管杭・H 形鋼杭建込み用掘削機・解体用 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (12) |
| 計 | | | | |

備考　Tc：杭１本当たり施工日数（日／本）

2）　杭１本当たり単価表（B 工法）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | Tc×1 | (8) |
| とび工 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 特殊作業員 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | Tc×2 | 〃 |
| 溶接工 | | 〃 | Tc×1 | 〃（継杭の場合に計上） |
| 中詰材料 | | $m^3$ | | モルタル・コンクリート |
| 鋼管・H 形鋼等 | | 本 | 1 | |
| 大口径ボーリングマシン運転 | | 日 | Tc | (5)－2) |
| ダウンザホールハンマ運転 | 空圧式 | 〃 | 〃 | |
| 空気圧縮機運転 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第２次基準値） | 〃 | 〃 | (7) |
| ラフテレーンクレーン運転 | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 〃 | 〃 | 必要に応じて計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (12) |
| 計 | | | | |

備考　Tc：杭１本当たり施工日数（日／本）

3）　杭１本当たり単価表（C 工法）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | Tc×1 | (8) |
| とび工 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 特殊作業員 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 溶接工 | | 〃 | Tc×1 | 〃（継杭の場合に計上） |
| 中詰材料 | | $m^3$ | | モルタル･コンクリート |
| 鋼管・H 形鋼等 | | 本 | 1 | |
| クレーン（掘削用）運転 | | 日 | Tc | (5)－2)<br>機械損料 |
| ダウンザホールハンマ運転 | 空圧式 | 〃 | 〃 | (6)<br>機械損料 |
| 空気圧縮機運転 | 可搬式･エンジン駆動・スクリュ型･排出ガス対策型(第２次基準値) | 〃 | 〃 | (7)<br>機械賃料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (12) |
| 計 | | | | |

備考　Tc：杭１本当たり施工日数（日／本）

4）　やぐらの設置・撤去１基１回単価表（ラフテレーンクレーン使用の場合）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | | (11) |
| とび工 | | 〃 | | 〃 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | | 〃 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 排出ガス対策型(第２次基準値)油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 日 | | (11)<br>機械賃料 |
| 計 | | | | |

5）　やぐらの設置・撤去１基１回単価表（索道使用の場合）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | | (11) |
| とび工 | | 〃 | | 〃 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | | 〃 |
| ウインチ運転 | 単胴開放式･巻上能力 2.8t×30m／min | 日 | | (11)<br>機械損料 |
| 発動発電機 | 排出ガス対策型(第１次基準値)ディーゼルエンジン駆動　定格容量 75kVA | 〃 | | (11)<br>機械賃料 |
| 計 | | | | |

3）　杭１本当たり単価表（C 工法）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | Tc×1 | (8) |
| とび工 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 特殊作業員 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | Tc×1 | 〃 |
| 溶接工 | | 〃 | Tc×1 | 〃（継杭の場合に計上） |
| 中詰材料 | | $m^3$ | | モルタル･コンクリート |
| 鋼管・H 形鋼等 | | 本 | 1 | |
| クレーン（掘削用）運転 | | 日 | Tc | (5)－2)<br>機械損料 |
| ダウンザホールハンマ運転 | 空圧式 | 〃 | 〃 | |
| 空気圧縮機運転 | 可搬式･エンジン駆動・スクリュ型･排出ガス対策型(第２次基準値) | 〃 | 〃 | (7) |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | (12) |
| 計 | | | | |

備考　Tc：杭１本当たり施工日数（日／本）

4）　やぐらの設置・撤去単価表（ラフテレーンクレーン使用の場合）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | | (11) |
| とび工 | | 〃 | | 〃 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | | 〃 |
| ラフテレーンクレーン運転 | 排出ガス対策型(第２次基準値)油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 日 | | 〃 |
| 計 | | | | |

5）　やぐらの設置・撤去単価表（索道使用の場合）

| 名　称 | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 世話役 | | 人 | | (11) |
| とび工 | | 〃 | | 〃 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 山林砂防工 | | 〃 | | 〃 |
| ウインチ運転 | 単胴開放式･巻上能力 2.8t×30m／min | 日 | | 〃 |
| 発動発電機 | 排出ガス対策型(第１次基準値)ディーゼルエンジン駆動　定格容量 75kVA | 〃 | | 〃 |
| 計 | | | | |

6)　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|
| 大口径ボーリングマシン | (5)－2) | 機－25 | 機械損料数量→1.28 |
| 空気圧縮機 | (7) | 機－16 | 燃料消費量→下記のとおりとする。<br>規格　数量<br>7.5～7.6 ㎥/min　66<br>18～19 ㎥/min　156<br>機械賃料数量→1.33 |
| ダウンザホールハンマ | 空圧式<br>(6) | 機－25 | 機械損料数量→1.37 |
| ウインチ<br>（やぐら設置・撤去用） | 開放型（電動）・単胴<br>巻上能力<br>2.8t×30m／min<br>巻取容量φ22×200m | 機－25 | 機械損料数量→1.55 |
| 発動発電機 | 排出ガス対策型（第１次基準値）ディーゼルエンジン駆動<br>定格容量 75kVA | 機－16 | 燃料消費量→60<br>賃料数量→1.18 |
| ラフテレーンクレーン<br>（掘削用） | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>機械損料数量→1.63<br>燃料消費量→102 |
| クローラクレーン<br>（掘削用） | 油圧駆動式ウィンチ・ラチスジブ型（第２次基準値）50～55t 吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>機械損料数量→1.08<br>燃料消費量→60 |
| ラフテレーンクレーン<br>（鋼管杭・H 形鋼杭建込用掘削機組立・分解用） | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>機械損料数量→1.02<br>燃料消費量→102 |

**第５　森林整備**

５－１　（略）

５－１－１　（略）

５－１－２　植栽（B）

（１）　（略）

（２）　（参考歩掛）植穴堀付、植付歩掛

（100 本当たり）

| 名　称 | 単位 | 数量 | | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| | | 普通苗 | コンテナ苗 | |
| 特殊作業員 | 人 | 0.12 | 0.11 | |
| 普通作業員 | 人 | 0.29 | 0.25 | |

備考　（略）

５－１－３～５－１－８　（略）

５－１－９　下刈歩掛（全刈り・筋刈り（1 回刈り及び２回刈り））

（１）　適用範囲

本歩掛は、人工林（海岸防災林として造成する人工林を除く）において草刈機と鎌の併用により実施する全刈り・筋刈り（1 回刈り及び２回刈り）の下刈り作業に適用する。

6）　機械運転単価表

| 機械名 | 規　格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|
| 大口径ボーリングマシン | (5)－2) | 機－25 | 機械損料数量→1.28 |
| 空気圧縮機 | (7) | 機－16 | 燃料消費量→下記のとおりとする。<br>規格　数量<br>7.5～7.6 ㎥/min　66<br>18～19 ㎥/min　156<br>機械賃料数量→1.33 |
| ダウンザホールハンマ | 空圧式 | 機－25 | 機械損料数量→1.37 |
| ウインチ<br>（やぐら設置・撤去用） | 単胴開放式・巻上能力<br>2.8t×30m／min | 機－25 | 機械損料数量→1.55 |
| 発動発電機 | 排出ガス対策型（第１次基準値）ディーゼルエンジン駆動<br>定格容量 75kVA | 機－16 | 燃料消費量→60<br>賃料数量→1.18 |
| ラフテレーンクレーン<br>（掘削用） | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>機械損料数量→1.63<br>燃料消費量→102 |
| クローラクレーン<br>（掘削用） | 油圧駆動式ウィンチ・ラチスジブ型（第２次基準値）50～55t 吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>機械損料数量→1.08<br>燃料消費量→60 |
| ラフテレーンクレーン<br>（鋼管杭・H 形鋼杭建込用掘削機組立・解体用） | 排出ガス対策型（第２次基準値）油圧伸縮ジブ型 25t 吊 | 機－18 | 運転労務数量→1.00<br>機械損料数量→1.02<br>燃料消費量→102 |

**第５**

５－１　（略）

５－１－１　（略）

５－１－２　植栽（B）

（１）　（略）

（２）　（参考歩掛）植穴堀付、植付歩掛

（100 本当たり）

| 名　称 | 単位 | 数量 | | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| | | 普通苗 | コンテナ苗 | |
| （新設） | （新設） | （新設） | （新設） | |
| 普通作業員 | 人 | 0.41 | 0.36 | |

備考　（略）

５－１－３～５－１－８　（略）

５－１－９　下刈歩掛（全刈り（1 回刈り及び２回刈り））

（１）　適用範囲

本歩掛は、人工林（海岸防災林として造成する人工林を除く）において草刈機と鎌の併用により実施する全刈り（1 回刈り及び２回刈り）の下刈り作業に適用する。

（2）施工歩掛

（ha 当たり）

| 名　称 | 単　位 | 数　量 | | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| | | 全刈り | 筋刈り | |
| 特　殊　作　業　員 | 人 | 6.1 | 2.0 | |
| 普　通　作　業　員 | 〃 | 0.7 | 0.2 | |
| 諸　　雑　　費 | % | 2 | 2 | |

備考　（削る）

1　諸雑費は、草刈機の損料、燃料（ガソリン、エンジンオイル（2 サイクルエンジンの混合油用））、替刃、目立用ヤスリ並びに下刈鎌の損料及び砥石の経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じて得た金額を上限として計上する。

2　作業地の条件等から本歩掛を適用できない場合は、工程調査の実績を参照する等により別途考慮することができる。

（削る）

（2）施工歩掛

（ha 当たり）

| 名　称 | 単　位 | 数　量 | | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| | | （新設） | （新設） | |
| 特　殊　作　業　員 | 人 | 6.8 | （新設） | |
| 普　通　作　業　員 | 〃 | 0.8 | （新設） | |
| 諸　　雑　　費 | % | 2 | （新設） | |

備考　1　草刈機による振動業務の作業時間は、1 人 1 日当たり 2 時間以内（振動業務の一連続作業時間ごとに設ける休止時間を除く）として計上している。

2　諸雑費は、草刈機の損料、燃料（ガソリン、エンジンオイル（2 サイクルエンジンの混合油用））、替刃、目立用ヤスリ並びに下刈鎌の損料及び砥石の経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じて得た金額を上限として計上する。

3　作業地の条件等から本歩掛を適用できない場合は、工程調査の実績を参照する等により別途考慮することができる。

（3）　現地条件による補正

下刈歩掛（全刈り（1 回刈り））に対する補正は、作業地内の占有植生、植生被覆率、傾斜の状況に応じ次表により行う。

補正率は、次の手順により決定する。

①　作業地内で占有率の最も高い占有植生を判定する。

②　作業地内の植生被覆率を判定し、①で判定した占有植生欄から該当する植生被覆率を選定する。

③　作業地内の傾斜を判定し、②で選定した欄と該当する傾斜の交点の係数を補正率として決定する。

補正率表

（補正率：%）

| 傾斜 | | 20 度未満 | 20 度以上<br>30 度未満 | 30 度以上 |
|---|---|---|---|---|
| 占有植生 | 植生被覆率 | | | |
| カヤ、笹類、竹類 | 50%未満 | －10 | ±0 | ＋10 |
| | 50%以上<br>80%未満 | ±0 | ＋10 | ＋20 |
| | 80%以上 | ＋10 | ＋20 | ＋30 |
| 灌木類 | 50%未満 | －25 | －15 | －5 |
| | 50%以上<br>80%未満 | －15 | －5 | ＋5 |
| | 80%以上 | －5 | ＋5 | ＋15 |
| ツル、バラ類 | 40%未満 | －10 | ±0 | ＋10 |
| | 40%以上<br>70%未満 | ±0 | ＋10 | ＋20 |
| | 70%以上 | ＋10 | ＋20 | ＋30 |

備考　1　占有植生は、作業地内において最も占有率の高い植生とする。

2　植生被覆率は、植生が地表面を被覆している割合で、下刈の対象とする草本類と占有植生（占有植生の区分は問わない）の地表面に対する水平投影面積を百分率で表したものとする。

3　傾斜は、作業地内の平均傾斜とする。

4　作業地の条件等から本補正率が適用できない場合は、工程調査の実績を参照する等により別途の補正方法等を考慮することができる。

（３）　回数による補正

本標準工程は、年１回下刈（全刈り・筋刈り）を行う場合を標準としたものであり、年２回下刈（全刈り・筋刈り）を実施する場合は、次表により補正を行う。

| 区分 | | 補正係数（%） |
|---|---|---|
| 年１回下刈りを行う場合 | | 100 |
| 年２回下刈りを実施する場合 | １回目 | 100 |
| | ２回目 | 86 |

（４）　（略）

**５－１－10　除伐**

（１）　（略）

（２）　施工歩掛

（ha 当たり）

| 名　称 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 特　殊　作　業　員 | 人 | 6.3 | |
| 普　通　作　業　員 | 〃 | 0.7 | |
| 諸　雑　費　率 | % | 2 | |

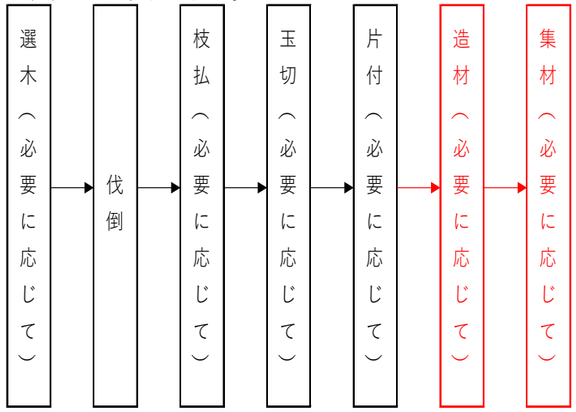
備考　（略）

**５－１－11　（参考歩掛）本数調整伐**

（１）　（略）

（２）　施工概要

施工フローは、次図を標準とする。




（４）　回数による補正

本標準工程は、年１回下刈（全刈り）を行う場合を標準としたものであり、年２回下刈（全刈り）を実施する場合は、次表により補正を行う。

| 区分 | | 補正係数（%） |
|---|---|---|
| 年１回全刈りを行う場合 | | 100 |
| 年２回全刈りを実施する場合 | １回目 | 100 |
| | ２回目 | 86 |

（５）　（略）

**５－１－10　除伐**

（１）　（略）

（２）　施工歩掛

（ha 当たり）

| 名　称 | 単位 | 数　量 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 特　殊　作　業　員 | 人 | 3.5 | |
| 普　通　作　業　員 | 〃 | 3.5 | |
| 諸　雑　費　率 | % | 2 | |

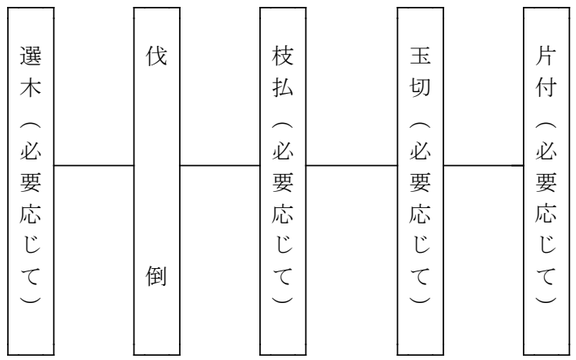
備考　（略）

**５－１－11　（参考歩掛）本数調整伐**

（１）　（略）

（２）　施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（３）　施工歩掛

１）　選木

選木歩掛は、次表を標準とする。

選木歩掛

（100 本当たり）

| 名称 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|
| 特　殊　作　業　員 | 人 | 0.16 | |
| 普　通　作　業　員 | 〃 | 0.16 | |
| 諸　雑　費　率 | % | 4 | |

備考　１　本歩掛には、伐倒対象立木を選木し、表示する工程を含む。

２　諸雑費は、ナンバーテープ等の消耗品の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

２）　伐倒

伐倒歩掛は、次表を標準とする。

伐倒歩掛

（100 本当たり）

| 名称 | 単位 | 平均胸高直径 | | | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 10cm 未満 | 10cm 以上 16cm 未満 | 16cm 以上 22cm 未満 | 22cm 以上 28cm 未満 | 28cm 以上 | |
| 特殊作業員 | 人 | 0.23 | 0.32 | 0.42 | 0.52 | 0.63 | |
| 普通作業員 | 〃 | 0.23 | 0.32 | 0.42 | 0.52 | 0.63 | |
| 諸 雑 費 率 | % | 6 | | | | | |

備考　１　本歩掛には、伐倒木を地面に引き落とす工程及び伐倒木の移動を抑える程度までの枝払をする工程を含む。

２　諸雑費は、チェンソーの損料及び燃料費、携帯手動ウインチの損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

３）　枝払

伐倒木の枝払を行う歩掛は、次表を標準とする。

枝払歩掛

（100 本当たり）

| 名称 | 単位 | 平均胸高直径 | | | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 10cm 未満 | 10cm 以上 16cm 未満 | 16cm 以上 22cm 未満 | 22cm 以上 28cm 未満 | 28cm 以上 | |
| 特殊作業員 | 人 | 0.21 | 0.24 | 0.28 | 0.31 | 0.35 | |
| 普通作業員 | 〃 | 0.21 | 0.24 | 0.28 | 0.31 | 0.35 | |
| 諸 雑 費 率 | % | 8 | | | | | |

備考　１　本歩掛には、伐倒木を丸太に玉切る作業及び丸太を片付ける作業の支障とならないように切り落とす程度までの工程を含む。

２　諸雑費は、チェンソーの損料及び燃料費、携帯手動ウインチの損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

（３）　施工歩掛

施工歩掛は、必要に応じて第１編第１土工１－２－３伐木処理の歩掛を適用する。

（新設）

（新設）

（新設）

４）　玉切

伐倒及び枝払した材の玉切を行う歩掛は、次表を標準とする。

（新設）

玉切歩掛

（100 本当たり）

| 名称 | 単位 | 平均胸高直径 | | | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 10cm 未満 | 10cm 以上<br>16cm 未満 | 16cm 以上<br>22cm 未満 | 22cm 以上<br>28cm 未満 | 28cm 以上 | |
| 特殊作業員 | 人 | 0.18 | 0.20 | 0.23 | 0.26 | 0.29 | |
| 普通作業員 | 〃 | 0.18 | 0.20 | 0.23 | 0.26 | 0.29 | |
| 諸 雑 費 率 | % | 9 | | | | | |

備考　１　本歩掛には、小運搬及び集積できるように、一定の長さの丸太に玉切るまでの工程を含む。

２　諸雑費は、チェンソーの損料及び燃料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

５）　片付

玉切した丸太を片付ける歩掛は、次表を標準とする。

（新設）

片付歩掛

（100 本当たり）

| 名称 | 単位 | 平均胸高直径 | | | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 10cm 未満 | 10cm 以上<br>16cm 未満 | 16cm 以上<br>22cm 未満 | 22cm 以上<br>28cm 未満 | 28cm 以上 | |
| 普通作業員 | 人 | 0.30 | 0.39 | 0.51 | 0.62 | 0.71 | |
| 諸 雑 費 率 | % | 1 | | | | | |

備考　１　本歩掛には、丸太を水平方向に並べ、転落、流出しないように集積または固定し整理する工程及び 20m程度の小運搬を含む。

２　諸雑費は、木回し（フェリングレバー）等の損料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

６）　造材（機械造材プロセッサ以外）

（新設）

（10 ㎥当たり）

| 名称 | 単位 | 平均胸高直径 | | | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 10cm 未満 | 10cm 以上<br>16cm 未満 | 16cm 以上<br>22cm 未満 | 22cm 以上<br>28cm 未満 | 28cm 以上 | |
| 特殊作業員 | 人 | 0.83 | 0.78 | 0.63 | 0.52 | 0.49 | |
| 普通作業員 | 人 | 0.83 | 0.78 | 0.63 | 0.52 | 0.49 | |
| 諸 雑 費 率 | % | 4 | | | | | |

備考　１　本表は、伐倒木を枝払いし、玉切る工程に適用する。

２　本表は、スギの工程であり、ヒノキの場合には＋0.03 人、カラマツの場合には－0.03 人、特殊作業員及び普通作業員の数値をそれぞれ補正する。

３　諸雑費は、チェンソーの損料及び燃料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する（当該費用を別途積み上げ等により計上する場合は上表の率は使用しない）。

４　チェンソー以外の機械により造材を行う場合の機械損料及び燃料費等は、上表の率を使用せず別途積み上げ等により計上する。

７）　機械造材（プロセッサ）　（新設）

（10 ㎥当たり）

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 適要 |
|---|---|---|---|---|
| プロセッサ運転 | ベースマシン 0.45 ㎥ | h | 1.9 | 標準 |
| | ベースマシン 0.28 ㎥ | h | 2.7 | |

備考　１　本表は、プロセッサまたはハーベスタを用いておこなう造材（枝払い・玉切り）の作業に適用する。

２　ベースマシン 0.28 ㎥は、当該作業地または当該作業地に至るまでの道路幅員、林地傾斜等によりベースマシン 0.45 ㎥が適用しがたい場合に適用する。

３　プロセッサ運転の経費は、運転手（特殊）の人件費、機械損料、燃料費等を積上げにより計上する。

８）　集材（車両系）　（新設）

（10 ㎥当たり）

| 平均胸高直径 | 名称 | 単位 | 集材距離 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 200m未満 | 200m以上400m未満 | 400m以上600m未満 | 600m以上800m未満 | 800m以上1,000m未満 | 1,000m以上 |
| 10cm 未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.52 | 0.55 | 0.58 | 0.61 | 0.65 | 0.67 |
| | 普通作業員 | 人 | 1.04 | 1.11 | 1.17 | 1.23 | 1.29 | 1.34 |
| 10cm 以上16cm 未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.48 | 0.51 | 0.54 | 0.57 | 0.60 | 0.62 |
| | 普通作業員 | 人 | 0.97 | 1.03 | 1.09 | 1.14 | 1.20 | 1.25 |
| 16cm 以上22cm 未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.43 | 0.45 | 0.48 | 0.50 | 0.53 | 0.55 |
| | 普通作業員 | 人 | 0.85 | 0.91 | 0.95 | 1.01 | 1.06 | 1.09 |
| 22cm 以上28cm 未満 | 運転手（特殊） | 人 | 0.37 | 0.39 | 0.42 | 0.44 | 0.46 | 0.48 |
| | 普通作業員 | 人 | 0.75 | 0.79 | 0.83 | 0.88 | 0.93 | 0.96 |
| 28cm 以上 | 運転手（特殊） | 人 | 0.32 | 0.34 | 0.36 | 0.38 | 0.40 | 0.42 |
| | 普通作業員 | 人 | 0.65 | 0.69 | 0.73 | 0.77 | 0.81 | 0.83 |

備考　１　本表は、9)集材（架線系）の備考１に示す以外の車両系機械による集材の工程及び集造材地点までの木寄等の工程に適用する。

２　本表は、定性間伐の工程であり、列状間伐の場合には運転手（特殊）及び普通作業員の数値をそれぞれ－20%補正する。

３　集材に用いる機械の損料及び燃料費等は、使用する機械や作業実態等を考慮し別途計上する。

４　集材距離は、作業地の中心地点からトラックへの積み込み地点又は仮置場までの距離とする。

９）　集材（架線系）

（10 m³当たり）

| 平均<br>胸高直径 | 名称 | 単位 | 集材距離 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 200m<br>未満 | 200m<br>以上<br>400m<br>未満 | 400m<br>以上<br>600m<br>未満 | 600m<br>以上<br>800m<br>未満 | 800m<br>以上<br>1,000m<br>未満 | 1,000m<br>以上 |
| 10cm 未満 | 運転手<br>（特殊） | 人 | 0.67 | 0.72 | 0.78 | 0.83 | 0.88 | 0.95 |
| | 普通作<br>業員 | 人 | 2.01 | 2.18 | 2.33 | 2.50 | 2.66 | 2.85 |
| 10cm 以上<br>16cm 未満 | 運転手<br>（特殊） | 人 | 0.58 | 0.63 | 0.68 | 0.74 | 0.79 | 0.86 |
| | 普通作<br>業員 | 人 | 1.73 | 1.90 | 2.06 | 2.22 | 2.38 | 2.58 |
| 16cm 以上<br>22cm 未満 | 運転手<br>（特殊） | 人 | 0.46 | 0.51 | 0.56 | 0.62 | 0.67 | 0.74 |
| | 普通作<br>業員 | 人 | 1.37 | 1.54 | 1.70 | 1.86 | 2.02 | 2.22 |
| 22cm 以上<br>28cm 未満 | 運転手<br>（特殊） | 人 | 0.36 | 0.41 | 0.47 | 0.52 | 0.57 | 0.64 |
| | 普通作<br>業員 | 人 | 1.08 | 1.25 | 1.40 | 1.57 | 1.73 | 1.93 |
| 28cm 以上 | 運転手<br>（特殊） | 人 | 0.30 | 0.35 | 0.40 | 0.46 | 0.51 | 0.58 |
| | 普通作<br>業員 | 人 | 0.89 | 1.05 | 1.21 | 1.37 | 1.53 | 1.73 |

備考　１　本表は、主索を用いて行う架線集材（主索を用いずに複数の作業索を用いて行う簡易架線集材を含む）の工程及び集材地点までの人力木寄等の工程に適用する。

２　本表は、定性間伐の工程であり、列状間伐の場合には運転手（特殊）及び普通作業員の数値をそれぞれ－20％補正する。

３　集材に用いる機械の損料及び燃料費等は、使用する機械や作業実態等を考慮し別途計上する。

４　集材距離は、作業地の中心地点からトラックへの積み込み地点又は仮置土場までの距離とする。

（４）　施工歩掛の補正

作業の難易度により施工歩掛を補正する場合は、原則として次表の範囲内で補正することができる。

施工歩掛の補正

| 作業の難易度 | 作業条件 | 補正係数 |
|---|---|---|
| 易 | 灌木や枝葉、転石、伐根がほとんどなく、作業のための移動や歩行が容易な場合 | －10％ |
| 中 | 易あるいは難以外の場合 | 0％ |
| 難 | 灌木や枝葉、転石、伐根等の障害物により、作業のための移動や歩行に大きな支障がある場合 | ＋10％ |

備考　施工歩掛の補正は、(2)2)伐倒、3)枝払、4)玉切及び5)片付に適用する。

５－１－12　（略）

５－２～５－４　（略）

（新設）

（４）　施工歩掛の補正

施工歩掛の補正は、第１編第１土工１－２－３伐木処理の補正歩掛を適用する。

５－１－12　（略）

５－２～５－４　（略）

**第６　海岸林造成**

６－１・６－２　（略）

６－３　下刈
（略）

**第６　海岸林造成**

６－１・６－２　（略）

６－３　（参考歩掛）下刈
（略）

**第１　（略）**

**第２　道路付属施設**

２－１　道路付属施設工

２－１－１　（略）

**２－１－２　ガードケーブル設置工**

１　適用範囲

本資料は、耐雪型を含むガードケーブルの設置（撤去を除く）に適用する。

本歩掛は、ケーブル間隔保持材の有無にかかわらず適用でき、耐雪型の場合は積雪ランクの違いにかかわらず適用できる。

ただし、アンカーボルト等を使用した着脱式支柱には適用できない。

また、「耐雪型」でも、下記の場合は歩掛のみ「標準型」を適用すること。

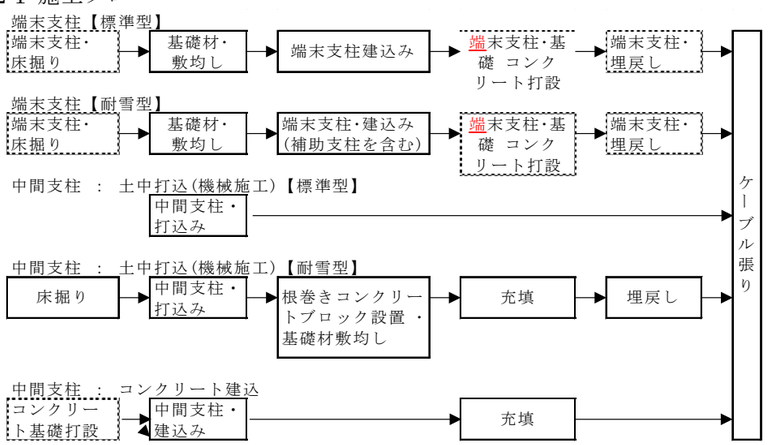
端末支柱：補助支柱が無いもの

中間支柱：根巻きコンクリートブロック等が無いもの

２　施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

図 2-1 施工フロー




（注）　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

３　ガードケーブルの種類

ガードケーブルの種類は、次のとおりとする。

| 区分 | 土中建込用 | コンクリート建込用 | ケーブル素数 |
|---|---|---|---|
| | 規　　格 | 規　　格 | |
| 路側用 | Ｇｃ－Ａ－Ｅ | Ｇｃ－Ａ－Ｂ | 5 |
| | Ｇｃ－Ｂ－Ｅ | Ｇｃ－Ｂ－Ｂ | 4 |
| | Ｇｃ－Ｃ－Ｅ | Ｇｃ－Ｃ－Ｂ | 3 |
| | Ｇｃ－Ｓ－Ｅ | Ｇｃ－Ｓ－Ｂ | 6 |

（注）　（略）

第３編　林道

**第１　（略）**

**第２　道路付属施設**

２－１　道路付属施設工

２－１－１　（略）

**２－１－２　ガードケーブル設置工**

１　適用範囲

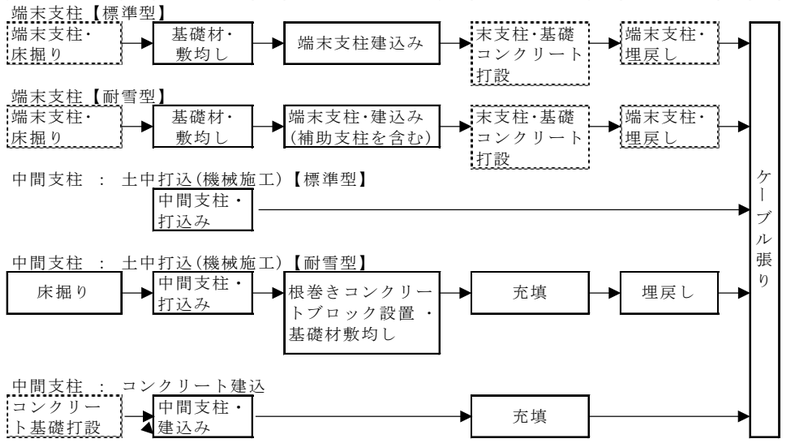
本資料は、ガードケーブル（「耐雪型ガードケーブル」を含む。）の新設及び維持修繕工事等におけるガードケーブルの設置（撤去を除く。）に適用する。

なお耐雪型は、積雪ランクの違いに関係なく本歩掛りが適用できる。

２　施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

図 2-1 施工フロー




（注）　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

３　ガードケーブルの種類

ガードケーブルの種類は、次のとおりとする。

| 区分 | 土中建込用 | コンクリート建込用 | ケーブル素数 |
|---|---|---|---|
| | 規　　格 | 規　　格 | |
| 路側用 | Ｇｃ－Ａ(※1)－(※2)Ｅ | Ｇｃ－Ａ(※1)－(※2)Ｂ | 5 |
| | Ｇｃ－Ｂ(※1)－(※2)Ｅ | Ｇｃ－Ｂ(※1)－(※2)Ｂ | 4 |
| | Ｇｃ－Ｃ(※1)－(※2)Ｅ | Ｇｃ－Ｃ(※1)－(※2)Ｂ | 3 |
| | Ｇｃ－Ｓ(※1)－(※2)Ｅ | Ｇｃ－Ｓ(※1)－(※2)Ｂ | 6 |

（注）　（略）

4　機種の選定

機械の種類･規格は、次表を標準とする。

表 4.1 機種の選定

| 作業種別 | 機械名 | 規格 | 単位 | 台数 |
|---|---|---|---|---|
| 端末支柱　中間支柱（コンクリート建込）　ケーブル張 | トラック | クレーン装置付　ベーストラック 4～4.5t 積・ 吊り能力 2.9t | 台 | 1 |
| 中間支柱(機械打込) | ガードレール支柱打込機 | モンケン式<br>モンケン質量 400～600kg | 台 | 1 |

5　施工歩掛

施工歩掛は、次表を標準とする。

表 5.1 施工歩掛(端末支柱)

（100 本当たり）

| 名称 | 規格 | 単位 | 標準型 | 耐雪型 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 4.1 | 4.7 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1.9 | 2.2 |
| 普通作業員 | | 〃 | 11.0 | 12.4 |
| トラック運転 | クレーン装置付　ベーストラック 4～4.5t 積<br>吊り能力 2.9t | h | 106 | 117 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 1 |

（注）　1　上表は、資材等の現場内小運搬及び基礎材の敷均し手間を含む。

2　上表は、支柱の建込みを対象としており、床掘り、埋戻しは含まない。

3～5　（略）

表 5.2 施工歩掛(中間支柱)

（削る）

（100 本当たり）

| 名称 | 規格 | 単位 | 土中･機械打込 | | コンクリート建込 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 標準型 | 耐雪型 | |
| 土木一般世話役 | | 人 | 2.5 | 2.8 | 2.9 |
| 特殊作業員 | | 〃 | ― | ― | 1.0 |
| 普通作業員 | | 〃 | 5.9 | 7.1 | 8.7 |
| ガードレール支柱打込機運転 | モンケン式<br>モンケン質量 400～600kg | h | 26.8 | 25.3 | ― |
| トラック運転 | クレーン装置付　ベーストラック 4～4.5t 積 吊り能力 2.9t | h | ― | ― | 16.2 |
| 諸雑費 | 諸雑費率 | % | ― | 12 | 3 |

（注）　1　上表は、資材等の現場内小運搬及びケーブル用ブラケットの取付けを含む。

2・3　（略）

4　諸雑費には、コテ・金棒・スコップ・バケツ・一輪車等、モルタルの撹拌・運搬・充填用の器具、ほうき等の清掃用具及びコンクリート建込にはモルタル、耐雪型にはモルタル、基礎砕石、鉄筋の材料費を含んでおり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

5　耐雪型の根巻きコンクリートブロックの材料費は、別途計上する。

4　機種の選定

端末支柱、中間支柱(土中打込用、コンクリート建込用)の建込み・打込みにおける機械･規格は、次表を標準とする。

表 4.1 機種の選定

| 作業種別 | 機械名 | 規格 | 単位 | 台数 |
|---|---|---|---|---|
| 端末支柱　中間支柱（コンクリート建込）　ケーブル張 | トラック(クレーン装置付) | ベーストラック 4ｔ積・ 吊り能力 2.9t | 台 | 1 |
| 中間支柱(機械打込) | ガードレール支柱打込機 | モンケン式 400～600kg | 台 | 1 |

5　施工歩掛

施工歩掛は、次表を標準とする。

表 5.1 施工歩掛(端末支柱)

端末支柱　（100 本当たり）

| 名称 | 規格 | 単位 | 標準型 | 耐雪型 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 4.1 | 4.7 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1.9 | 2.2 |
| 普通作業員 | | 〃 | 11.0 | 12.4 |
| トラック(クレーン装置付)運転 | ベーストラック 4t 積<br>吊り能力 2.9t | h | 106 | 117 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 1 |

（注）　1　上表は、全て現場内小運搬を含む。

2　上表は、建込みを対象としており、床掘り、埋戻しは含まない。

3～5　（略）

表 5.2 施工歩掛(中間支柱)

中間支柱

（100 本当たり）

| 名称 | 規格 | 単位 | 土中･機械打込 | | コンクリート建込 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 標準型 | 耐雪型 | |
| 土木一般世話役 | | 人 | 2.5 | 2.8 | 2.9 |
| 特殊作業員 | | 〃 | ― | ― | 1.0 |
| 普通作業員 | | 〃 | 5.9 | 7.1 | 8.7 |
| ガードレール支柱打込機運転 | モンケン式 400～600kg | h | 26.8 | 25.3 | ― |
| トラック(クレーン装置付)運転 | ベーストラック 4t 積<br>吊り能力 2.9t | h | ― | ― | 16.2 |
| 諸雑費 | 諸雑費率 | % | ― | 12 | 3 |

（注）　1　上表は、すべて現場内小運搬を含む。

2・3　（略）

4　諸雑費には、コテ・金棒・スコップ・バケツ・一輪車等、モルタルの撹拌・運搬・充填用の器具、ほうき等の清掃用具を含む。諸雑費は、コンクリート建込にはモルタル、耐雪型にはモルタル、基礎砕石、鉄筋の材料費を含んでおり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

5　中間支柱には、ブラケット取付け等を含む。

6　耐雪型の根巻きコンクリートブロックは、別途計上する。

表 5.3 施工歩掛(ケーブル張)

（削る）

(100m当たり)

| 名称 | 規格 | 単位 | A種 | B種 | C種 | S種 | Am種 | Bm種 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.7 | 0.6 | 0.4 | 0.8 | 1.1 | 0.8 |
| 普通作業員 | | 〃 | 3.0 | 2.4 | 1.8 | 3.5 | 4.7 | 3.5 |
| トラック運転 | クレーン装置付 ベーストラック 4～4.5t 積 吊り能力 2.9t | h | 1.1 | 0.9 | 0.7 | 1.4 | 1.8 | 1.4 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

（注） 1 上表は、資材等の現場内小運搬を含む。
2 上表は、ガードケーブル（各種別）施工延長当たりの歩掛であり、ケーブル引伸し、取付け等を含む。

6 材料の使用量

端末支柱における基礎砕石の使用量は、次式による。

使用量（m3）＝設計数量（m3）×（1＋K）

K：ロス率

表 6.1 ロス率（K）

| ロス率 | ±0.2 |
|---|---|

7 単価表

（1） 端末支柱 100 本当たり単価表

| 種別 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表 5.1 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 端末支柱 | | 本 | 100 | |
| 端末補助支柱 | | 〃 | 100 | 耐雪型のみ |
| 基礎砕石 | | m³ | | 必要量を計上 |
| トラック運転 | クレーン装置付 ベーストラック 4～4.5t 積・吊り能力 2.9t | h | | 表 5.1 機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

表 5.3 施工歩掛(ケーブル張)

ケーブル張

(100m当たり)

| 名称 | 規格 | 単位 | A種 | B種 | C種 | S種 | Am種 | Bm種 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.7 | 0.6 | 0.4 | 0.8 | 1.1 | 0.8 |
| 普通作業員 | | 〃 | 3.0 | 2.4 | 1.8 | 3.5 | 4.7 | 3.5 |
| トラック(クレーン装置付)運転 | ベーストラック 4t 積 吊り能力 2.9t | h | 1.1 | 0.9 | 0.7 | 1.4 | 1.8 | 1.4 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

（注） 1 上表は、全て現場内小運搬を含む。
2 ケーブル張の歩掛は、ガードケーブル（各種別）施工延長当たりの歩掛であり、ケーブル引伸し、取付け等を含む。

（新設）

6 単価表

（1） 端末支柱 100 本当たり単価表

| 種別 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表 5.1 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 端末支柱 | | 本 | 100 | |
| 端末補助支柱 | | 〃 | 100 | 耐雪型のみ |
| 基礎砕石 | | m³ | | 必要量を計上 |
| トラック(クレーン装置付)運転 | ベーストラック 4t 積・吊り能力 2.9t | h | | 表 5.1 機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（2） 中間支柱建込 100 本当たり単価表

| 種別 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表 5.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 中間支柱 | | 本 | 100 | |
| 根巻きコンクリートブロック | 各種 | 個 | 100 | 機械打込(耐雪型)のみ |
| ガードレール支柱打込機運転 | モンケン式<br>モンケン質量 400～600kg | h | | 表 5.2 機械打込のみ<br>機械損料 |
| トラック運転 | クレーン装置付 ベーストラック 4～4.5t 積･吊り能力 2.9t | h | | 表 5.2 コンクリート建込のみ<br>機械損料 |
| 諸雑費 | | % | 12 | 機械打込(耐雪型)のみ |
| | | 〃 | 3 | コンクリート建込のみ |
| 計 | | | | |

（3） ケーブル張 100m当たり単価表

| 種別 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表 5.3 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| ガードケーブル | | m | 100 | |
| 間隔保持材 | | 組 | | 必要に応じて計上 |
| トラック運転 | クレーン装置付<br>ベーストラック 4～4.5t 積･吊り能力 2.9t | h | | 表 5.3<br>機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（4） 機械運転単価表

| 作業種別 | 機械名 | 規格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|---|
| 端末支柱<br>中間支柱・コンクリート建込<br>ケーブル張 | トラック | クレーン装置付 ベーストラック 4～4.5t 積･吊り能力 2.9t | 機－1 | |
| 中間支柱・機械打込み | ガードレール支柱打込機 | モンケン式<br>モンケン質量 400～600kg | 機－6 | |

（2） 中間支柱建込 100 本当たり単価表

| 種別 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表 5.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 中間支柱 | | 本 | 100 | |
| 根巻きコンクリートブロック | | 個 | 100 | 機械打込(耐雪型)のみ |
| ガードレール支柱打込機運転 | モンケン式 400～600kg | h | | 表 5.2 機械打込のみ 機械損料 |
| トラック(クレーン装置付)運転 | ベーストラック 4t 積･吊り能力 2.9t | h | | 表 5.2 コンクリート建込のみ<br>機械損料 |
| 諸雑費 | | % | 12 | 機械打込(耐雪型)のみ |
| | | 〃 | 3 | コンクリート建込のみ |
| 計 | | | | |

（3） ケーブル張 100m当たり単価表

| 種別 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表 5.3 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| ガードケーブル | | m | 100 | |
| (新設) | | (新設) | | (新設) |
| トラック(クレーン装置付)運転 | ベーストラック 4t 積･吊り能力 2.9t | h | | 表 5.3<br>機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（4） 機械運転単価表

| 作業種別 | 機械名 | 規格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|---|---|---|---|---|
| 端末支柱<br>中間支柱・コンクリート建込<br>ケーブル張 | トラック(クレーン装置付) | ベーストラック 4t 積･吊り能力 2.9t | 機－1 | |
| 中間支柱・機械打込み | ガードレール支柱打込機 | モンケン式 400～600kg | 機－6 | |

（削る）

２－１－３～２－１－９　（略）

７　作業日当たり標準作業量

作業日当たり標準作業量は、次表を標準とする。

表 7.1 作業日当たり標準作業量

| 作業種別分 | | | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 端末支柱 | 建込み | 標準型 | 5 本/日 |
| | | 耐雪型 | 5 本/日 |
| 中間支柱 | 機械打込み | 標準型 | 44 本/日 |
| | | 耐雪型 | 37 本/日 |
| | コンクリート建込 | | 25 本/日 |
| ケーブル張 | | Ａ種 | 164m/日 |
| | | Ｂ種 | 205m/日 |
| | | Ｃ種 | 273m/日 |
| | | Ｓ種 | 137m/日 |
| | | Ａm種 | 102m/日 |
| | | Ｂm種 | 137m/日 |

２－１－３～２－１－９　（略）

**第３　橋梁工**

**３－１　鋼橋製作工**

１　請負工事費の積算体系

（１）　（略）

（２）　請負工事費の費目

①　工場製作

ア　直接工事費

直接工事費は、材料費、製作費及び工場塗装費の３要素について積算するものとする。

・材料費

材料費は、製作に必要な材料の費用で、鋼材費（鋼板、形鋼）、製品購入費（ボルトナット、支承等）、副資材費（溶接棒、酸素等の補助材料）等からなる。

・製作費

製作費は、工場製作にかかる労務費で全体製作工数に直接労務単価を乗じて求める。

・工場塗装費

鋼板の素地調整として行う原板ブラスト、一次プライマー等、さらに桁製作完了後に行う塗装を計上する。

耐候性の場合は製品ブラスト費、安定化処理を施す場合は安定化処理費を別途計上する。

イ～オ　（略）

②　（略）

２　材料費

（１）～（７）　（略）

（８）　溶接材料費及び副資材費

①　（略）

②　副資材費

副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重（購入部品を除いた鋼材の質量）当たり溶接材料込みで 17,300 円／ｔとする。

（注）　（略）

（略）

３　鋼橋製作費

（１）　製作工数

①　製作工数

ア～キ　（略）

表３．１　橋梁形式別標準工数

| 形式＼要素 | a１（人／個） | a２（人／個） | b１（人／10m） | b２（人／10m） | c（人／個） |
|---|---|---|---|---|---|
| 単純鈑桁 | 1.48 | 0.32 | 0.94 | 0.39 | 0.43 |
| 連続鈑桁～（略） | （略） | （略） | （略） | （略） | （略） |

表３．２～表３．７　（略）

②～⑤　（略）

（２）　製作工労務単価

工場製作における工数単価（直接労務費）は 27,800 円とする。

**第３　橋梁工**

**３－１　鋼橋製作工**

１　請負工事費の積算体系

（１）　（略）

（２）　請負工事費の費目

①　工場製作

ア　直接工事費

直接工事費は、材料費、製作費及び工場塗装費の３要素について積算するものとする。

・材料費

材料費は、製作に必要な材料の費用で、鋼材費（鋼板、形鋼）、製品購入費（ボルトナット、支承等）、副資材費（溶接棒、酸素等の補助材料）等からなる。

・製作費

製作費は、工場製作にかかる労務費で全体製作工数に直接労務単価を乗じて求める。

・工場塗装費鋼板の素地調整として行う原板ブラスト、一次プライマー等、さらに桁製作完了後に行う塗装を計上する。

耐候性の場合は製品ブラスト費、安定化処理を施す場合は安定化処理費を別途計上する。

イ～オ　（略）

②　（略）

２

（１）～（７）　（略）

（８）　溶接材料費及び副資材費

①　（略）

②　副資材費

副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重（購入部品を除いた鋼材の質量）当たり溶接材料込みで 16,400 円／ｔとする。

（注）　（略）

（略）

３　鋼橋製作費

（１）　製作工数

①　製作工数

ア～キ　（略）

表３．１　橋梁形式別標準工数

| 形式＼要素 | a１（人／個） | a２（人／個） | b１（人／10m） | b２（人／10m） | c（人／個） |
|---|---|---|---|---|---|
| 単純鈑桁 | 1.15 | 0.25 | 0.94 | 0.39 | 0.43 |
| 連続鈑桁～（略） | （略） | （略） | （略） | （略） | （略） |

表３．２～表３．７　（略）

②～⑤　（略）

（２）　製作工労務単価

工場製作における工数単価（直接労務費）は 27,500 円とする。

4　桁輸送費

（1）　運搬距離

運搬距離は、架設位置から最寄りの橋梁製作工場が所在する市町村役場までの最短経路を用いて計算する。

ただし、入札の結果、表5.1における最寄りの橋梁製作工場で当該工事の鋼橋上部工の製作ができないと判断した場合は、当該工事の入札参加者の最寄りの橋梁製作工事として計算することも可能とする。

表５.１　橋梁製作工場　所在地一覧

| 道府県名 | 所在地 |
|---|---|
| 北海道 | 釧路市、北広島市、室蘭市 |
| （削る） | （削る） |
| 茨城県 | 神栖市、取手市 |
| 栃木県 | 下野市、小山市、大田原市 |
| 千葉県 | 市原市、富津市 |
| （削る） | （削る） |
| （削る） | （削る） |
| （削る） | （削る） |
| 富山県 | 南砺市、立山町、射水市 |
| 石川県 | 白山市 |
| （削る） | （削る） |
| 愛知県 | 半田市 |
| 三重県 | 松阪市、津市 |
| （削る） | （削る） |
| 大阪府 | 堺市 |
| 和歌山県 | 海南市、由良市 |
| 広島県 | 尾道市 |
| 山口県 | 宇部市、防府市 |
| 徳島県 | 小松島市 |
| 香川県 | 多度津町 |
| 福岡県 | 北九州市 |
| 佐賀県 | 伊万里市 |
| 長崎県 | 西海市 |
| （削る） | （削る） |
| 大分県 | 大分市 |

（注）　橋梁製作工場が所在する市町村は上表を標準とする。

（2）　輸送費

輸送費の積算は、各橋種毎に表5.2鋼橋工場製作輸送費に示す回帰式を用いて積算するものとする。

表５．２鋼橋工場製作輸送費（沖縄を除く）

| 橋種 | 輸送単価（円／ｔ） |
|---|---|
| 鈑桁（鋼床版鈑桁を除く） | Ｙ＝35.07Ｘ＋13,051 |
| 鈑桁（鋼床版鈑桁のみ） | Ｙ＝33.11Ｘ＋14,686 |
| 箱桁（鋼床版箱桁を除く） | Ｙ＝29.94Ｘ＋12,939 |
| 箱桁（鋼床版箱桁のみ） | Ｙ＝23.93Ｘ＋16,437 |
| トラス，アーチ，ラーメン | Ｙ＝24.95Ｘ＋14,523 |
| 橋脚 | Ｙ＝23.44Ｘ＋15,721 |
| アンカーフレーム | Ｙ＝24.01Ｘ＋11,384 |

Ｙ：輸送単価（円／ｔ）　Ｘ：運搬距離（km）

4　桁輸送費

（1）　運搬距離

運搬距離は、架設位置から最寄りの橋梁製作工場が所在する市町村役場までの最短経路を用いて計算する。

表５.１　橋梁製作工場　所在地一覧

| 道府県名 | 所在地 |
|---|---|
| 北海道 | 釧路市、北広島市、室蘭市、石狩市 |
| 岩手県 | 盛岡市 |
| 茨城県 | 神栖市、取手市 |
| 栃木県 | 下野市、小山市 |
| 千葉県 | 市原市 |
| 新潟県 | 聖籠町 |
| 山梨県 | 笛吹市 |
| 長野県 | 高山村、長野市 |
| 富山県 | 南砺市、立山町、射水市 |
| 石川県 | 白山市 |
| 福井県 | 福井市 |
| 愛知県 | 知多市、半田市 |
| 三重県 | 松阪市、津市 |
| 滋賀県 | 東近江市 |
| 大阪府 | 堺市 |
| 和歌山県 | 海南市、由良市 |
| 広島県 | 尾道市 |
| 山口県 | 宇部市、防府市 |
| 徳島県 | 小松島市 |
| 香川県 | 多度津町、高松市 |
| 福岡県 | 北九州市 |
| 佐賀県 | 伊万里市 |
| 長崎県 | 西海市 |
| 宮崎県 | 延岡市 |
| 大分県 | 大分市 |

（注）　橋梁製作工場が所在する市町村は上表を標準とする。

（2）　輸送費

輸送費の積算は、各橋種毎に表5.2鋼橋工場製作輸送費に示す回帰式を用いて積算するものとする。

表５．２鋼橋工場製作輸送費（沖縄を除く）

| 橋種 | 輸送単価（円／ｔ） |
|---|---|
| 鈑桁（鋼床版鈑桁を除く） | Ｙ＝35.07Ｘ＋13,051 |
| 鈑桁（鋼床版鈑桁のみ） | Ｙ＝33.11Ｘ＋14,686 |
| 箱桁（鋼床版箱桁を除く） | Ｙ＝29.94Ｘ＋12,939 |
| 箱桁（鋼床版箱桁のみ） | Ｙ＝26.38Ｘ＋13,472 |
| トラス，アーチ，ラーメン | Ｙ＝24.95Ｘ＋14,523 |
| 橋脚 | Ｙ＝26.12Ｘ＋8,518 |
| アンカーフレーム | Ｙ＝24.01Ｘ＋11,384 |

Ｙ：輸送単価（円／ｔ）　Ｘ：運搬距離（km）

５～９　（略）

３－２

４　単価表

（１）塗装前処理 100 ㎡当たり単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| エッチングプライマー | | ㎡ | 100 | 表 2.3 原板ブラスト・エッチングプライマー |
| ジンクリッジプライマー | | 〃 | 100 | 表 2.3 原板ブラスト・ジンクリッジプライマー |
| 原板ブラスト | | 〃 | 100 | 表 2.3 原板ブラストのみ |
| 橋りょう塗装工 | | 人 | 2.3 | 表 2.1、表 2.2　二次素地調整（動力工具） |
| 橋りょう塗装工 | | 〃 | 6.3 | 表 2.2　二次素地調整(製品ブラスト) |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 2.1、表 2.2 |
| 計 | | | | |

５～９　（略）

３－２

４　単価表

（１）塗装前処理 100 ㎡当たり単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| エッチングプライマー | | ㎡ | 100 | 表 2.3 原板ブラスト・エッチングプライマー |
| ジンクリッジプライマー | | 〃 | 100 | 表 2.3 原板ブラスト・ジンクリッジプライマー |
| 原板ブラスト | | 〃 | 100 | 表 2.3 原板ブラストのみ |
| 二次素地調整（動力工具） | | 人 | 2.3 | 表 2.1、表 2.2 |
| 二次素地調整(製品ブラスト) | | 〃 | 6.3 | 表 2.2 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 2.1、表 2.2 |
| 計 | | | | |

３－３　橋台・橋脚工

３－３－１　橋台・橋脚工（１）（構造物単位）

１・２　（略）

３　施工歩掛

（１）・（２）　（略）

（３）　Ｔ形橋脚歩掛

Ｔ形橋脚における施工歩掛は、次表を標準とする。

表３．２　Ｔ形橋脚施工歩掛（構造物高さ５ｍ以上 10m未満の場合）

（略）

表３．３　Ｔ形橋脚施工歩掛（構造物高さ 10m以上 15m未満の場合）

（コンクリート 10 ㎥当たり）

| コンクリート打設量（㎥／基）<br>名称 | | 単位 | 120 ㎥以上<br>220 ㎥未満 | 220 ㎥以上<br>440 ㎥未満 | 440 ㎥以上<br>650 ㎥未満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.7(0.6) | 0.6(0.5) | 0.4(0.3) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.2(0.2) | | |
| 型わく工 | | 〃 | 2.0(2.0) | 1.5(1.5) | 1.0(1.0) |
| とび工 | | 〃 | 0.9(0.4) | 0.7(0.3) | 0.6(0.2) |
| 普通作業員 | | 〃 | 1.9(1.6) | 1.4(1.2) | 1.1(0.9) |
| コンクリート | | ㎥ | 10.2(10.2) | | |
| コンクリートポンプ車運転 | | 日 | 0.06(0.06) | | |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | % | 2(2) | 2(2) | 2(3) |
| | 均しコンクリート打設 | 〃 | 3(4) | 4(5) | 5(6) |
| 諸雑費率 | | 〃 | 26(12) | 28(13) | 33(15) |

表３．４　Ｔ形橋脚施工歩掛（構造物高さ 15m以上 25m未満の場合）

（コンクリート 10 ㎥当たり）

| コンクリート打設量（㎥／基）<br>名称 | | 単位 | 290 ㎥以上<br>910 ㎥未満 | 910 ㎥以上<br>980 ㎥未満 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.6(0.5) | 0.5(0.4) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.2(0.2) | |
| 型わく工 | | 〃 | 1.5(1.5) | 1.3(1.3) |
| とび工 | | 〃 | 0.8(0.3) | 0.9(0.5) |
| 普通作業員 | | 〃 | 1.6(1.3) | 1.3(1.1) |
| コンクリート | | ㎥ | 10.2(10.2) | |
| コンクリートポンプ車運転 | | 日 | 0.06(0.06) | |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | % | 1(1) | 1(2) |
| | 均しコンクリート打設 | 〃 | 2(3) | 3(3) |
| 諸雑費率 | | 〃 | 29(13) | 28(13) |

（注）　１．～３．　（略）

４．　雑工種・諸雑費は、労務費と機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

なお、雑工種及び諸雑費に含まれる内容は表 3.5 のとおりである。

５．～10.　（略）

３－３　橋台・橋脚工

３－３－１　橋台・橋脚工（１）（構造物単位）

１・２　（略）

３　施工歩掛

（１）・（２）　（略）

（３）　Ｔ形橋脚歩掛

Ｔ形橋脚における施工歩掛は、次表を標準とする。

表３．２　Ｔ形橋脚施工歩掛（構造物高さ５ｍ以上 10m未満の場合）

（略）

（新設）

（新設）

（注）　１．～３．　（略）

４．　雑工種・諸雑費は、労務費と機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

なお、雑工種及び諸雑費に含まれる内容は表 3.3 のとおりである。

５．～10.　（略）

表３．５ 雑工種及び諸雑費に含まれる内容

| 項目 | | 労 務 費 | 機械運転経費 | 雑機械器具損料 | 材 料 費 |
|---|---|---|---|---|---|
| 雑工種 | 基礎砕石 | 敷設・転圧労務 | 材料投入敷均し機械<br>締固め機械 | － | 砕石材料 |
| | 均しコンクリート関係 | 打設・養生、<br>型枠製作・設置・<br>撤去労務 | 打設機械<br>電力に関する経費 | コンクリートバイブレータ、<br>工事用水中モータポンプ、<br>バケット等 | コンクリート、<br>養生材、<br>均し型枠材料等 |
| 諸雑費 | コンクリート関係 | － | 電力に関する経費 | コンクリートバイブレータ、<br>工事用水中モータポンプ等 | 養生マット、<br>養生シート等 |
| | 型枠関係 | － | 持上(下)げ機械<br>電力に関する経費 | 電気ドリル、<br>電気ノコギリ、<br>雑工具等 | 型枠材料、<br>組立支持材、<br>はく離剤等 |
| | 足場関係 | － | 持上(下)げ機械 | 雑工具等 | 足場工仮設材、<br>安全ネット等 |
| | 支保関係 | － | 持上(下)げ機械 | 雑工具等 | 支保工仮設材、<br>安全ネット等 |

（削る）

（４） 壁式橋脚歩掛
壁式橋脚の施工歩掛は、次表を標準とする。

表３．６ 壁式橋脚施工歩掛（構造物高さ５ｍ以上 15m未満の場合）
（略）

表３．７ 壁式橋脚施工歩掛（構造物高さ 15m以上 20m未満の場合）

（コンクリート 10 ㎥当たり）

| コンクリート打設量（㎥／基）<br>名称 | | 単位 | 250 ㎥以上<br>520 ㎥未満 | 520 ㎥以上<br>700 ㎥未満 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.5(0.4) | 0.4(0.3) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.2(0.2) | |
| 型わく工 | | 〃 | 1.6(1.6) | 1.1(1.1) |
| とび工 | | 〃 | 0.4(-) | 0.3(-) |
| 普通作業員 | | 〃 | 1.5(1.3) | 1.0(0.9) |
| コンクリート | | ㎥ | 10.2(10.2) | |
| コンクリートポンプ車運転 | | 日 | 0.06(0.06) | |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | % | 1(1) | 1(2) |
| | 均しコンクリート打設 | 〃 | 7(8) | 8(10) |
| 諸雑費率 | | 〃 | 27(14) | 33(16) |

（注） １．～３． （略）
４．雑工種・諸雑費は、労務費と機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
なお、雑工種及び諸雑費に含まれる内容は表 3.8 のとおりである。
５．～10. （略）

表３．３ 雑工種及び諸雑費に含まれる内容

| 項目 | | 労 務 費 | 機械運転経費 | 雑機械器具損料 | 材 料 費 |
|---|---|---|---|---|---|
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | 敷設・転圧労務 | 材料投入敷均し機械<br>締固め機械 | － | 砕石材料 |
| | 均しコンクリート打設 | 打設・養生、<br>型枠製作・設置・<br>撤去労務 | 打設機械<br>電力に関する経費 | コンクリートバイブレータ、<br>工事用水中モータポンプ、<br>バケット等 | コンクリート、<br>養生材、<br>均し型枠材料等 |
| 諸雑費 | コンクリート打設 | － | 電力に関する経費 | コンクリートバイブレータ、<br>工事用水中モータポンプ等 | 養生マット、<br>養生シート等 |
| | 型枠製作設置撤去 | － | 持上(下)げ機械<br>電力に関する経費 | 電気ドリル、<br>電気ノコギリ、<br>雑工具等 | 型枠材料、<br>組立支持材、<br>はく離剤等 |
| | 足場設置・撤去 | － | 持上(下)げ機械 | 雑工具等 | 足場工仮設材、<br>安全ネット等 |
| | 支保設置・撤去 | － | 持上(下)げ機械 | 雑工具等 | 支保工仮設材、<br>安全ネット等 |

表３．４～表３．５ （略）

（４） 壁式橋脚歩掛
壁式橋脚の施工歩掛は、次表を標準とする。

表３．６ 壁式橋脚施工歩掛（構造物高さ５ｍ以上 15m未満の場合）
（略）

（新設）

（注） １．～３． （略）
４．雑工種・諸雑費は、労務費と機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
なお、雑工種及び諸雑費に含まれる内容は表 3.3 のとおりである。
５．～10. （略）

表３．８ 雑工種及び諸雑費に含まれる内容

| 項目 | | 労 務 費 | 機械運転経費 | 雑機械器具損料 | 材 料 費 |
|---|---|---|---|---|---|
| 雑工種 | 基礎砕石 | 敷設・転圧労務 | 材料投入敷均し機械<br>締固め機械 | － | 砕石材料 |
| | 均しコンクリート関係 | 打設・養生、<br>型枠製作・設置・<br>撤去労務 | 打設機械<br>電力に関する経費 | コンクリートバイブレータ、<br>工事用水中モータポンプ、<br>バケット等 | コンクリート、<br>養生材、<br>均し型枠材料等 |
| 諸雑費 | コンクリート関係 | － | 電力に関する経費 | コンクリートバイブレータ、<br>工事用水中モータポンプ等 | 養生マット、<br>養生シート等 |
| | 型枠関係 | － | 持上(下)げ機械<br>電力に関する経費 | 電気ドリル、<br>電気ノコギリ、<br>雑工具等 | 型枠材料、<br>組立支持材、<br>はく離剤等 |
| | 足場関係 | － | 持上(下)げ機械 | 雑工具等 | 足場工仮設材、<br>安全ネット等 |
| | 支保関係 | － | 持上(下)げ機械 | 雑工具等 | 支保工仮設材、<br>安全ネット等 |

（削る）

（５） 逆Ｔ式橋台歩掛
逆Ｔ式橋台の施工歩掛は、次表を標準とする。

表３．９ 逆Ｔ式橋台施工歩掛（構造物高さ５ｍ未満、翼壁厚 0.4m以上 0.6m以下の場合）
（略）

表３．10 逆Ｔ式橋台施工歩掛（構造物高さ５ｍ以上７ｍ未満、翼壁厚 0.4m以上 0.6m以下の場合）

（コンクリート 10 $m^3$当たり）

| コンクリート打設量（$m^3$／基）<br>名 称 | | 単位 | 50 $m^3$以上<br>90 $m^3$未満 | 90 $m^3$以上<br>160 $m^3$未満 | 160 $m^3$以上<br>310 $m^3$未満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 1.0(0.8) | 0.7(0.6) | 0.6(0.5) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.2(0.2) | | |
| 型わく工 | | 〃 | 3.3(3.3) | 2.6(2.6) | 2.0(2.0) |
| とび工 | | 〃 | 0.8(0.1) | 0.6(0.1) | 0.4(0.1) |
| 普通作業員 | | 〃 | 2.7(2.3) | 2.2(1.9) | 1.7(1.5) |
| コンクリート | | $m^3$ | 10.2(10.2) | | |
| コンクリートポンプ車運転 | | 日 | 0.06(0.06) | | |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | % | 1(2) | 2(2) | 2(3) |
| | 均しコンクリート打設 | 〃 | 5(6) | 5(6) | 6(7) |
| 諸雑費率 | | 〃 | 19(9) | 20(11) | 21(11) |

（新設）

表３．７ （略）

（５） 逆Ｔ式橋台歩掛
逆Ｔ式橋台の施工歩掛は、次表を標準とする。

表３．８ 逆Ｔ式橋台施工歩掛（構造物高さ５ｍ未満、翼壁厚 0.4m以上 0.6m以下の場合）
（略）

（新設）

表３．11 逆Ｔ式橋台施工歩掛（構造物高さ７ｍ以上９ｍ未満、翼壁厚 0.4m以上 0.6m以下の場合）

（新設）

（コンクリート 10 ㎥当たり）

| コンクリート打設量（㎥／基）<br>名称 | | 単位 | 70 ㎥以上<br>110 ㎥未満 | 110 ㎥以上<br>210 ㎥未満 | 210 ㎥以上<br>310 ㎥未満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 1.0(0.8) | 0.7(0.6) | 0.6(0.5) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.2(0.2) | | |
| 型わく工 | | 〃 | 2.6(2.6) | 2.3(2.3) | 1.8(1.8) |
| とび工 | | 〃 | 1.3(0.6) | 0.8(0.3) | 0.5(0.1) |
| 普通作業員 | | 〃 | 2.5(2.1) | 2.0(1.7) | 1.6(1.4) |
| コンクリート | | ㎥ | 10.2(10.2) | | |
| コンクリートポンプ車運転 | | 日 | 0.06(0.06) | | |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | % | 1(2) | 2(2) | 3(3) |
| | 均しコンクリート打設 | 〃 | 3(4) | 5(5) | 7(8) |
| 諸雑費率 | | 〃 | 27(11) | 27(14) | 29(15) |

表３．12 逆Ｔ式橋台施工歩掛（構造物高さ９ｍ以上 10m未満、翼壁厚 0.4m以上 0.6m以下の場合）

（新設）

（コンクリート 10 ㎥当たり）

| コンクリート打設量（㎥／基）<br>名称 | | 単位 | 130 ㎥以上<br>280 ㎥未満 | 280 ㎥以上<br>310 ㎥未満 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.6(0.5) | 0.6(0.5) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.2(0.2) | |
| 型わく工 | | 〃 | 2.4(2.4) | 1.8(1.8) |
| とび工 | | 〃 | 0.7(0.2) | 0.5(0.1) |
| 普通作業員 | | 〃 | 2.1(1.8) | 1.6(1.4) |
| コンクリート | | ㎥ | 10.2(10.2) | |
| コンクリートポンプ車運転 | | 日 | 0.06(0.06) | |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | % | 1(2) | 2(2) |
| | 均しコンクリート打設 | 〃 | 5(6) | 5(6) |
| 諸雑費率 | | 〃 | 26(12) | 30(15) |

表３．13 逆Ｔ式橋台施工歩掛（構造物高さ 10m以上 11m未満、翼壁厚 0.4m以上 0.6m以下の場合）

（新設）

（コンクリート 10 ㎥当たり）

| コンクリート打設量（㎥／基）<br>名称 | | 単位 | 230 ㎥以上<br>370 ㎥未満 | 370 ㎥以上<br>650 ㎥未満 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.6(0.5) | 0.5(0.4) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.2(0.2) | |
| 型わく工 | | 〃 | 2.2(2.2) | 1.6(1.6) |
| とび工 | | 〃 | 0.7(0.1) | 0.5(0.1) |
| 普通作業員 | | 〃 | 1.9(1.6) | 1.5(1.3) |
| コンクリート | | ㎥ | 10.2(10.2) | |
| コンクリートポンプ車運転 | | 日 | 0.06(0.06) | |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | % | 1(2) | 2(3) |
| | 均しコンクリート打設 | 〃 | 4(4) | 5(6) |
| 諸雑費率 | | 〃 | 28(13) | 27(13) |

表３．14 逆Ｔ式橋台施工歩掛（構造物高さ 11m以上 12m未満、翼壁厚 0.4m以上 0.6m以下の場合）

（コンクリート 10 ㎥当たり）

| コンクリート打設量（㎥／基）<br>名称 | | 単位 | 230 ㎥以上<br>320 ㎥未満 | 320 ㎥以上<br>560 ㎥未満 | 560 ㎥以上<br>650 ㎥未満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.7(0.6) | 0.6(0.5) | 0.5(0.4) |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.2(0.2) | | |
| 型わく工 | | 〃 | 2.4(2.4) | 1.8(1.8) | 1.3(1.3) |
| とび工 | | 〃 | 0.8(0.2) | 0.5(0.1) | 0.3(0.1) |
| 普通作業員 | | 〃 | 2.1(1.8) | 1.7(1.4) | 1.3(1.1) |
| コンクリート | | ㎥ | 10.2(10.2) | | |
| コンクリートポンプ車運転 | | 日 | 0.06(0.06) | | |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | % | 2(2) | 2(3) | 3(3) |
| | 均しコンクリート打設 | 〃 | 4(4) | 3(4) | 3(3) |
| 諸雑費率 | | 〃 | 28(13) | 27(12) | 29(15) |

（注）　１．～３．　（略）

４．雑工種・諸雑費は、労務費と機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

なお、雑工種及び諸雑費に含まれる内容は表 3.15 のとおりである。

５．～11.　（略）

表３．15 雑工種及び諸雑費に含まれる内容

| 項目 | | 労務費 | 機械運転経費 | 雑機械器具損料 | 材料費 |
|---|---|---|---|---|---|
| 雑工種 | 基礎砕石 | 敷設・転圧労務 | 材料投入敷均し機械<br>締固め機械 | － | 砕石材料 |
| | 均しコンクリート関係 | 打設・養生、<br>型枠製作・設置・<br>撤去労務 | 打設機械<br>電力に関する経費 | コンクリートバイブレータ、<br>工事用水中モータポンプ、<br>バケット等 | コンクリート、<br>養生材、<br>均し型枠材料等 |
| 諸雑費 | コンクリート関係 | － | 電力に関する経費 | コンクリートバイブレータ、<br>工事用水中モータポンプ等 | 養生マット、<br>養生シート等 |
| | 型枠関係 | － | 持上(下)げ機械<br>電力に関する経費 | 電気ドリル、<br>電気ノコギリ、<br>雑工具等 | 型枠材料、<br>組立支持材、<br>はく離剤等 |
| | 足場関係 | － | 持上(下)げ機械 | 雑工具等 | 足場工仮設材、<br>安全ネット等 |
| | 支保関係 | － | 持上(下)げ機械 | 雑工具等 | 支保工仮設材、<br>安全ネット等 |

（削る）

４　（略）

（新設）

（注）　１．～３．　（略）

４．雑工種・諸雑費は、労務費と機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

なお、雑工種及び諸雑費に含まれる内容は表 3.3 のとおりである。

５．～11.　（略）

（新設）

表３．９～表３．13　（略）

４　（略）

5　単価表

（1）－1　T形橋脚 10 ㎥当たり単価表[橋台・橋脚工（1）]

| 名　称 | | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | | 人 | | 表3.2～表3.4 |
| 特殊作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| 型わく工 | | | 〃 | | 〃 |
| とび工 | | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| コンクリート | | | ㎥ | 10.2 | 〃<br>10×（1＋ロス率） |
| コンクリートポンプ車運転 | | トラック架装<br>・ブーム式<br>圧送能力<br>90～110 ㎥／h | 日 | 0.06 | 表3.2～表3.4<br>機械損料 |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | | 式 | 1 | 表3.2～表3.4<br>必要に応じて計上 |
| | 均しコンクリート打設 | | 〃 | 1 | |
| 圧送管組立・撤去費 | | | m3 | 10 | (1)-2 単価表<br>必要に応じて計上(注) |
| 養生工（特殊養生） | | | 式 | 1 | 必要に応じて計上(注) |
| 諸雑費 | | | 式 | 1 | 表3.2～表3.4 |
| 計 | | | | | |

（注）　（略）

（1）－2　（略）

（2）　壁式橋脚 10 ㎥当たり単価表[ 橋台・橋脚工（1）]

| 名　称 | | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | | 人 | | 表3.6、表3.7 |
| 特殊作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| 型わく工 | | | 〃 | | 〃 |
| とび工 | | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| コンクリート | | | ㎥ | 10.2 | 〃<br>10×（1＋ロス率） |
| コンクリートポンプ車運転 | | トラック架装<br>・ブーム式<br>圧送能力<br>90～110 ㎥／h | 日 | 0.06 | 表3.6、表3.7<br>機械損料 |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | | 式 | 1 | 表3.6、表3.7<br>必要に応じて計上 |
| | 均しコンクリート打設 | | 〃 | 1 | |
| 圧送管組立・撤去費 | | | m3 | 10 | (1)-2 単価表<br>必要に応じて計上(注) |
| 養生工（特殊養生） | | | 式 | 1 | 必要に応じて計上(注) |
| 諸雑費 | | | 式 | 1 | 表3.6、表3.7 |
| 計 | | | | | |

（注）　（略）

5　単価表

（1）　T形橋脚 10 ㎥当たり単価表[橋台・橋脚工（1）]

| 名　称 | | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | | 人 | | 表3.2、表3.4、表3.5 |
| 特殊作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| 型わく工 | | | 〃 | | 〃 |
| とび工 | | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| コンクリート | | | ㎥ | 10.2 | 〃<br>10×（1＋ロス率） |
| コンクリートポンプ車運転 | | トラック架装<br>・ブーム式<br>圧送能力<br>90～110 ㎥／h | 日 | 0.06 | 〃 |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | | 式 | 1 | 表3.2、表3.4、表3.5<br>必要に応じて計上 |
| | 均しコンクリート打設 | | 〃 | 1 | |
| 圧送管組立・撤去費 | | | m3 | 10 | (1)-2 単価表<br>必要に応じて計上(注) |
| 養生工（特殊養生） | | | 式 | 1 | 必要に応じて計上(注) |
| 諸雑費 | | | 式 | 1 | 表3.2、表3.4、表3.5 |
| 計 | | | | | |

（注）　（略）

（1）－2　（略）

（2）　壁式橋脚 10 ㎥当たり単価表[ 橋台・橋脚工（1）]

| 名　称 | | 規　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | | 人 | | 表3.6、表3.7 |
| 特殊作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| 型わく工 | | | 〃 | | 〃 |
| とび工 | | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| コンクリート | | | ㎥ | 10.2 | 〃<br>10×（1＋ロス率） |
| コンクリートポンプ車運転 | | トラック架装<br>・ブーム式<br>圧送能力<br>90～110 ㎥／h | 日 | 0.06 | 〃 |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | | 式 | 1 | 表3.6、表3.7<br>必要に応じて計上 |
| | 均しコンクリート打設 | | 〃 | 1 | |
| 圧送管組立・撤去費 | | | m3 | 10 | (1)-2 単価表<br>必要に応じて計上(注) |
| 養生工（特殊養生） | | | 式 | 1 | 必要に応じて計上(注) |
| 諸雑費 | | | 式 | 1 | 表3.6、表3.7 |
| 計 | | | | | |

（注）　（略）

（３）　逆Ｔ式橋台 10 ㎥当たり単価表[ 橋台・橋脚工（１）]

| 名　　称 | | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | | 人 | | 表 3.9～表 3.14 |
| 特殊作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| 型わく工 | | | 〃 | | 〃 |
| とび工 | | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| コンクリート | | | ㎥ | 10.2 | 〃<br>10×(１＋ロス率) |
| コンクリートポンプ車運転 | | トラック架装・ブーム式<br>圧送能力 90～110 ㎥／h | 日 | 0.06 | 表 3.9～表 3.14<br>機械損料 |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | | 式 | 1 | 表 3.9～表 3.14<br>必要に応じて計上 |
| | 均しコンクリート打設 | | 〃 | 1 | |
| 圧送管組立・撤去費 | | | m3 | 10 | (1)-2 単価表<br>必要に応じて計上(注) |
| 養生工（特殊養生） | | | 式 | 1 | 必要に応じて計上(注) |
| 諸雑費 | | | 式 | 1 | 表 3.9～表 3.14 |
| 計 | | | | | |

（略）

（４）　（略）

６　（略）

３－３－２　（略）

３－４　鋼橋架設工
（１）・（２）　（略）

（３）　架設用機械器具
１）～５）　（略）

６）　仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量
仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量は、次表を標準とする。これにより難い場合は、積上げて算出してもよい。

仮締ボルト及びドリフトピンの数量

| 名　　称 | 規　　格 | 本締めボルト規格 | 穴　　径 | 100 本当たりの損料（円/共用日） | 数　　量 |
|---|---|---|---|---|---|
| 仮締ボルト | φ22㎜用 | M22 | Φ24.5㎜ | 48 | 本締ボルト総本数<br>×1/3×2/3 |
| | φ19㎜用 | M19 | Φ21.5㎜ | 24 | |
| ドリフトピン | φ24.5×150㎜ | M22 | Φ24.5㎜ | 別途 | 本締ボルト総本数<br>×1/3×1/3 |
| | φ21.5×150㎜ | M19 | Φ21.5㎜ | 別途 | |

（４）～（６）　（略）

（３）　逆Ｔ式橋台 10 ㎥当たり単価表[ 橋台・橋脚工（１）]

| 名　　称 | | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | | 人 | | 表 3.8～表 3.13 |
| 特殊作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| 型わく工 | | | 〃 | | 〃 |
| とび工 | | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | | 〃 | | 〃 |
| コンクリート | | | ㎥ | 10.2 | 〃<br>10×(１＋ロス率) |
| コンクリートポンプ車運転 | | トラック架装・ブーム式<br>圧送能力 90～110 ㎥／h | 日 | 0.06 | 〃 |
| 雑工種 | 基礎材敷設転圧 | | 式 | 1 | 表 3.8～表 3.13<br>必要に応じて計上 |
| | 均しコンクリート打設 | | 〃 | 1 | |
| 圧送管組立・撤去費 | | | m3 | 10 | (1)-2 単価表<br>必要に応じて計上(注) |
| 養生工（特殊養生） | | | 式 | 1 | 必要に応じて計上(注) |
| 諸雑費 | | | 式 | 1 | 表 3.8～表 3.13 |
| 計 | | | | | |

（略）

（４）　（略）

６　（略）

３－３－２　（略）

３－４　鋼橋架設工
（１）・（２）　（略）

（３）　架設用機械器具
１）～５）　（略）

６）　仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量
仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量は、次表を標準とする。これにより難い場合は、積上げて算出してもよい。

仮締ボルト及びドリフトピンの数量

| 名　　称 | 規　　格 | 本締めボルト規格 | 穴　　径 | 100 本当たりの損料（円/共用日） | 数　　量 |
|---|---|---|---|---|---|
| 仮締ボルト | φ22㎜用 | M22 | Φ24.5㎜ | 48 | 本締ボルト総本数<br>×1/3×2/3 |
| | φ19㎜用 | M19 | Φ21.5㎜ | 19 | |
| ドリフトピン | φ24.5×150㎜ | M22 | Φ24.5㎜ | 110 | 本締ボルト総本数<br>×1/3×1/3 |
| | φ21.5×150㎜ | M19 | Φ21.5㎜ | 97 | |

（４）～（６）　（略）

（７）　本締工
本締工歩掛は、次表を標準とする。

本締工歩掛
（略）
備考　１・２　（略）
３　諸雑費は、発動発電機を使用した場合の燃料・油脂類の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
なお、商用電源を使用した場合も同値とする。
４・５　（略）

（８）～（17）　（略）

３－５　ＰＣ桁架設工

１・２　（略）

３　トラッククレーンによる架設歩掛
（１）・（２）　（略）

（３）　重量台車による桁小運搬
①～③　（略）

④　機械器具損料
横取り引出し設備、軌道設備（30 kg/m）、架設工具については、「建設機械等損料算定表（鋼橋・ＰＣ橋架設用仮設備機器）」により供用日当たり損料を計上する。
供用日数は次式により求める。
供用日数＝現場内小運搬日数×供用日数率
（注）　供用日数率＝1.7
架設工具は、供用日当たり 5,470 円計上する。

４・５　（略）

６　支承工
（１）・（２）　（略）

（３）　支承モルタル
支承モルタルは、無収縮モルタル（セメント系）とし、プレミックス製品を標準とする。
表 6.3 無収縮モルタルの配合

（1ｍ３当たり）

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|
| 無収縮剤 | セメント系　プレミックスタイプ | kg | 1,875 |
| 水 | | ℓ | 338 |

（注）上表にはロスを含む。

（４）　（略）

７～９　（略）

10　内訳書及び単価表
（１）～（５）　（略）

（７）　本締工
本締工歩掛は、次表を標準とする。

本締工歩掛
（略）
備考　１・２　（略）
３　諸雑費は、発動発電機を使用した場合の発動発電機の燃料・油脂類及び消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
なお、商用電源を使用した場合も同値とする。
４・５　（略）

（８）～（17）　（略）

３－５　ＰＣ桁架設工

１・２　（略）

３　トラッククレーンによる架設歩掛
（１）・（２）　（略）

（３）　重量台車による桁小運搬
①～③　（略）

④　機械器具損料
横取り引出し設備、軌道設備（30 kg/m）、架設工具については、「建設機械等損料算定表（鋼橋・ＰＣ橋架設用仮設備機器）」により供用日当たり損料を計上する。
供用日数は次式により求める。
供用日数＝小運搬日数×供用日数率
（注）　供用日数率＝1.7

４・５　（略）

６　支承工
（１）・（２）　（略）

（新設）

（３）　（略）

７～９　（略）

10　内訳書及び単価表
（１）～（５）　（略）

（6）　主桁架設10本当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 橋りょう世話役 | | 人 | | 表4.1　1×10本×W／N |
| 橋りょう特殊工 | | 〃 | | 〃　6×10本×W／N |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃　3×10本×W／N |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（注）W：桁1本当たり質量
　　N：1日当たり架設質量

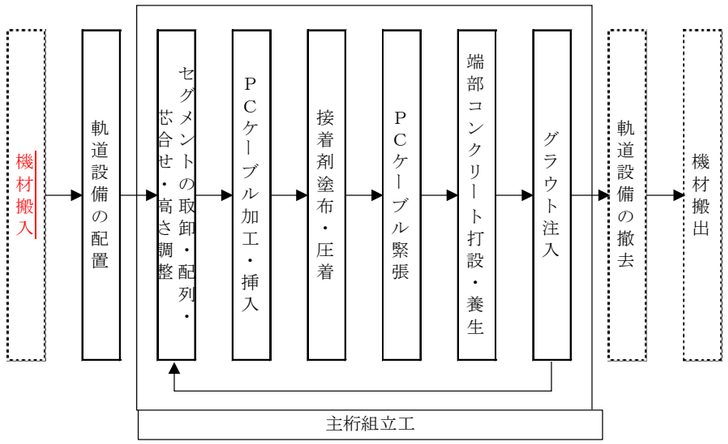
（7）～（27）　（略）

## 3－6　プレキャストセグメント主桁組立工

1　（略）

2　施工概要

施工フローは、下記を標準とする




（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3　（略）

4　施工歩掛

（1）（略）

表4．1 プレキャストセグメント主桁組立工歩掛

| 桁種別 | 分割数 | 日当り施工量（本／日） | 編成人員（人／日） | |
|---|---|---|---|---|
| 中空桁 | 3 | D＝-0.1095・H＋1.13<br>ただしHは0.7≦H≦1.5 | 橋りょう世話役<br>橋りょう特殊工<br>普通作業員 | 1<br>5<br>3 |
| | 5 | D＝-0.1167・H＋0.88<br>ただしHは1.0≦H≦1.5 | | |
| T桁<br>少数桁<br>PC ｺﾝﾎﾟ 桁<br>（多怪間含む） | 3 | D＝-0.1131・H＋1.08<br>ただしHは1.5≦H≦2.5 | | |
| | 5 | D＝-0.0774・H＋0.65<br>ただしHは1.5≦H≦3.0 | | |

D：日当たり施工量（本／日）
H：桁高（m）

（6）　主桁架設t当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 橋りょう世話役 | | 人 | | 表4.1 |
| 橋りょう特殊工 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

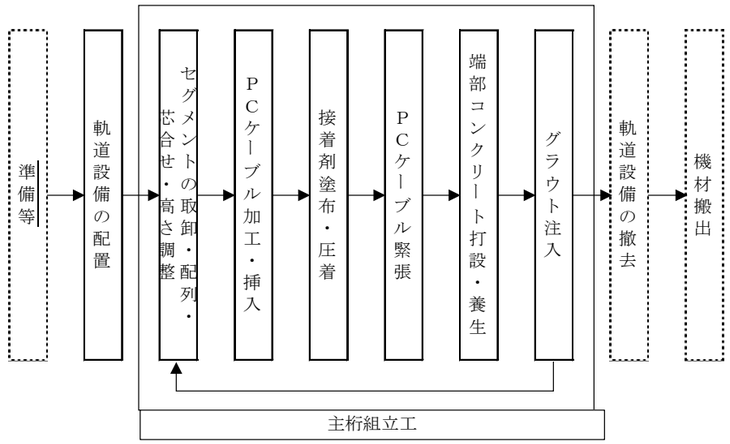
（7）～（27）　（略）

## 3－6　プレキャストセグメント主桁組立工

1　（略）

2　施工概要

施工フローは、下記を標準とする




（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3　（略）

4　施工歩掛

（1）（略）

表4．1 プレキャストセグメント主桁組立工歩掛

| 桁種別 | 分割数 | 日当り施工量（本／日） | 編成人員（人／日） | |
|---|---|---|---|---|
| 中空桁 | 3 | D＝-0.1063・H＋1.1<br>ただしHは0.7≦H≦1.5 | 橋りょう世話役<br>橋りょう特殊工<br>普通作業員 | 1<br>5<br>3 |
| | 5 | D＝-0.1133・H＋0.85<br>ただしHは1.0≦H≦1.5 | | |
| T桁<br>少数桁<br>PC ｺﾝﾎﾟ 桁<br>（多怪間含む） | 3 | D＝-0.1098・H＋1.05<br>ただしHは1.5≦H≦2.5 | | |
| | 5 | D＝-0.0751・H＋0.63<br>ただしHは1.5≦H≦3.0 | | |

D：日当たり施工量（本／日）
H：桁高（m）

（注）　（略）

（２）諸雑費

諸雑費は、プレキャストセグメント組立工に関わる材料費（接着剤、グラウト材（超低粘性型）、コンクリート（端部）、型枠用合板、剥離剤等）、機械器具費（表６．１の機械器具を除く雑機械（重量台車（引き出し用・調整用）、レバーブロック、軌条、グラウトポンプ、ウインチ、ワイヤロープ、グラウト流量計、水槽、真空ポンプ、発動発電機、空気圧縮機等））、消耗品費、電力にかかわる経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表４．２　諸雑費率（%）

| | 3分割 | | | 5分割 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 中空桁 | T桁少数桁<br>PCｺﾝﾎﾟ桁 | PCｺﾝﾎﾟ桁<br>（多径間） | 中空桁 | T桁少数桁<br>PCｺﾝﾎﾟ桁 | PCｺﾝﾎﾟ桁<br>（多径間） |
| 諸雑費率 | 65 | 71 | 82 | 76 | 71 | 87 |

（注）　（略）

５～７　（略）

**第４　道路維持修繕**

**４－１　切削オーバーレイ工**

**１・２　（略）**

３　機種の選定

切削オーバーレイ工に使用する機械・規格は，次表を標準とする。

表３．１　機種の選定

| 作業種別 | 機械名 | 規　　格 | 単位 | 台数 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 路面切削 | 路面切削機 | ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型（第３次基準値）切削幅 2.0m×深さ 23cm | 台 | 1 | |
| 廃材運搬 | ダンプトラック | オンロード・ディーゼル 10ｔ積級 | 〃 | 必要数 | |
| 路面清掃 | 路面清掃車 | ブラシ・四輪式　路面切削工事用・ホッパ容量 1.5 ㎥ | 〃 | 1 | |
| 合材敷均し | アスファルトフィニッシャ | ホイール型・排出ガス対策型（第３次基準値）舗装幅 2.3～6.0m | 〃 | 1 | |
| 合材締固 | ロードローラ | マカダム・排出ガス対策型（第２次基準値）運転質量 10ｔ　締固め幅 2.1m | 〃 | 1 | |
| | タイヤローラ | 普通型・排出ガス対策型（第２次基準値）運転質量 8～20ｔ | 〃 | 1 | |

(注)　タイヤローラは、賃料とする。

**４～６　（略）**

（注）　（略）

（２）諸雑費

諸雑費は、接着剤、グラウト、コンクリート（端部）、型枠用合板、剥離剤等の材料費、表６．１の機械器具を除く雑機械の損料等の経費、プレキャストセグメント桁組立に必要な消耗品費、電力にかかわる経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表４．２　諸雑費率（%）

| | 3分割 | | | 5分割 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 中空桁 | T桁少数桁<br>PCｺﾝﾎﾟ桁 | PCｺﾝﾎﾟ桁<br>（多径間） | 中空桁 | T桁少数桁<br>PCｺﾝﾎﾟ桁 | PCｺﾝﾎﾟ桁<br>（多径間） |
| 諸雑費率 | 35 | 37 | 49 | 43 | 39 | 58 |

（注）　（略）

５～７　（略）

**第４　道路維持修繕**

**４－１　（略）**

**１・２　（略）**

３　機種の選定

切削オーバーレイ工に使用する機械・規格は，次表を標準とする。

表３．１　機種の選定

| 作業種別 | 機械名 | 規　　格 | 単位 | 台数 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 路面切削 | 路面切削機 | 排出ガス対策型（第３次基準値）ホイール式廃材積込装置付 2.0m×23cm | 台 | 1 | |
| 廃材運搬 | ダンプトラック | オンロードディーゼル 10ｔ積級 | 〃 | 必要数 | |
| 路面清掃 | 路面清掃車 | ブラシ・四輪式　路面切削工事用・ホッパ容量 1.5 ㎥ | 〃 | 1 | |
| 合材敷均し | アスファルトフィニッシャ | 排出ガス対策型（第３次基準値）ホイール型 2.4～6.0m | 〃 | 1 | |
| 合材締固 | ロードローラ | 排出ガス対策型（第２次基準値）マカダム 10ｔ | 〃 | 1 | |
| | タイヤローラ | 排出ガス対策型（第２次基準値）普通型 8～20ｔ | 〃 | 1 | |

(注)　タイヤローラは、賃料とする。

**４～６　（略）**

7　単価表

（1）切削オーバーレイ 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 1×100/D | 表 4.1，表 5.1 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 3×100/D | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 5×100/D | 〃 |
| アスファルト混合物 | | t | | (注)1　表 5.2 |
| 瀝青材料 | | ℓ | | 表 5.4 |
| 路面切削機運転 | ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型（第３次基準値）切削幅 2.0m×深さ 23cm | 日 | 100/D | 表 5.1<br>機械損料 |
| 路面清掃車運転 | ブラシ・四輪式路面切削工事用・ホッパ容量 1.5 ㎥ | 〃 | 100/D | 〃<br>機械損料 |
| アスファルト<br>フィニッシャ運転 | ホイール型・排出ガス対策型（第３次基準値）舗装幅 2.3～6.0m | 〃 | 100/D | 〃<br>機械損料 |
| ロードローラ運転 | マカダム・排出ガス対策型（第２次基準値）運転質量 10ｔ締固め幅 2.1m | 〃 | 100/D | 〃<br>機械損料 |
| タイヤローラ運転 | 普通型・排出ガス対策型（第２次基準値）運転質量 8～20ｔ | 〃 | 100/D | 〃<br>機械賃料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 6.1 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（2）機械運転単価表

| 機械名 | 規格 | 適　用<br>単価表 | 指 定 事 項 | 7 cm以下 | 7 cmを超え 12 cm以下 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 即日<br>一層舗設 | 即日<br>一層舗設 | 即日<br>二層舗設 |
| 路面切削機 | ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型（第３次基準値）切削幅 2.0m×深さ 23cm | 機－18 | 運転労務数量<br>燃料消費量<br>機械損料数量 | 1.00<br>204<br>1.31 | 1.00<br>216<br>1.26 | 0.95<br>144<br>1.00 |
| 路面清掃車 | ブラシ・四輪式路面切削工事用・ホッパ容量 1.5 ㎥ | 機－19 | 運転労務数量<br>燃料消費量<br>機械損料数量 | 0.98<br>43<br>1.31 | 0.96<br>42<br>1.26 | 0.74<br>32<br>1.00 |
| アスファルト<br>フィニッシャ | ホイール型・排出ガス対策型（第３次基準値）舗装幅 2.3～6.0m | 機－18 | 運転労務数量<br>燃料消費量<br>機械損料数量 | 1.00<br>48<br>1.39 | 1.00<br>53<br>1.18 | 1.00<br>42<br>1.22 |
| ロードローラ | マカダム・排出ガス対策型（第２次基準値）運転質量 10ｔ締固め幅 2.1m | 機－18 | 運転労務数量<br>燃料消費量<br>機械損料数量 | 1.00<br>25<br>1.39 | 1.00<br>26<br>1.18 | 1.00<br>17<br>1.22 |
| タイヤローラ | 普通型・排出ガス対策型（第２次基準値）運転質量 8～20ｔ | 機－28 | 運転労務数量<br>燃料消費量<br>機械賃料数量 | 1.00<br>26<br>1.16 | 1.00<br>23<br>1.00 | 1.00<br>25<br>1.30 |

7　単価表

（1）切削オーバーレイ 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 1×100/D | 表 4.1，表 5.1 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 3×100/D | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 5×100/D | 〃 |
| アスファルト混合物 | | t | | (注)1　表 5.2 |
| 瀝青材料 | | ℓ | | 表 5.4 |
| 路面切削機運転 | 排出ガス対策型（第３次基準値）ホイール式<br>廃材積込装置付<br>切削幅 2.0m×23cm | 日 | 100/D | 表 5.1<br>機械損料 |
| 路面清掃車運転 | ブラシ・四輪式路面切削工事用・ホッパ容量 1.5 ㎥ | 〃 | 100/D | 〃<br>機械損料 |
| アスファルト<br>フィニッシャ運転 | 排出ガス対策型（第３次基準値）ホイール型<br>舗装幅 2.4～6.0m | 〃 | 100/D | 〃<br>機械損料 |
| ロードローラ運転 | 排出ガス対策型（第２次基準値）マカダム 10ｔ締固め幅 2.1m | 〃 | 100/D | 〃<br>機械損料 |
| タイヤローラ運転 | 排出ガス対策型（第２次基準値）普通型運転質量 8～20ｔ | 〃 | 100/D | 〃<br>機械賃料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 6.1 |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（2）機械運転単価表

| 機械名 | 規格 | 適　用<br>単価表 | 指 定 事 項 | 7 cm以下 | 7 cmを超え 12 cm以下 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 即日<br>一層舗設 | 即日<br>一層舗設 | 即日<br>二層舗設 |
| 路面切削機 | 排出ガス対策型（第３次基準値）ホイール式<br>廃材積込装置付切削幅 2.0m×23cm | 機－18 | 運転労務数量<br>燃料消費量<br>機械損料数量 | 1.00<br>204<br>1.31 | 1.00<br>216<br>1.26 | 0.95<br>144<br>1.00 |
| 路面清掃車 | ブラシ・四輪式路面切削工事用・ホッパ容量 1.5 ㎥ | 機－19 | 運転労務数量<br>燃料消費量<br>機械損料数量 | 0.98<br>43<br>1.31 | 0.96<br>42<br>1.26 | 0.74<br>32<br>1.00 |
| アスファルト<br>フィニッシャ | 排出ガス対策型（第３次基準値）ホイール型舗装幅 2.4～6.0m | 機－18 | 運転労務数量<br>燃料消費量<br>機械損料数量 | 1.00<br>48<br>1.39 | 1.00<br>53<br>1.18 | 1.00<br>42<br>1.22 |
| ロードローラ | 排出ガス対策型（第２次基準値）マカダム 10ｔ締固め幅 2.1m | 機－18 | 運転労務数量<br>燃料消費量<br>機械損料数量 | 1.00<br>25<br>1.39 | 1.00<br>26<br>1.18 | 1.00<br>17<br>1.22 |
| タイヤローラ | 排出ガス対策型（第２次基準値）普通型<br>運転質量 8～20ｔ | 機－28 | 運転労務数量<br>燃料消費量<br>機械賃料数量 | 1.00<br>26<br>1.16 | 1.00<br>23<br>1.00 | 1.00<br>25<br>1.30 |

４－２・４－３　（略）

## ４－４　アスファルト注入工

１　（略）

２　機種の選定

（１）削孔機械

機械・規格は、次表を標準とする。

表２．１ 削孔機械

| 機械名 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| ハンドハンマ | 20 kg級 | 台 | 2 | |
| 空気圧縮機 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第１次基準値)7.5～7.8 ㎥/min<br>吐出圧力 0.7MPa | 〃 | 1 | |
| トラック | 普通型 2ｔ積 | 〃 | 1 | 空気圧縮機及び機械運搬用 |

（２）　注入機械

機械・規格は，次表を標準とする。

表２．２ 注入機械

| 機械名 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| アスファルトケットル | 定置式 タンク容量 6,000ℓ | 台 | 1 | |
| ディストリビュータ | 自走式（トラック架装式）タンク容量 4,000～4,500ℓ | 〃 | 1 | |
| トラック | 普通型 2ｔ積 | 〃 | 1 | 注入時の散水，注入層処理用 |

３　施工量

（１）・（２）　（略）

４　施工歩掛

（１）　削孔歩掛

１日当たりの削孔数は 350 穴/日を標準とし、歩掛は次表を標準とする。

表４．１ 削孔歩掛(100 穴当たり)

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.3 | |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1.6 | |
| 普通作業員 | | 〃 | 0.2 | |
| ハンドハンマ損料 | 20 kg級 | 日 | 0.6 | 0.3×2 台 |
| 空気圧縮機運転 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第１次基準値)7.5～7.8 ㎥/min<br>吐出圧力 0.7MPa | 〃 | 0.3 | |
| トラック運転 | 普通型 2ｔ積 | h | 1.8 | |
| 諸雑費 | | % | 9 | |

４－２・４－３　（略）

４－４　アスファルト注入工

１　（略）

２　機種の選定

（１）　削孔機械

機械・規格は、次表を標準とする。

表２．１ 削孔機械

| 機械名 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| ハンドハンマ | 20 kg級 | 台 | 2 | |
| 空気圧縮機 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第１次基準値)7.5～7.8 ㎥/min | 〃 | 1 | |
| トラック | 2ｔ積 | 〃 | 1 | 空気圧縮機及び機械運搬用 |

（２）　注入機械

機械・規格は，次表を標準とする。

表２．２ 注入機械

| 機械名 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| アスファルトケットル | 6,000ℓ | 台 | 1 | |
| ディストリビュータ | 自走式 4,000ℓ | 〃 | 1 | |
| トラック | 2ｔ積 | 〃 | 1 | 注入時の散水，注入層処理用 |

３　施工量

（１）・（２）　（略）

４　施工歩掛

（１）　削孔歩掛

１日当たりの削孔数は 350 穴/日を標準とし、歩掛は次表を標準とする。

表４．１ 削孔歩掛(100 穴当たり)

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.3 | |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1.6 | |
| 普通作業員 | | 〃 | 0.2 | |
| ハンドハンマ損料 | 20 kg級 | 日 | 0.6 | 0.3×2 台 |
| 空気圧縮機運転 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第１次基準値)7.5～7.8 ㎥/min | 〃 | 0.3 | |
| トラック運転 | 2ｔ積 | h | 1.8 | |
| 諸雑費 | | % | 9 | |

（注）　（略）

（2）　注入歩掛

１日当たり注入量（ディストリビュータ吐出量）は5.5ｔ/日を標準とし、歩掛は次表を標準とする。

表４．２　注入歩掛(１ｔ当たり)

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.4 |
| 普通作業員 | | 〃 | 1.0 |
| アスファルトケットル運転 | 定置式 タンク容量 6,000ℓ | 日 | 0.2 |
| ディストリビュータ運転 | 自走式（トラック架装式）タンク容量 4,000～4,500ℓ | 〃 | 0.2 |
| トラック運転 | 普通型２ｔ積 | h | 1.2 |
| 諸雑費 | | % | 2 |

（注）　（略）

（3）・（4）　（略）

５　単価表

（1）　（略）

（2）　アスファルト注入１ｔ当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表4.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| ブロンアスファルト | JIS K2207 針入度20～30 | t | | 3，(2)1) |
| アスファルトケットル運転 | 定置式 タンク容量6,000ℓ | 〃 | | 表4.2 (3) 単価表 機械損料 |
| ディストリビュータ運転 | 自走式（トラック架装式）タンク容量4,000～4,500ℓ | 〃 | | 〃 (4) 単価表 機械損料 |
| トラック運転 | 普通型２ｔ積 | h | | 表4.2 機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表4.2 |
| 計 | | | | |

（3）　アスファルトケットル（6,000ℓ）運転１日当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 特殊作業員 | | 人 | | 表4.3 |
| 加熱用燃料費 | | ℓ | | 表4.4 |
| アスファルトケットル | 定置式 タンク容量6,000ℓ | 日 | 1 | 機械損料 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（注）　（略）

（2）　注入歩掛

１日当たり注入量（ディストリビュータ吐出量）は5.5ｔ/日を標準とし、歩掛は次表を標準とする。

表４．２　注入歩掛(１ｔ当たり)

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.4 |
| 普通作業員 | | 〃 | 1.0 |
| アスファルトケットル運転 | 6,000ℓ | 日 | 0.2 |
| ディストリビュータ運転 | 自走式4,000ℓ | 〃 | 0.2 |
| トラック運転 | ２ｔ積 | h | 1.2 |
| 諸雑費 | | % | 2 |

（注）　（略）

（3）・（4）　（略）

５　単価表

（1）　（略）

（2）　アスファルト注入１ｔ当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表4.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| ブロンアスファルト | JIS K2207 針入度20～30 | t | | 3，(2)1) |
| アスファルトケットル運転 | 6,000ℓ | 〃 | | 表4.2 (3) 単価表 |
| ディストリビュータ運転 | 自走式4,000ℓ | 〃 | | 〃 (4) 単価表 |
| トラック運転 | ２ｔ積 | h | | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

（3）　アスファルトケットル（6,000ℓ）運転１日当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 特殊作業員 | | 人 | | 表4.3 |
| 加熱用燃料費 | | ℓ | | 表4.4 |
| ケットル損料 | 6,000ℓ | 日 | 1 | |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（4） ディストリビュータ運転１日当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 運 転 手 （ 一 般 ） | | 人 | 1 | |
| 加 熱 用 燃 料 費 | | ℓ | | 表 4.4 |
| 運 転 用 燃 料 費 | | 〃 | 運転１ｈ燃料消費量×Ｔ | 森林整備保全事業建設機械経費積算要領別表第３による |
| ディストリビュータ | 自走式（トラック架装式）タンク容量 4,000～4,500ℓ | 日 | 1 | 機械損料 |
| ト　ラ　ッ　ク | 普通型 6～6.5t 積 | h | 4.3 | 機械損料 |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

(注) ディストリビュータの運転日当たり運転時間（Ｔ）は、4.3ｈ/日とする。

（5） 機械運転単価表

| 機 械 名 | 規 格 | 適用単価表 | 指 定 事 項 |
|---|---|---|---|
| 空 気 圧 縮 機 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第１次基準値）7.5～7.8 ㎥/min 吐出圧力 0.7MPa | 機－16 | 燃料消費量→58 機械賃料数量→1.7 |
| ト ラ ッ ク | 普通型２ｔ積 | 機－６ | |

４－５　床版補強工

１～８　（略）

９　単価表

（1） 床版補強材材料費１ｔ当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 床　版　補　強　材 | | t | 1 | 鋼板接着工用鋼板又は増桁架設工用桁 |
| 諸　雑　費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

（2）　（略）

（3） 増桁架設工１ｔ当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 橋 り ょ う 世 話 役 | | 人 | 1.0(1.1) | 表 4.1 |
| 橋 り ょ う 特 殊 工 | | 〃 | 5.1(6.2 | 〃 |
| 普 通 作 業 員 | | 〃 | 1.9(2.2) | 〃 |
| シ ー ル 材 | エポキシ | kg | | 表 4.1 必要量計上 |
| 注 入 材 | 〃 | 〃 | | 〃 |
| 諸 雑 費 | | 式 | 1 | 表 4.1 |
| 計 | | | | |

（　）書きは障害有りの場合

（4）　（略）

（4） ディストリビュータ運転１日当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 運 転 手 （ 一 般 ） | | 人 | 1 | |
| 加 熱 用 燃 料 費 | | ℓ | | 表 4.4 |
| 運 転 用 燃 料 費 | | 〃 | 運転１ｈ燃料消費量×Ｔ | 第Ｉ編第６章②原動機燃料消費量による |
| ディストリビュータ運　　転 | 自走式 4,000ℓ | 日 | 1 | |
| （ 新 設 ） | （新設） | （新設） | （新設） | （新設） |
| 諸 雑 費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

(注) ディストリビュータの運転日当たり運転時間（Ｔ）は、4.3ｈ/日とする。

（5） 機械運転単価表

| 機 械 名 | 規 格 | 適用単価表 | 指 定 事 項 |
|---|---|---|---|
| 空 気 圧 縮 機 | 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第１次基準値）7.5～7.8 ㎥/min | 機－16 | 燃料消費量→58 機械賃料数量→1.7 |
| ト ラ ッ ク | ２ｔ積 | 機－６ | |

４－５　床版補強工

１～８　（略）

９　単価表

（新設）

（1）　（略）

（2） 増桁架設工１ｔ当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 橋 り ょ う 世 話 役 | | 人 | 1.0(1.1) | 表 4.1 |
| 橋 り ょ う 特 殊 工 | | 〃 | 5.1(6.2 | 〃 |
| 普 通 作 業 員 | | 〃 | 1.9(2.2) | 〃 |
| シ ー ル 材 | エポキシ | kg | | 表 4.1 必要量計上 |
| 注 入 材 | 〃 | 〃 | | 〃 |
| 諸 雑 費 | | 式 | 1 | 表 4.1 |
| 計 | | | | |

（3）　（略）

（5）　下地処理工 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 1.9 | 表 5.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 7.7 | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

（6）　プライマー工 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 1.0(1.1) | 表 5.3 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 4.2(4.2) | 〃 |
| プライマー | | kg | 29 | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

（　）書きは格子貼りの場合

（7）　不陸整正工 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 2.0(2.4) | 表 5.4 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 6.0(7.1) | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 4.0(4.7) | 〃 |
| エポキシ樹脂パテ | | kg | 146 | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

（　）書きは格子貼りの場合

（8）　炭素繊維シート接着工 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 2.8(2.9) | 表 5.5 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 8.3(8.8) | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 5.5(5.9) | 〃 |
| 炭素繊維シート | | ㎡ | 107(105) | 〃 |
| エポキシ樹脂含浸材 | | kg | | 表 5.6　必要量計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 5.5 |
| 特許料金 | | 式 | | 必要に応じて計上 |
| 計 | | | | |

（　）書きは格子貼りの場合

（9）　仕上げ塗装工 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | 1.1 | 表 5.7 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 3.4 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 2.3 | 〃 |
| エポキシ樹脂塗料 | 中塗り | kg | 20 | 〃 |
| ウレタン樹脂塗料 | 上塗り | 〃 | 16 | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

（10）～（13）　（略）

４－６～４－８　（略）

（4）　下地処理工 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表 5.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

（5）　プライマー工 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表 5.3 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| プライマー | | kg | | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

（6）　不陸修正工 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表 5.4 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| エポキシ樹脂パテ | | kg | | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

（7）　炭素繊維シート接着工 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表 5.5 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 炭素繊維シート | | ㎡ | | 〃 |
| エポキシ樹脂含浸材 | | kg | | 表 5.6　必要量計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 5.5 |
| 特許料金 | | 式 | | 必要に応じて計上 |
| 計 | | | | |

（8）　仕上げ塗装工 100 ㎡当たり単価表

| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | | 人 | | 表 5.7 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| エポキシ樹脂塗料 | 中塗り | kg | | 〃 |
| ウレタン樹脂塗料 | 上塗り | 〃 | | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

（9）～（12）　（略）

４－６～４－８　（略）

# 第４編　作業日当たり標準作業量

## 1. 適用条件

本章に掲載した作業日当たり標準作業量は、標準歩掛に沿った条件、工法での設定であり、工程、作業日数等の検討のための参考として、とりまとめたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件、施工方法、制約条件等十分考慮し、適用の可否を検討の上、使用されたい。

## 2. 作業日当たり標準作業量

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 土工 | ① 埋戻工 |

| 埋戻種別 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 埋戻種別 D | 3.7 ㎥／日 |

② 機械土工（岩石）　大型ブレーカ掘削

| 岩分類 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 軟岩(Ⅰ)B | 77 ㎥／日 |
| 軟岩(Ⅱ) | 62 ㎥／日 |
| 中硬岩 | 47 ㎥／日 |
| 硬岩(Ⅰ) | 36 ㎥／日 |

③ 機械土工（岩石）　大型ブレーカ床掘

| 作業区分 | 岩分類 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|
| 床掘Ⅰ | 軟岩(Ⅰ)B | 77 ㎥／日 |
| | 軟岩(Ⅱ) | 62 ㎥／日 |
| | 中硬岩 | 47 ㎥／日 |
| | 硬岩(Ⅰ) | 36 ㎥／日 |
| 床掘Ⅱ | 軟岩(Ⅰ)B | 40 ㎥／日 |
| | 軟岩(Ⅱ) | 32 ㎥／日 |
| | 中硬岩 | 25 ㎥／日 |
| | 硬岩(Ⅰ) | 18 ㎥／日 |


# 第４編　作業日当たり標準作業量

## 1. 適用条件

本章に掲載した作業日当たり標準作業量は、標準歩掛に沿った条件、工法での設定であり、工程、作業日数等の検討のための参考として、とりまとめたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件、施工方法、制約条件等十分考慮し、適用の可否を検討の上、使用されたい。

## 2. 作業日当たり標準作業量

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 土工 | ① 埋戻工 |

| 埋戻種別 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 埋戻種別 D | 3.7 ㎥／日 |

② 機械土工（岩石）　大型ブレーカ掘削

| 岩分類 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 軟岩(Ⅰ)B | 77 ㎥／日 |
| 軟岩(Ⅱ) | 62 ㎥／日 |
| 中硬岩 | 47 ㎥／日 |
| 硬岩(Ⅰ) | 36 ㎥／日 |

③ 機械土工（岩石）　大型ブレーカ床掘

| 作業区分 | 岩分類 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|
| 床掘Ⅰ | 軟岩(Ⅰ)B | 77 ㎥／日 |
| | 軟岩(Ⅱ) | 62 ㎥／日 |
| | 中硬岩 | 47 ㎥／日 |
| | 硬岩(Ⅰ) | 36 ㎥／日 |
| 床掘Ⅱ | 軟岩(Ⅰ)B | 40 ㎥／日 |
| | 軟岩(Ⅱ) | 32 ㎥／日 |
| | 中硬岩 | 25 ㎥／日 |
| | 硬岩(Ⅰ) | 18 ㎥／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 土工 | ④　機械土工（岩石）　人力併用機械掘削 |

| 岩分類 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 軟岩(Ⅰ)B | 56 ㎥／日 |
| 軟岩(Ⅱ) | 42 ㎥／日 |
| 中硬岩 | 33 ㎥／日 |
| 硬岩(Ⅰ) | 19 ㎥／日 |

運搬工

①　モノレール運搬　路線選定

| 傾斜区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 30 度未満 | 286m／日 |
| 30 度以上 | 222m／日 |

②　モノレール運搬　架設

| 傾斜区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 30 度未満 | 50m／日 |
| 30 度以上 | 42m／日 |

③　モノレール運搬　撤去

| 傾斜区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 30 度未満 | 100m／日 |
| 30 度以上 | 83m／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 土工 | ④　機械土工（岩石）　人力併用機械掘削 |

| 岩分類 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 軟岩(Ⅰ)B | 56 ㎥／日 |
| 軟岩(Ⅱ) | 42 ㎥／日 |
| 中硬岩 | 33 ㎥／日 |
| 硬岩(Ⅰ) | 19 ㎥／日 |

運搬工

①　モノレール運搬　路線選定

| 傾斜区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 30 度未満 | 286m／日 |
| 30 度以上 | 222m／日 |

②　モノレール運搬　架設

| 傾斜区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 30 度未満 | 50m／日 |
| 30 度以上 | 42m／日 |

③　モノレール運搬　撤去

| 傾斜区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 30 度未満 | 100m／日 |
| 30 度以上 | 83m／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 運搬工 | ④　ケーブルクレーン運搬　ウインチベース架設・撤去 |

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| ウインチベース架設 | 1.0 基／日 |
| ウインチベース撤去 | 1.0 基／日 |

⑤　ケーブルクレーン運搬　アンカー架設・撤去

| 施工区分 | アンカー<br>種別 | 規格 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 人力施工 | 丸太<br>埋込み | 1t 未満 | 0.7 基／日 |
| | | 1t 以上 2t 未満 | 0.6 基／日 |
| | | 2t 以上 3t 未満 | 0.6 基／日 |
| | | 3t 以上 4t 未満 | 0.6 基／日 |
| | | 4t 以上 5t 未満 | 0.5 基／日 |
| | 根株<br>・<br>立木 | 1t 未満 | 1.3 基／日 |
| | | 1t 以上 2t 未満 | 1.0 基／日 |
| | | 2t 以上 3t 未満 | 0.9 基／日 |
| | | 3t 以上 4t 未満 | 0.8 基／日 |
| | | 4t 以上 5t 未満 | 0.8 基／日 |
| 機械施工 | 丸太<br>埋込み | 5t 未満 | 1.0 基／日 |

⑥　ケーブルクレーン運搬　ケーブルクレーン架設・撤去

| 規格(t) | 支間長(m) | 標準作業日数 | |
|---|---|---|---|
| | | 架設 | 撤去 |
| 1t 未満 | 75 以下 | 2 日 | 1 日 |
| | 76～125 | 3 日 | 1 日 |
| | 126～175 | 3 日 | 2 日 |
| | 176～225 | 4 日 | 2 日 |
| | 226～275 | 5 日 | 3 日 |
| | 276～325 | 5 日 | 3 日 |
| | 326～375 | 6 日 | 3 日 |
| | 376～425 | 7 日 | 4 日 |
| | 426～500 | 7 日 | 4 日 |
| | 501～600 | 8 日 | 4 日 |
| | 601～700 | 8 日 | 4 日 |
| | 701～800 | 9 日 | 5 日 |
| | 801～1000 | 9 日 | 5 日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 運搬工 | ④　ケーブルクレーン運搬　ウインチベース架設・撤去 |

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| ウインチベース架設 | 1.0 基／日 |
| ウインチベース撤去 | 1.0 基／日 |

⑤　ケーブルクレーン運搬　アンカー架設・撤去

| 施工区分 | アンカー<br>種別 | 規格 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 人力施工 | 丸太<br>埋込み | 1t 未満 | 0.7 基／日 |
| | | 1t 以上 2t 未満 | 0.6 基／日 |
| | | 2t 以上 3t 未満 | 0.6 基／日 |
| | | 3t 以上 4t 未満 | 0.6 基／日 |
| | | 4t 以上 5t 未満 | 0.5 基／日 |
| | 根株<br>・<br>立木 | 1t 未満 | 1.3 基／日 |
| | | 1t 以上 2t 未満 | 1.0 基／日 |
| | | 2t 以上 3t 未満 | 0.9 基／日 |
| | | 3t 以上 4t 未満 | 0.8 基／日 |
| | | 4t 以上 5t 未満 | 0.8 基／日 |
| 機械施工 | 丸太<br>埋込み | 5t 未満 | 1.0 基／日 |

⑥　ケーブルクレーン運搬　ケーブルクレーン架設・撤去

| 規格(t) | 支間長(m) | 標準作業日数 | |
|---|---|---|---|
| | | 架設 | 撤去 |
| 1t 未満 | 75 以下 | 2 日 | 1 日 |
| | 76～125 | 3 日 | 1 日 |
| | 126～175 | 3 日 | 2 日 |
| | 176～225 | 4 日 | 2 日 |
| | 226～275 | 5 日 | 3 日 |
| | 276～325 | 5 日 | 3 日 |
| | 326～375 | 6 日 | 3 日 |
| | 376～425 | 7 日 | 4 日 |
| | 426～500 | 7 日 | 4 日 |
| | 501～600 | 8 日 | 4 日 |
| | 601～700 | 8 日 | 4 日 |
| | 701～800 | 9 日 | 5 日 |
| | 801～1000 | 9 日 | 5 日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 運搬工 | |

| 規格(t) | 支間長(m) | 標準作業日数 | |
|---|---|---|---|
| | | 架設 | 撤去 |
| 1t 以上 2t 未満 | 75 以下 | 3 日 | 2 日 |
| | 76～125 | 4 日 | 2 日 |
| | 126～175 | 4 日 | 3 日 |
| | 176～225 | 5 日 | 3 日 |
| | 226～275 | 6 日 | 4 日 |
| | 276～325 | 6 日 | 4 日 |
| | 326～375 | 7 日 | 4 日 |
| | 376～425 | 8 日 | 5 日 |
| | 426～500 | 8 日 | 5 日 |
| | 501～600 | 9 日 | 5 日 |
| | 601～700 | 9 日 | 5 日 |
| | 701～800 | 10 日 | 6 日 |
| | 801～1000 | 10 日 | 6 日 |
| 2t 以上 3t 未満 | 75 以下 | 4 日 | 3 日 |
| | 76～125 | 5 日 | 3 日 |
| | 126～175 | 6 日 | 3 日 |
| | 176～225 | 6 日 | 4 日 |
| | 226～275 | 7 日 | 4 日 |
| | 276～325 | 8 日 | 5 日 |
| | 326～375 | 8 日 | 5 日 |
| | 376～425 | 9 日 | 5 日 |
| | 426～500 | 10 日 | 6 日 |
| | 501～600 | 10 日 | 6 日 |
| | 601～700 | 10 日 | 6 日 |
| | 701～800 | 11 日 | 7 日 |
| | 801～1000 | 11 日 | 7 日 |
| 3t 以上 4t 未満 | 75 以下 | 5 日 | 3 日 |
| | 76～125 | 6 日 | 3 日 |
| | 126～175 | 6 日 | 4 日 |
| | 176～225 | 7 日 | 4 日 |
| | 226～275 | 8 日 | 4 日 |
| | 276～325 | 8 日 | 5 日 |
| | 326～375 | 9 日 | 5 日 |
| | 376～425 | 10 日 | 6 日 |
| | 426～500 | 10 日 | 6 日 |
| | 501～600 | 10 日 | 6 日 |
| | 601～700 | 10 日 | 6 日 |
| | 701～800 | 11 日 | 7 日 |
| | 801～1000 | 11 日 | 7 日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 運搬工 | |

| 規格(t) | 支間長(m) | 標準作業日数 | |
|---|---|---|---|
| | | 架設 | 撤去 |
| 1t 以上 2t 未満 | 75 以下 | 3 日 | 2 日 |
| | 76～125 | 4 日 | 2 日 |
| | 126～175 | 4 日 | 3 日 |
| | 176～225 | 5 日 | 3 日 |
| | 226～275 | 6 日 | 4 日 |
| | 276～325 | 6 日 | 4 日 |
| | 326～375 | 7 日 | 4 日 |
| | 376～425 | 8 日 | 5 日 |
| | 426～500 | 8 日 | 5 日 |
| | 501～600 | 9 日 | 5 日 |
| | 601～700 | 9 日 | 5 日 |
| | 701～800 | 10 日 | 6 日 |
| | 801～1000 | 10 日 | 6 日 |
| 2t 以上 3t 未満 | 75 以下 | 4 日 | 3 日 |
| | 76～125 | 5 日 | 3 日 |
| | 126～175 | 6 日 | 3 日 |
| | 176～225 | 6 日 | 4 日 |
| | 226～275 | 7 日 | 4 日 |
| | 276～325 | 8 日 | 5 日 |
| | 326～375 | 8 日 | 5 日 |
| | 376～425 | 9 日 | 5 日 |
| | 426～500 | 10 日 | 6 日 |
| | 501～600 | 10 日 | 6 日 |
| | 601～700 | 10 日 | 6 日 |
| | 701～800 | 11 日 | 7 日 |
| | 801～1000 | 11 日 | 7 日 |
| 3t 以上 4t 未満 | 75 以下 | 5 日 | 3 日 |
| | 76～125 | 6 日 | 3 日 |
| | 126～175 | 6 日 | 4 日 |
| | 176～225 | 7 日 | 4 日 |
| | 226～275 | 8 日 | 4 日 |
| | 276～325 | 8 日 | 5 日 |
| | 326～375 | 9 日 | 5 日 |
| | 376～425 | 10 日 | 6 日 |
| | 426～500 | 10 日 | 6 日 |
| | 501～600 | 10 日 | 6 日 |
| | 601～700 | 10 日 | 6 日 |
| | 701～800 | 11 日 | 7 日 |
| | 801～1000 | 11 日 | 7 日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 運搬工 | |

| 規格(t) | 支間長(m) | 標準作業日数 | |
|---|---|---|---|
| | | 架設 | 撤去 |
| 4t 以上 5t 未満 | 75 以下 | 6 日 | 3 日 |
| | 76～125 | 6 日 | 3 日 |
| | 126～175 | 7 日 | 4 日 |
| | 176～225 | 8 日 | 4 日 |
| | 226～275 | 8 日 | 4 日 |
| | 276～325 | 9 日 | 5 日 |
| | 326～375 | 10 日 | 5 日 |
| | 376～425 | 10 日 | 6 日 |
| | 426～500 | 11 日 | 6 日 |
| | 501～600 | 11 日 | 6 日 |
| | 601～700 | 11 日 | 6 日 |
| | 701～800 | 12 日 | 7 日 |
| | 801～1000 | 12 日 | 7 日 |

⑦　ケーブルクレーン運搬　盤台設置

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 盤台設置 | 1.0 基／日 |

共通工（1）（法面工等）

① 法面工　（簡易法枠工）　法面清掃工

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 法面清掃工<br>（簡易法枠工） | 219 ㎡／日 |

② 法面工　（簡易法枠工）　ラス張工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| ラス張工 | 140 ㎡／日 |

③ 法面工　（簡易法枠工）　鉄筋等設置工

| 高さ | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| H＝100 | 333 ㎡／日 |
| H＝150 | 200 ㎡／日 |
| H＝200 | 200 ㎡／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 運搬工 | |

| 規格(t) | 支間長(m) | 標準作業日数 | |
|---|---|---|---|
| | | 架設 | 撤去 |
| 4t 以上 5t 未満 | 75 以下 | 6 日 | 3 日 |
| | 76～125 | 6 日 | 3 日 |
| | 126～175 | 7 日 | 4 日 |
| | 176～225 | 8 日 | 4 日 |
| | 226～275 | 8 日 | 4 日 |
| | 276～325 | 9 日 | 5 日 |
| | 326～375 | 10 日 | 5 日 |
| | 376～425 | 10 日 | 6 日 |
| | 426～500 | 11 日 | 6 日 |
| | 501～600 | 11 日 | 6 日 |
| | 601～700 | 11 日 | 6 日 |
| | 701～800 | 12 日 | 7 日 |
| | 801～1000 | 12 日 | 7 日 |

⑦　ケーブルクレーン運搬　盤台設置

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 盤台設置 | 1.0 基／日 |

共通工（1）（溝渠工・法面工）

① 法面工　（簡易法枠工）　法面清掃工

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 法面清掃工<br>（簡易法枠工） | 219 ㎡／日 |

② 法面工　（簡易法枠工）　ラス張工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| ラス張工 | 140 ㎡／日 |

③ 法面工　（簡易法枠工）　鉄筋等設置工

| 高さ | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| H＝100 | 333 ㎡／日 |
| H＝150 | 200 ㎡／日 |
| H＝200 | 200 ㎡／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 共通工（1）<br>（法面工等） | ④　法面工　（簡易法枠工）　アンカー設置工 |

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂質土、礫混り土、玉石混り土 | 209 本／日 |
| 軟岩、硬岩 | 110 本／日 |

⑤　法面工　（簡易法枠工）　枠シート設置工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 枠シート設置工<br>（簡易法枠工） | 67 ㎡／日 |

⑥　法面工　（簡易法枠工）　法枠吹付工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 法枠吹付工<br>（簡易法枠工） | 6.3 ㎥／日 |

⑦　法面工　（簡易法枠工）　枠内吹付工

| 植生基材吹付厚 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 2cm 以上 4cm 未満 | 274 ㎡／日 |
| 4cm 以上 6cm 未満 | 164 ㎡／日 |
| 6cm 以上 8cm 以下 | 117 ㎡／日 |

⑧　法面工　（現場吹付法枠工）　法面清掃工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 法面清掃工<br>（現場吹付法枠工） | 219 ㎡／日 |

⑨　法面工　（現場吹付法枠工）　ラス張工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| ラス張工<br>（現場吹付法枠工） | 140 ㎡／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 共通工（1）<br>（溝渠工・法面工） | ④　法面工　（簡易法枠工）　アンカー設置工 |

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂質土、礫混り土、玉石混り土 | 209 本／日 |
| 軟岩、硬岩 | 110 本／日 |

⑤　法面工　（簡易法枠工）　枠シート設置工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 枠シート設置工<br>（簡易法枠工） | 67 ㎡／日 |

⑥　法面工　（簡易法枠工）　法枠吹付工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 法枠吹付工<br>（簡易法枠工） | 6.3 ㎥／日 |

⑦　法面工　（簡易法枠工）　枠内吹付工

| 植生基材吹付厚 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 2cm 以上 4cm 未満 | 274 ㎡／日 |
| 4cm 以上 6cm 未満 | 164 ㎡／日 |
| 6cm 以上 8cm 以下 | 117 ㎡／日 |

⑧　法面工　（現場吹付法枠工）　法面清掃工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 法面清掃工<br>（現場吹付法枠工） | 219 ㎡／日 |

⑨　法面工　（現場吹付法枠工）　ラス張工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| ラス張工<br>（現場吹付法枠工） | 140 ㎡／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 共通工（1）<br>（法面工等） | |

⑩　法面工　（現場吹付法枠工）　法枠組立・据付工

| 枠の高さ(mm) | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 150 | 98m／日 |
| 200 | 77m／日 |
| 300 | 51（57）m／日 |
| 400 | 27（30）m／日 |
| 500 | （26）m／日 |
| 600 | （20）m／日 |

※（　）内の標準作業量は、スターラップを施工する場合である。

⑪　法面工　（現場吹付法枠工）　アンカー工

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂・砂質土、礫質土、<br>岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 209 本／日 |
| 軟岩(Ⅰ)B、軟岩(Ⅱ)、<br>中硬岩、硬岩 | 110 本／日 |

⑫　法面工　（現場吹付法枠工）　法枠吹付工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 法枠吹付工<br>（現場吹付法枠工） | 6.3 ㎥／日 |

⑬　法面工　（現場吹付法枠工）　枠内吹付工

| 材料 | 吹付厚 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| モルタル及び<br>コンクリート | 5cm 以上 7cm 未満 | 142 ㎡／日 |
| | 7cm 以上 10cm 未満 | 107 ㎡／日 |
| | 10cm | 86 ㎡／日 |
| | 15cm | 57 ㎡／日 |
| | 20cm | 43 ㎡／日 |
| 植生基材 | 2cm 以上 4cm 未満 | 274 ㎡／日 |
| | 4cm 以上 6cm 未満 | 164 ㎡／日 |
| | 6cm 以上 8cm 以下 | 117 ㎡／日 |

⑭　法面工　（現場吹付法枠工）枠内中詰工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 枠内中詰工<br>（現場吹付法枠工） | 641 袋／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 共通工（1）<br>（溝渠工・法面工） | |

⑩　法面工　（現場吹付法枠工）　法枠組立・据付工

| 枠の高さ(mm) | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 150 | 98m／日 |
| 200 | 77m／日 |
| 300 | 51（57）m／日 |
| 400 | 27（30）m／日 |
| 500 | （26）m／日 |
| 600 | （20）m／日 |

※（　）内の標準作業量は、スターラップを施工する場合である。

⑪　法面工　（現場吹付法枠工）　アンカー工

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂・砂質土、礫質土、<br>岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 209 本／日 |
| 軟岩(Ⅰ)B、軟岩(Ⅱ)、<br>中硬岩、硬岩 | 110 本／日 |

⑫　法面工　（現場吹付法枠工）　法枠吹付工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 法枠吹付工<br>（現場吹付法枠工） | 6.3 ㎥／日 |

⑬　法面工　（現場吹付法枠工）　枠内吹付工

| 材料 | 吹付厚 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| モルタル及び<br>コンクリート | 5cm 以上 7cm 未満 | 142 ㎡／日 |
| | 7cm 以上 10cm 未満 | 107 ㎡／日 |
| | 10cm | 86 ㎡／日 |
| | 15cm | 57 ㎡／日 |
| | 20cm | 43 ㎡／日 |
| 植生基材 | 2cm 以上 4cm 未満 | 274 ㎡／日 |
| | 4cm 以上 6cm 未満 | 164 ㎡／日 |
| | 6cm 以上 8cm 以下 | 117 ㎡／日 |

⑭　法面工　（現場吹付法枠工）枠内中詰工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 枠内中詰工<br>（現場吹付法枠工） | 641 袋／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 共通工（1）<br>（法面工等） | ⑮　モルタル・コンクリート吹付工　特殊配合モルタル吹付工Ａ |

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 特殊配合モルタル吹付工Ａ | 185 ㎡／日 |

⑯　モルタル・コンクリート吹付工　種子吹付工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 種子吹付工 | 1,100 ㎡／日 |

⑰　モルタル・コンクリート吹付工　特殊配合モルタル吹付工Ｂ

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 特殊配合モルタル吹付工Ｂ | 161 ㎡／日 |

⑱　モルタル・コンクリート吹付工　特殊配合モルタル吹付工Ｃ

| 規格 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 4cm | 93 ㎡／日 |
| 6cm | 76 ㎡／日 |
| 8cm | 65 ㎡／日 |

⑲　植生基材吹付工　客土吹付特殊工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 客土吹付特殊工 | 367 ㎡／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 共通工（1）<br>（溝渠工・法面工） | ⑮　モルタル・コンクリート吹付工　特殊配合モルタル吹付工Ａ |

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 特殊配合モルタル吹付工Ａ | 185 ㎡／日 |

⑯　モルタル・コンクリート吹付工　種子吹付工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 種子吹付工 | 1,100 ㎡／日 |

⑰　モルタル・コンクリート吹付工　特殊配合モルタル吹付工Ｂ

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 特殊配合モルタル吹付工Ｂ | 161 ㎡／日 |

⑱　モルタル・コンクリート吹付工　特殊配合モルタル吹付工Ｃ

| 規格 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 4cm | 93 ㎡／日 |
| 6cm | 76 ㎡／日 |
| 8cm | 65 ㎡／日 |

⑲　植生基材吹付工　客土吹付特殊工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 客土吹付特殊工 | 367 ㎡／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 共通工（2）<br>（土留工・<br>擁壁工等） | ①　石材採取　石材採取 |

| 規格 | 控長 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 間知石 | 30cm | 1.6 ㎡／日 |
| | 35cm | 1.6 ㎡／日 |
| | 40cm | 1.5 ㎡／日 |
| | 45cm | 1.4 ㎡／日 |
| 雑間知石<br>割石 | 30cm | 2.0 ㎡／日 |
| | 35cm | 1.9 ㎡／日 |
| | 40cm | 1.8 ㎡／日 |
| | 45cm | 1.7 ㎡／日 |
| 雑割石 | 30cm | 2.7 ㎡／日 |
| | 35cm | 2.4 ㎡／日 |
| | 40cm | 2.3 ㎡／日 |
| | 45cm | 2.1 ㎡／日 |
| 雑石<br>野面石 | 30cm | 8.3 ㎡／日 |
| | 35cm | 7.7 ㎡／日 |
| | 40cm | 7.1 ㎡／日 |
| | 45cm | 6.7 ㎡／日 |

②　骨材等採取及び洗浄歩掛　砂、砂利、礫、枕石の採取及び洗浄
（人力採取）

| 種別 | | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| ふるい砂利 | 径 25mm まで | 0.9 ㎥／日 |
| | 40mm まで | 1.3 ㎥／日 |
| | 80mm まで | 1.6 ㎥／日 |
| 砂 | | 2.8 ㎥／日 |
| ふるい砂 | | 2.0 ㎥／日 |
| 砂利 | | 1.8 ㎥／日 |
| 切込砂利 | | 3.3 ㎥／日 |
| 栗石 | | 2.0 ㎥／日 |
| 玉石 | | 1.7 ㎥／日 |
| 洗浄 | 砂 | 3.4 ㎥／日 |
| | 砂利 | 5.0 ㎥／日 |
| 沈石 | 30～80kg | 1.1 ㎥／日 |
| | 80～100kg | 0.8 ㎥／日 |
| ふるい<br>切込砂利<br>（最大径規制） | | 2.3 ㎥／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 共通工（2）<br>（土留工・<br>擁壁工等） | ①　石材採取　石材採取 |

| 規格 | 控長 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 間知石 | 30cm | 1.6 ㎡／日 |
| | 35cm | 1.6 ㎡／日 |
| | 40cm | 1.5 ㎡／日 |
| | 45cm | 1.4 ㎡／日 |
| 雑間知石<br>割石 | 30cm | 2.0 ㎡／日 |
| | 35cm | 1.9 ㎡／日 |
| | 40cm | 1.8 ㎡／日 |
| | 45cm | 1.7 ㎡／日 |
| 雑割石 | 30cm | 2.7 ㎡／日 |
| | 35cm | 2.4 ㎡／日 |
| | 40cm | 2.3 ㎡／日 |
| | 45cm | 2.1 ㎡／日 |
| 雑石<br>野面石 | 30cm | 8.3 ㎡／日 |
| | 35cm | 7.7 ㎡／日 |
| | 40cm | 7.1 ㎡／日 |
| | 45cm | 6.7 ㎡／日 |

②　骨材等採取及び洗浄歩掛　砂、砂利、礫、枕石の採取及び洗浄
（人力採取）

| 種別 | | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| ふるい砂利 | 径 25mm まで | 0.9 ㎥／日 |
| | 40mm まで | 1.3 ㎥／日 |
| | 80mm まで | 1.6 ㎥／日 |
| 砂 | | 2.8 ㎥／日 |
| ふるい砂 | | 2.0 ㎥／日 |
| 砂利 | | 1.8 ㎥／日 |
| 切込砂利 | | 3.3 ㎥／日 |
| 栗石 | | 2.0 ㎥／日 |
| 玉石 | | 1.7 ㎥／日 |
| 洗浄 | 砂 | 3.4 ㎥／日 |
| | 砂利 | 5.0 ㎥／日 |
| 沈石 | 30～80kg | 1.1 ㎥／日 |
| | 80～100kg | 0.8 ㎥／日 |
| ふるい<br>切込砂利<br>（最大径規制） | | 2.3 ㎥／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 共通工（2）<br>（土留工・<br>擁壁工等） | ③　鋼製枠工　鋼製枠組立<br>組立機械 ／ 作業日当たり標準作業量<br>バックホウ ／ 6.7t／日<br>ラフテレーンクレーン ／ 5.0t／日<br><br>④　鋼製枠工　詰石<br>作業種別 ／ 作業日当たり標準作業量<br>人力詰石 ／ 3.3 ㎥／日<br>バックホウによる詰石 山積 0.45m3（平積 0.35m3） ／ 21 ㎥／日<br>バックホウによる詰石 山積 0.80m3（平積 0.60m3） ／ 32 ㎥／日<br>ラフテレーンクレーンによる詰石 ／ 50 ㎥／日<br><br>⑤　鋼製枠工　エキスパンドメタル取付<br>工種 ／ 作業日当たり標準作業量<br>エキスパンドメタル取付 ／ 50 ㎡／日 |
| 基礎工 | ①　鋼管・既製コンクリート杭打工（パイルハンマ工）<br>工種 ／ 作業日当たり標準作業量<br>鋼管杭板厚　8～10㎜ ／ 26m/日<br>鋼管杭板厚　12㎜ ／ 15m/日<br>鋼管杭板厚　14㎜・16㎜ ／ 8.9m/日 |
| 木材利用工 | ①　土留工・擁壁工　丸太積土留工（A）<br>工種 ／ 作業日当たり標準作業量<br>丸太積土留工(A) ／ 17 ㎡／日<br><br>②　土留工・擁壁工　丸太積土留工（B）<br>工種 ／ 作業日当たり標準作業量<br>丸太積土留工(B) ／ 3.1m／日<br><br>③　土留工・擁壁工　木製ブロック積工<br>工種 ／ 作業日当たり標準作業量<br>木製ブロック積工 ／ 25 ㎡／日<br><br>④　土留工・擁壁工　木製校倉式土留工<br>工種 ／ 作業日当たり標準作業量<br>栗石等中詰 ／ 27 ㎥／日<br>土砂中詰 ／ 32 ㎥／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 共通工（2）<br>（土留工・<br>擁壁工等） | ③　鋼製枠工　鋼製枠組立<br>組立機械 ／ 作業日当たり標準作業量<br>バックホウ ／ 6.7t／日<br>ラフテレーンクレーン ／ 5.0t／日<br><br>④　鋼製枠工　詰石<br>作業種別 ／ 作業日当たり標準作業量<br>人力詰石 ／ 3.3 ㎥／日<br>バックホウによる詰石 山積 0.45m3（平積 0.35m3） ／ 21 ㎥／日<br>バックホウによる詰石 山積 0.80m3（平積 0.60m3） ／ 32 ㎥／日<br>ラフテレーンクレーンによる詰石 ／ 50 ㎥／日<br><br>⑤　鋼製枠工　エキスパンドメタル取付<br>工種 ／ 作業日当たり標準作業量<br>エキスパンドメタル取付 ／ 50 ㎡／日 |
| （新設） | （新設） |
| 木材利用工 | ①　土留工・擁壁工　丸太積土留工（A）<br>工種 ／ 作業日当たり標準作業量<br>丸太積土留工(A) ／ 17 ㎡／日<br><br>②　土留工・擁壁工　丸太積土留工（B）<br>工種 ／ 作業日当たり標準作業量<br>丸太積土留工(B) ／ 3.1m／日<br><br>③　土留工・擁壁工　木製ブロック積工<br>工種 ／ 作業日当たり標準作業量<br>木製ブロック積工 ／ 25 ㎡／日<br><br>④　土留工・擁壁工　木製校倉式土留工<br>工種 ／ 作業日当たり標準作業量<br>栗石等中詰 ／ 27 ㎥／日<br>土砂中詰 ／ 32 ㎥／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 木材利用工 | ⑤　柵工　木柵工（A）<br>⑥　柵工_木柵工（B）<br>⑦　柵工　木柵工（C）<br>⑧　柵工　木柵工（D）<br>⑨　柵工　木柵工（E）<br>⑩　柵工　木柵工<br>⑪　柵工　パネル柵工<br>⑫　筋工　丸太筋工 |

⑤　柵工　木柵工（A）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工(A) | 2.2m／日 |

⑥　柵工_木柵工（B）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工(B) | 2.5m／日 |

⑦　柵工　木柵工（C）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工(C) | 2.4m／日 |

⑧　柵工　木柵工（D）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工(D) | 2.7m／日 |

⑨　柵工　木柵工（E）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工(E) | 2.2m／日 |

⑩　柵工　木柵工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工（高さ 0.45m） | 8.5m／日 |

⑪　柵工　パネル柵工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| パネル柵工 | 45 枚／日 |

⑫　筋工　丸太筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 2 本筋工 | 13m／日 |
| 3 本筋工 | 11m／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 木材利用工 | ⑤　柵工　木柵工（A）<br>⑥　柵工_木柵工（B）<br>⑦　柵工　木柵工（C）<br>⑧　柵工　木柵工（D）<br>⑨　柵工　木柵工（E）<br>⑩　柵工　木柵工<br>⑪　柵工　パネル柵工<br>⑫　筋工　丸太筋工 |

⑤　柵工　木柵工（A）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工(A) | 2.2m／日 |

⑥　柵工_木柵工（B）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工(B) | 2.5m／日 |

⑦　柵工　木柵工（C）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工(C) | 2.4m／日 |

⑧　柵工　木柵工（D）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工(D) | 2.7m／日 |

⑨　柵工　木柵工（E）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工(E) | 2.2m／日 |

⑩　柵工　木柵工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 木柵工（高さ 0.45m） | 8.5m／日 |

⑪　柵工　パネル柵工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| パネル柵工 | 45 枚／日 |

⑫　筋工　丸太筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 2 本筋工 | 13m／日 |
| 3 本筋工 | 11m／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 木材利用工 | ⑬　型枠工　丸太残存型枠工（土留・擁壁用）<br>工種：丸太残存型枠工（土留・擁壁用）／作業日当たり標準作業量：23 ㎡／日<br>⑭　型枠工　木製パネル式残存型枠工<br>工種：木製パネル式残存型枠工／作業日当たり標準作業量：25 ㎡／日 |
| 仮設工 | ①　水替工　水替工（小口径）　ポンプ据付・撤去<br>ポンプ口径：50mm／作業日当たり標準作業量：3.3 箇所／日<br>ポンプ口径：100mm／作業日当たり標準作業量：2.0 箇所／日<br>②　足場工<br>作業種別：手摺先行型枠組足場設置・撤去／作業日当たり標準作業量：61 掛m²／日<br>作業種別：単管足場設置・撤去／作業日当たり標準作業量：79 掛m²／日<br>作業種別：単管傾斜足場設置・撤去／作業日当たり標準作業量：57 掛m²／日<br>③　支保工<br>作業種別：パイプサポート支保設置・撤去／支保耐力（f）kN／m²：f≦40／作業日当たり標準作業量：27 空m³／日<br>パイプサポート支保設置・撤去／f≦40（小規模）／34 空m³／日<br>パイプサポート支保設置・撤去／40＜f≦60／15 空m³／日<br>くさび結合支保設置・撤去／f≦40／67 空m³／日<br>くさび結合支保設置・撤去／40＜f≦80／37 空m³／日<br>④　雪寒仮囲い工<br>設置・撤去<br>タイプ：Pタイプ／－／作業日当たり標準作業量 設置・撤去：91m²／日<br>タイプ：W・PWタイプ／枠組足場部／45m²／日<br>タイプ：W・PWタイプ／枠組足場以外／91m²／日<br>除雪工<br>作業日当たり標準作業量：24m³／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 木材利用工 | ⑬　型枠工　丸太残存型枠工（土留・擁壁用）<br>工種：丸太残存型枠工（土留・擁壁用）／作業日当たり標準作業量：23 ㎡／日<br>⑭　型枠工　木製パネル式残存型枠工<br>工種：木製パネル式残存型枠工／作業日当たり標準作業量：25 ㎡／日 |
| 仮設工 | ①　水替工　水替工（小口径）　ポンプ据付・撤去<br>ポンプ口径：50mm／作業日当たり標準作業量：3.3 箇所／日<br>ポンプ口径：100mm／作業日当たり標準作業量：2.0 箇所／日<br>（新設）<br>（新設）<br>（新設） |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 仮設工 | ⑤　油圧圧入引抜工 |

| 作業区分 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 圧入（Nmax≦25） | 3.3 回／日 |
| 圧入（Nmax≦50） | 2.0 回／日 |
| 圧入（50＜Nmax≦600） | 0.91 回／日 |
| 引抜き | 5.3 回／日 |

⑥　仮設材設置撤去工

| 工種名 | 作業日当たり標準作業量 | | 摘要 |
|---|---|---|---|
| | 設置 | 撤去 | |
| 切梁・腹起し | 6.1t／日<br>（10.1t／日） | 10.2t／日<br>（18.3t／日） | |
| タイロッド・腹起し | 2.0t／日 | 4.6t／日 | |
| 横矢板 | 24.8m²／日 | 49.3m²／日 | |
| 覆工板・覆工板受桁 | 34m²／日 | 56m²／日 | 設置面積 700 m²以下 |
| 覆工板 | 119.3m²／日 | 209.2m²／日 | 設置面積 700 m²を超える |
| 覆工板受桁 | 6.2t／日 | 10.1t／日 | 〃 |

（注）１．覆工板受桁用桁受の設置・撤去は、覆工板受桁に準ずる。
　　２．切梁・腹起しで火打ブロックを使用する場合は、（　）内の値とする。

⑦　仮橋・仮桟橋工

| 行程 | 作業日当たり標準作業量 | | 摘要 |
|---|---|---|---|
| | 設置 | 撤去 | |
| 上部 | 13t／日 | 17t／日 | 主桁、横桁の質量 |
| 覆工板 | 109m²／日 | 185m²／日 | 覆工板の面積 |
| 高欄（ガードレール型） | 24m／日 | 40m／日 | 高欄の延長 |
| 高欄（単管パイプ型） | 41m／日 | 78m／日 | 〃 |
| 橋脚 | 8 t／日 | 10t／日 | 注）２ |
| 杭橋脚 | 7 t／日 | 12t／日 | 注）３ |
| 導枠 | 28 本／日（設置・撤去） | | 本：杭橋脚打込 1 本あたり |

（注）１．覆工板は、路面のすり付作業を含まない。
　　２．橋脚、枕、ブランケット、つなぎ材等の質量
　　３．枕、ブランケット、つなぎ材等の質量

⑧　法面工（仮設用モルタル吹付工）

| | |
|---|---|
| 作業日当たり標準作業量 | 145 ㎡／日 |

(注)１．目地の設置作業を含む。
　２．法面清掃、ラス張工は含まない。

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 仮設工 | （新設）<br><br>（新設）<br><br>（新設）<br><br>（新設） |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山地治山土工 | ①　機械土工　（参考）ブルドーザ掘削押土<br>山地治山工区分：山地治山工(A)<br>掘削土：地山 |

| 作業 | 適用機種 | 作業条件 | 土質 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|---|---|
| 掘削押土 | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 163 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 123 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 123 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 82 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 82 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 41 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 221 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 166 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 166 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 110 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 110 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 55 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 365 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 274 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 274 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 183 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 183 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 91 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| 敷均し | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 151 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 113 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 113 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 75 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 75 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 38 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山地治山土工 | ①　機械土工　（参考）ブルドーザ掘削押土<br>山地治山工区分：山地治山工(A)<br>掘削土：地山 |

| 作業 | 適用機種 | 作業条件 | 土質 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|---|---|
| 掘削押土 | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 163 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 123 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 123 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 82 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 82 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 41 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 221 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 166 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 166 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 110 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 110 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 55 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 365 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 274 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 274 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 183 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 183 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 91 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| 敷均し | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 151 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 113 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 113 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 75 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 75 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 38 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 山地治山土工 | 敷均し | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 204 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 153 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 153 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 102 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 102 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 51 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 336 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 252 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 252 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 168 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 168 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 84 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |

山地治山工区分：山地治山工(A)
掘削土：ルーズ

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 掘削押土 | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 177 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 136 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 136 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 95 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 68 ㎥／日 |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 95 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 54 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 41 ㎥／日 |
| | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 239 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 184 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 184 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 129 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 92 ㎥／日 |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 129 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 74 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 55 ㎥／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 山地治山土工 | 敷均し | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 204 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 153 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 153 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 102 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 102 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 51 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 336 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 252 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 252 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 168 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 168 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 84 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |

山地治山工区分：山地治山工(A)
掘削土：ルーズ

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 掘削押土 | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 177 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 136 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 136 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 95 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 68 ㎥／日 |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 95 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 54 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 41 ㎥／日 |
| | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 239 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 184 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 184 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 129 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 92 ㎥／日 |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 129 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 74 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 55 ㎥／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 山地治山土工 | 掘削押土 | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 396 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 304 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 304 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 213 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 152 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 213 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 122 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 91 ㎥／日 |
| | 敷均し | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 163 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 125 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 125 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 88 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 63 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 88 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 50 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 38 ㎥／日 |
| | | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 220 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 170 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 170 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 119 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 85 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 119 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 68 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 51 ㎥／日 |
| | | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 365 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 280 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 280 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 196 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 140 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 196 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 112 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 84 ㎥／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 山地治山土工 | 掘削押土 | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 396 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 304 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 304 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 213 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 152 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 213 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 122 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 91 ㎥／日 |
| | 敷均し | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 163 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 125 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 125 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 88 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 63 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 88 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 50 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 38 ㎥／日 |
| | | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 220 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 170 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 170 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 119 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 85 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 119 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 68 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 51 ㎥／日 |
| | | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 365 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 280 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 280 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 196 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 140 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 196 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 112 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 84 ㎥／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山地治山土工 | 山地治山工区分：山地治山工(B)<br>掘削土：地山 |

| 作業 | 適用機種 | 作業条件 | 土質 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|---|---|
| 掘削押土 | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 177 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 136 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 136 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 95 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 95 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 54 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 239 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 184 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 184 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 129 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 129 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 74 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 396 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 304 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 304 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 213 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 213 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 122 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| 敷均し | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 163 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 125 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 125 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 88 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 88 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 50 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山地治山土工 | 山地治山工区分：山地治山工(B)<br>掘削土：地山 |

| 作業 | 適用機種 | 作業条件 | 土質 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|---|---|
| 掘削押土 | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 177 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 136 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 136 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 95 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 95 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 54 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 239 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 184 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 184 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 129 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 129 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 74 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 396 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 304 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 304 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 213 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 213 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 122 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| 敷均し | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 163 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 125 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 125 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 88 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 88 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 50 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山地治山土工 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 敷均し | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 220 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 170 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 170 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 119 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 119 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 68 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 365 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 280 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 280 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 196 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 196 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 112 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |

山地治山工区分：山地治山工(B)
掘削土：ルーズ

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 掘削押土 | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 191 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 150 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 150 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 109 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 82 ㎥／日 |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 109 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 68 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 54 ㎥／日 |
| | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 258 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 202 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 202 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 147 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 110 ㎥／日 |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 147 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 92 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 74 ㎥／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山地治山土工 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 敷均し | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 220 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 170 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 170 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 119 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 119 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 68 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 365 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 280 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 280 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 196 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 196 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 112 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |

山地治山工区分：山地治山工(B)
掘削土：ルーズ

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 掘削押土 | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 191 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 150 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 150 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 109 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 82 ㎥／日 |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 109 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 68 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 54 ㎥／日 |
| | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 258 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 202 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | － |
| | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 202 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 147 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 110 ㎥／日 |
| | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 147 ㎥／日 |
| | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 92 ㎥／日 |
| | | | 破砕岩 | 74 ㎥／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 山地治山土工 | 掘削押土 | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 426 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 335 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 335 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 243 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 183 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 243 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 152 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 122 ㎥／日 |
| | 敷均し | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 176 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 138 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 138 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 100 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 75 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 100 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 63 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 50 ㎥／日 |
| | | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 237 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 187 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 187 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 136 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 102 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 136 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 85 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 68 ㎥／日 |
| | | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 393 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 308 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 308 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 224 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 168 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 224 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 140 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 112 ㎥／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 山地治山土工 | 掘削押土 | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 426 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 335 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 335 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 243 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 183 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 243 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 152 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 122 ㎥／日 |
| | 敷均し | 11t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 176 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 138 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 138 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 100 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 75 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 100 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 63 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 50 ㎥／日 |
| | | 15t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 237 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 187 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 187 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 136 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 102 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 136 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 85 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 68 ㎥／日 |
| | | 20t 級 | 良好 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 393 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 308 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | － |
| | | | 普通 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 308 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 224 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 168 ㎥／日 |
| | | | 不良 | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 224 ㎥／日 |
| | | | | 岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)A | 140 ㎥／日 |
| | | | | 破砕岩 | 112 ㎥／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山地治山土工 | ②　山地治山岩石工　岩石掘削（機械） |

| 規格 | 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 油圧式<br>1,300kg<br>級 | 軟岩(Ⅰ)B | 54 ㎥／日 |
| | 軟岩(Ⅱ) | 50 ㎥／日 |
| | 中硬岩 | 30 ㎥／日 |
| | 硬岩(Ⅰ) | 24 ㎥／日 |
| | 転石 | 32 ㎥／日 |
| 油圧式<br>600～<br>800kg 級 | 軟岩(Ⅰ)B | 38 ㎥／日 |
| | 軟岩(Ⅱ) | 34 ㎥／日 |
| | 中硬岩 | 23 ㎥／日 |
| | 硬岩(Ⅰ) | 19 ㎥／日 |
| | 転石 | 25 ㎥／日 |

③　（参考）山地治山岩石工　岩石掘削（火薬）

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 軟岩(Ⅰ)B | 39 ㎥／日 |
| 軟岩(Ⅱ) | 33 ㎥／日 |
| 中硬岩 | 22 ㎥／日 |
| 硬岩(Ⅰ) | 18 ㎥／日 |
| 転石 | 9 ㎥／日 |

④　山地治山岩石工　小規模岩石工

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 軟岩(Ⅰ)B | 23 ㎥／日 |
| 軟岩(Ⅱ) | 18 ㎥／日 |
| 中硬岩 | 12 ㎥／日 |
| 硬岩(Ⅰ) | 9 ㎥／日 |

⑤　山地治山岩石工　人力掘削

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 軟岩(Ⅰ)B | 11 ㎥／日 |
| 軟岩(Ⅱ) | 10 ㎥／日 |
| 中硬岩 | 8 ㎥／日 |
| 転石 | 14 ㎥／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山地治山土工 | ②　山地治山岩石工　岩石掘削（機械） |

| 規格 | 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 油圧式<br>1,300kg<br>級 | 軟岩(Ⅰ)B | 54 ㎥／日 |
| | 軟岩(Ⅱ) | 50 ㎥／日 |
| | 中硬岩 | 30 ㎥／日 |
| | 硬岩(Ⅰ) | 24 ㎥／日 |
| | 転石 | 32 ㎥／日 |
| 油圧式<br>600～<br>800kg 級 | 軟岩(Ⅰ)B | 38 ㎥／日 |
| | 軟岩(Ⅱ) | 34 ㎥／日 |
| | 中硬岩 | 23 ㎥／日 |
| | 硬岩(Ⅰ) | 19 ㎥／日 |
| | 転石 | 25 ㎥／日 |

③　（参考）山地治山岩石工　岩石掘削（火薬）

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 軟岩(Ⅰ)B | 39 ㎥／日 |
| 軟岩(Ⅱ) | 33 ㎥／日 |
| 中硬岩 | 22 ㎥／日 |
| 硬岩(Ⅰ) | 18 ㎥／日 |
| 転石 | 9 ㎥／日 |

④　山地治山岩石工　小規模岩石工

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 軟岩(Ⅰ)B | 23 ㎥／日 |
| 軟岩(Ⅱ) | 18 ㎥／日 |
| 中硬岩 | 12 ㎥／日 |
| 硬岩(Ⅰ) | 9 ㎥／日 |

⑤　山地治山岩石工　人力掘削

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 軟岩(Ⅰ)B | 11 ㎥／日 |
| 軟岩(Ⅱ) | 10 ㎥／日 |
| 中硬岩 | 8 ㎥／日 |
| 転石 | 14 ㎥／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山地治山土工 | ⑥　掘削面整形　土砂掘削面整形 |

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂、砂質土 | 50 ㎡／日 |
| 粘性土、礫質土 | 43 ㎡／日 |
| 岩塊・玉石 | 32 ㎡／日 |
| 軟岩(Ⅰ)A | 27 ㎡／日 |

⑦　掘削面整形　岩盤掘削面整形

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 岩盤掘削面整形 | 33 ㎡／日 |

⑧　岩盤清掃　岩盤清掃

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 岩盤清掃 | 100 ㎡／日 |

治山ダム工

①　コンクリート工　圧送管組立・撤去

| 延長 | 作業日当たり標準作業量 | |
|---|---|---|
| | 組立 | 撤去 |
| 150m 未満 | 20m／日 | 25m／日 |
| 150m 以上 | 33m／日 | 33m／日 |

②　コンクリート工　クレーン車類投入打設

| 構造物種別 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 無筋構造物 | 34 ㎥／日 |
| 鉄筋構造物 | 26 ㎥／日 |
| 小型構造物 | 6 ㎥／日 |

③　コンクリート工　型枠工

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 設置・撤去 | 24 ㎡／日 |

④　打継面処理　打継面処理（チッピング）

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| チッピング | 100 ㎡／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山地治山土工 | ⑥　掘削面整形　土砂掘削面整形 |

| 土質 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂、砂質土 | 50 ㎡／日 |
| 粘性土、礫質土 | 43 ㎡／日 |
| 岩塊・玉石 | 32 ㎡／日 |
| 軟岩(Ⅰ)A | 27 ㎡／日 |

⑦　掘削面整形　岩盤掘削面整形

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 岩盤掘削面整形 | 33 ㎡／日 |

⑧　岩盤清掃　岩盤清掃

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 岩盤清掃 | 100 ㎡／日 |

治山ダム工

①　コンクリート工　圧送管組立・撤去

| 延長 | 作業日当たり標準作業量 | |
|---|---|---|
| | 組立 | 撤去 |
| 150m 未満 | 20m／日 | 25m／日 |
| 150m 以上 | 33m／日 | 33m／日 |

②　コンクリート工　クレーン車類投入打設

| 構造物種別 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 無筋構造物 | 34 ㎥／日 |
| 鉄筋構造物 | 26 ㎥／日 |
| 小型構造物 | 6 ㎥／日 |

③　コンクリート工　型枠工

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 設置・撤去 | 24 ㎡／日 |

④　打継面処理　打継面処理（チッピング）

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| チッピング | 100 ㎡／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 治山ダム工 | ⑤　打継面清掃　打継面清掃 |

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 打継面清掃 | 100 ㎥／日 |

⑥　止水板設置　止水板設置（塩化ビニール樹脂止水板）

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 止水板設置 | 33m／日 |

⑦　土工機械解体・組立　土工機械解体・組立
（ケーブルクレーン）0.13m3BH　（機械質量 4.2t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 0.4 日 |
| | 4 | 0.3 日 |
| | 5 | － |
| 組立 | 3 | 0.7 日 |
| | 4 | 0.2 日 |
| | 5 | － |

（ケーブルクレーン）0.28m3BH　（機械質量 6.4t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 0.8 日 |
| | 4 | 0.7 日 |
| | 5 | 0.4 日 |
| 組立 | 3 | 1.4 日 |
| | 4 | 0.6 日 |
| | 5 | 0.3 日 |

（ケーブルクレーン）0.45m3BH　（機械質量 10.9t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 1.7 日 |
| | 4 | 1.6 日 |
| | 5 | 0.8 日 |
| 組立 | 3 | 2.7 日 |
| | 4 | 1.5 日 |
| | 5 | 0.7 日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 治山ダム工 | ⑤　打継面清掃　打継面清掃 |

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 打継面清掃 | 100 ㎥／日 |

⑥　止水板設置　止水板設置（塩化ビニール樹脂止水板）

| 作業 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 止水板設置 | 33m／日 |

⑦　土工機械解体・組立　土工機械解体・組立
（ケーブルクレーン）0.13m3BH　（機械質量 4.2t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 0.4 日 |
| | 4 | 0.3 日 |
| | 5 | － |
| 組立 | 3 | 0.7 日 |
| | 4 | 0.2 日 |
| | 5 | － |

（ケーブルクレーン）0.28m3BH　（機械質量 6.4t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 0.8 日 |
| | 4 | 0.7 日 |
| | 5 | 0.4 日 |
| 組立 | 3 | 1.4 日 |
| | 4 | 0.6 日 |
| | 5 | 0.3 日 |

（ケーブルクレーン）0.45m3BH　（機械質量 10.9t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 1.7 日 |
| | 4 | 1.6 日 |
| | 5 | 0.8 日 |
| 組立 | 3 | 2.7 日 |
| | 4 | 1.5 日 |
| | 5 | 0.7 日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 治山ダム工 | （ケーブルクレーン）0.8m3BH　（機械質量 19.8t） |

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 3.5 日 |
| | 4 | 3.4 日 |
| | 5 | 1.7 日 |
| 組立 | 3 | 5.4 日 |
| | 4 | 3.3 日 |
| | 5 | 1.6 日 |

（ラフテレーンクレーンクレーン）0.13m3BH　（機械質量 4.2t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 0.6 日 |
| | 4 | 0.3 日 |
| | 5 | － |
| 組立 | 3 | 0.6 日 |
| | 4 | 0.3 日 |
| | 5 | － |

（ラフテレーンクレーンクレーン）0.28m3BH　（機械質量 6.4t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 1.2 日 |
| | 4 | 0.7 日 |
| | 5 | 0.4 日 |
| 組立 | 3 | 1.2 日 |
| | 4 | 0.8 日 |
| | 5 | 0.4 日 |

（ラフテレーンクレーンクレーン）0.45m3BH　（機械質量 10.9t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 2.4 日 |
| | 4 | 1.7 日 |
| | 5 | 1.0 日 |
| 組立 | 3 | 2.5 日 |
| | 4 | 1.9 日 |
| | 5 | 0.9 日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 治山ダム工 | （ケーブルクレーン）0.8m3BH　（機械質量 19.8t） |

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 3.5 日 |
| | 4 | 3.4 日 |
| | 5 | 1.7 日 |
| 組立 | 3 | 5.4 日 |
| | 4 | 3.3 日 |
| | 5 | 1.6 日 |

（ラフテレーンクレーンクレーン）0.13m3BH　（機械質量 4.2t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 0.6 日 |
| | 4 | 0.3 日 |
| | 5 | － |
| 組立 | 3 | 0.6 日 |
| | 4 | 0.3 日 |
| | 5 | － |

（ラフテレーンクレーンクレーン）0.28m3BH　（機械質量 6.4t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 1.2 日 |
| | 4 | 0.7 日 |
| | 5 | 0.4 日 |
| 組立 | 3 | 1.2 日 |
| | 4 | 0.8 日 |
| | 5 | 0.4 日 |

（ラフテレーンクレーンクレーン）0.45m3BH　（機械質量 10.9t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 2.4 日 |
| | 4 | 1.7 日 |
| | 5 | 1.0 日 |
| 組立 | 3 | 2.5 日 |
| | 4 | 1.9 日 |
| | 5 | 0.9 日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 治山ダム工 | （ラフテレーンクレーンクレーン）0.8m3BH　（機械質量 19.8t） |

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 4.7 日 |
| | 4 | 3.6 日 |
| | 5 | 2.0 日 |
| 組立 | 3 | 5.0 日 |
| | 4 | 3.9 日 |
| | 5 | 2.0 日 |

（クローラクレーン）0.13m3BH　（機械質量 4.2t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 0.6 日 |
| | 4 | 0.3 日 |
| | 5 | － |
| 組立 | 3 | 0.6 日 |
| | 4 | 0.3 日 |
| | 5 | － |

（クローラクレーン）0.28m3BH　（機械質量 6.4t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 1.2 日 |
| | 4 | 0.8 日 |
| | 5 | 0.4 日 |
| 組立 | 3 | 1.3 日 |
| | 4 | 0.8 日 |
| | 5 | 0.4 日 |

（クローラクレーン）0.45m3BH　（機械質量 10.9t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 2.4 日 |
| | 4 | 1.8 日 |
| | 5 | 1.0 日 |
| 組立 | 3 | 2.6 日 |
| | 4 | 1.9 日 |
| | 5 | 1.0 日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 治山ダム工 | （ラフテレーンクレーンクレーン）0.8m3BH　（機械質量 19.8t） |

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 4.7 日 |
| | 4 | 3.6 日 |
| | 5 | 2.0 日 |
| 組立 | 3 | 5.0 日 |
| | 4 | 3.9 日 |
| | 5 | 2.0 日 |

（クローラクレーン）0.13m3BH　（機械質量 4.2t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 0.6 日 |
| | 4 | 0.3 日 |
| | 5 | － |
| 組立 | 3 | 0.6 日 |
| | 4 | 0.3 日 |
| | 5 | － |

（クローラクレーン）0.28m3BH　（機械質量 6.4t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 1.2 日 |
| | 4 | 0.8 日 |
| | 5 | 0.4 日 |
| 組立 | 3 | 1.3 日 |
| | 4 | 0.8 日 |
| | 5 | 0.4 日 |

（クローラクレーン）0.45m3BH　（機械質量 10.9t）

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 2.4 日 |
| | 4 | 1.8 日 |
| | 5 | 1.0 日 |
| 組立 | 3 | 2.6 日 |
| | 4 | 1.9 日 |
| | 5 | 1.0 日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 治山ダム工 | （クローラクレーン）0.8m3BH　（機械質量 19.8t） |

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 4.9 日 |
| | 4 | 3.8 日 |
| | 5 | 2.1 日 |
| 組立 | 3 | 5.2 日 |
| | 4 | 4.1 日 |
| | 5 | 2.0 日 |

⑧　鋼製バットレス式治山ダム

| 高さ | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 4.5m 以下 | 1.2t／日 |
| 4.5~6.0m 未満 | 1.3t／日 |
| 6.0m 以上 | 1.5t／日 |

⑨　鋼製スリット式治山ダム

| 作業名 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 現場塗装工（はけ塗り） | 29 ㎡／日 |

備考　日当たり施工量は、塗装工１名の場合

⑩　（参考）挿し筋による水平打継面処理工
挿し筋による水平打継面処理工

| 規格 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| Ｉ型 | 244 本／日 |
| Ｄ型 | 139 本／日 |

⑪　（参考）現場混合コンクリート　人力混合投入打設

| 容積配合比 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 1：2：4 | 1.4 ㎥／日 |
| 1：3：6 | 1.5 ㎥／日 |
| 1：4：8 | 1.8 ㎥／日 |

⑫　（参考）現場混合コンクリート　機械混合

| 公称容量 | | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 切 | ㎥ | |
| 4 | 0.10 | 8.0 ㎥／日 |
| 8 | 0.20 | 16.5 ㎥／日 |
| 8 | 0.20 | 16.5 ㎥／日 |
| 14 | 0.40 | 29 ㎥／日 |
| 14 | 0.40 | 29 ㎥／日 |
| 21 | 0.60 | 44 ㎥／日 |
| 21 | 0.60 | 44 ㎥／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 治山ダム工 | （クローラクレーン）0.8m3BH　（機械質量 19.8t） |

| 種別 | 分解時<br>最大部品質量(t) | 標準作業日数 |
|---|---|---|
| 分解 | 3 | 4.9 日 |
| | 4 | 3.8 日 |
| | 5 | 2.1 日 |
| 組立 | 3 | 5.2 日 |
| | 4 | 4.1 日 |
| | 5 | 2.0 日 |

⑧　鋼製ダム工　バットレス式鋼製ダム

| 高さ | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 4.5m 以下 | 1.2t／日 |
| 4.5~6.0m 未満 | 1.3t／日 |
| 6.0m 以上 | 1.5t／日 |

（新設）

⑨　（参考）挿し筋による水平打継面処理工
挿し筋による水平打継面処理工

| 規格 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| Ｉ型 | 244 本／日 |
| Ｄ型 | 139 本／日 |

⑩　（参考）現場混合コンクリート　人力混合投入打設

| 容積配合比 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 1：2：4 | 1.4 ㎥／日 |
| 1：3：6 | 1.5 ㎥／日 |
| 1：4：8 | 1.8 ㎥／日 |

⑪　（参考）現場混合コンクリート　機械混合

| 公称容量 | | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 切 | ㎥ | |
| 4 | 0.10 | 8.0 ㎥／日 |
| 8 | 0.20 | 16.5 ㎥／日 |
| 8 | 0.20 | 16.5 ㎥／日 |
| 14 | 0.40 | 29 ㎥／日 |
| 14 | 0.40 | 29 ㎥／日 |
| 21 | 0.60 | 44 ㎥／日 |
| 21 | 0.60 | 44 ㎥／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 治山ダム工 | ⑬　（参考）現場混合コンクリート　モルタル混合 |

| 公称容量 | | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|
| 切 | ㎥ | |
| 4 | 0.10 | 8.5 ㎥／日 |
| 8 | 0.20 | 17.5 ㎥／日 |
| 14 | 0.40 | 33 ㎥／日 |
| 21 | 0.60 | 49.5 ㎥／日 |

⑭　残存型枠工（プレキャスト）　残存型枠工

| 作業 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 残存型枠 | 65 ㎡／日 |
| 残存化粧型枠 | 59 ㎡／日 |

⑮　残存型枠工（プレキャスト）　手摺・足場設置撤去工

| 作業 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 天端手摺　設置撤去 | 77m／日 |
| 足場（キャットウォーク）設置撤去 | 37m／日 |

| 山腹工 | ①　のり切工　人力のり切工 |
|---|---|

| 作業 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 人力のり切工 | 3.0 ㎥／日 |

②　積苗工　4 枚積苗工

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 4 枚積苗工 | 15m／日 |

③　積苗工　3 枚積苗工

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 3 枚積苗工 | 28m／日 |

④　筋工　石筋工

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 石筋工 | 7.6m／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 治山ダム工 | ⑫　（参考）現場混合コンクリート　モルタル混合 |

| 公称容量 | | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|
| 切 | ㎥ | |
| 4 | 0.10 | 8.5 ㎥／日 |
| 8 | 0.20 | 17.5 ㎥／日 |
| 14 | 0.40 | 33 ㎥／日 |
| 21 | 0.60 | 49.5 ㎥／日 |

⑬　残存型枠工（プレキャスト）　残存型枠工

| 作業 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 残存型枠 | 65 ㎡／日 |
| 残存化粧型枠 | 59 ㎡／日 |

⑭　残存型枠工（プレキャスト）　手摺・足場設置撤去工

| 作業 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 天端手摺　設置撤去 | 77m／日 |
| 足場（キャットウォーク）設置撤去 | 37m／日 |

| 山腹工 | ①　のり切工　人力のり切工 |
|---|---|

| 作業 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 人力のり切工 | 3.0 ㎥／日 |

②　積苗工　4 枚積苗工

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 4 枚積苗工 | 15m／日 |

③　積苗工　3 枚積苗工

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 3 枚積苗工 | 28m／日 |

④　筋工　石筋工

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 石筋工 | 7.6m／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山腹工 | ⑤　筋工　萱筋工 |

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 萱筋工 | 167m／日 |

⑥　筋工　芝筋工

| 条件 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 1m 当たり切芝 3 枚使用 | 67m／日 |
| 1m 当たり切芝 4 枚使用 | 59m／日 |

⑦　筋工　3 段積そだ筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 3 段積そだ筋工 | 7.7m／日 |

⑧　筋工　2 段積そだ筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 2 段積そだ筋工 | 13m／日 |

⑨　筋工　植生帯筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 植生帯筋工 | 83m／日 |

⑩　筋工　植生袋筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 植生袋筋工 | 29m／日 |

⑪　筋工　植生土のう筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 植生土のう筋工 | 19m／日 |

⑫　実播工　斜面実播

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 斜面実播工 | 22 ㎡／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山腹工 | ⑤　筋工　萱筋工 |

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 萱筋工 | 167m／日 |

⑥　筋工　芝筋工

| 条件 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 1m 当たり切芝 3 枚使用 | 67m／日 |
| 1m 当たり切芝 4 枚使用 | 59m／日 |

⑦　筋工　3 段積そだ筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 3 段積そだ筋工 | 7.7m／日 |

⑧　筋工　2 段積そだ筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 2 段積そだ筋工 | 13m／日 |

⑨　筋工　植生帯筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 植生帯筋工 | 83m／日 |

⑩　筋工　植生袋筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 植生袋筋工 | 29m／日 |

⑪　筋工　植生土のう筋工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 植生土のう筋工 | 19m／日 |

⑫　実播工　斜面実播

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 斜面実播工 | 22 ㎡／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山腹工 | |

⑬　実播工　筋実播工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 筋実播工 | 91m／日 |

⑭　伏工　そだ伏工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| そだ伏工 | 11m／日 |

⑮　伏工　わら伏工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| わら伏工 | 20 ㎡／日 |

⑯　伏工　むしろ伏工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| むしろ伏工 | 50 ㎡／日 |

⑰　階段切工　階段切付（A）

| 条件 | 土質区分 | 階段幅（m） | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 平均傾斜<br>35°未満 | 砂、砂質土、<br>粘性土、礫質土 | 0.3 | 125m／日 |
| | | 0.5 | 43m／日 |
| | | 0.8 | 17m／日 |
| | 岩塊、玉石、<br>軟岩(Ⅰ)A | 0.3 | 77m／日 |
| | | 0.5 | 29m／日 |
| | | 0.8 | 11m／日 |
| 平均傾斜<br>35°以上 | 砂、砂質土、<br>粘性土、礫質土 | 0.3 | 77m／日 |
| | | 0.5 | 28m／日 |
| | | 0.8 | 11m／日 |
| | 岩塊、玉石、<br>軟岩(Ⅰ)A | 0.3 | 50m／日 |
| | | 0.5 | 18m／日 |
| | | 0.8 | 7.0m／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山腹工 | |

⑬　実播工　筋実播工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 筋実播工 | 91m／日 |

⑭　伏工　そだ伏工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| そだ伏工 | 11m／日 |

⑮　伏工　わら伏工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| わら伏工 | 20 ㎡／日 |

⑯　伏工　むしろ伏工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| むしろ伏工 | 50 ㎡／日 |

⑰　階段切工　階段切付（A）

| 条件 | 土質区分 | 階段幅（m） | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 平均傾斜<br>35°未満 | 砂、砂質土、<br>粘性土、礫質土 | 0.3 | 125m／日 |
| | | 0.5 | 43m／日 |
| | | 0.8 | 17m／日 |
| | 岩塊、玉石、<br>軟岩(Ⅰ)A | 0.3 | 77m／日 |
| | | 0.5 | 29m／日 |
| | | 0.8 | 11m／日 |
| 平均傾斜<br>35°以上 | 砂、砂質土、<br>粘性土、礫質土 | 0.3 | 77m／日 |
| | | 0.5 | 28m／日 |
| | | 0.8 | 11m／日 |
| | 岩塊、玉石、<br>軟岩(Ⅰ)A | 0.3 | 50m／日 |
| | | 0.5 | 18m／日 |
| | | 0.8 | 7.0m／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山腹工 | ⑱　階段切工　階段切付（B） |

| 条件 | 土質区分 | 階段幅（m） | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 階段直高<br>1.0m | 砂、砂質土、<br>粘性土、礫質土 | 0.3 | 26m／日 |
| | | 0.5 | 15m／日 |
| | | 0.8 | 10m／日 |
| | 岩塊、玉石、<br>軟岩(Ⅰ)A | 0.3 | 17m／日 |
| | | 0.5 | 10m／日 |
| | | 0.8 | 6.3m／日 |
| 階段直高<br>1.5m | 砂、砂質土、<br>粘性土、礫質土 | 0.3 | 17m／日 |
| | | 0.5 | 10m／日 |
| | | 0.8 | 6.4m／日 |
| | 岩塊、玉石、<br>軟岩(Ⅰ)A | 0.3 | 11m／日 |
| | | 0.5 | 6.7m／日 |
| | | 0.8 | 4.2m／日 |
| 階段直高<br>2.0m | 砂、砂質土、<br>粘性土、礫質土 | 0.3 | 13m／日 |
| | | 0.5 | 7.7m／日 |
| | | 0.8 | 4.8m／日 |
| | 岩塊、玉石、<br>軟岩(Ⅰ)A | 0.3 | 8.3m／日 |
| | | 0.5 | 5.0m／日 |
| | | 0.8 | 3.1m／日 |

⑲　階段間法面仕上げ　階段間法面仕上げ

| 土質区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂、砂質土、粘性土 | 71 ㎡／日 |
| 礫質土 | 53 ㎡／日 |
| 軟岩(Ⅰ)A | 28 ㎡／日 |

⑳　斜面整地　斜面整地

| 土質区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂、砂質土、粘性土 | 43 ㎡／日 |
| 礫質土 | 28 ㎡／日 |
| 軟岩(Ⅰ)A | 23 ㎡／日 |

㉑　階段掘起　階段掘起

| 構造 | 土質区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 幅 0.20m<br>深 0.30m | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 63m／日 |
| | 岩塊、玉石、軟岩(Ⅰ)A | 42m／日 |
| 幅 0.30m<br>深 0.30m | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 43m／日 |
| | 岩塊、玉石、軟岩(Ⅰ)A | 28m／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山腹工 | ⑱　階段切工　階段切付（B） |

| 条件 | 土質区分 | 階段幅（m） | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 階段直高<br>1.0m | 砂、砂質土、<br>粘性土、礫質土 | 0.3 | 26m／日 |
| | | 0.5 | 15m／日 |
| | | 0.8 | 10m／日 |
| | 岩塊、玉石、<br>軟岩(Ⅰ)A | 0.3 | 17m／日 |
| | | 0.5 | 10m／日 |
| | | 0.8 | 6.3m／日 |
| 階段直高<br>1.5m | 砂、砂質土、<br>粘性土、礫質土 | 0.3 | 17m／日 |
| | | 0.5 | 10m／日 |
| | | 0.8 | 6.4m／日 |
| | 岩塊、玉石、<br>軟岩(Ⅰ)A | 0.3 | 11m／日 |
| | | 0.5 | 6.7m／日 |
| | | 0.8 | 4.2m／日 |
| 階段直高<br>2.0m | 砂、砂質土、<br>粘性土、礫質土 | 0.3 | 13m／日 |
| | | 0.5 | 7.7m／日 |
| | | 0.8 | 4.8m／日 |
| | 岩塊、玉石、<br>軟岩(Ⅰ)A | 0.3 | 8.3m／日 |
| | | 0.5 | 5.0m／日 |
| | | 0.8 | 3.1m／日 |

⑲　階段間法面仕上げ　階段間法面仕上げ

| 土質区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂、砂質土、粘性土 | 71 ㎡／日 |
| 礫質土 | 53 ㎡／日 |
| 軟岩(Ⅰ)A | 28 ㎡／日 |

⑳　斜面整地　斜面整地

| 土質区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂、砂質土、粘性土 | 43 ㎡／日 |
| 礫質土 | 28 ㎡／日 |
| 軟岩(Ⅰ)A | 23 ㎡／日 |

㉑　階段掘起　階段掘起

| 構造 | 土質区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 幅 0.20m<br>深 0.30m | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 63m／日 |
| | 岩塊、玉石、軟岩(Ⅰ)A | 42m／日 |
| 幅 0.30m<br>深 0.30m | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 43m／日 |
| | 岩塊、玉石、軟岩(Ⅰ)A | 28m／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山腹工 | |

㉒　溝切付　溝切付

| 構造 | 土質区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 幅 0.20m<br>深 0.05m | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 385m／日 |
| | 岩塊、玉石、軟岩(Ⅰ)A | 250m／日 |

㉓　材料採取　萱株採取

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 萱株採取 | 4.8 束／日 |

㉔　材料採取　切芝採取

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 切芝採取 | 164 枚／日 |

㉕　材料採取　目串採取

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 目串採取 | 20 束／日 |

㉖　材料採取　そだ採取

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| そだ採取 | 28 束／日 |

㉗　材料採取　帯梢採取

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 帯梢採取 | 10 束／日 |

㉘　山腹水路工（練石、植生、張芝）　練石張水路工

| 材種 | 控長 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 雑割石 | 35cm | 6.3 ㎡／日 |
| 野面石 | 30cm | 8.3 ㎡／日 |
| | 35cm | 7.7 ㎡／日 |
| | 40cm | 6.3 ㎡／日 |

㉙　山腹水路工（練石、植生、張芝）　植生土のう水路工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 植生土のう水路工 | 3.8m／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山腹工 | |

㉒　溝切付　溝切付

| 構造 | 土質区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 幅 0.20m<br>深 0.05m | 砂、砂質土、粘性土、礫質土 | 385m／日 |
| | 岩塊、玉石、軟岩(Ⅰ)A | 250m／日 |

㉓　材料採取　萱株採取

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 萱株採取 | 4.8 束／日 |

㉔　材料採取　切芝採取

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 切芝採取 | 164 枚／日 |

㉕　材料採取　目串採取

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 目串採取 | 20 束／日 |

㉖　材料採取　そだ採取

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| そだ採取 | 28 束／日 |

㉗　材料採取　帯梢採取

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 帯梢採取 | 10 束／日 |

㉘　山腹水路工（練石、植生、張芝）　練石張水路工

| 材種 | 控長 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 雑割石 | 35cm | 6.3 ㎡／日 |
| 野面石 | 30cm | 8.3 ㎡／日 |
| | 35cm | 7.7 ㎡／日 |
| | 40cm | 6.3 ㎡／日 |

㉙　山腹水路工（練石、植生、張芝）　植生土のう水路工

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 植生土のう水路工 | 3.8m／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山腹工 | ㉚　山腹水路工（練石、植生、張芝）　張芝水路工 |

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 張芝水路工 | 9.9m／日 |

地すべり防止工

①　集排水ボーリング孔洗浄工
集水井内足場設置・撤去日当たり施工量

| 作業日当たり標準作業量 | 2.5回／日 |
|---|---|

森林整備

①　森林整備　植栽（A）

| 作業 | 形状寸法 | 土質区分 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 植穴掘付 | 階段上に植栽する場合 | 砂、砂質土、粘性土 | 152 本／日 |
| | | 礫質土、岩塊玉石 | 116 本／日 |
| | 階段間斜面に植栽する場合 | 砂、砂質土、粘性土 | 130 本／日 |
| | | 礫質土、岩塊玉石 | 103 本／日 |
| 植付 | 階段上に植栽する場合 | － | 303 本／日 |
| | 階段間斜面に植栽する場合 | － | 227 本／日 |

②　森林整備　植栽（B）

| 苗種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 普通苗 | 244 本／日 |
| コンテナ苗 | 278 本／日 |

③　森林整備　植栽（C）
（植付）

| 区分 | 規格 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|
| 小苗木 | 樹高 0.5m 以下 | 56 本／日 |
| | 樹高 0.8m 以下 | 40 本／日 |
| | 樹高 1.0m 以下 | 27 本／日 |
| 中苗木 | 樹高 1.5m 以下 | 20 本／日 |
| | 樹高 1.8m 以下、幹回り 0.08m | 15 本／日 |
| | 樹高 2.0m 以下、幹回り 0.08m | 14 本／日 |
| | 樹高 2.0m 以下、幹回り 0.10m | 13 本／日 |
| | 樹高 2.5m 以下、幹回り 0.10m | 11 本／日 |
| | 樹高 2.5m 以下、幹回り 0.12m | 9.4 本／日 |
| 大苗木 | 樹高 3.0m 以下、幹回り 0.12m | 8.3 本／日 |
| | 樹高 3.0m 以下、幹回り 0.15m | 6.1 本／日 |
| | 樹高 3.5m 以下、幹回り 0.15m | 4.2 本／日 |
| | 樹高 3.5m 以下、幹回り 0.20m | 3.0 本／日 |
| | 樹高 4.0m 以下、幹回り 0.20m | 2.1 本／日 |
| | 樹高 4.0m 以下、幹回り 0.30m | 1.6 本／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 山腹工 | ㉚　山腹水路工（練石、植生、張芝）　張芝水路工 |

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 張芝水路工 | 9.9m／日 |

（新設）

（新設）

森林整備

①　森林整備　植栽（A）

| 作業 | 形状寸法 | 土質区分 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 植穴掘付 | 階段上に植栽する場合 | 砂、砂質土、粘性土 | 152 本／日 |
| | | 礫質土、岩塊玉石 | 116 本／日 |
| | 階段間斜面に植栽する場合 | 砂、砂質土、粘性土 | 130 本／日 |
| | | 礫質土、岩塊玉石 | 103 本／日 |
| 植付 | 階段上に植栽する場合 | － | 303 本／日 |
| | 階段間斜面に植栽する場合 | － | 227 本／日 |

②　森林整備　植栽（B）

| 苗種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 普通苗 | 244 本／日 |
| コンテナ苗 | 278 本／日 |

③　森林整備　植栽（C）
（植付）

| 区分 | 規格 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|
| 小苗木 | 樹高 0.5m 以下 | 56 本／日 |
| | 樹高 0.8m 以下 | 40 本／日 |
| | 樹高 1.0m 以下 | 27 本／日 |
| 中苗木 | 樹高 1.5m 以下 | 20 本／日 |
| | 樹高 1.8m 以下、幹回り 0.08m | 15 本／日 |
| | 樹高 2.0m 以下、幹回り 0.08m | 14 本／日 |
| | 樹高 2.0m 以下、幹回り 0.10m | 13 本／日 |
| | 樹高 2.5m 以下、幹回り 0.10m | 11 本／日 |
| | 樹高 2.5m 以下、幹回り 0.12m | 9.4 本／日 |
| 大苗木 | 樹高 3.0m 以下、幹回り 0.12m | 8.3 本／日 |
| | 樹高 3.0m 以下、幹回り 0.15m | 6.1 本／日 |
| | 樹高 3.5m 以下、幹回り 0.15m | 4.2 本／日 |
| | 樹高 3.5m 以下、幹回り 0.20m | 3.0 本／日 |
| | 樹高 4.0m 以下、幹回り 0.20m | 2.1 本／日 |
| | 樹高 4.0m 以下、幹回り 0.30m | 1.6 本／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | |

（幹巻）

| 区分 | 規格 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 大苗木 | 樹高 3.0m 以下、幹回り 0.12m | 63 本／日 |
| | 樹高 3.0m 以下、幹回り 0.15m | 33 本／日 |
| | 樹高 3.5m 以下、幹回り 0.15m | 33 本／日 |
| | 樹高 3.5m 以下、幹回り 0.20m | 17 本／日 |
| | 樹高 4.0m 以下、幹回り 0.20m | 17 本／日 |
| | 樹高 4.0m 以下、幹回り 0.30m | 8.3 本／日 |

（小運搬）

| 区分 | | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 小苗木 | 苗木 | 500 本／日 |
| | その他 | 100 本／日 |
| 中苗木 | 苗木 | 83 本／日 |
| | その他 | 33 本／日 |
| 大苗木 | 苗木 | 33 本／日 |
| | その他 | 20 本／日 |

④　森林整備　地拵え（人力地拵え）

| 種別 | 状態 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 笹竹 | 密生 | 217 ㎡／日 |
| | 疎生 | 323 ㎡／日 |
| 草（かや等） | 密生 | 385 ㎡／日 |
| | 疎生 | 588 ㎡／日 |

⑤　森林整備　地拵え（立木整理）

| 平均胸高直 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 4cm 以下 | 1,250 本／日 |
| 6cm 以下 | 556 本／日 |
| 8cm 以下 | 333 本／日 |
| 10cm 以下 | 222 本／日 |
| 12cm 以下 | 156 本／日 |
| 14cm 以下 | 118 本／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | |

（幹巻）

| 区分 | 規格 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 大苗木 | 樹高 3.0m 以下、幹回り 0.12m | 63 本／日 |
| | 樹高 3.0m 以下、幹回り 0.15m | 33 本／日 |
| | 樹高 3.5m 以下、幹回り 0.15m | 33 本／日 |
| | 樹高 3.5m 以下、幹回り 0.20m | 17 本／日 |
| | 樹高 4.0m 以下、幹回り 0.20m | 17 本／日 |
| | 樹高 4.0m 以下、幹回り 0.30m | 8.3 本／日 |

（小運搬）

| 区分 | | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 小苗木 | 苗木 | 500 本／日 |
| | その他 | 100 本／日 |
| 中苗木 | 苗木 | 83 本／日 |
| | その他 | 33 本／日 |
| 大苗木 | 苗木 | 33 本／日 |
| | その他 | 20 本／日 |

④　森林整備　地拵え（人力地拵え）

| 種別 | 状態 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 笹竹 | 密生 | 217 ㎡／日 |
| | 疎生 | 323 ㎡／日 |
| 草（かや等） | 密生 | 385 ㎡／日 |
| | 疎生 | 588 ㎡／日 |

⑤　森林整備　地拵え（立木整理）

| 平均胸高直 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 4cm 以下 | 1,250 本／日 |
| 6cm 以下 | 556 本／日 |
| 8cm 以下 | 333 本／日 |
| 10cm 以下 | 222 本／日 |
| 12cm 以下 | 156 本／日 |
| 14cm 以下 | 118 本／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | ⑥　森林整備　（参考）地拵え（草刈機） |

（補正なし）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 地拵え（草刈機） | 0.149ha／日 |

（補正あり）

| 区分 | 草丈 | 密度 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 草地 | 0.5m 以下 | － | 0.170ha／日 |
| | 0.5m 超 | － | 0.157ha／日 |
| ササ地 | 1m 以下 | 疎 | 0.180ha／日 |
| | | 密 | 0.133ha／日 |
| | 1m 超 | 疎 | 0.131ha／日 |
| | | 密 | 0.124ha／日 |

⑦　森林整備　（参考）地拵え（草刈機・チェンソー併用）

（補正なし）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 地拵え（草刈機・チェンソー併用） | 0.085ha／日 |

（補正あり）

| 区分 | 草丈 | 密度 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 草地 | 0.5m 以下 | － | 0.120ha／日 |
| | 0.5m を超え 1.5m 以下 | － | 0.103ha／日 |
| | 1.5m 超 | － | 0.088ha／日 |
| 灌木地 | 低木 | 疎 | 0.111ha／日 |
| | | 密 | 0.072ha／日 |
| | 中高木 | － | 0.054ha／日 |
| ササ地 | 1m 以下 | 疎 | 0.174ha／日 |
| | | 密 | 0.087ha／日 |
| | 1m 超 | 疎 | 0.077ha／日 |
| | | 密 | 0.068ha／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | ⑥　森林整備　（参考）地拵え（草刈機） |

（補正なし）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 地拵え（草刈機） | 0.149ha／日 |

（補正あり）

| 区分 | 草丈 | 密度 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 草地 | 0.5m 以下 | － | 0.170ha／日 |
| | 0.5m 超 | － | 0.157ha／日 |
| ササ地 | 1m 以下 | 疎 | 0.180ha／日 |
| | | 密 | 0.133ha／日 |
| | 1m 超 | 疎 | 0.131ha／日 |
| | | 密 | 0.124ha／日 |

⑦　森林整備　（参考）地拵え（草刈機・チェンソー併用）

（補正なし）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 地拵え（草刈機・チェンソー併用） | 0.085ha／日 |

（補正あり）

| 区分 | 草丈 | 密度 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|---|
| 草地 | 0.5m 以下 | － | 0.120ha／日 |
| | 0.5m を超え 1.5m 以下 | － | 0.103ha／日 |
| | 1.5m 超 | － | 0.088ha／日 |
| 灌木地 | 低木 | 疎 | 0.111ha／日 |
| | | 密 | 0.072ha／日 |
| | 中高木 | － | 0.054ha／日 |
| ササ地 | 1m 以下 | 疎 | 0.174ha／日 |
| | | 密 | 0.087ha／日 |
| | 1m 超 | 疎 | 0.077ha／日 |
| | | 密 | 0.068ha／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | ⑧　森林整備　客土 |

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 客土 | 213 本／日 |

⑨　森林整備　仮植

| 規格 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| スギ、ヒノキ、マツ等 | 3,030 本／日 |
| 肥料木 | 5,882 本／日 |

⑩ 森林整備 施肥

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 施肥 | 800 本／日 |

⑪　森林整備　苗木運搬

| 規格 | 運搬距離 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| マツ、<br>スギ、<br>ヒノキ等 | 100m まで | 2,000 本／日 |
| | 200m まで | 1,818 本／日 |
| | 300m まで | 1,695 本／日 |
| | 400m まで | 1,563 本／日 |
| | 500m まで | 1,449 本／日 |
| | 600m まで | 1,351 本／日 |
| | 700m まで | 1,282 本／日 |
| | 800m まで | 1,205 本／日 |
| | 900m まで | 1,136 本／日 |
| | 1000m まで | 1,087 本／日 |
| 肥料木 | 100m まで | 4,000 本／日 |
| | 200m まで | 3,571 本／日 |
| | 300m まで | 3,333 本／日 |
| | 400m まで | 3,125 本／日 |
| | 500m まで | 2,857 本／日 |
| | 600m まで | 2,703 本／日 |
| | 700m まで | 2,564 本／日 |
| | 800m まで | 2,381 本／日 |
| | 900m まで | 2,273 本／日 |
| | 1000m まで | 2,174 本／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | ⑧　森林整備　客土 |

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 客土 | 213 本／日 |

⑨　森林整備　仮植

| 規格 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| スギ、ヒノキ、マツ等 | 3,030 本／日 |
| 肥料木 | 5,882 本／日 |

⑩ 森林整備 施肥

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 施肥 | 800 本／日 |

⑪　森林整備　苗木運搬

| 規格 | 運搬距離 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| マツ、<br>スギ、<br>ヒノキ等 | 100m まで | 2,000 本／日 |
| | 200m まで | 1,818 本／日 |
| | 300m まで | 1,695 本／日 |
| | 400m まで | 1,563 本／日 |
| | 500m まで | 1,449 本／日 |
| | 600m まで | 1,351 本／日 |
| | 700m まで | 1,282 本／日 |
| | 800m まで | 1,205 本／日 |
| | 900m まで | 1,136 本／日 |
| | 1000m まで | 1,087 本／日 |
| 肥料木 | 100m まで | 4,000 本／日 |
| | 200m まで | 3,571 本／日 |
| | 300m まで | 3,333 本／日 |
| | 400m まで | 3,125 本／日 |
| | 500m まで | 2,857 本／日 |
| | 600m まで | 2,703 本／日 |
| | 700m まで | 2,564 本／日 |
| | 800m まで | 2,381 本／日 |
| | 900m まで | 2,273 本／日 |
| | 1000m まで | 2,174 本／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | ⑫　森林整備　下刈（全刈り（1 回刈り及び 2 回刈り）） |

（補正なし）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 下刈（全刈り） | 0.147ha／日 |

（補正あり）年 1 回全刈り、年 2 回全刈りの 1 回目

| 占有<br>植生 | 植生被覆率 | 傾斜 | 作業日当たり標<br>準作業量 |
|---|---|---|---|
| カヤ<br>笹類<br>竹類 | 50%未満 | 20 度未満 | 0.163ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.147ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.134ha／日 |
| | 50%以上 80%未満 | 20 度未満 | 0.147ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.134ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.123ha／日 |
| | 80%以上 | 20 度未満 | 0.134ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.123ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.113ha／日 |
| 灌木類 | 50%未満 | 20 度未満 | 0.196ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.173ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.155ha／日 |
| | 50%以上 80%未満 | 20 度未満 | 0.173ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.140ha／日 |
| | 80%以上 | 20 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.140ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.128ha／日 |
| ツル<br>バラ類 | 40%未満 | 20 度未満 | 0.163ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.147ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.134ha／日 |
| | 40%以上 70%未満 | 20 度未満 | 0.147ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.134ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.123ha／日 |
| | 70%以上 | 20 度未満 | 0.134ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.123ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.113ha／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | ⑫　森林整備　下刈（全刈り（1 回刈り及び 2 回刈り）） |

（補正なし）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 下刈（全刈り） | 0.147ha／日 |

（補正あり）年 1 回全刈り、年 2 回全刈りの 1 回目

| 占有<br>植生 | 植生被覆率 | 傾斜 | 作業日当たり標<br>準作業量 |
|---|---|---|---|
| カヤ<br>笹類<br>竹類 | 50%未満 | 20 度未満 | 0.163ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.147ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.134ha／日 |
| | 50%以上 80%未満 | 20 度未満 | 0.147ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.134ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.123ha／日 |
| | 80%以上 | 20 度未満 | 0.134ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.123ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.113ha／日 |
| 灌木類 | 50%未満 | 20 度未満 | 0.196ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.173ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.155ha／日 |
| | 50%以上 80%未満 | 20 度未満 | 0.173ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.140ha／日 |
| | 80%以上 | 20 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.140ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.128ha／日 |
| ツル<br>バラ類 | 40%未満 | 20 度未満 | 0.163ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.147ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.134ha／日 |
| | 40%以上 70%未満 | 20 度未満 | 0.147ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.134ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.123ha／日 |
| | 70%以上 | 20 度未満 | 0.134ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.123ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.113ha／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | （補正あり）年２回全刈りの２回目 |

| 占有植生 | 植生被覆率 | 傾斜 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|---|
| カヤ笹類竹類 | 50%未満 | 20 度未満 | 0.190ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.171ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.155ha／日 |
| | 50%以上 80%未満 | 20 度未満 | 0.171ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.142ha／日 |
| | 80%以上 | 20 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.142ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.132ha／日 |
| 灌木類 | 50%未満 | 20 度未満 | 0.228ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.201ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.180ha／日 |
| | 50%以上 80%未満 | 20 度未満 | 0.201ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.180ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.163ha／日 |
| | 80%以上 | 20 度未満 | 0.180ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.163ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.149ha／日 |
| ツルバラ類 | 40%未満 | 20 度未満 | 0.190ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.171ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.155ha／日 |
| | 40%以上 70%未満 | 20 度未満 | 0.171ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.142ha／日 |
| | 70%以上 | 20 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.142ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.132ha／日 |

⑬　森林整備　除伐

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 除伐 | 0.286ha／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | （補正あり）年２回全刈りの２回目 |

| 占有植生 | 植生被覆率 | 傾斜 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|---|---|
| カヤ笹類竹類 | 50%未満 | 20 度未満 | 0.190ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.171ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.155ha／日 |
| | 50%以上 80%未満 | 20 度未満 | 0.171ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.142ha／日 |
| | 80%以上 | 20 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.142ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.132ha／日 |
| 灌木類 | 50%未満 | 20 度未満 | 0.228ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.201ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.180ha／日 |
| | 50%以上 80%未満 | 20 度未満 | 0.201ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.180ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.163ha／日 |
| | 80%以上 | 20 度未満 | 0.180ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.163ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.149ha／日 |
| ツルバラ類 | 40%未満 | 20 度未満 | 0.190ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.171ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.155ha／日 |
| | 40%以上 70%未満 | 20 度未満 | 0.171ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.142ha／日 |
| | 70%以上 | 20 度未満 | 0.155ha／日 |
| | | 20 度以上 30 度未満 | 0.142ha／日 |
| | | 30 度以上 | 0.132ha／日 |

⑬　森林整備　除伐

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 |
|---|---|
| 除伐 | 0.286ha／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | ⑭　森林整備_（参考）本数調整伐 |

（選木）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 本数調整伐<br>（選木） | 625 本/日 |

（伐倒）難易度：易

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 483 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 347 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 265 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 214 本／日 |
| 28cm 以上 | 176 本／日 |

（伐倒）難易度：中

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 435 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 313 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 238 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 192 本／日 |
| 28cm 以上 | 159 本／日 |

（伐倒）難易度：難

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 395 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 284 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 216 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 175 本／日 |
| 28cm 以上 | 144 本／日 |

（枝払）難易度：易

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 529 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 463 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 397 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 358 本／日 |
| 28cm 以上 | 317 本／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | ⑭　森林整備_（参考）本数調整伐 |

（選木）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 本数調整伐<br>（選木） | 625 本/日 |

（伐倒）難易度：易

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 483 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 347 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 265 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 214 本／日 |
| 28cm 以上 | 176 本／日 |

（伐倒）難易度：中

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 435 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 313 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 238 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 192 本／日 |
| 28cm 以上 | 159 本／日 |

（伐倒）難易度：難

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 395 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 284 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 216 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 175 本／日 |
| 28cm 以上 | 144 本／日 |

（枝払）難易度：易

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 529 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 463 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 397 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 358 本／日 |
| 28cm 以上 | 317 本／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | （枝払）難易度：中 |

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 476 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 417 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 357 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 323 本／日 |
| 28cm 以上 | 286 本／日 |

（枝払）難易度：難

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 433 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 379 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 325 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 293 本／日 |
| 28cm 以上 | 260 本／日 |

（玉切）難易度：易

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 617 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 556 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 483 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 427 本／日 |
| 28cm 以上 | 383 本／日 |

（玉切）難易度：中

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 556 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 500 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 435 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 385 本／日 |
| 28cm 以上 | 345 本／日 |

（玉切）難易度：難

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 505 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 455 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 395 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 350 本／日 |
| 28cm 以上 | 313 本／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | （枝払）難易度：中 |

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 476 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 417 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 357 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 323 本／日 |
| 28cm 以上 | 286 本／日 |

（枝払）難易度：難

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 433 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 379 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 325 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 293 本／日 |
| 28cm 以上 | 260 本／日 |

（玉切）難易度：易

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 617 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 556 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 483 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 427 本／日 |
| 28cm 以上 | 383 本／日 |

（玉切）難易度：中

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 556 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 500 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 435 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 385 本／日 |
| 28cm 以上 | 345 本／日 |

（玉切）難易度：難

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 505 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 455 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 395 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 350 本／日 |
| 28cm 以上 | 313 本／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | （片付）難易度：易 |

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 370 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 285 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 218 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 179 本／日 |
| 28cm 以上 | 156 本／日 |

（片付）難易度：中

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 333 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 256 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 196 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 161 本／日 |
| 28cm 以上 | 141 本／日 |

（片付）難易度：難

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 303 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 233 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 178 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 147 本／日 |
| 28cm 以上 | 128 本／日 |

⑮　森林整備　（参考）獣害対策

| 作業 | | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 害獣防護柵設置 | 後付型 | 28m／日 |
| | 一体型 | 34m／日 |
| 食害保護資材設置 | | 104 本／日 |
| 剥皮保護資材設置 | ネット取付 | 97 本／日 |
| | テープ巻 | 400 本／日 |
| 忌避剤散布・塗布 | 散布 | 1,220 本／日 |
| | 塗布 | 641 本／日 |

⑯　支柱工　一本支柱

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 一本支柱 | 31 本／日 |


| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 森林整備 | （片付）難易度：易 |

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 370 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 285 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 218 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 179 本／日 |
| 28cm 以上 | 156 本／日 |

（片付）難易度：中

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 333 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 256 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 196 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 161 本／日 |
| 28cm 以上 | 141 本／日 |

（片付）難易度：難

| 平均胸高直径 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 10cm 未満 | 303 本／日 |
| 10cm 以上 16cm 以下 | 233 本／日 |
| 16cm 以上 22cm 以下 | 178 本／日 |
| 22cm 以上 28cm 以下 | 147 本／日 |
| 28cm 以上 | 128 本／日 |

⑮　森林整備　（参考）獣害対策

| 作業 | | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 害獣防護柵設置 | 後付型 | 28m／日 |
| | 一体型 | 34m／日 |
| 食害保護資材設置 | | 104 本／日 |
| 剥皮保護資材設置 | ネット取付 | 97 本／日 |
| | テープ巻 | 400 本／日 |
| 忌避剤散布・塗布 | 散布 | 1,220 本／日 |
| | 塗布 | 641 本／日 |

⑯　支柱工　一本支柱

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 一本支柱 | 31 本／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 海岸林造成 | ①　（参考）生育基盤盛土工　（参考）生育基盤盛土工 |

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 | |
|---|---|---|
| | 区分：0.6 未満 | 区分：0.6 以上 |
| 生育基盤盛土工 | 439 ㎥／日 | 725 ㎥／日 |

②　海岸植栽　砂地造林

| 区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 植穴掘付 | 213 本／日 |
| 植付 | 588 本／日 |

③　海岸植栽　砂草植栽

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂草植栽 | 870 株／日 |

④　海岸植栽　埋わら等

| 区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 埋わら | 56 束／日 |
| 敷わら | 625 ㎡／日 |
| わら伏 | 28 ㎡／日 |
| わら立て | 100m／日 |

⑤　（参考）下刈　（参考）下刈

（補正なし）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 静砂工有 | 0.137ha／日 |
| 静砂工無 | 0.120ha／日 |

（補正あり）

| 工種 | 植生被覆率 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 静砂工有 | 50%未満 | 0.152ha／日 |
| | 50%以上～80%未満 | 0.137ha／日 |
| | 80%以上 | 0.125ha／日 |
| 静砂工無 | 50%未満 | 0.134ha／日 |
| | 50%以上～80%未満 | 0.120ha／日 |
| | 80%以上 | 0.110ha／日 |

| 工　種　名 | 設　　定　　内　　容 |
|---|---|
| 海岸林造成 | ①　（参考）生育基盤盛土工　（参考）生育基盤盛土工 |

| 工種 | 作業日当たり標準作業量 | |
|---|---|---|
| | 区分：0.6 未満 | 区分：0.6 以上 |
| 生育基盤盛土工 | 439 ㎥／日 | 725 ㎥／日 |

②　海岸植栽　砂地造林

| 区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 植穴掘付 | 213 本／日 |
| 植付 | 588 本／日 |

③　海岸植栽　砂草植栽

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 砂草植栽 | 870 株／日 |

④　海岸植栽　埋わら等

| 区分 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 埋わら | 56 束／日 |
| 敷わら | 63 ㎡／日 |
| わら伏 | 28 ㎡／日 |
| わら立て | 100m／日 |

⑤　（参考）下刈　（参考）下刈

（補正なし）

| 工種 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|
| 静砂工有 | 0.137ha／日 |
| 静砂工無 | 0.120ha／日 |

（補正あり）

| 工種 | 植生被覆率 | 作業日当たり<br>標準作業量 |
|---|---|---|
| 静砂工有 | 50%未満 | 0.152ha／日 |
| | 50%以上～80%未満 | 0.137ha／日 |
| | 80%以上 | 0.125ha／日 |
| 静砂工無 | 50%未満 | 0.134ha／日 |
| | 50%以上～80%未満 | 0.120ha／日 |
| | 80%以上 | 0.110ha／日 |

<table>
<tr><th>工　種　名</th><th>設　　定　　内　　容</th></tr>
<tr><td>道路付属施設</td><td>①　ガードケーブル設置工
<table>
<tr><th colspan="3">作業種別分</th><th>作業日当たり標準作業量</th></tr>
<tr><td rowspan="2">端末支柱</td><td rowspan="2">建込み</td><td>標準型</td><td>5 本/日</td></tr>
<tr><td>耐雪型</td><td>5 本/日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">中間支柱</td><td rowspan="2">機械打込み</td><td>標準型</td><td>44 本/日</td></tr>
<tr><td>耐雪型</td><td>37 本/日</td></tr>
<tr><td colspan="2">コンクリート建込</td><td>25 本/日</td></tr>
<tr><td colspan="3">ケーブル張</td><td>Ａ種</td><td>164m/日</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>Ｂ種</td><td>205m/日</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>Ｃ種</td><td>273m/日</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>Ｓ種</td><td>137m/日</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>Ａｍ種</td><td>102m/日</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>Ｂｍ種</td><td>137m/日</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>工　種　名</th><th>設　　定　　内　　容</th></tr>
<tr><td>（新設）</td><td>（新設）</td></tr>
</table>

附　　則　この通知は、令和５年４月１日から適用する。